草加市子ども教育の連携に関する
アンケート調査報告書

平成２５年３月

草加市

目　　次

第１部　調査概要 …… 1
１．調査の目的 …… 1
２．調査の方法及び回収状況 …… 1
３．地域別集計について …… 2
４．分析・表示について …… 2

第２部　調査結果報告 …… 3

Ⅰ．幼稚園年長・保育園５歳児保護者 …… 3
１．基礎情報 …… 3
（１）幼稚園・保育園の回答割合 …… 3
（２）お子さんの性別 …… 4
（３）兄弟姉妹の人数 …… 4
（４）祖父母との同居 …… 5
（５）アンケート回答者の続柄 …… 5
２．お子さんの生活の様子について …… 6
３．家庭での教育について …… 11
（１）家庭でのしつけや教育で重視していること …… 11
（２）子どもに対するしつけや教育の実践 …… 12
（３）家庭と学校などの教育機関の役割 …… 13
４．小学校入学について …… 15
（１）小学校入学後の生活で楽しみにしていることや期待していること …… 15
（２）小学校入学後の不安や心配 …… 16
（３）不安や心配に対する対応 …… 17
（４）不安や心配がない理由 …… 18
５．就学前教育について …… 19
（１）小学校入学に向けた教育活動の実施 …… 19
（２）小学校入学に向けて、幼稚園や保育園で取り組んでもらいたいこと …… 20
６．お子さんの将来像について …… 21
７．自由記述 …… 23

Ⅱ．小学校１年生保護者 …… 25
１．基礎情報 …… 25
（１）お子さんの性別 …… 25
（２）兄弟姉妹の人数 …… 26

（３）祖父母との同居 …… 26
（４）学童保育の利用 …… 27
（５）アンケート回答者の続柄 …… 27
２．お子さんの生活の様子について …… 28
３．家庭での教育について …… 32
（１）家庭でのしつけや教育で重視していること …… 32
（２）子どもに対するしつけや教育の実践 …… 33
（３）家庭と学校などの教育機関の役割 …… 34
４．小学校入学後のお子さんの様子について …… 35
（１）小学校入学後の生活で楽しんでいること …… 35
（２）小学校入学後の不安 …… 36
（３）不安や心配に対する対応 …… 37
（４）不安がない理由 …… 38
５．育ちの連続性を意識した教育活動について …… 39
（１）幼児期からの学びを活かした教育活動の実施 …… 39
（２）小学校で取り組んでほしいこと …… 39
６．お子さんの将来像について …… 40
７．自由記述 …… 42

Ⅲ．小学校６年生保護者 …… 44
１．基礎情報 …… 44
（１）お子さんの性別 …… 44
（２）兄弟姉妹の人数 …… 45
（３）祖父母との同居 …… 45
（４）アンケート回答者の続柄 …… 46
２．お子さんの生活の様子について …… 47
３．お子さんの学習の様子について …… 51
（１）学校の授業の理解度 …… 51
（２）学校の授業を理解していない理由 …… 51
（３）１日の平均学習時間 …… 52
４．家庭での教育について …… 54
（１）家庭でのしつけや教育で重視していること …… 54
（２）子どもに対するしつけや教育の実践 …… 55
（３）家庭と学校などの教育機関の役割 …… 56
５．中学校入学について …… 57
（１）中学校入学後の生活で楽しみにしていることや期待していること …… 57
（２）中学校入学後の不安や心配 …… 58
（３）不安や心配に対する対応 …… 59
（４）不安や心配がない理由 …… 59

６．お子さんの将来像について ································ 60
７．自由記述 ·· 62

Ⅳ．中学校１年生保護者 ···································· 64
１．基礎情報 ·· 64
（１）お子さんの性別 ···································· 64
（２）兄弟姉妹の人数 ···································· 65
（３）祖父母との同居 ···································· 65
（４）アンケート回答者の続柄 ···························· 66
２．お子さんの生活の様子について ···························· 67
３．お子さんの学習の様子について ···························· 71
（１）学校の授業の理解度 ································ 71
（２）学校の授業を理解していない理由 ······················ 71
（３）１日の平均学習時間 ································ 72
４．家庭での教育について ·································· 74
（１）家庭でのしつけや教育で重視していること ················ 74
（２）子どもに対するしつけや教育の実践 ···················· 75
（３）家庭と学校などの教育機関の役割 ······················ 76
５．中学校入学後のお子さんの様子について ···················· 77
（１）中学校入学後の生活で楽しんでいること ·················· 77
（２）中学校入学後の不安 ································ 78
（３）不安や心配に対する対応 ···························· 79
（４）不安がない理由 ···································· 79
６．お子さんの将来像について ································ 80
７．自由記述 ·· 82

Ⅴ．中学校３年生保護者 ···································· 84
１．基礎情報 ·· 84
（１）お子さんの性別 ···································· 84
（２）兄弟姉妹の人数 ···································· 85
（３）祖父母との同居 ···································· 85
（４）アンケート回答者の続柄 ···························· 86
２．お子さんの生活の様子について ···························· 87
３．お子さんの学習の様子について ···························· 91
（１）学校の授業の理解度 ································ 91
（２）学校の授業を理解していない理由 ······················ 91
（３）１日の平均学習時間 ································ 92
４．家庭での教育について ·································· 94
（１）家庭でのしつけや教育で重視していること ················ 94

（２）子どもに対するしつけや教育の実践 …… 95
（３）家庭と学校などの教育機関の役割 …… 96
５．お子さんの中学校生活の様子について …… 97
（１）中学校生活で楽しんでいること …… 97
（２）中学校生活での不安 …… 98
（３）不安や心配に対する対応 …… 99
６．お子さんの将来像について …… 100
７．自由記述 …… 102

Ⅵ．幼稚園教員・保育園保育士 …… 103
１．基礎情報 …… 103
（１）幼稚園・保育園の回答割合 …… 103
（２）職名 …… 104
（３）教員・保育士歴 …… 104
（４）園児の進学先（平成 23 年度　上位３校） …… 106
２．年長組（５歳児クラス）のお子さんの生活の様子について …… 107
３．幼稚園・保育園・小学校・中学校の交流、連携の実施状況について …… 112
（１）他の幼稚園・保育園・小学校・中学校との交流、連携の実施状況 …… 112
（２）交流、連携の相手方 …… 113
（３）交流、連携の参加者 …… 114
（４）交流、連携の内容 …… 115
（５）交流、連携の窓口の担当者 …… 116
（６）交流、連携の窓口の担当者の固定化 …… 116
（７）交流、連携を行って良かった点 …… 117
（８）交流、連携の課題となる点 …… 118
（９）交流、連携の改善点 …… 119
(10) 交流、連携が困難な理由 …… 120
４．就学に向けた取り組みについて …… 121
（１）交流、連携以外の接続を意識した幼児教育 …… 121
（２）小学校教育への接続を意識した幼児教育の実施 …… 122
（３）接続を意識した幼児教育の実施時期 …… 123
（４）小学校に対する期待 …… 124
５．教育全般について …… 125
（１）家庭と学校などの教育機関の役割 …… 125
（２）中学校卒業までに身に付けてほしい能力や考え方 …… 127
６．自由記述 …… 129

Ⅶ．小学校教員 …… 130
１．基礎情報 …… 130

（１）職名 …… 130
（２）教員歴 …… 131
２．児童の生活の様子について …… 132
３．「小１プロブレム」について …… 136
（１）「小１プロブレム」の発生状況 …… 136
（２）「小１プロブレム」がみられた学級数 …… 137
（３）「小１プロブレム」がみられた要因 …… 137
（４）「小１プロブレム」への対応 …… 138
（５）「小１プロブレム」の予防や解消のための対応策 …… 139
（６）入学に際しての配慮や準備 …… 140
（７）幼稚園や保育園に対する期待 …… 141
４．幼稚園・保育園・小学校・中学校の交流、連携の実施状況について …… 142
（１）幼稚園・保育園・他の小学校・中学校との交流、連携の実施状況 …… 142
（２）交流、連携の相手方 …… 144
（３）交流、連携の参加者 …… 144
（４）交流、連携の内容 …… 145
（５）交流、連携の窓口の担当者 …… 146
（６）交流、連携の窓口の担当者の固定化 …… 146
（７）交流、連携を行って良かった点 …… 147
（８）交流、連携の課題となる点 …… 148
（９）交流、連携の改善点 …… 149
(10) 交流、連携が困難な理由 …… 149
(11) 中学校に対する期待 …… 150
５．教育全般について …… 151
（１）家庭と学校などの教育機関の役割 …… 151
（２）中学校卒業までに身に付けてほしい能力や考え方 …… 152
６．自由記述 …… 154

Ⅷ．中学校教員 …… 155
１．基礎情報 …… 155
（１）職名 …… 155
（２）教員歴 …… 156
２．生徒の生活の様子について …… 157
３．「中１ギャップ」について …… 161
（１）「中１ギャップ」の発生状況 …… 161
（２）「中１ギャップ」がみられた要因 …… 162
（３）「中１ギャップ」への対応 …… 163
（４）「中１ギャップ」の予防や解消のための対応策 …… 164
（５）入学に際しての配慮や準備 …… 165

（６）小学校に対する期待 …… 166
４．幼稚園・保育園・小学校・中学校の交流、連携の実施状況について …… 167
（１）幼稚園・保育園・小学校・他の中学校との交流、連携の実施状況 …… 167
（２）交流、連携の相手方 …… 168
（３）交流、連携の参加者 …… 169
（４）交流、連携の内容 …… 170
（５）交流、連携の窓口の担当者 …… 171
（６）交流、連携の窓口の担当者の固定化 …… 171
（７）交流、連携を行って良かった点 …… 172
（８）交流、連携の課題となる点 …… 173
（９）交流、連携の改善点 …… 174
(10) 交流、連携が困難な理由 …… 174
５．教育全般について …… 175
（１）家庭と学校などの教育機関の役割 …… 175
（２）中学校卒業までに身に付けてほしい能力や考え方 …… 177
６．自由記述 …… 179

Ⅸ．保護者、教員・保育士共通項目 …… 180
１．生活の様子について …… 180
２．家庭と学校などの教育機関の役割 …… 183
３．中学校卒業までに身に付けてほしい能力や考え方 …… 184

Ⅹ．幼稚園年長・保育園５歳児保護者、幼稚園教員・保育園保育士共通項目 186
１．生活の様子について＜対比＞ …… 186
２．家庭と学校などの教育機関の役割＜対比＞ …… 188
３．中学校卒業までに身に付けてほしい能力や考え方＜対比＞ …… 189
４．就学前教育の希望と就学に向けた幼児教育の実施について＜対比＞ …… 191
５．幼稚園や保育園で取り組んでもらいたいことと取り組んでいること＜対比＞ …… 192

ⅩⅠ．小学校１年生保護者、小学校６年生保護者、小学校教員共通項目 …… 194
１．生活の様子について＜対比＞ …… 194
２．家庭と学校などの教育機関の役割＜対比＞ …… 195
３．中学校卒業までに身に付けてほしい能力や考え方＜対比＞ …… 196

ⅩⅡ．中学校１年生保護者、中学校３年生保護者、中学校教員共通項目 …… 198
１．生活の様子について＜対比＞ …… 198
２．家庭と学校などの教育機関の役割＜対比＞ …… 199
３．中学校卒業までに身に付けてほしい能力や考え方＜対比＞ …… 200

ⅩⅢ．保護者共通項目 …… 202
１．家庭でのしつけや教育で重視していること …… 202
２．子どもに対してのしつけや教育の実践 …… 203
３．学校の授業の理解度 …… 203
４．学校の授業を理解していない理由 …… 204
５．１日の平均学習時間 …… 205
６．入学後の生活で楽しみにしていること、楽しんでいること …… 206
７．入学後の不安や心配 …… 208
８．不安や心配に対する対応 …… 210
９．不安や心配がない理由 …… 211

ⅩⅣ．教員・保育士共通項目 …… 212
１．交流、連携の内容 …… 212
２．交流、連携を行って良かった点 …… 213
３．交流、連携の課題となる点 …… 214
４．交流、連携の改善点 …… 215
５．交流、連携が困難な理由（交流、連携を実施していない学校・園のみ） …… 216
６．幼稚園・保育園と小学校が相互に期待すること＜対比＞ …… 217
７．小学校と中学校が相互に期待すること＜対比＞ …… 218

資料編　調査票 …… 219
１．幼稚園年長・保育園５歳児保護者用調査票 …… 219
２．小学校１年生保護者用調査票 …… 222
３．小学校６年生保護者用調査票 …… 225
４．中学校１年生保護者用調査票 …… 228
５．中学校３年生保護者用調査票 …… 231
６．幼稚園教員・保育園保育士用調査票 …… 234
７．小学校教員用調査票 …… 237
８．中学校教員用調査票 …… 241

第１部　調査概要

第１部　調査概要

１．調査の目的

市内の幼稚園、保育園、小学校、中学校における、子ども教育の連携についての実態を把握し、その実態を踏まえ、子ども教育の連携推進に関わる施策について検討を行う際の基礎資料とするため、アンケート調査を実施しました。

２．調査の方法及び回収状況

【対 象 者】

（１）保護者

① 市内の幼稚園・保育園：年長児・５歳児保護者

② 市立小学校：１年生及び６年生の保護者

③ 市立中学校：１年生及び３年生の保護者

（２）教員及び保育士

① 市内の幼稚園・保育園：園長及び年長児・５歳児の担任

② 市立小学校：校長、生徒指導主任、１年生及び６年生の学年主任、特別支援学級主担任

③ 市立中学校：校長、生徒指導主任、１年生及び３年生の学年主任、特別支援学級主担任

【調査方法】市内の幼稚園・保育園、市立小学校、市立中学校にて直接配布・回収

【調査期間】平成 24 年７月６日～7 月 24 日

■表１　回収状況

対象者		配布数（件）	回収数（件）	回収率（%）
保護者	幼稚園　年長児	1,479	1,216	82.2
	保育園　５歳児	497	368	74.0
	小学校１年生	2,131	1,836	86.2
	小学校６年生	2,290	1,842	80.4
	中学校１年生	2,203	1,711	77.7
	中学校３年生	2,117	1,257	59.4
保護者計		10,717	8,230	76.8
教員・保育士	幼稚園　園長及び年長児の担任	76	76	100.0
	保育園　園長及び５歳児の担任	82	82	100.0
	小学校　校長、生徒指導主任、１年生及び６年生の学年主任、特別支援学級主担任	100	100	100.0
	中学校　校長、生徒指導主任、１年生及び３年生の学年主任、特別支援学級主担任	54	54	100.0
教員・保育士計		312	312	100.0
全体合計		11,029	8,542	77.5

３．地域別集計について

本調査は地域別のクロス集計を行っています。地域の区分は次のようになっています。

■表２　地域一覧

地域名	幼稚園	保育園	小学校	中学校
北東ブロック	青徳、草加ひので、いなり	やはた、あおやぎ、しのは、ひかり幼稚舎、さくら	川柳、八幡、八幡北、青柳、稲荷	青柳、川柳、松江
北西ブロック	清門、新田	しんえい、あさひ、しんぜん、けやきの森清門町園、しんでん	新田、新栄、清門、長栄	新田、新栄
松原ブロック	みのべ、草加藤、ひかり、草加みどり、草加ひまわり	こやま、きたや、さかえ、めぇめぇこやぎこども園、まつばら	栄、花栗南、小山、松原	栄、花栗
中央ブロック	かおり、ルミ、フラワー、谷塚	たかさご、あずま、きたうら、にしまち、せざき、さくらの実、さくらの実分園、かおり Putra、スマイルキッズルーム、もりまさ草加園	草加、高砂、瀬崎、西町	草加、瀬崎
南部ブロック	あずま、草加氷川、谷塚おざわ	ひかわ、やなぎしま、やつか、やつかかみ、草加なかよし、そうか草花	谷塚、氷川、新里、両新田	谷塚、両新田

４．分析・表示について

１．比率は、小数点以下第２位を四捨五入しています。このため比率が 0.05 未満の場合には 0.0 と表記しています。また、合計が 100.0%とならないこともあります。

２．複数回答の項目については、原則として、その項目に対しての有効回答者の数を基数とし、比率算出を行っています。このため、比率計が 100%を超えることがあります。

３．グラフ中の（計：○○）という表記は、その項目の有効回答者数で、比率算出の基礎となります。

４．クロス集計については、集計の都合上、無回答者を除いた集計となっている部分があるため、単純集計の結果と合致しない場合があります。

第２部　調査結果報告

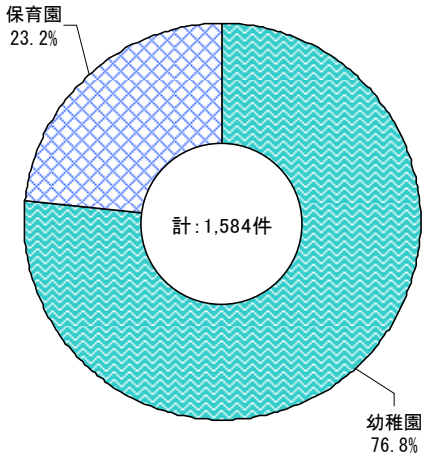
第２部　調査結果報告

Ⅰ．幼稚園年長・保育園５歳児保護者

１．基礎情報

（１）幼稚園・保育園の回答割合

図１－１　幼稚園・保育園の回答割合



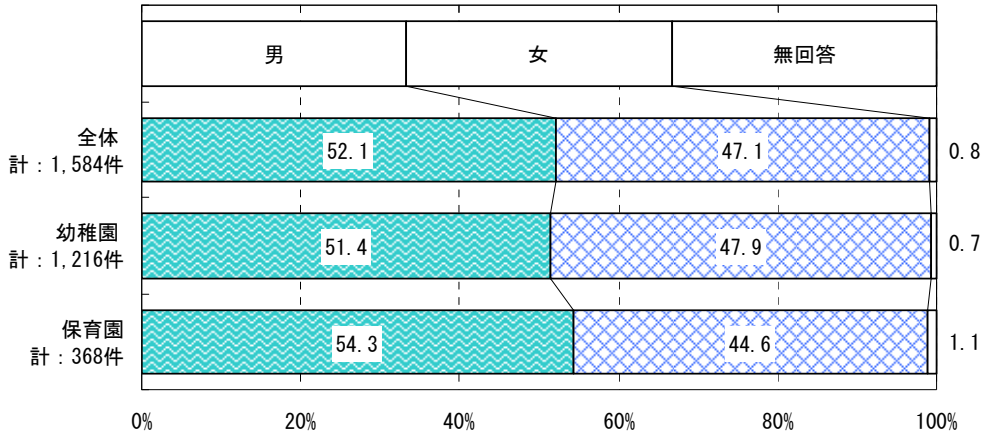
調査回答者は、「幼稚園」が 76.8%、「保育園」が 23.2%と、幼稚園の保護者が回答者の約８割を占めています。

■表１－１　地域別集計の内訳は、次のようになっています。

地域名	幼稚園	保育園
北東ブロック	青徳、草加ひので、いなり	やはた、あおやぎ、しのは、ひかり幼稚舎、さくら
北西ブロック	清門、新田	しんえい、あさひ、しんぜん、けやきの森清門町園、しんでん
松原ブロック	みのべ、草加藤、ひかり、草加みどり、草加ひまわり	こやま、きたや、さかえ、めぇめぇこやぎこども園、まつばら
中央ブロック	かおり、ルミ、フラワー、谷塚	たかさご、あずま、きたうら、にしまち、せざき、さくらの実、さくらの実分園、かおり Putra、スマイルキッズルーム、もりまさ草加園
南部ブロック	あずま、草加氷川、谷塚おざわ	ひかわ、やなぎしま、やつか、やつかかみ、草加なかよし、そうか草花

（２）お子さんの性別

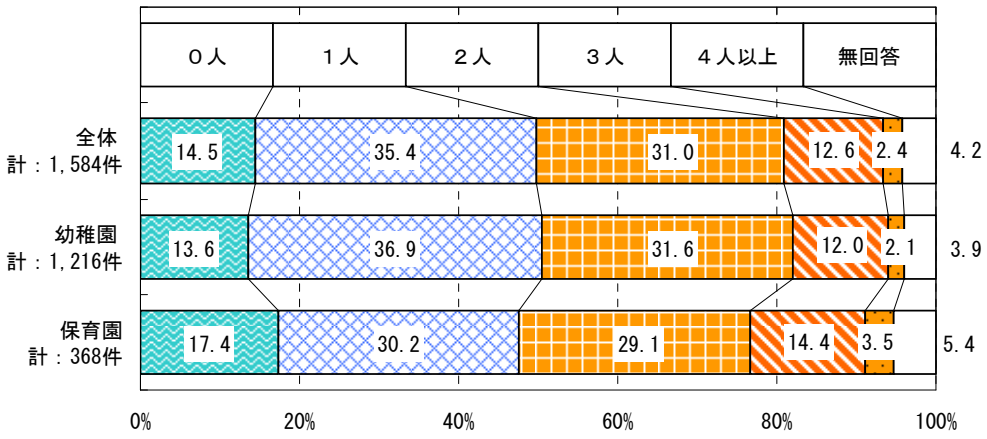
図１－２　お子さんの性別



お子さんの性別は、「男」が 52.1%、「女」が 47.1%と、「男」の割合がやや高くなっています。
幼稚園・保育園の別にみると、全体と同様の傾向がうかがえます。

（３）兄弟姉妹の人数

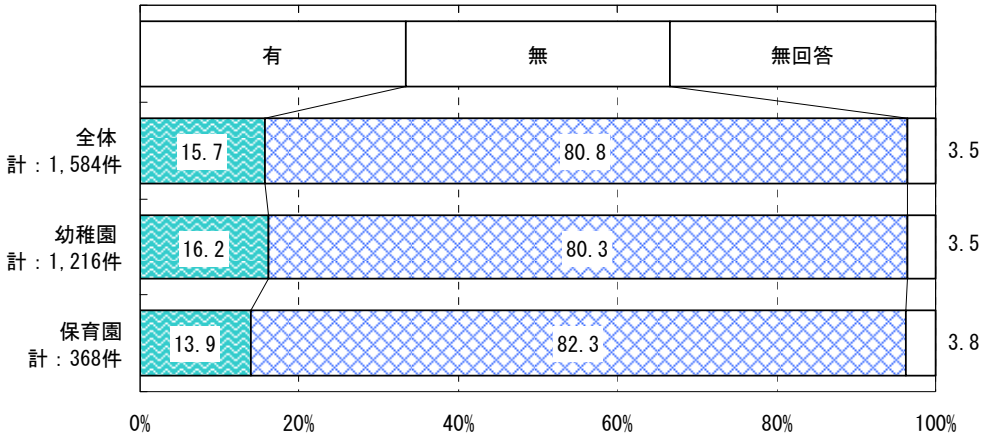
図１－３　兄弟姉妹の人数



兄弟姉妹の人数は、「１人」が 35.4%と最も高く、次いで「２人」(31.0%)、「０人」(14.5%)となっています。
幼稚園・保育園の別にみると、保育園は幼稚園より「１人」、「２人」が少なく、「０人」、「３人」、「４人以上」の割合が高くなっています。

（４）祖父母との同居

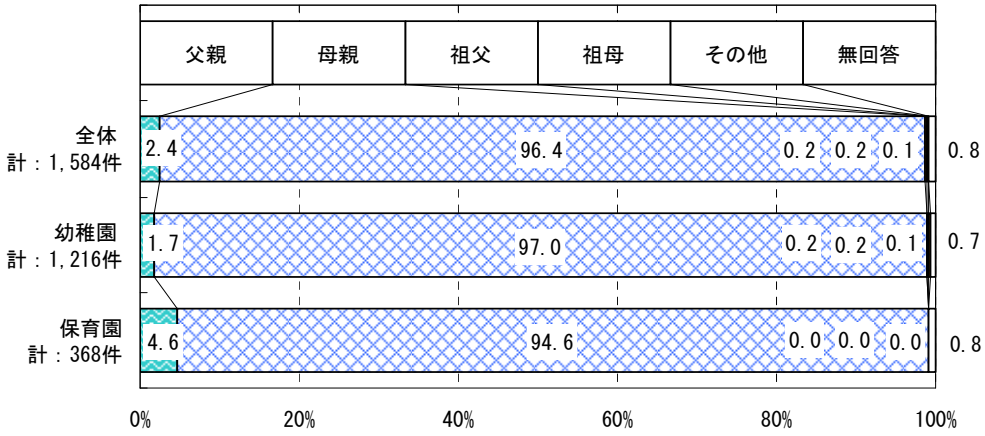
図１－４　祖父母との同居



祖父母との同居は、「有」が 15.7%、「無」が 80.8%と、「無」の割合が 80%を超えています。
幼稚園・保育園の別にみても、全体と同様の傾向がうかがえます。

（５）アンケート回答者の続柄

図１－５　アンケート回答者の続柄

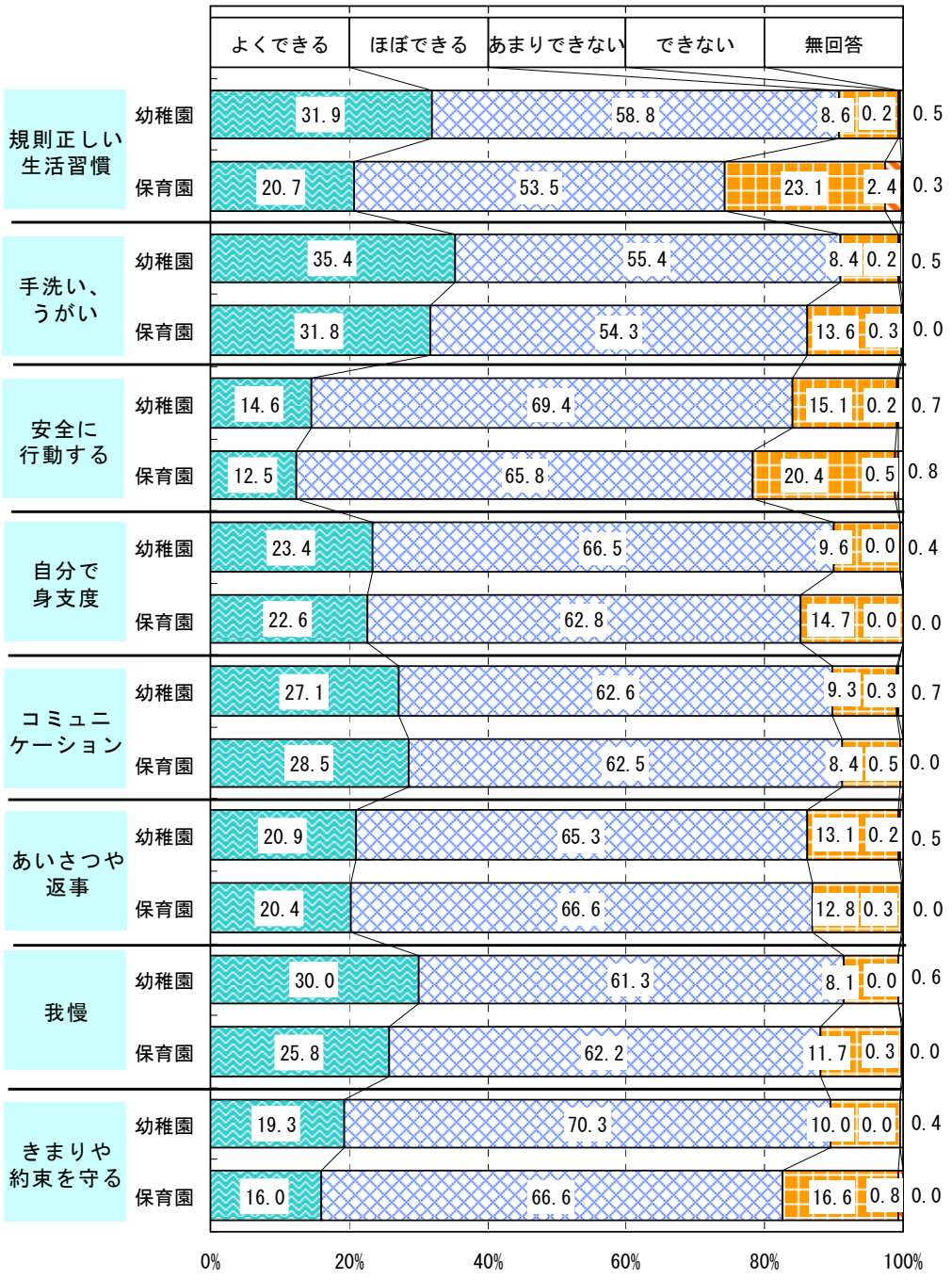


アンケート回答者の続柄は、「母親」が 96.4%と大部分を占めています。
「その他」として、「叔母」との回答があります。
幼稚園・保育園の別にみると、「父親」の割合については、保育園（4.6%）が幼稚園（1.7%）よりやや高くなっています。

２．お子さんの生活の様子について

問１～８　お子さんの生活の様子について教えてください。（それぞれ○は１つだけ）

図１－６　お子さんの生活の様子



［選択肢の説明］
- **規則正しい生活習慣**…早寝早起き、朝ごはんなどの規則正しい生活習慣が身に付いていますか。
- **手洗い、うがい**…外出後や食事前に手洗い、うがいをしますか。
- **安全に行動する**…危ないことをしない、交通ルールを守るなど、危険なことに気づくことができますか。
- **自分で身支度**…身の回りのことなど、自分のことを自分でしていますか。
- **コミュニケーション**…友達と一緒に遊ぶ、自分の気持ちを伝えるなど、周囲の人とコミュニケーションがとれていますか。
- **あいさつや返事**…あいさつや返事がきちんとできていますか。
- **我慢**…順番を待つ、友達に譲るなど、我慢をすることができますか。
- **きまりや約束を守る**…きまりや約束を守ることができますか。

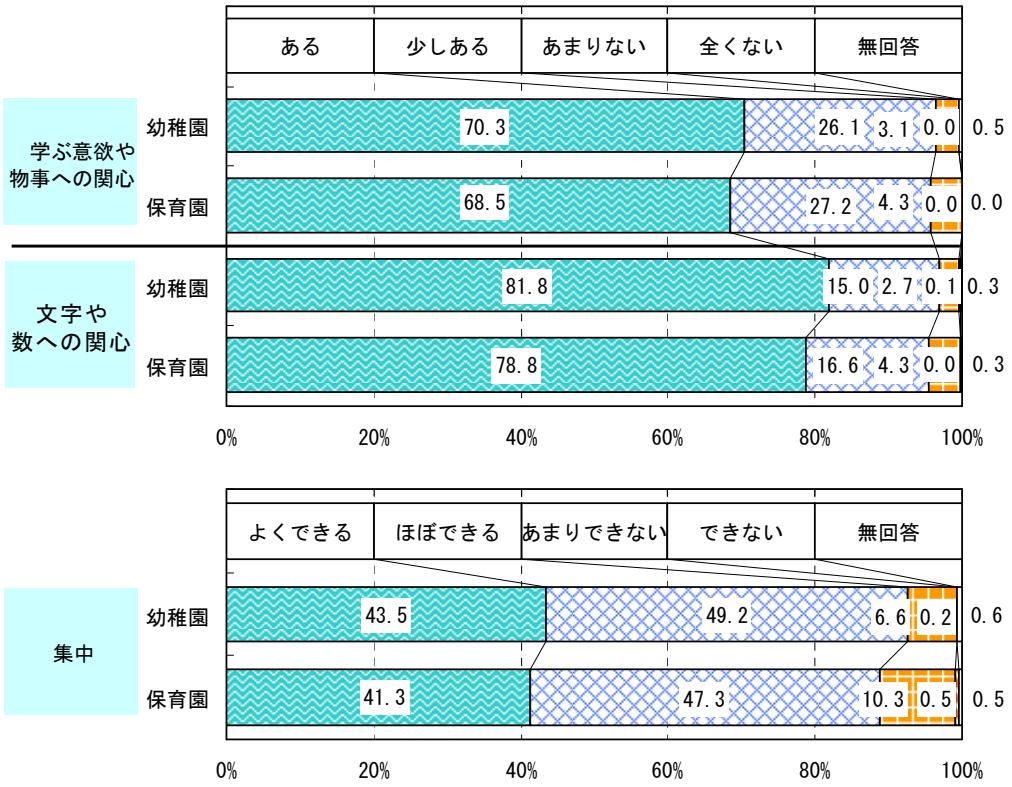
お子さんの生活の様子については、幼稚園では肯定的な回答（「よくできる」と「ほぼできる」の合計）の割合が最も高いのは「我慢」（91.3%）で、次いで「手洗い・うがい」（90.8%）、「規則正しい生活習慣」（90.7%）の順となっています。

また、保育園では肯定的な回答（「よくできる」と「ほぼできる」の合計）の割合が最も高いのは「コミュニケーション」（91.0%）で、次いで「我慢」（88.0%）、「あいさつや返事」（87.0%）となっています。

幼稚園と保育園の保護者で、肯定的な回答（「よくできる」と「ほぼできる」の合計）の割合の差が最も大きいのは「規則正しい生活習慣」で、幼稚園は 90.7%、保育園は 74.2%となっており、16.5 ポイントの差があります。

問９～11　お子さんの生活の様子について教えてください。（それぞれ○は１つだけ）

図１－７　お子さんの生活の様子



［選択肢の説明］
- **学ぶ意欲や物事への関心**…色々なことに疑問を持ち尋ねたり、遊び方を工夫したりするなど、学びへの意欲や物事への関心を持っていますか。
- **文字や数への関心**…絵本を読んだり、物の数を数えたりするなど、文字や数への関心がありますか。
- **集中**…人の話を静かに聞いたり、好きなことにじっくり取り組んだりなど、集中して何かをすることができますか。

幼稚園では、「学ぶ意欲や物事への関心」は、肯定的な回答（「ある」と「少しある」の合計）の割合が 96.4%、「文字や数への関心」は、肯定的な回答（「ある」と「少しある」の合計）の割合が 96.8%、「集中」は、肯定的な回答（「よくできる」と「ほぼできる」の合計）の割合が 92.7%となっています。

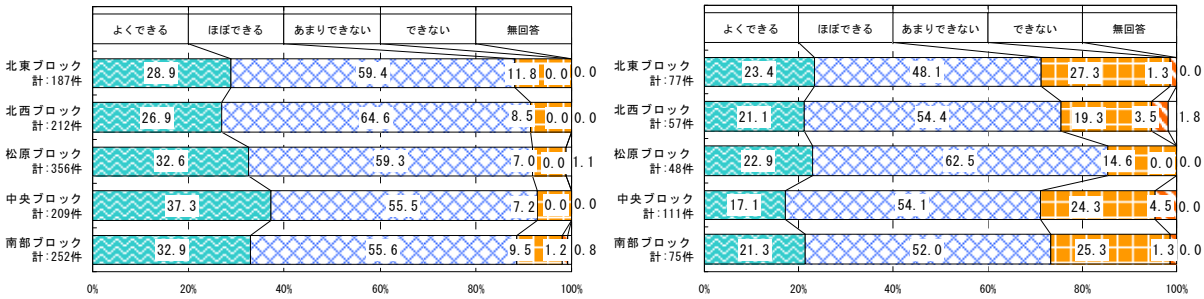
保育園では、「学ぶ意欲や物事への関心」は、肯定的な回答（「ある」と「少しある」の合計）の割合が 95.7%、「文字や数への関心」は、肯定的な回答（「ある」と「少しある」の合計）の割合が 95.4%、「集中」は、肯定的な回答（「よくできる」と「ほぼできる」の合計）の割合が 88.6%となっています。

幼児期においては、子どもたちの「学ぶ意欲や物事への関心」や「文字や数への関心」が高いことがうかがえます。

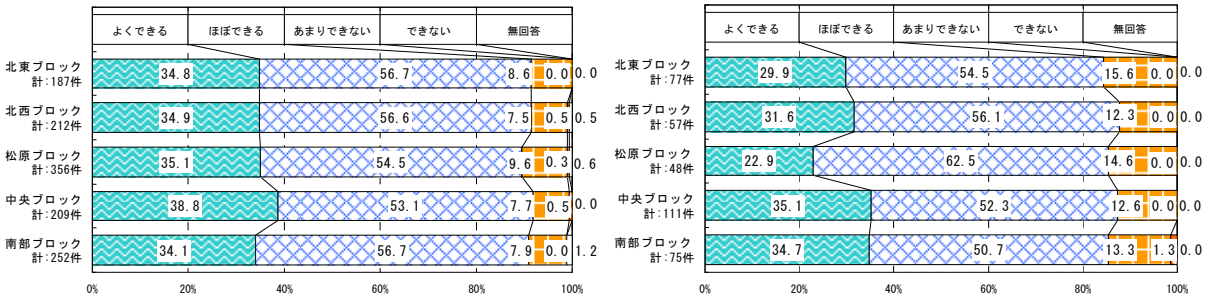
■図１－８　地域別集計（お子さんの生活の様子）

幼稚園　　保育園

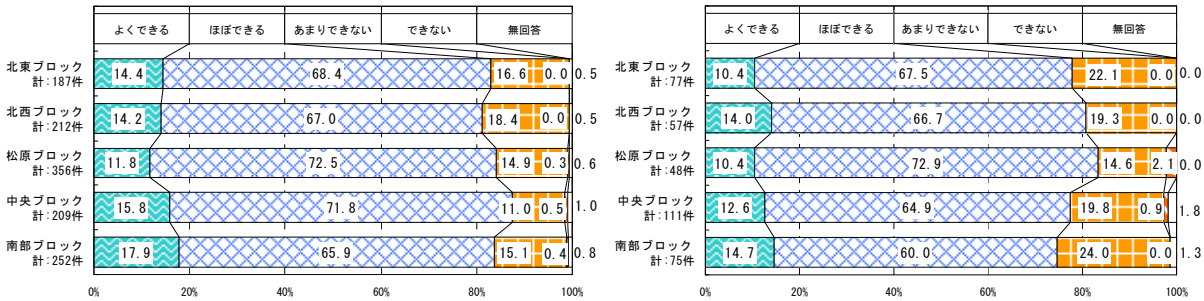
【規則正しい生活習慣】



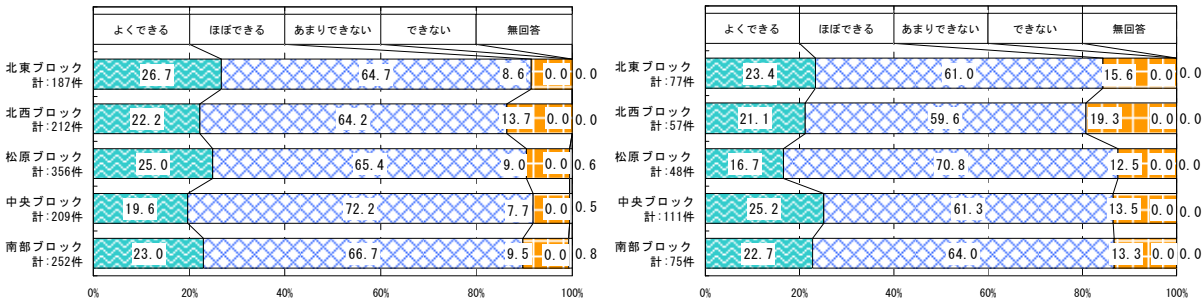
【手洗い、うがい】



【安全に行動する】



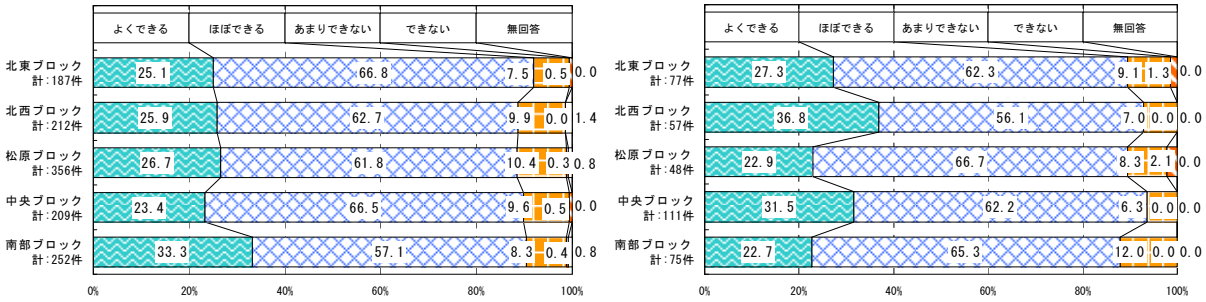
【自分で身支度】



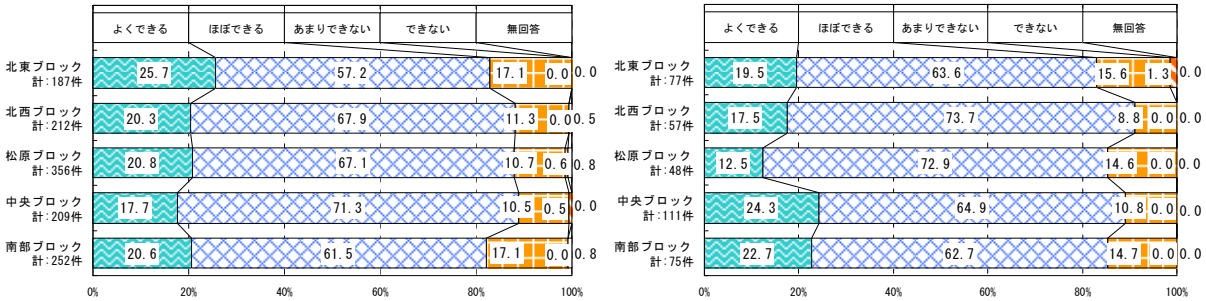
幼稚園

保育園

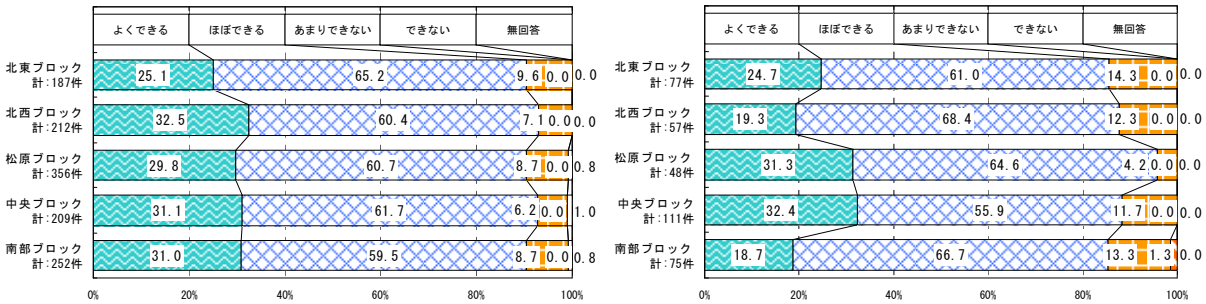
【コミュニケーション】



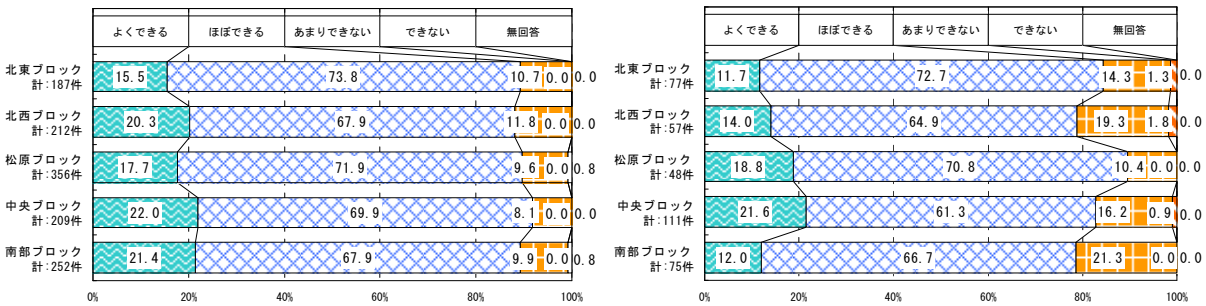
【あいさつや返事】



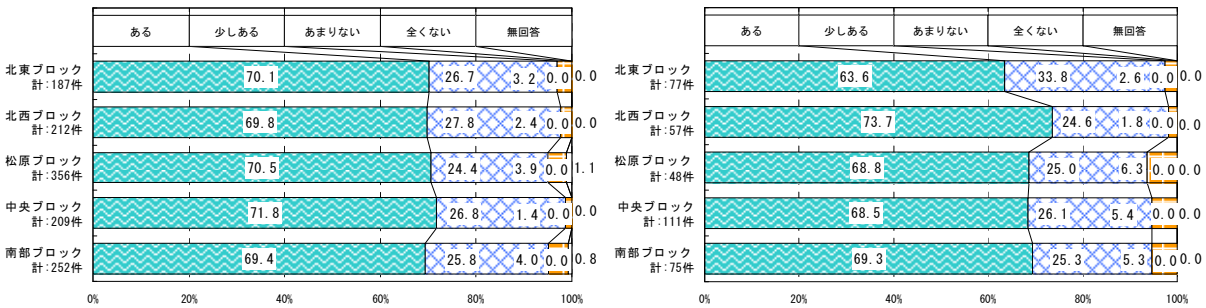
【我慢】



【きまりや約束を守る】

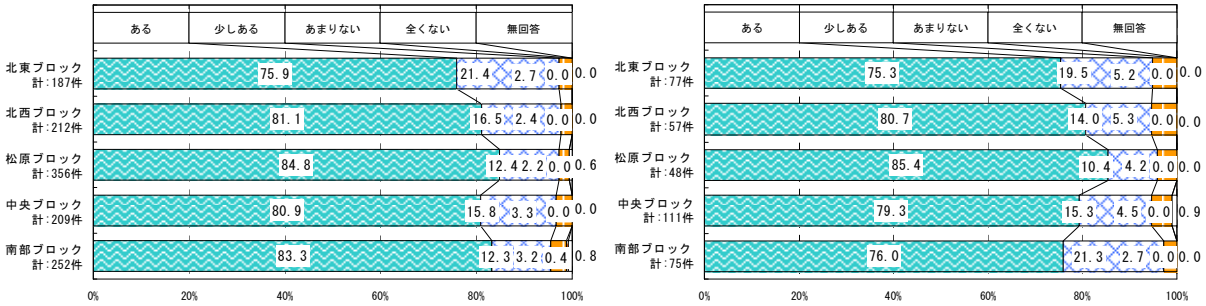


【学ぶ意欲や物事への関心】

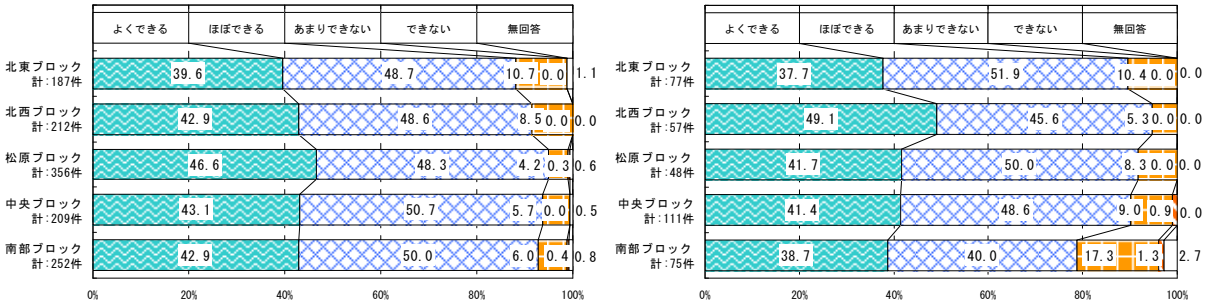


幼稚園　　保育園

【文字や数への関心】



【集中】



地域別に幼稚園の回答をみると、「規則正しい生活習慣」では〔中央ブロック〕、「手洗い、うがい」では〔中央ブロック〕、「安全に行動する」では〔中央ブロック〕、「自分で身支度」では〔中央ブロック」、「コミュニケーション」では〔北東ブロック〕、「あいさつや返事」では〔中央ブロック〕、「我慢」では〔北西ブロック〕、「きまりや約束を守る」では〔中央ブロック〕が肯定的な回答（「よくできる」と「ほぼできる」の合計）の割合が最も高くなっています。

「学ぶ意欲や物事への関心」では、〔中央ブロック〕、「文字や数への関心」では、〔北西ブロック〕が肯定的な回答（「ある」と「少しある」の合計）の割合が最も高くなっています。

「集中」では〔松原ブロック〕が肯定的な回答（「よくできる」と「ほぼできる」の合計）の割合が最も高くなっています。

また、地域別に保育園の回答をみると、「規則正しい生活習慣」では〔松原ブロック〕、「手洗い、うがい」では〔北西ブロック〕、「安全に行動する」では〔松原ブロック〕、「自分で身支度」では〔松原ブロック〕、「コミュニケーション」では〔中央ブロック〕、「あいさつや返事」では〔北西ブロック〕、「我慢」では〔松原ブロック〕、「きまりや約束を守る」では〔松原ブロック〕が肯定的な回答（「よくできる」と「ほぼできる」の合計）の割合が最も高くなっています。

「学ぶ意欲や物事への関心」では〔北西ブロック〕、「文字や数への関心」では〔南部ブロック〕が肯定的な回答（「ある」と「少しある」の合計）の割合が最も高くなっています。

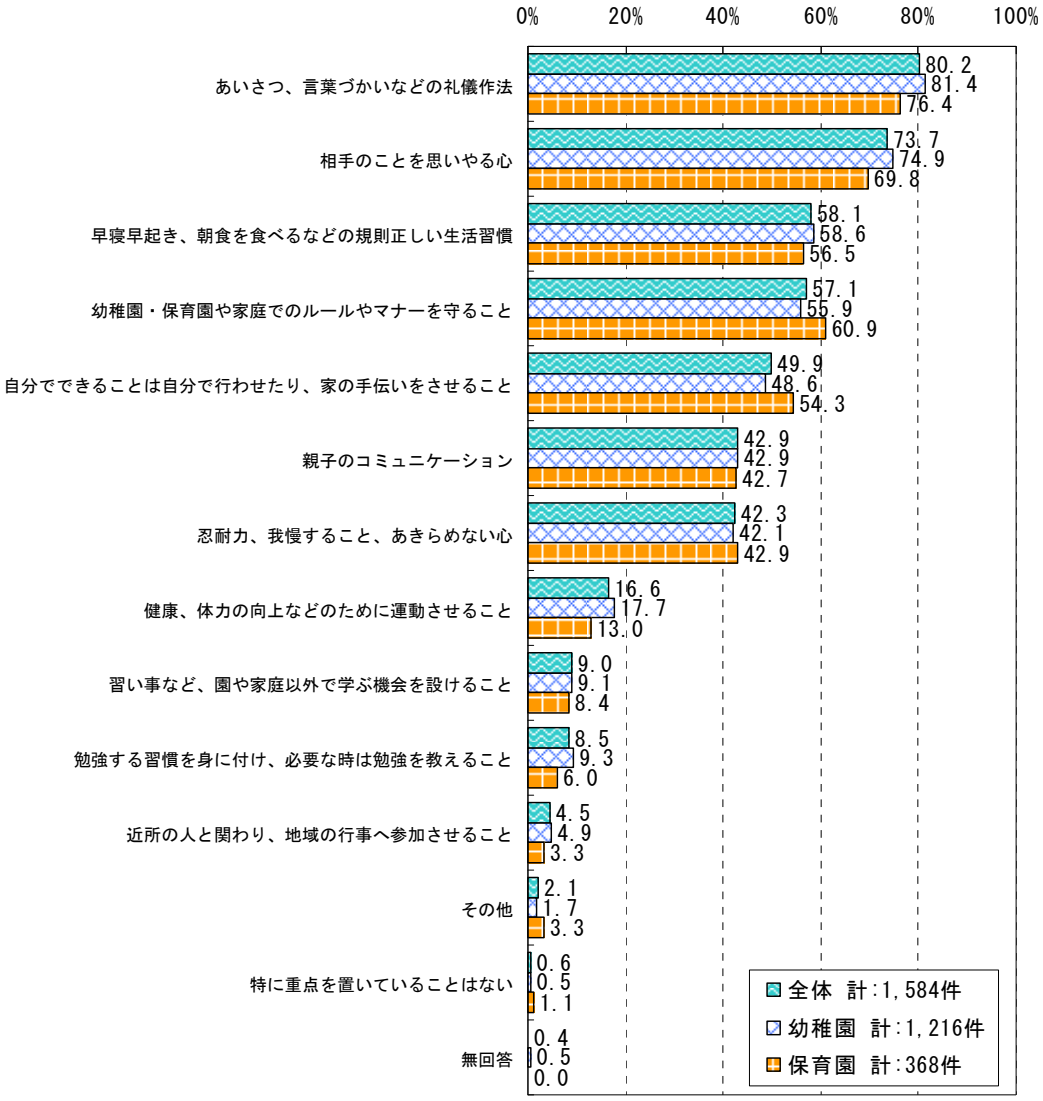
「集中」では〔北西ブロック〕が肯定的な回答（「よくできる」と「ほぼできる」の合計）の割合が最も高くなっています。

３．家庭での教育について

（１）家庭でのしつけや教育で重視していること

問 12　家庭でのしつけや教育で、特に重視していることは何ですか。（○は５つまで）

図１－９　家庭でのしつけや教育で重視していること



家庭でのしつけや教育で重視していることとしては、「あいさつ、言葉づかいなどの礼儀作法」の回答の割合が 80.2%と最も高く、次いで「相手のことを思いやる心」（73.7%）、「早寝早起き、朝食を食べるなどの規則正しい生活習慣」（58.1%）の順となっています。

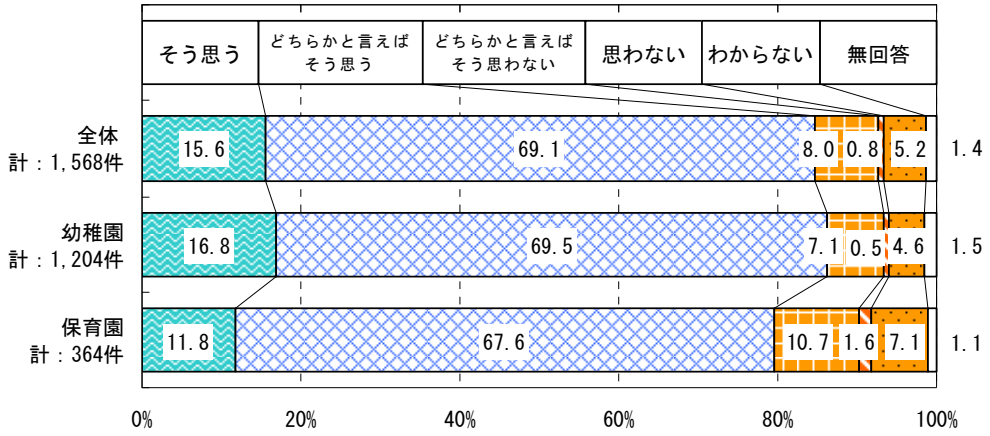
「その他」として、「食事中のしつけ」「プラス思考、感謝の心を常に感じる姿勢」、「うそをつかない事」、「いろいろな場所、いろいろな人との出会い、たくさんの体験をさせる」などの回答があります。

幼稚園・保育園の別にみると、「あいさつ、言葉づかいなどの礼儀作法」、「相手のことを思いやる心」については、幼稚園が保育園より回答の割合が高くなっています。また、「幼稚園・保育園や家庭でのルールやマナーを守ること」、「自分でできることは自分で行わせたり、家の手伝いをさせること」については、保育園が幼稚園より回答の割合が高くなっています。

（２）子どもに対するしつけや教育の実践

問 13　【問 12 で１～12 に○をつけた場合に答えてください】
保護者の方が、お子さんに対して、ご家庭で特に重視しているしつけや教育を実際にできていると思いますか。（○は１つだけ）

図１－１０　子どもに対するしつけや教育の実践



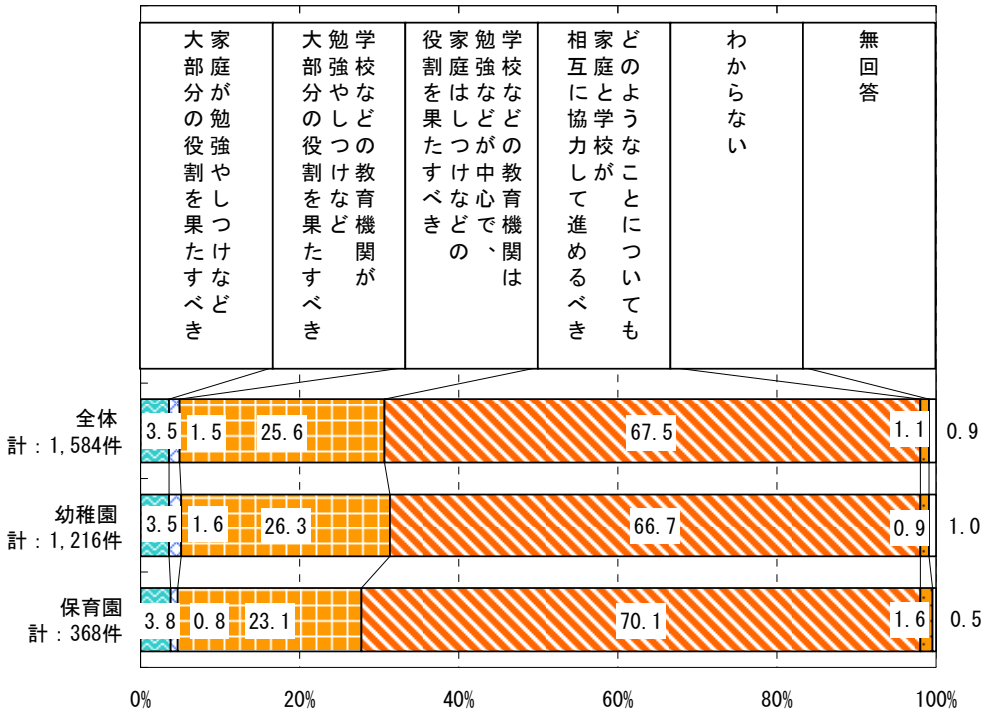
子どもに対するしつけや教育の実践ができているかについては、肯定的な回答（「そう思う」と「どちらかと言えばそう思う」の合計）の割合 84.7％と、８割を超えています。

幼稚園・保育園の別にみると、幼稚園については、肯定的な回答（「そう思う」と「どちらかと言えばそう思う」の合計）の割合が 86.3％、保育園については、肯定的な回答（「そう思う」と「どちらかと言えばそう思う」の合計）の割合が 79.4％となっています。

（３）家庭と学校などの教育機関の役割

問 14　子どもを育てるにあたっての、家庭と学校などの教育機関（幼稚園、保育園を含む）の役割について、もっとも近い考えはどれですか。（○は１つだけ）

図１－１１　家庭と学校などの教育機関の役割



家庭と学校などの教育機関の役割については、「どのようなことについても家庭と学校が相互に協力して進めるべき」の回答の割合が 67.5％と最も高く、次いで「学校などの教育機関は勉強などが中心で、家庭はしつけなどの役割を果たすべき」（25.6％）、「家庭が勉強やしつけなど大部分の役割を果たすべき」（3.5％）の順となっています。

幼稚園・保育園の別にみても、全体と同様の傾向がうかがえます。

■表１－２　地域別集計（家庭と学校などの教育機関の役割）（単位　上段：件、下段：%）

		合計	家庭が勉強やしつけなど大部分の役割を果たすべき	学校などの教育機関が勉強やしつけなど大部分の役割を果たすべき	学校などの教育機関は勉強などが中心で、家庭はしつけなどの役割を果たすべき	どのようなことについても家庭と学校が相互に協力して進めるべき	わからない	無回答
幼稚園	全体	1,216 100.0	42 3.5	20 1.6	320 26.3	811 66.7	11 0.9	12 1.0
	北東ブロック	187 100.0	4 2.1	3 1.6	55 29.4	122 65.2	2 1.1	1 0.5
	北西ブロック	212 100.0	9 4.2	4 1.9	54 25.5	144 67.9	1 0.5	0 0.0
	松原ブロック	356 100.0	12 3.4	6 1.7	86 24.2	242 68.0	5 1.4	5 1.4
	中央ブロック	209 100.0	5 2.4	5 2.4	56 26.8	139 66.5	1 0.5	3 1.4
	南部ブロック	252 100.0	12 4.8	2 0.8	69 27.4	164 65.1	2 0.8	3 1.2
保育園	全体	368 100.0	14 3.8	3 0.8	85 23.1	258 70.1	6 1.6	2 0.5
	北東ブロック	77 100.0	1 1.3	2 2.6	20 26.0	52 67.5	2 2.6	0 0.0
	北西ブロック	57 100.0	3 5.3	0 0.0	12 21.1	42 73.7	0 0	0 0.0
	松原ブロック	48 100.0	4 8.3	0 0.0	8 16.7	35 72.9	1 2.1	0 0.0
	中央ブロック	111 100.0	3 2.7	1 0.9	27 24.3	76 68.5	2 1.8	2 1.8
	南部ブロック	75 100.0	3 4.0	0 0.0	18 24.0	53 70.7	1 1.3	0 0.0

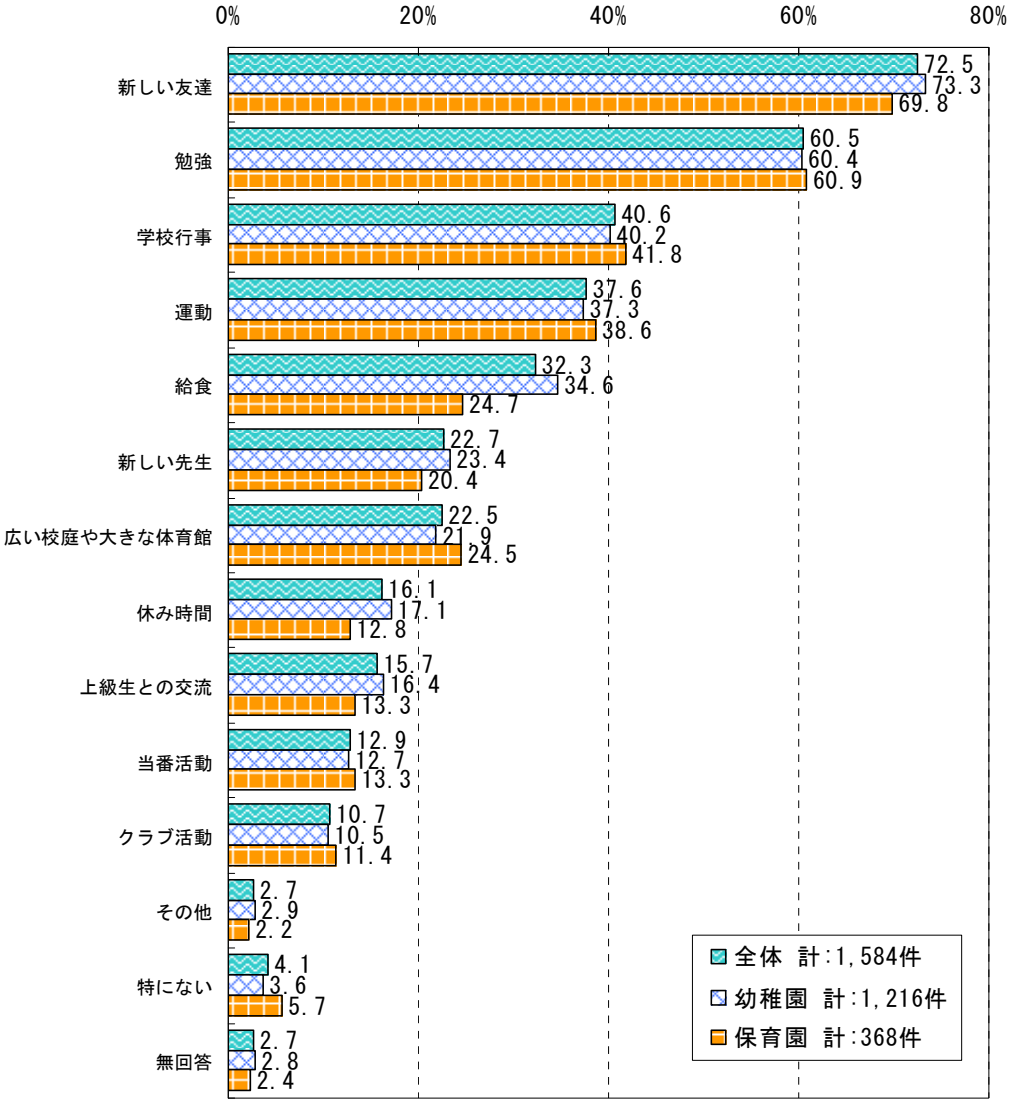
地域別にみても、全体と同様の傾向がうかがえます。

４．小学校入学について

（１）小学校入学後の生活で楽しみにしていることや期待していること

問 15　お子さんの小学校入学後の生活について、楽しみにしていることや期待していることは何ですか。（あてはまるもの全てに○）

図１－１２　小学校入学後の生活で楽しみにしていること



小学校入学後の生活で楽しみにしていることや期待していることとしては、「新しい友達」の回答の割合が 72.5%と最も高く、次いで「勉強」（60.5%）、「学校行事」（40.6%）の順となっています。

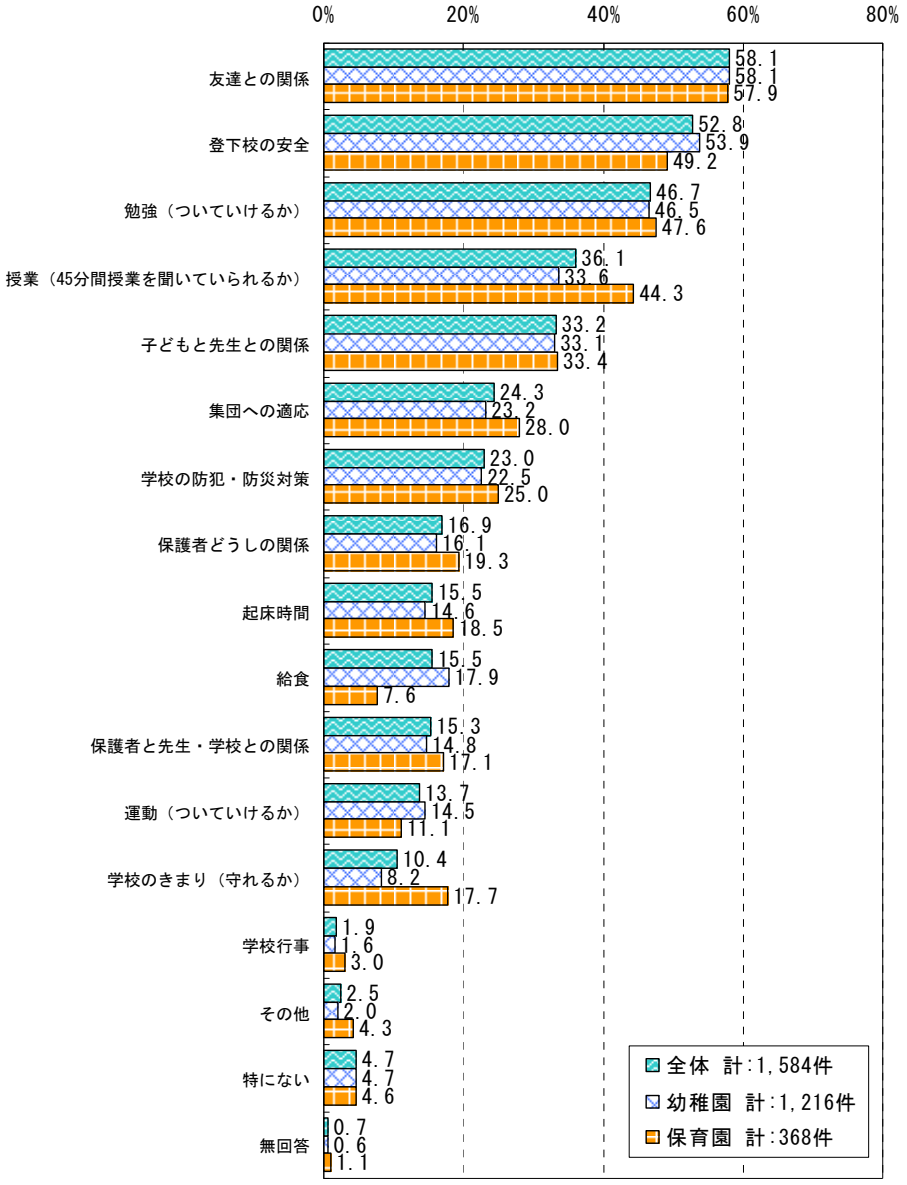
「その他」として、「ランドセルを背負って登校」、「兄弟姉妹と同じ学校に通えること」などの回答があります。

幼稚園・保育園の別にみると、上位３項目では全体と同様の傾向となっていますが、「給食」、については、幼稚園の回答の割合が保育園より高くなっています。

（２）小学校入学後の不安や心配

問 16　お子さんが小学校に入学した後に、不安なことや心配なことは何ですか。
（あてはまるもの全てに〇）

図１－１３　小学校入学後の不安や心配



小学校入学後の不安や心配としては、「友達との関係」の回答の割合が 58.1%と最も高く、次いで「登下校の安全」(52.8%)、「勉強（ついていけるか)」(46.7%）の順となっています。

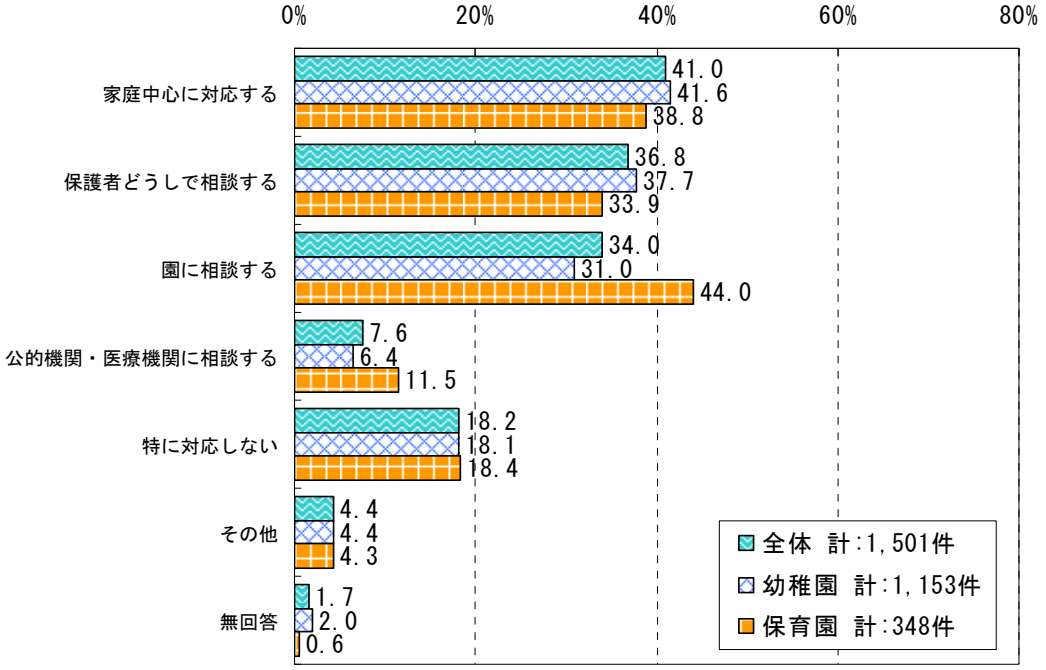
「その他」として、「いじめ」、「PTA 活動」、「学童保育」などの回答があります。

幼稚園・保育園の別にみると、「授業（45 分間授業を聞いていられるか)」、「学校のきまり（守れるか)」については、保育園の回答の割合が幼稚園より高くなっています。また、「給食」については、幼稚園の回答の割合が保育園より高くなっています。

（３）不安や心配に対する対応

問 17　【問 16 で１～15 に○をつけた場合に答えてください】
不安なことや心配なことに対しては、何か対応をされますか（実施済みを含む）。
（あてはまるもの全てに○）

図１－１４　不安や心配に対する対応



不安や心配に対する対応については、「家庭中心に対応する」の回答の割合が 41.0％と最も高く、次いで「保護者どうしで相談する」（36.8％）、「園に相談する」（34.0％）の順となっています。

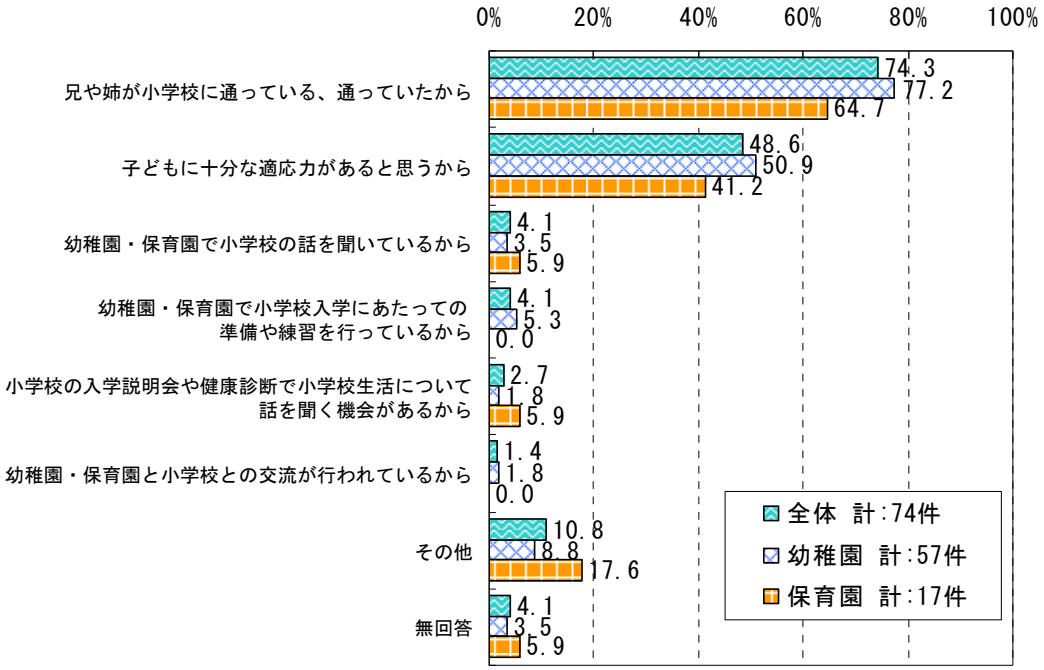
「その他」として、「入学後、担任の先生へ相談予定」、「様子を見る」、「その時考える」などがあります。

幼稚園・保育園の別にみると、「園に相談する」、「公的機関・医療機関に相談する」については、保育園の回答の割合が幼稚園より高くなっています。特に、「園に相談する」については、保育園の回答の割合（44.0％）が幼稚園の回答の割合（31.0％）より 13.0 ポイント高くなっています。

（４）不安や心配がない理由

問 18　【問 16 で 16 の「特にない」に○をつけた場合に答えてください】
不安なことや心配なことがない理由は何ですか。（あてはまるもの全てに○）

図１－１５　不安や心配がない理由



不安や心配がない理由については、「兄や姉が小学校に通っている、通っていたから」の回答の割合が 74.3%と最も高く、次いで「子どもに十分な適応力があると思うから」（48.6%）の順となっています。

「その他」として、「みんなが一年生だから。先生の度量次第」、「友達もいるから」、「入学してみないとわからないから」などの回答があります。

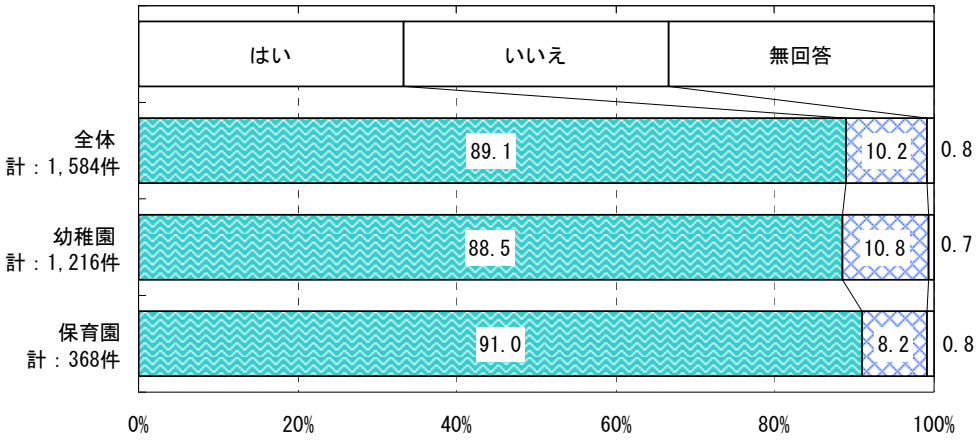
幼稚園・保育園の別にみても、全体と同様の傾向がうかがえます。

５．就学前教育について

（１）小学校入学に向けた教育活動の実施

問 19　幼稚園や保育園で、小学校入学に向けた教育活動を行ってほしいですか。（○は１つだけ）

図１－１６　小学校入学に向けた教育活動の実施

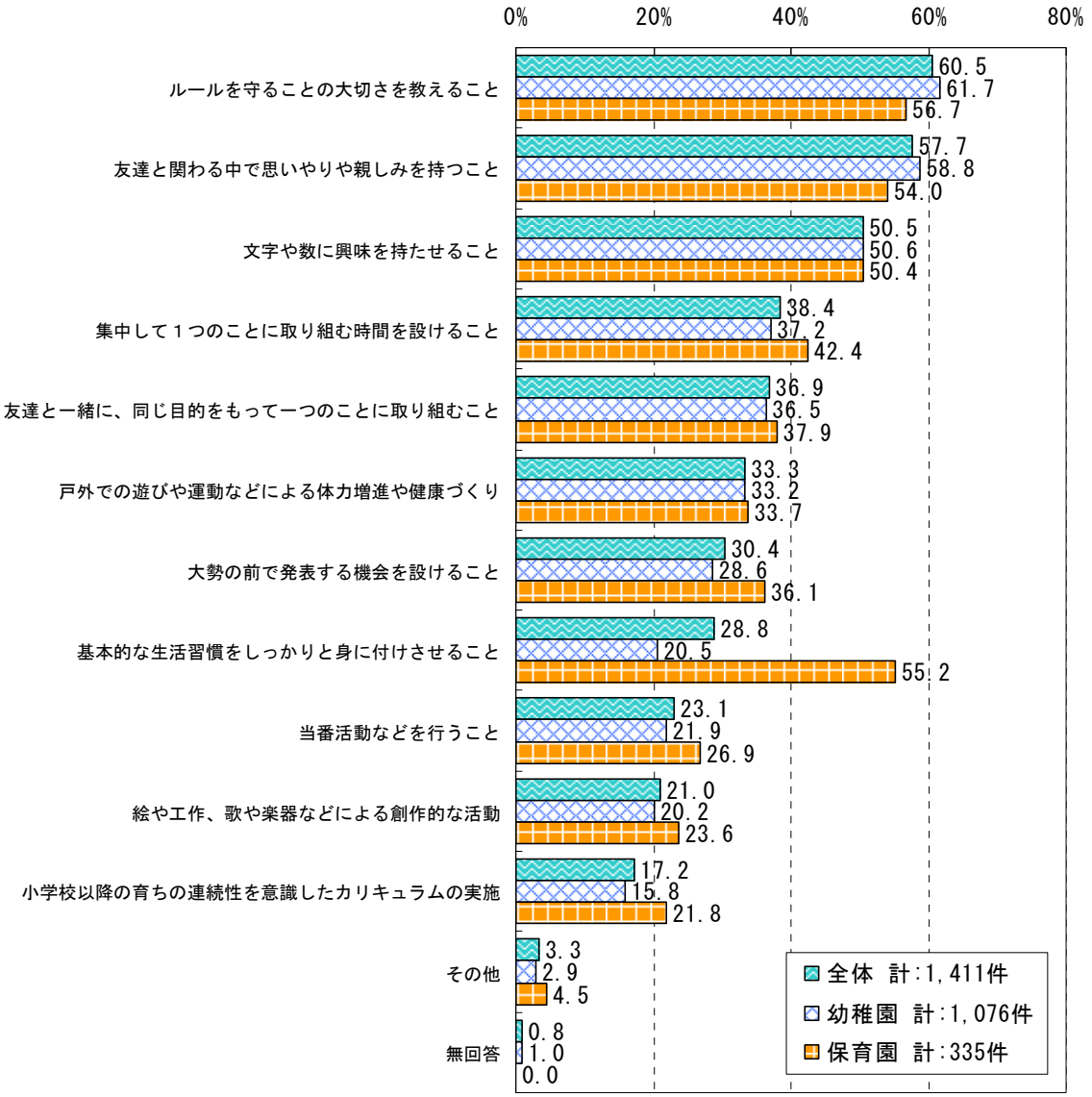


小学校入学に向けた教育活動の実施については、89.1%が実施してほしいと回答しています。幼稚園・保育園の別にみても、全体と同様に約９割が実施してほしいと回答しています。

（２）小学校入学に向けて、幼稚園や保育園で取り組んでもらいたいこと

問 20　【問 19 で１の「はい」に○をつけた場合に答えてください】
小学校入学に向けて、幼稚園や保育園で、どのようなことに取り組んでほしいですか。
（あてはまるもの全てに○）

図１－１７　小学校入学に向けて、幼稚園や保育園で取り組んでもらいたいこと



小学校入学に向けて、幼稚園や保育園で取り組んでほしいこととしては、「ルールを守ることの大切さを教えること」の回答の割合が 60.5%と最も高く、次いで「友達と関わる中で思いやりや親しみを持つこと」(57.7%)、「文字や数に興味を持たせること」(50.5%) の順となっています。

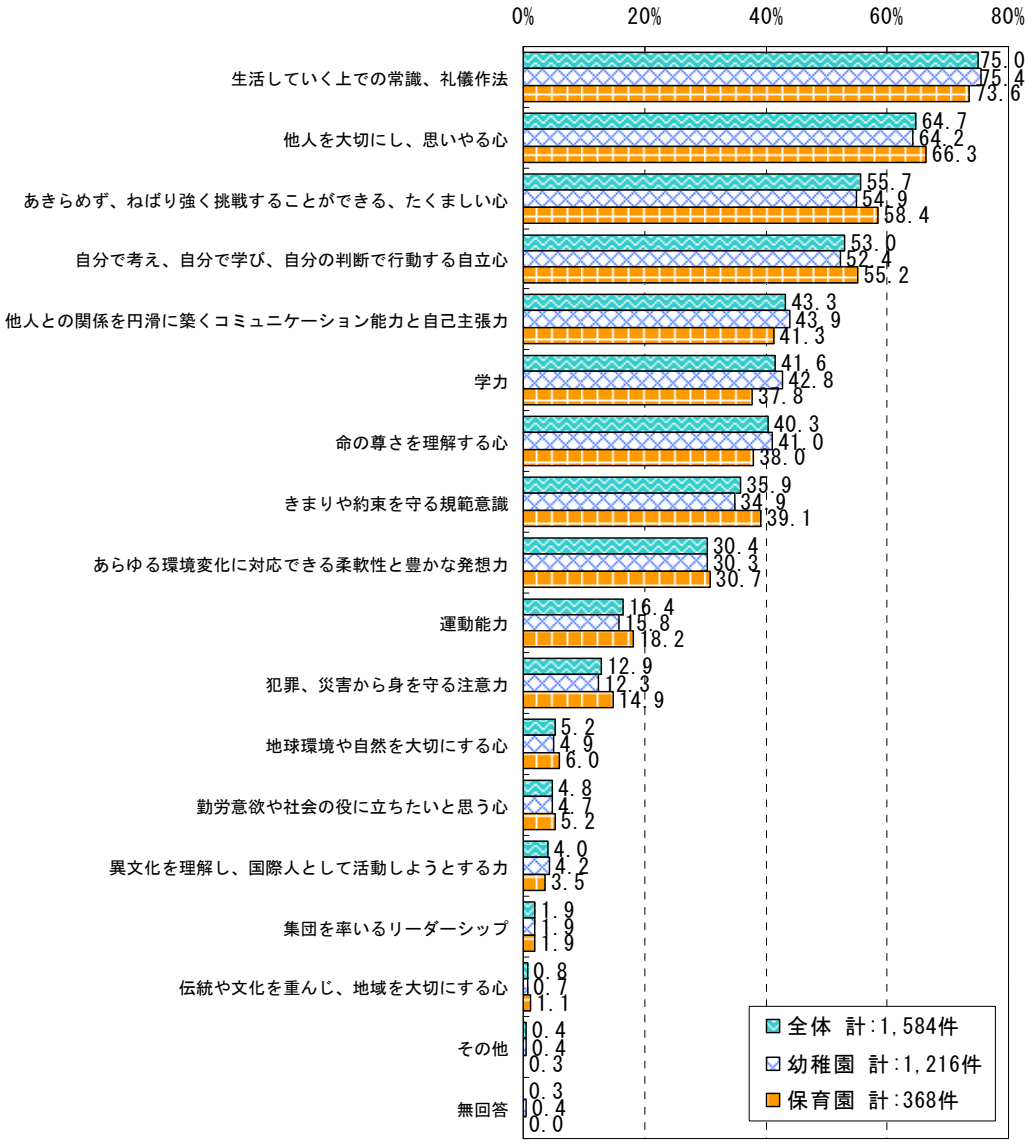
「その他」として、「園では色々な事に取り組んでもらっているから大丈夫」、「幼稚園と小学校の違い」、「学校訪問等で学校に親しみを持たせるような取り組み」などの回答があります。

幼稚園・保育園の別にみると、「基本的な生活習慣をしっかりと身に付けさせること」については、保育園の回答の割合 (55.2%) が幼稚園の回答の割合 (20.5%) より 34.7 ポイント高くなっています。

６．お子さんの将来像について

問 21　将来、成人し社会の支え手となる、あなたのお子さんに、中学校を卒業する時までに、身に付けてほしい能力や考え方として、特に重要だと思うことは何ですか。（○は５つまで）

図１－１８　中学校卒業までに身に付けてほしい能力や考え方



中学校卒業までに身に付けてほしい能力や考え方については、「生活していく上での常識、礼儀作法」の回答の割合が 75.0％と最も高く、次いで「他人を大切にし、思いやる心」（64.7％）、「あきらめず、ねばり強く挑戦することができる、たくましい心」（55.7％）、「自分で考え、自分で学び、自分の判断で行動する自立心」（53.0％）、「他人との関係を円滑に築くコミュニケーション能力と自己主張力」（43.3％）の順となっています。

「その他」として、「他者との違いを認め尊重し受け入れる事が出来る広い心を持ってほしい」、「自分を大切にし、自分も周りも信頼できる豊かな心を持ちつづけてほしい」などの回答があります。

幼稚園・保育園の別にみても、全体と同様の傾向がうかがえます。

■表１－３　地域別集計（中学校卒業までに身に付けてほしい能力や考え方）（単位　上段：件、下段：%）

		合計	学力	運動能力	生活していく上での常識、礼儀作法	きまりや約束を守る規範意識	他人を大切にし、思いやる心	あきらめず、ねばり強く挑戦することができる、たくましい心	命の尊さを理解する心	自分で考え、自分で学び、自分の判断で行動する自立心	他人との関係を円滑に築くコミュニケーション能力と自己主張力	あらゆる環境変化に対応できる柔軟性と豊かな発想力	集団を率いるリーダーシップ	犯罪、災害から身を守る注意力	勤労意欲や社会の役に立ちたいと思う心	伝統や文化を重んじ、地域を大切にする心	異文化を理解し、国際人として活動しようとする力	地球環境や自然を大切にする心	その他	無回答
幼稚園	全体	1,216	520	192	917	424	781	668	499	637	534	369	23	150	57	8	51	60	5	5
		100.0	42.8	15.8	75.4	34.9	64.2	54.9	41.0	52.4	43.9	30.3	1.9	12.3	4.7	0.7	4.2	4.9	0.4	0.4
	北東ブロック	187	82	24	165	84	126	100	84	82	82	53	7	13	5	3	3	7	0	1
		100.0	43.9	12.8	88.2	44.9	67.4	53.5	44.9	43.9	43.9	28.3	3.7	7.0	2.7	1.6	1.6	3.7	0.0	0.5
	北西ブロック	212	92	38	168	68	143	120	88	109	80	61	1	20	9	1	11	8	1	0
		100.0	43.4	17.9	79.2	32.1	67.5	56.6	41.5	51.4	37.7	28.8	0.5	9.4	4.2	0.5	5.2	3.8	0.5	0.0
	松原ブロック	356	144	53	241	126	222	196	153	197	155	107	9	51	24	1	15	16	1	3
		100.0	40.4	14.9	67.7	35.4	62.4	55.1	43.0	55.3	43.5	30.1	2.5	14.3	6.7	0.3	4.2	4.5	0.3	0.8
	中央ブロック	209	97	36	148	72	137	112	80	115	98	67	3	29	12	1	11	9	3	0
		100.0	46.4	17.2	70.8	34.4	65.6	53.6	38.3	55.0	46.9	32.1	1.4	13.9	5.7	0.5	5.3	4.3	1.4	0.0
	南部ブロック	252	105	41	195	74	153	140	94	134	119	81	3	37	7	2	11	20	0	1
		100.0	41.7	16.3	77.4	29.4	60.7	55.6	37.3	53.2	47.2	32.1	1.2	14.7	2.8	0.8	4.4	7.9	0.0	0.4
保育園	全体	368	139	67	271	144	244	215	140	203	152	113	7	55	19	4	13	22	1	0
		100.0	37.8	18.2	73.6	39.1	66.3	58.4	38.0	55.2	41.3	30.7	1.9	14.9	5.2	1.1	3.5	6.0	0.3	0.0
	北東ブロック	77	27	11	60	32	51	46	31	43	29	24	2	14	2	2	2	4	0	0
		100.0	35.1	14.3	77.9	41.6	66.2	59.7	40.3	55.8	37.7	31.2	2.6	18.2	2.6	2.6	2.6	5.2	0.0	0.0
	北西ブロック	57	26	8	38	17	34	34	30	29	20	21	0	10	4	1	1	5	0	0
		100.0	45.6	14.0	66.7	29.8	59.6	59.6	52.6	50.9	35.1	36.8	0.0	17.5	7.0	1.8	1.8	8.8	0.0	0.0
	松原ブロック	48	21	13	33	16	30	24	17	28	22	16	1	8	2	1	3	2	0	0
		100.0	43.8	27.1	68.8	33.3	62.5	50.0	35.4	58.3	45.8	33.3	2.1	16.7	4.2	2.1	6.3	4.2	0.0	0.0
	中央ブロック	111	42	23	88	45	72	67	35	59	45	37	2	14	6	0	4	5	1	0
		100.0	37.8	20.7	79.3	40.5	64.9	60.4	31.5	53.2	40.5	33.3	1.8	12.6	5.4	0.0	3.6	4.5	0.9	0.0
	南部ブロック	75	23	12	52	34	57	44	27	44	36	15	2	9	5	0	3	6	0	0
		100.0	30.7	16.0	69.3	45.3	76.0	58.7	36.0	58.7	48.0	20.0	2.7	12.0	6.7	0.0	4.0	8.0	0.0	0.0

地域別にみると、保育園の〔南部ブロック〕では、全体での回答の割合が最も高い項目である、「生活していく上での常識、礼儀作法」ではなく、「他人を大切にし、思いやる心」の回答の割合が最も高くなっています。

７．自由記述

最後に、子ども教育の連携や草加市の教育についてご意見などがあれば、自由にご記入ください。

自由記述は、回収数 1,584 件中 324 件から回答があり、結果を項目別にまとめると以下のようになります。1 件の回答の中に複数の項目にまたがるものもあるため、各項目の回答件数の合計は 324 件より多くなっています。

■表１－４　自由記述（幼稚園年長・保育園５歳児保護者）

項目			件数
幼稚園に関すること	教育内容の改善について		7
		数やひらがなの練習をしたり集中して座っていられるようにしてほしい	3
		園ごとの差をもう少しなくしてほしい	2
		その他	2
	小学校との交流の場の拡充について		3
	補助金の増額、保育料の軽減について		3
	その他		5
保育園に関すること	活動内容の改善について		12
		ひらがなや数などの学びの時間を充実してほしい	5
		年長児などの昼寝の時間をなくしてほしい	3
		その他	4
	子どもたちへの対応について		9
		子どもを大変よくみていただき感謝・安心している	9
	家庭との連携の充実について		2
	小学校との交流の場の拡充について		2
	その他		3
小中学校に関すること	教育内容について		59
		命の尊さを教えるなど道徳の授業を大切にしてほしい	9
		学力向上に力を入れてほしい	6
		少人数クラスにしてほしい	6
		英語教育を充実してほしい	3
		ゆとりのある授業をしてほしい	3
		交通安全教育、犯罪から身を守る教育、災害教育を充実させてほしい	3
		夏休みなどにプールの授業を増やしてほしい	3
		勉強の楽しさを教えてほしい	2
		レベル別の授業をしてほしい	2
		子どもの個性や能力を尊重し、それを伸ばすように導いてほしい	2
		その他	20
	教員について		26
		教員の資質・指導力の向上を図ってほしい	7
		先生によって差がですぎないよう、指導内容・方法をある程度統一してほしい	5
		生徒や保護者にもっと厳しく接してほしい	5
		やる気のある経験豊富な先生を採用してほしい	2
		その他	7
	子どもたちへの対応について		59
		いじめに対してしっかりと対応してほしい	35
		いじめについて、家庭と連携して対応できる体制づくりをしてほしい	6
		いじめのない学校にしてほしい	6
		楽しく学校生活が送れるようにしてほしい	5
		もっと子どもにきめ細かく接してほしい	4
		子どもどうしのトラブルにもっと先生も関わってほしい	2
		その他	1

項　　目			件数
小中学校に関すること	特別支援教育について		7
		障害のある子どもへの支援を充実してほしい	2
		障害のある子どもと関わる機会を与えてほしい	2
		その他	3
	施設・設備について		15
		校舎を立て替えてほしい、きれいにしてほしい	6
		エアコンを設置してほしい	5
		その他	4
	安心・安全について		17
		登下校、通学路の安全対策を強化してほしい	13
		登校時の旗振り当番をもっと少なくしてほしい	2
		その他	2
	給食について		3
	学区域について		4
		小学校を選択制にしてほしい	3
		その他	1
	土曜授業について		16
		土曜授業を実施してほしい	16
	放課後について		12
		放課後の学び、運動、遊びの場を充実してほしい	9
		その他	3
	家庭・地域との連携について		26
		家庭と学校の連携を充実してほしい	10
		ＰＴＡ活動の親の負担を軽減してほしい	5
		子どもを地域で見守ってほしい	4
		親教育を充実してほしい	4
		その他	3
学童、 放課後子ども教室に関すること	学童について		11
		学童での親の負担を軽減してほしい	7
		学童の充実（預かり時間の延長、対象学年の拡大など）	3
		その他	1
	放課後子ども教室の充実について		1
教育行政に関すること	子ども教育の連携推進について		27
		入学前に普段の学校生活を参観できる日を多く設けてほしい（見学会、体験入学など）	7
		幼稚園、保育園、小学校、中学校の連携を充実させてほしい	5
		施策をもっと具体的に説明してほしい	4
		連携により、より良い方向に改善していくことを期待する	3
		兄弟もおらず、小学校の様子が分からず、情報が少ないので不安	2
		その他	6
	教育施策全般について		31
		草加市の教育を充実してほしい	7
		市内の教育格差をなくしてほしい	4
		草加市の子どもの教育に満足している	3
		各幼稚園、保育園、小学校、中学校の取組の姿勢、力を入れている点、特徴などを分かりやすく開示してほしい	2
		公立幼稚園、国立小学校をつくってほしい	2
		公立の中高一貫校を作ってほしい	2
		小中学校にスクールバスを導入してほしい	2
		その他	9
その他	子どもの遊び場について		31
		安心してのびのびと子どもが遊べる公園などの増設・充実	21
		児童館の充実	5
		未就学児向けの地域活動の場を増やしてほしい	2
		学校以外でも子どもが参加できるイベントを増やしてほしい	2
		その他	1
	その他		48
		夕焼けチャイムの時間が遅い（特に夏期）のでもっと早くしてほしい	11
		仕事をしている親へのサービスをもっと充実してほしい	3
		マナーの守れない子どもが多い	2
		その他	32

Ⅱ．小学校１年生保護者

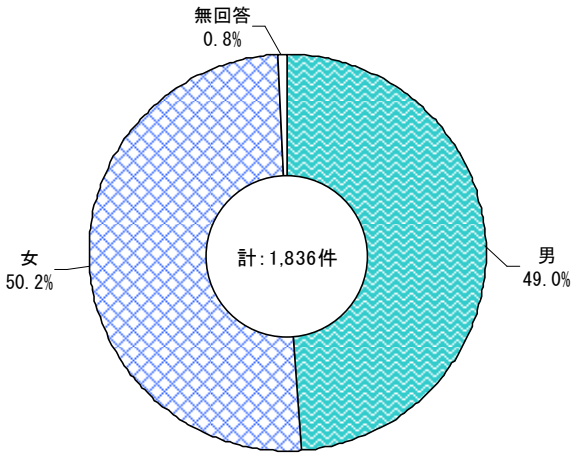
１．基礎情報

■表２－１　地域別集計の内訳は次のようになっています。

地域名	小学校
北東ブロック	川柳、八幡、八幡北、青柳、稲荷
北西ブロック	新田、新栄、清門、長栄
松原ブロック	栄、花栗南、小山、松原
中央ブロック	草加、高砂、瀬崎、西町
南部ブロック	谷塚、氷川、新里、両新田

（１）お子さんの性別

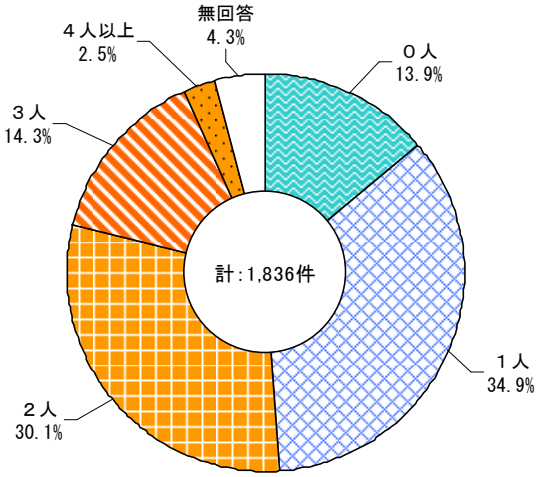
図２－１　お子さんの性別



お子さんの性別は、「男」が 49.0%、「女」が 50.2%となっています。

（２）兄弟姉妹の人数

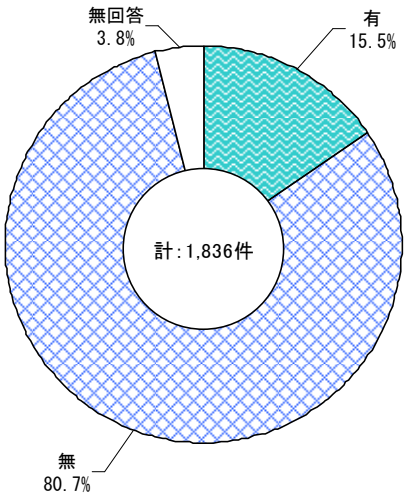
図２－２　兄弟姉妹の人数



兄弟姉妹の人数は、「１人」が 34.9%と最も高く、次いで「２人」(30.1%)、「３人」(14.3%)となっています。

（３）祖父母との同居

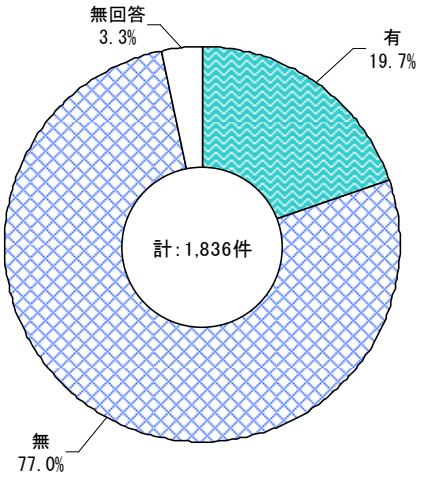
図２－３　祖父母との同居



祖父母との同居は、「有」が 15.5%、「無」が 80.7%と、「無」の割合が 80%を超えています。

（４）学童保育の利用

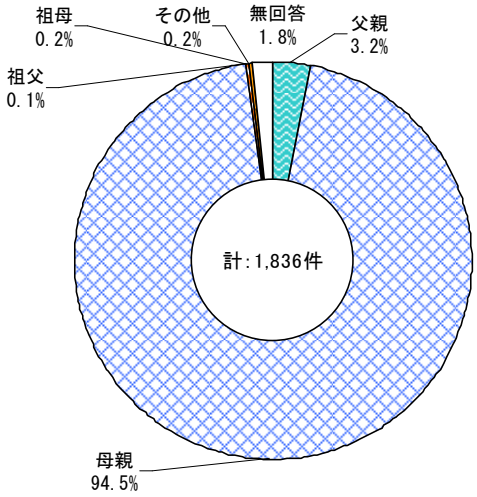
図２－４　学童保育の利用



学童保育の利用は、「有」が 19.7%、「無」が 77.0%と、学童の利用者は約 20%となっています。

（５）アンケート回答者の続柄

図２－５　アンケート回答者の続柄

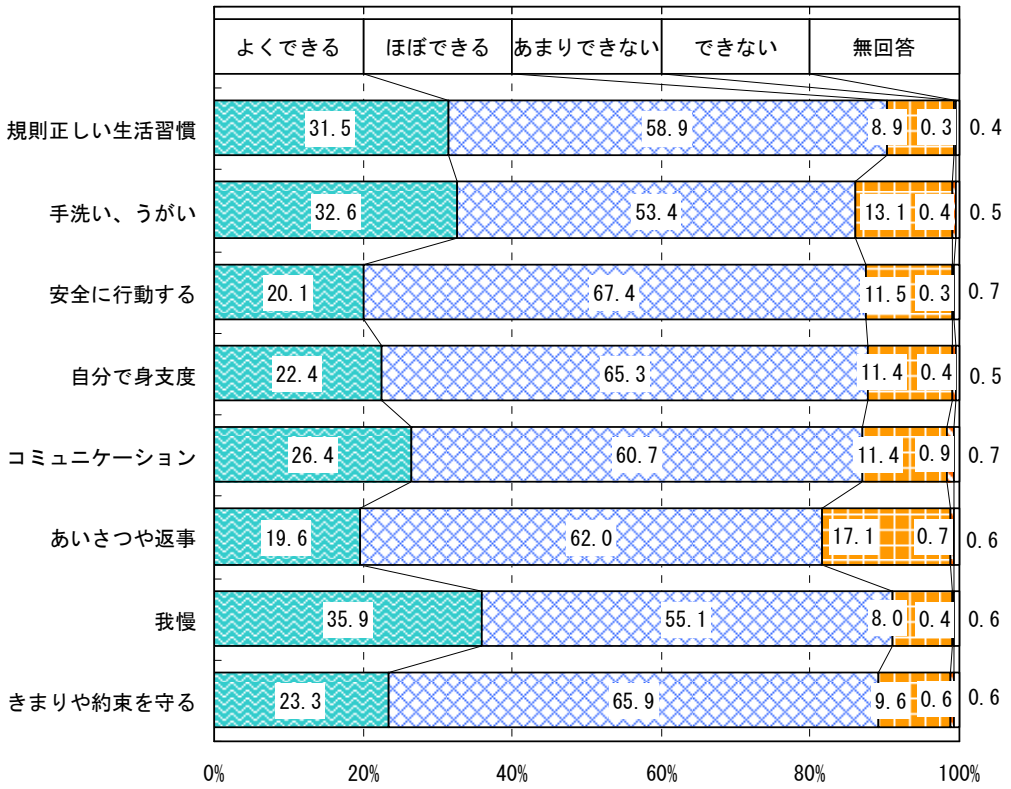


アンケート回答者の続柄は、「母親」が 94.5%と大部分を占めています。
「その他」として、「叔父」、「叔母」などの回答があります。

２．お子さんの生活の様子について

問１～８　お子さんの生活の様子について教えてください。（それぞれ○は１つだけ）

図２－６　お子さんの生活の様子

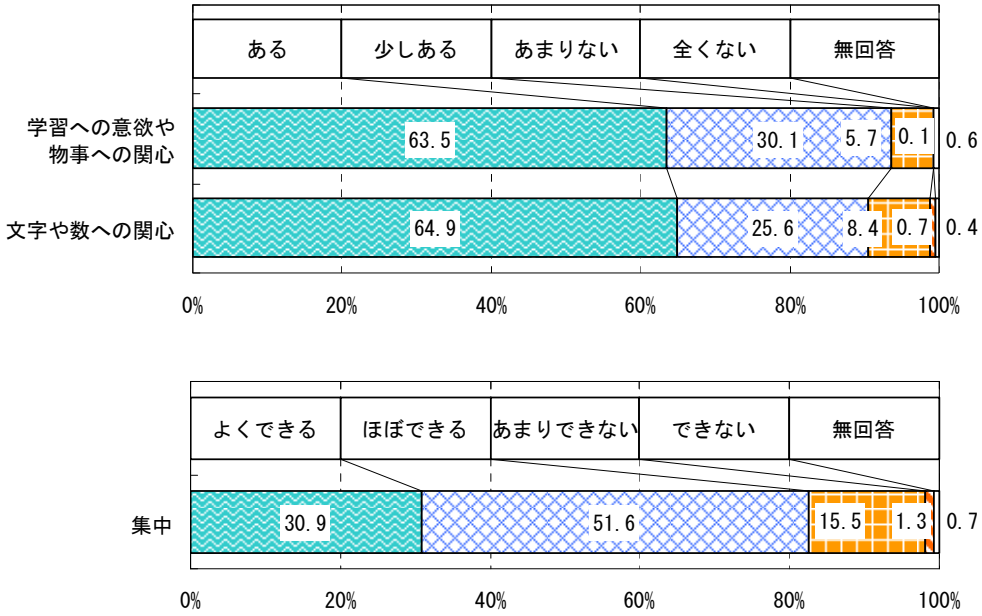


［選択肢の説明］
- **規則正しい生活習慣**…早寝早起き、朝ごはんなどの規則正しい生活習慣が身に付いていますか。
- **手洗い、うがい**…外出後や食事前に手洗い、うがいをしますか。
- **安全に行動する**…危ないことをしない、交通ルールを守るなど、安全に行動することができますか。
- **自分で身支度**…身の回りのことなど、自分のことを自分でしていますか。
- **コミュニケーション**…友達と一緒に遊ぶ、自分の気持ちを伝えるなど、周囲の人とコミュニケーションがとれていますか。
- **あいさつや返事**…あいさつや返事がきちんとできていますか。
- **我慢**…順番を待つ、友達に譲るなど、我慢をすることができますか。
- **きまりや約束を守る**…きまりや約束を守ることができますか。

お子さんの生活の様子については、肯定的な回答（「よくできる」と「ほぼできる」の合計）の割合が最も高いのは「我慢」（91.0%）で、次いで「規則正しい生活習慣」（90.4%）、「きまりや約束を守る」（89.2%）の順となっています。

問９～11　お子さんの生活の様子について教えてください。（それぞれ○は１つだけ）

図２－７　お子さんの生活の様子



［選択肢の説明］

・**学習への意欲や物事への関心**…学習への意欲や、生活・周囲のさまざまな物事への関心を持っていますか。

・**文字や数への関心**…文章を読んだり、計算や数量について理解しようとしたりするなど、文字や数への関心がありますか。

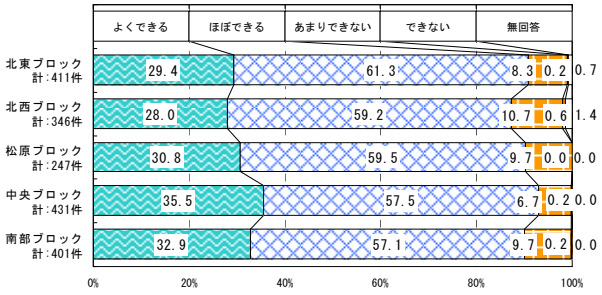
・**集中**…人の話を静かに聞いたり、物事にじっくり取り組んだりなど、集中して何かをすることができますか。

「学習への意欲や物事への関心」では、肯定的な回答（「ある」と「少しある」の合計）の割合が 93.6%、「文字や数への関心」では、肯定的な回答（「ある」と「少しある」の合計）の割合が 90.5%となっています。

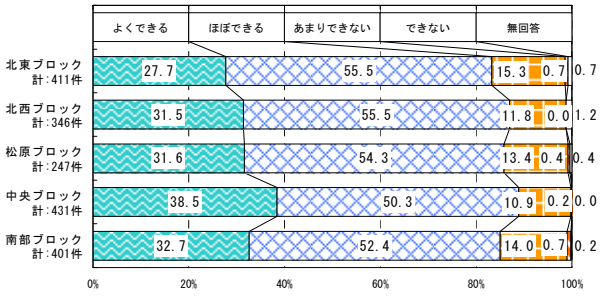
「集中」では、肯定的な回答（「よくできる」と「ほぼできる」の合計）の割合が 82.5%となっています。

■図２－８　地域別集計（お子さんの生活の様子）

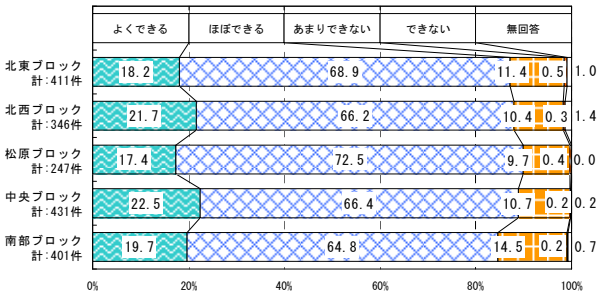
【規則正しい生活習慣】



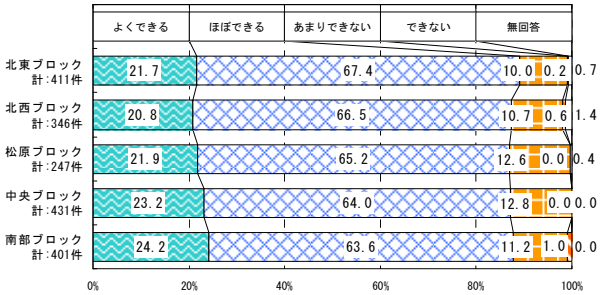
【手洗い、うがい】



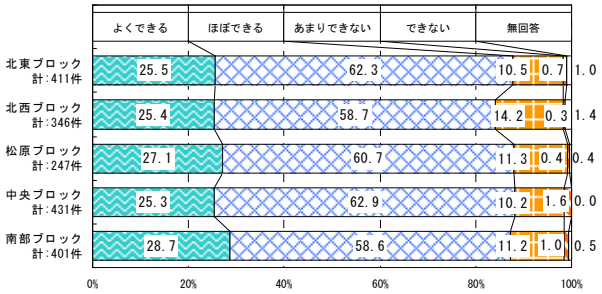
【安全に行動する】



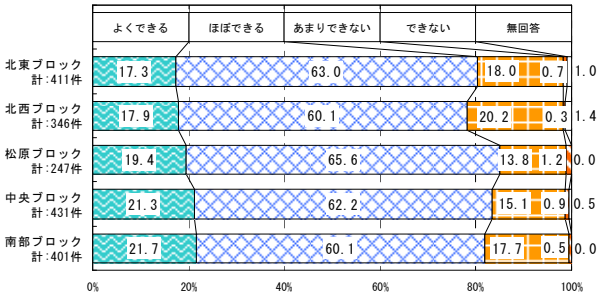
【自分で身支度】



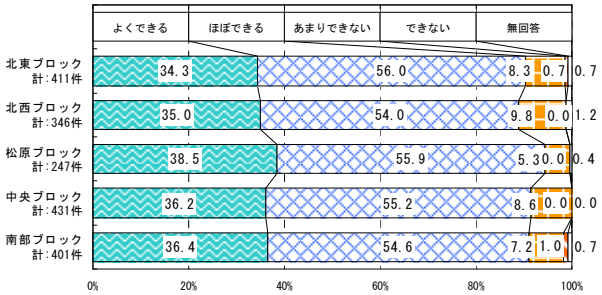
【コミュニケーション】



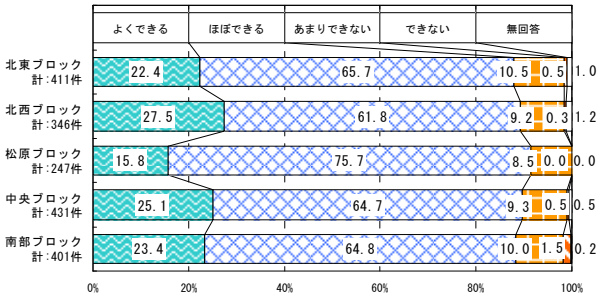
【あいさつや返事】



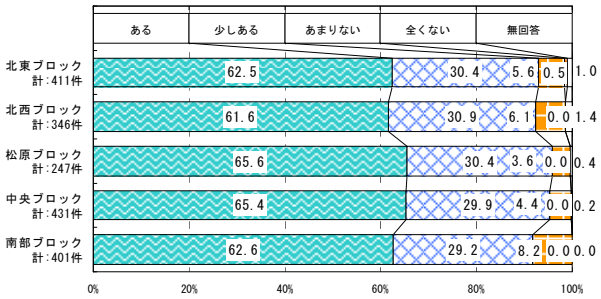
【我慢】



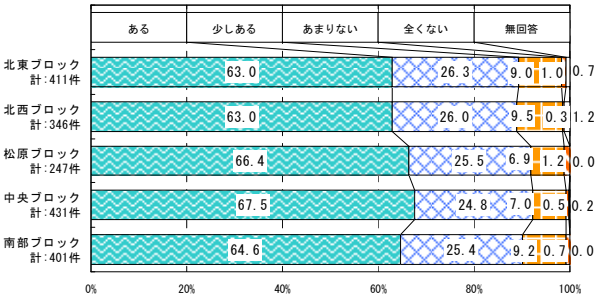
【きまりや約束を守る】



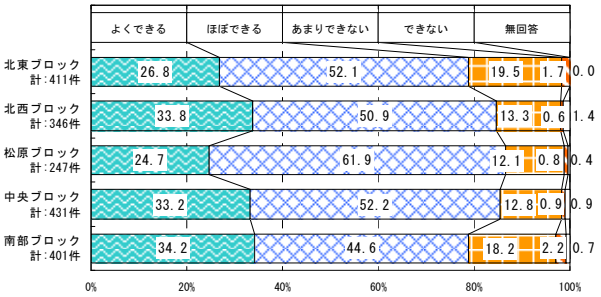
【学習への意欲や物事への関心】



【文字や数への関心】



【集中】



地域別にみると、「規則正しい生活習慣」では〔中央ブロック〕、「手洗い、うがい」では〔中央ブロック〕、「安全に行動する」では〔松原ブロック〕、「自分で身支度」では〔北東ブロック〕、「コミュニケーション」では〔中央ブロック〕、「あいさつや返事」では「松原ブロック〕、「我慢」では〔松原ブロック〕、「きまりや約束を守る」では〔松原ブロック〕が肯定的な回答（「よくできる」と「ほぼできる」の合計）の割合が最も高くなっています。

「学習への意欲や物事への関心」では〔松原ブロック〕、「文字や数への関心」では〔中央ブロック〕が肯定的な回答（「ある」と「少しある」の合計）の割合が最も高くなっています。

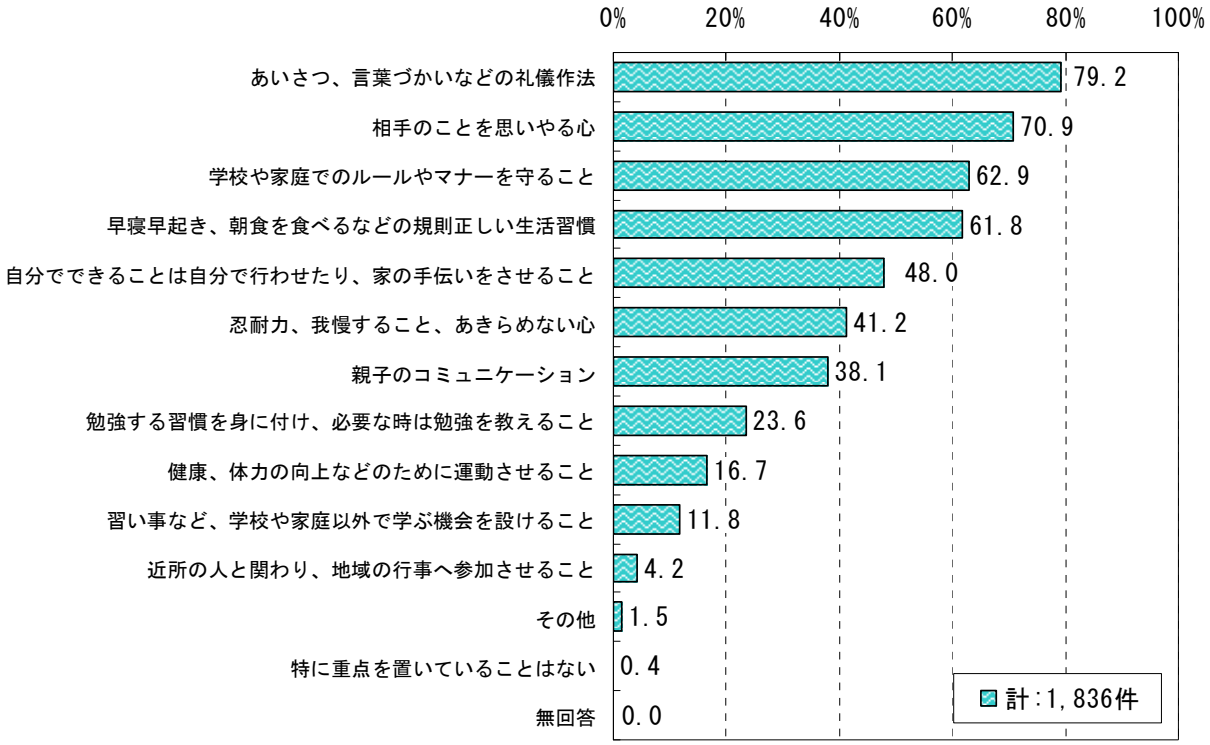
「集中」では〔松原ブロック〕が肯定的な回答（「よくできる」と「ほぼできる」の合計）の割合が最も高くなっています。

３．家庭での教育について

（１）家庭でのしつけや教育で重視していること

問 12　家庭でのしつけや教育で、特に重視していることは何ですか。（○は５つまで）

図２－９　家庭でのしつけや教育で重視していること



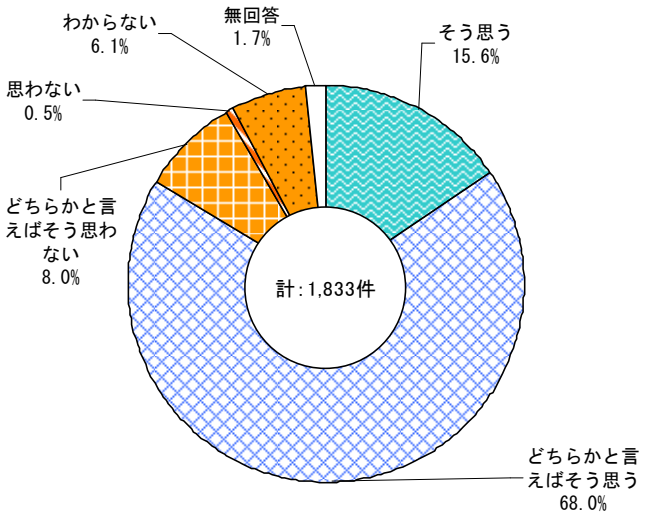
家庭でのしつけや教育で重視していることとしては、「あいさつ、言葉づかいなどの礼儀作法」の回答の割合が 79.2%と最も高く、次いで「相手のことを思いやる心」（70.9%）、「学校や家庭でのルールやマナーを守ること」（62.9%）の順となっています。

「その他」として、「友達とのコミュニケーションの大切さ」、「うそをつかない」「命の尊さについて」などの回答があります。

（２）子どもに対するしつけや教育の実践

問 13　【問 12 で１～12 に○をつけた場合に答えてください】
保護者の方が、お子さんに対して、ご家庭で特に重視しているしつけや教育を実際にできていると思いますか。（○は１つだけ）

図２－１０　子どもに対するしつけや教育の実践

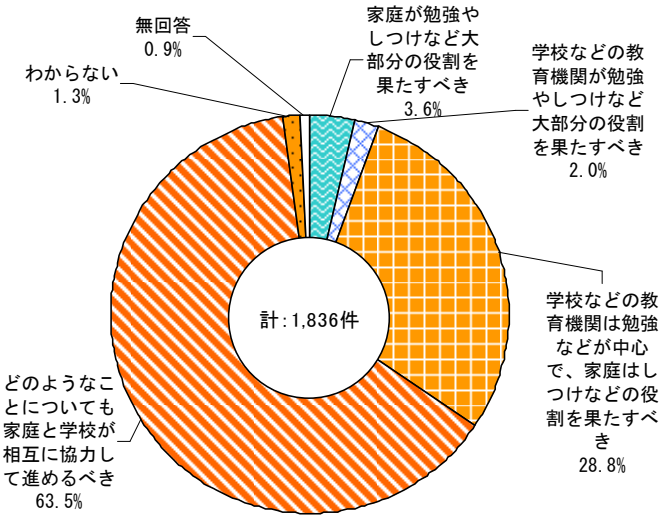


子どもに対するしつけや教育の実践ができているかについては、肯定的な回答（「そう思う」と「どちらかと言えばそう思う」の合計）の割合が 83.6%と、８割を超えています。

（３）家庭と学校などの教育機関の役割

問 14　子どもを育てるにあたっての、家庭と学校などの教育機関（幼稚園、保育園を含む）の役割について、もっとも近い考えはどれですか。（○は１つだけ）

図２－１１　家庭と学校などの教育機関の役割



家庭と学校などの教育機関の役割については、「どのようなことについても家庭と学校が相互に協力して進めるべき」の回答の割合が 63.5%と最も高く、次いで「学校などの教育機関は勉強などが中心で、家庭はしつけなどの役割を果たすべき」（28.8%）、「家庭が勉強やしつけなど大部分の役割を果たすべき」（3.6%）の順となっています。

■表２－２　地域別集計（家庭と学校などの教育機関の役割）（単位　上段：件、下段：%）

	合計	家庭が勉強やしつけなど大部分の役割を果たすべき	学校などの教育機関が勉強やしつけなど大部分の役割を果たすべき	学校などの教育機関は勉強などが中心で、家庭はしつけなどの役割を果たすべき	どのようなことについても家庭と学校が相互に協力して進めるべき	わからない	無回答
全体	1,836 100.0	67 3.6	36 2.0	529 28.8	1,165 63.5	23 1.3	16 0.9
北東ブロック	411 100.0	15 3.6	8 1.9	114 27.7	261 63.5	11 2.7	2 0.5
北西ブロック	346 100.0	15 4.3	9 2.6	103 29.8	214 61.8	3 0.9	2 0.6
松原ブロック	247 100.0	3 1.2	3 1.2	71 28.7	166 67.2	2 0.8	2 0.8
中央ブロック	431 100.0	16 3.7	10 2.3	121 28.1	273 63.3	5 1.2	6 1.4
南部ブロック	401 100.0	18 4.5	6 1.5	120 29.9	251 62.6	2 0.5	4 1.0

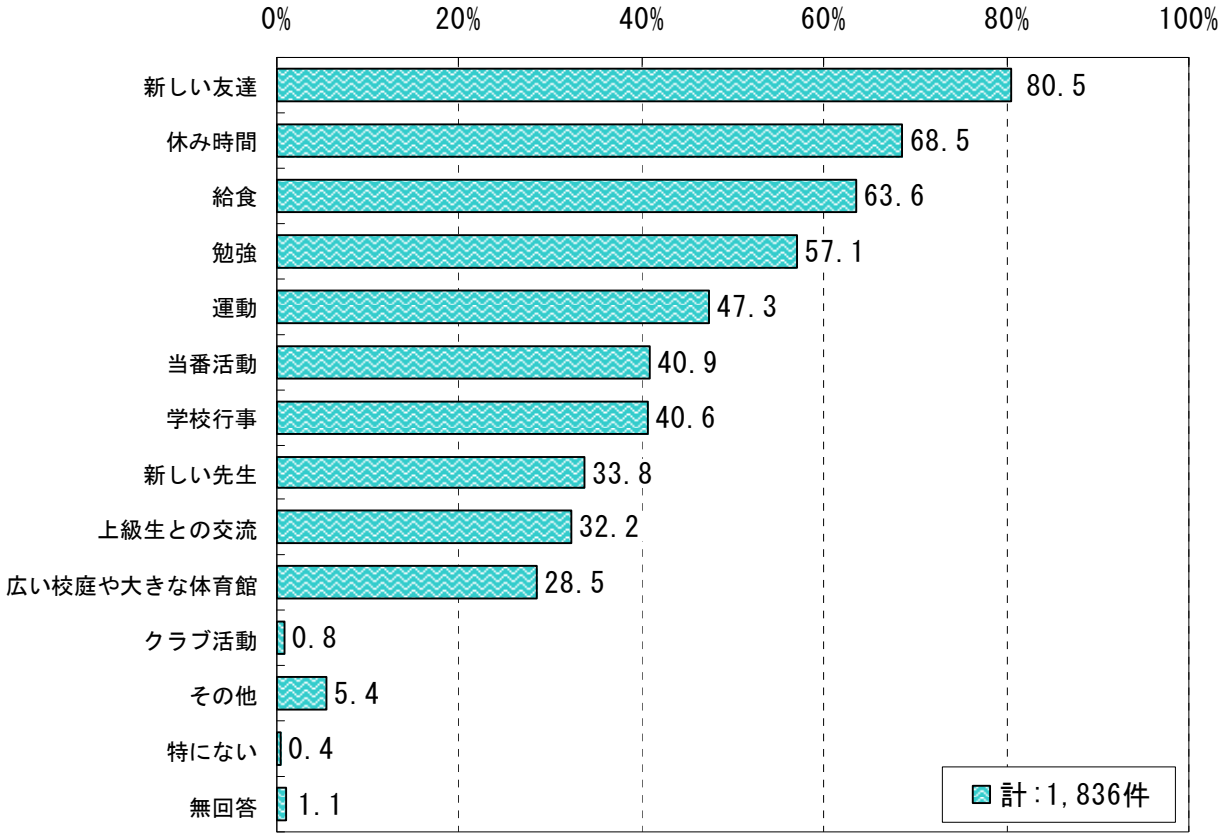
地域別にみても、全体と同様の傾向がうかがえます。

４．小学校入学後のお子さんの様子について

（１）小学校入学後の生活で楽しんでいること

問 15　お子さんが小学校入学後の生活において、楽しんでいることは何ですか。
（あてはまるもの全てに○）

図２－１２　小学校入学後の生活で楽しんでいること



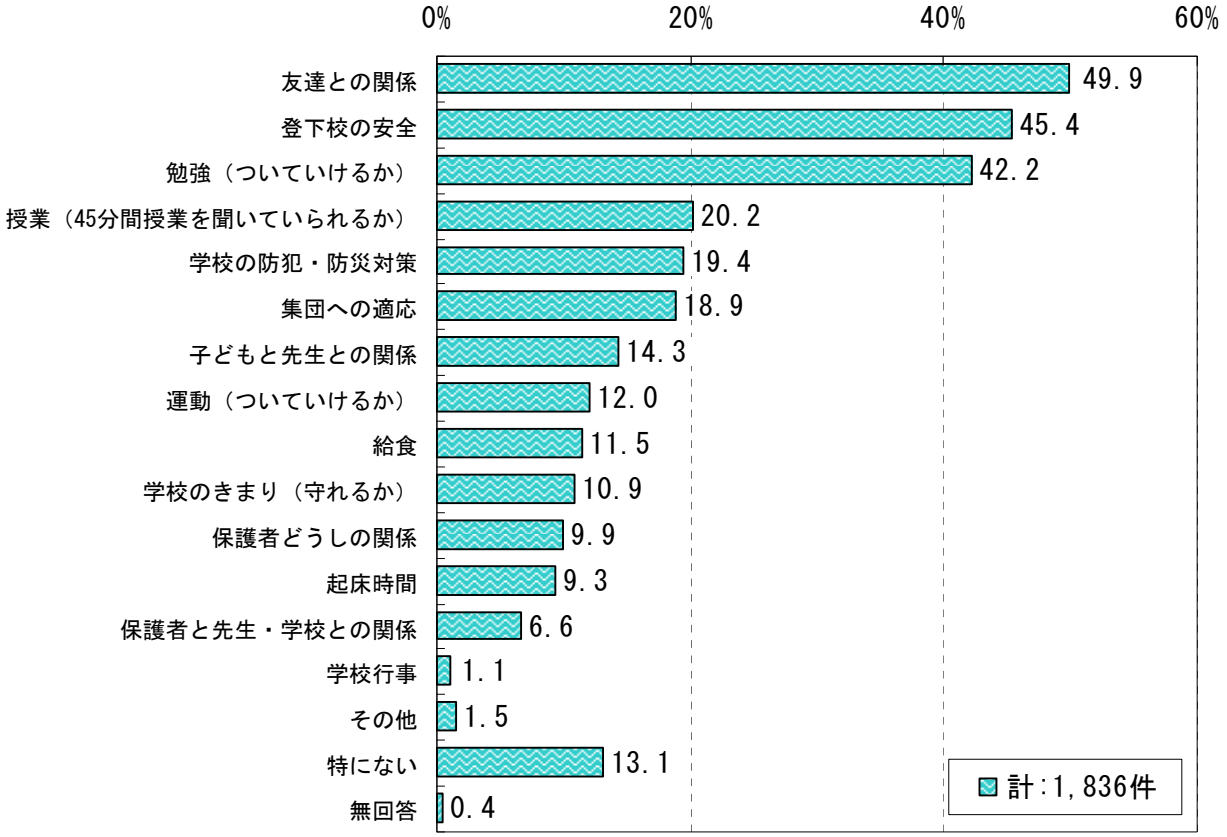
小学校入学後の生活で楽しんでいることとしては、「新しい友達」の回答の割合が 80.5%と最も高く、次いで「休み時間」(68.5%)、「給食」(63.6%) の順となっています。

「その他」として、「体育の時間」、「図工」、「学童保育」などの回答があります。

（２）小学校入学後の不安

問 16　お子さんの小学校入学後の生活において、不安に感じていることは何かありますか。
（あてはまるもの全てに〇）

図２－１３　小学校入学後の不安



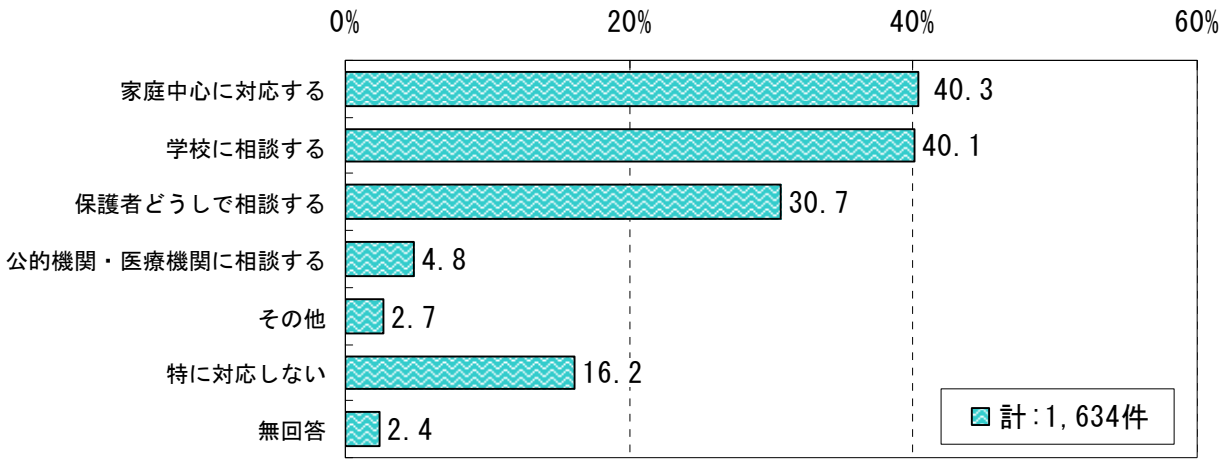
小学校入学後の不安としては、「友達との関係」の回答の割合が 49.9%と最も高く、次いで「登下校の安全」(45.4%)、「勉強（ついていけるか)」(42.2%）の順となっています。

「その他」として「いじめ」、「校舎の老朽化・耐震性」「トイレ」などの回答があります。

（３）不安や心配に対する対応

問 17　【問 16 で１～15 に○をつけた場合に答えてください】
不安なことや心配なことに対しては、何か対応をされますか（実施済みを含む）。
（あてはまるもの全てに○）

図２－１４　不安や心配に対する対応



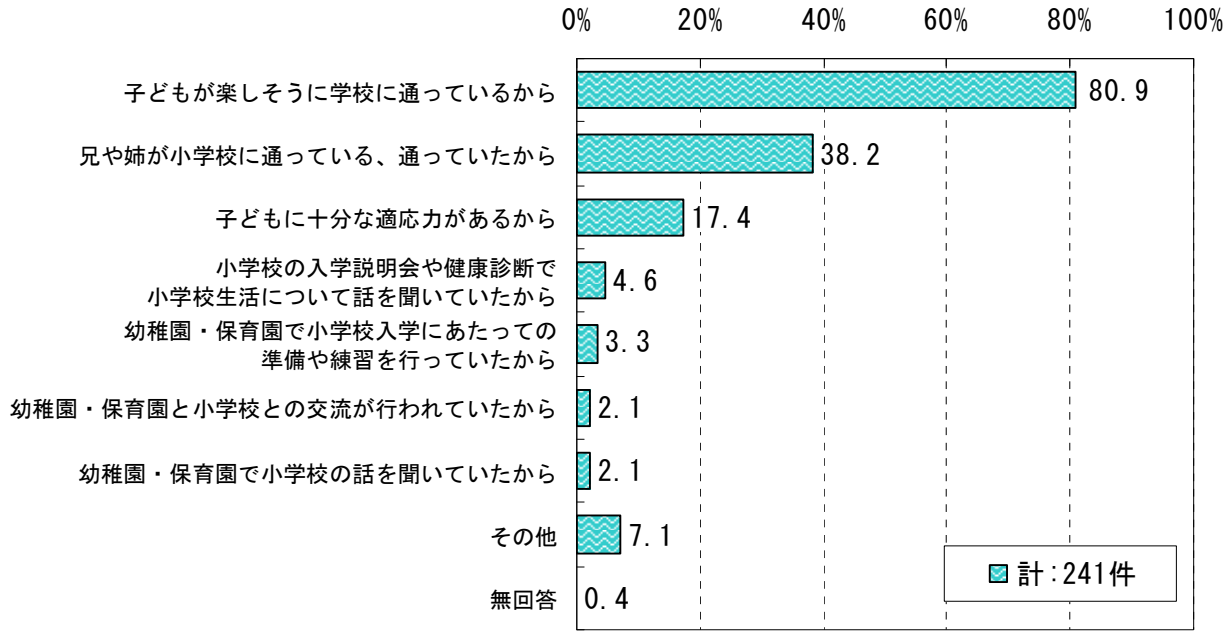
不安や心配に対する対応については、「家庭中心に対応する」の回答の割合が 40.3%と最も高く、次いで「学校に相談する」(40.1%)、「保護者どうしで相談する」(30.7%) の順となっています。

「その他」として、「子どもと会話をする」、「注意深く静観する」などの回答があります。

（４）不安がない理由

問 18　【問 16 で 16 の「特にない」に○をつけた場合に答えてください】
不安に感じていることがない理由は何ですか。（あてはまるもの全てに○）

図２－１５　不安がない理由



不安がない理由については、「子どもが楽しそうに学校に通っているから」の回答の割合が 80.9%と最も高く、次いで「兄や姉が小学校に通っている、通っていたから」（38.2%）、「子どもに十分な適応力があるから」（17.4%）の順となっています。

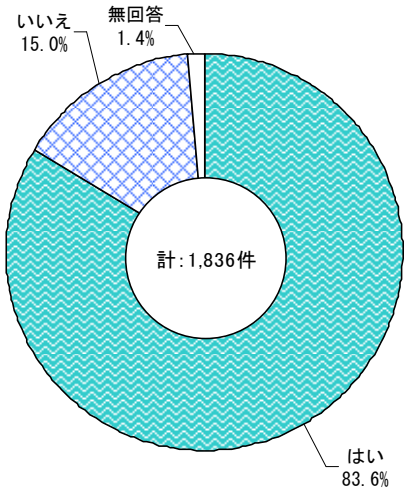
「その他」として、「子どもが学校でのことをよく話してくれるので様子が分かるから」、「子どもからも担任の先生からも、特に心配になる様な報告がないから」などの回答があります。

５．育ちの連続性を意識した教育活動について

（１）幼児期からの学びを活かした教育活動の実施

問 19　小学校で、幼児期からの学びを活かした教育活動を行ってほしいですか。（○は１つだけ）

図２－１６　幼児期からの学びを活かした教育活動の実施

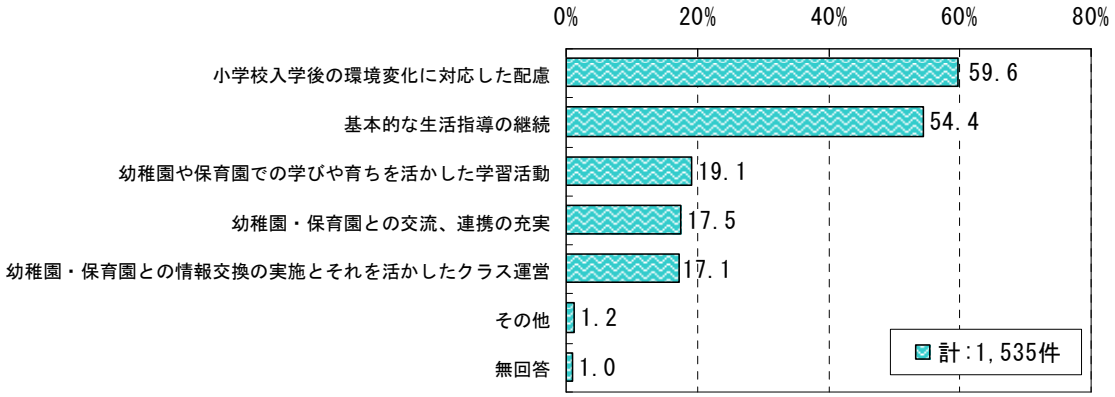


幼児期からの学びを活かした教育活動の実施については、83.6%が実施してほしいと回答しています。

（２）小学校で取り組んでほしいこと

問 20　【問 19 で１の「はい」に○をつけた場合に答えてください】
小学校で、どのようなことに取り組んでほしいですか。（あてはまるもの全てに○）

図２－１７　小学校で取り組んでほしいこと



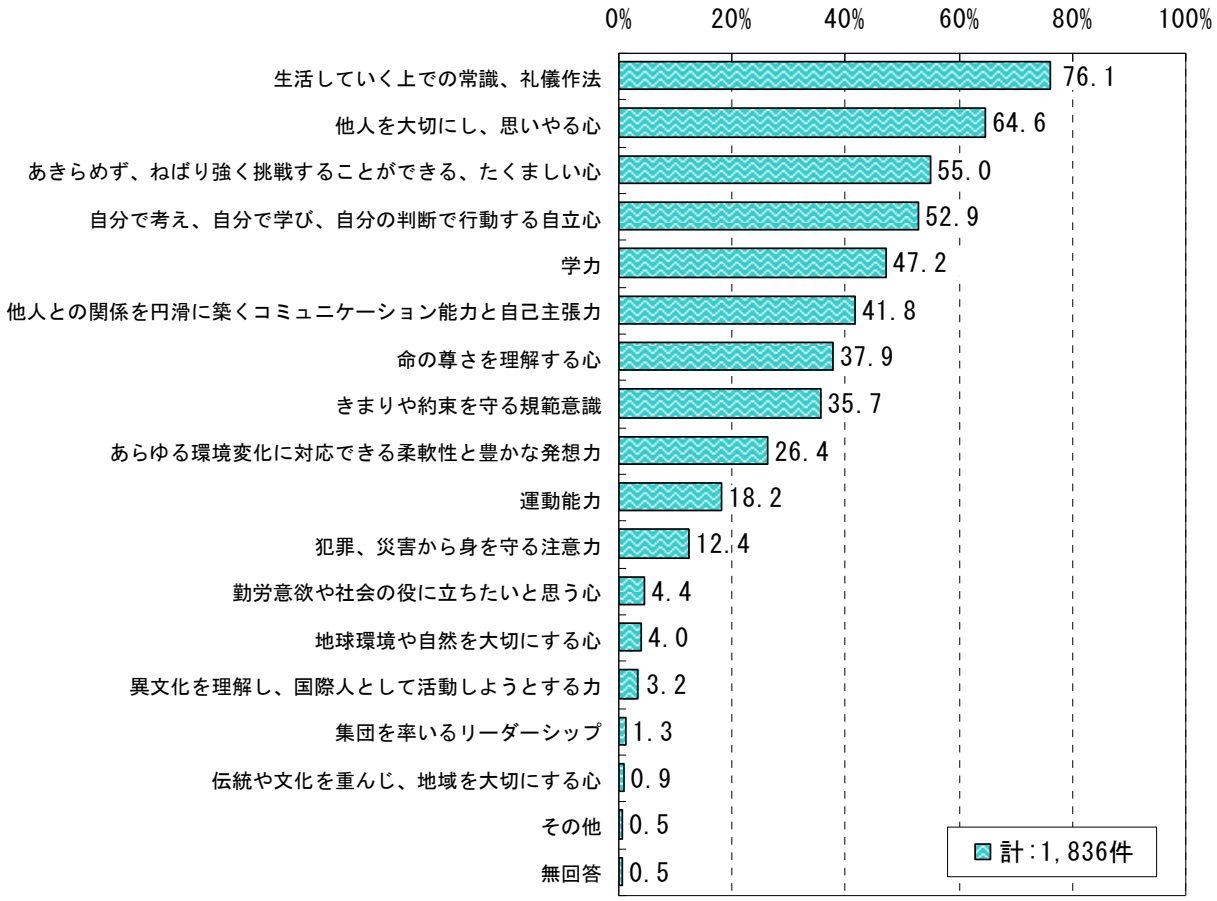
小学校で取り組んでほしいこととしては、「小学校入学後の環境変化に対応した配慮」の回答の割合が 59.6%と最も高く、次いで「基本的な生活指導の継続」（54.4%）、「幼稚園や保育園での学びや育ちを活かした学習活動」（19.1%）の順となっています。

「その他」として、「１人１人の個性を大切にする」、「集団生活においての学び、ルールやマナー」などの回答があります。

６．お子さんの将来像について

問 21　将来、成人し社会の支え手となる、あなたのお子さんに、中学校を卒業する時までに、身に付けてほしい能力や考え方として、特に重要だと思うことは何ですか。（○は５つまで）

図２－１８　中学校卒業までに身に付けてほしい能力や考え方



中学校卒業までに身に付けてほしい能力や考え方については、「生活していく上での常識、礼儀作法」の回答の割合が 76.1％と最も高く、次いで「他人を大切にし、思いやる心」（64.6％）、「あきらめず、ねばり強く挑戦することができる、たくましい心」（55.0％）、「自分で考え、自分で学び、自分の判断で行動する自立心」（52.9％）、「学力」（47.2％）の順となっています。

「その他」として、「生活習慣の確立」、「学ぶ事の楽しさや、さらなる学習意欲、身につけた知識や知恵を活かし、自分の将来を考えていく力、自己実現力」「自分の好きなものを見つけ、それに向かって努力する力、又は、好きなものを見つけようと日々チャレンジしていく心」、「道徳心」などの回答があります。

■表２－３　地域別集計（中学校卒業までに身に付けてほしい能力や考え方）（単位　上段：件、下段：%）

	合計	学力	運動能力	生活していく上での常識、礼儀作法	きまりや約束を守る規範意識	他人を大切にし、思いやる心	あきらめず、ねばり強く挑戦することができる、たくましい心	命の尊さを理解する心	自分で考え、自分で学び、自分の判断で行動する自立心	他人との関係を円滑に築くコミュニケーション能力と自己主張力	あらゆる環境変化に対応できる柔軟性と豊かな発想力	集団を率いるリーダーシップ	犯罪、災害から身を守る注意力	勤労意欲や社会の役に立ちたいと思う心	伝統や文化を重んじ、地域を大切にする心	異文化を理解し、国際人として活動しようとする力	地球環境や自然を大切にする心	その他	無回答
全体	1,836	867	335	1,397	656	1,186	1,010	695	972	767	484	24	227	81	16	59	73	9	10
	100.0	47.2	18.2	76.1	35.7	64.6	55.0	37.9	52.9	41.8	26.4	1.3	12.4	4.4	0.9	3.2	4.0	0.5	0.5
北東ブロック	411	189	75	318	160	256	226	157	204	169	105	5	48	20	3	16	20	1	4
	100.0	46.0	18.2	77.4	38.9	62.3	55.0	38.2	49.6	41.1	25.5	1.2	11.7	4.9	0.7	3.9	4.9	0.2	1.0
北西ブロック	346	171	68	257	122	226	189	140	189	139	87	6	40	14	4	10	14	1	2
	100.0	49.4	19.7	74.3	35.3	65.3	54.6	40.5	54.6	40.2	25.1	1.7	11.6	4.0	1.2	2.9	4.0	0.3	0.6
松原ブロック	247	108	39	195	84	157	128	93	135	104	64	3	35	9	4	9	10	3	2
	100.0	43.7	15.8	78.9	34.0	63.6	51.8	37.7	54.7	42.1	25.9	1.2	14.2	3.6	1.6	3.6	4.0	1.2	0.8
中央ブロック	431	213	80	319	145	282	228	168	247	181	115	6	56	14	3	13	21	2	0
	100.0	49.4	18.6	74.0	33.6	65.4	52.9	39.0	57.3	42.0	26.7	1.4	13.0	3.2	0.7	3.0	4.9	0.5	0.0
南部ブロック	401	186	73	308	145	265	239	137	197	174	113	4	48	24	2	11	8	2	2
	100.0	46.4	18.2	76.8	36.2	66.1	59.6	34.2	49.1	43.4	28.2	1.0	12.0	6.0	0.5	2.7	2.0	0.5	0.5

地域別にみても、全体とほぼ同様の傾向がうかがえます。

７．自由記述

最後に、子ども教育の連携や草加市の教育についてご意見などがあれば、自由にご記入ください。

自由記述は、回収数 1,836 件中 316 件から回答があり、結果を項目別にまとめると以下のようになります。1 件の回答の中に複数の項目にまたがるものもあるため、各項目の回答件数の合計は 316 件より多くなっています。

■表２－４　自由記述（小学校１年生保護者）

項目			件数
小中学校に関すること	教育内容について		81
		命の尊さや思いやる心を教えるなど道徳の授業を大切にしてほしい	9
		学力向上に力を入れてほしい	9
		夏休みなどにプールの授業を増やしてほしい	7
		体力向上を図って欲しい	6
		英語教育を充実してほしい	6
		成長に応じた教育をしてほしい	5
		レベル別の授業をしてほしい	4
		子どもの個性や能力を尊重し、それを伸ばすように導いてほしい	4
		寺子屋を充実してほしい（どこの学校でもやってほしい）	4
		少人数クラスにしてほしい	4
		ゆとりのある授業をしてほしい	3
		交通安全教育、犯罪から身を守る教育、災害教育を充実させてほしい	3
		その他	17
	教員について		39
		保護者ともっと交流、連携してほしい	12
		教員の資質・指導力の向上を図ってほしい	8
		生徒や保護者にもっと厳しく接してほしい	8
		先生によって差がですぎないよう、指導内容・方法をある程度統一してほしい	4
		教員同士の連携（引き継ぎをしてほしい）	3
		やる気のある経験豊富な先生を採用してほしい	2
		その他	2
	子どもたちへの対応について		48
		いじめに対してしっかりと対応してほしい	33
		もっと子どもにきめ細かく接してほしい	11
		楽しく学校生活が送れるようにしてほしい	3
		その他	1
	特別支援教育について		12
		障害のある子どもへの支援を充実してほしい	12
	施設・設備について		21
		エアコンを設置してほしい	13
		校舎を立て替えてほしい、きれいにしてほしい	8
	安心・安全について		17
		登下校、通学路の安全対策を強化してほしい	17
	給食、食育について		2
	土曜授業について		20
		土曜授業を実施してほしい	20
	放課後について		4
		放課後の学び、運動、遊びの場を充実してほしい	4
	家庭・地域との連携について		25
		親教育を充実してほしい	9
		家庭と学校の連携を充実してほしい	7
		地域との交流や見守りをしてほしい	5
		保護者の相談窓口を充実してほしい	3
		その他	1

項　　目			件数
学童、 放課後子ども教室に関すること	学童について		13
		学童の充実（預かり時間の延長、対象学年の拡大など）	9
		学童での親の負担を軽減してほしい	4
	放課後子ども教室の充実について（全小学校、全平日実施など）		9
	その他		1
教育行政に関すること	子ども教育の連携推進について		18
		幼稚園、保育園、小学校、中学校の連携を充実させてほしい	12
		入学前に普段の学校生活を参観できる日を多く設けてほしい（見学会、体験入学など）	4
		施策をもっと具体的に説明してほしい	2
	教育施策全般について		36
		草加市の教育を充実してほしい	17
		市内の教育格差をなくしてほしい	9
		草加市の子どもの教育に満足している	3
		学校の風紀を良くしてほしい	3
		その他	4
	その他		2
その他	子どもの遊び場について		18
		安心してのびのびと子どもが遊べる公園などの増設・充実	13
		児童館の充実	3
		学校以外でも子どもが参加できるイベントを増やしてほしい	2
	その他		14
		夕焼けチャイムの時間が遅い（特に夏期）のでもっと早くしてほしい、１年中同じ時刻にしてほしい、など	9
		その他（アンケートについて）	5

Ⅲ．小学校６年生保護者

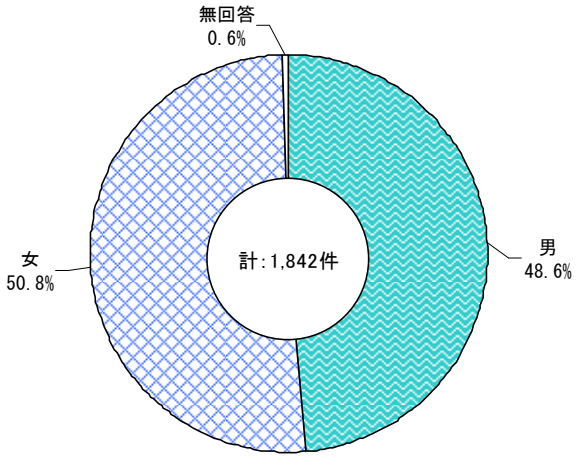
１．基礎情報

■表３－１　地域別集計の内訳は、次のようになっています。

地域名	小学校
北東ブロック	川柳、八幡、八幡北、青柳、稲荷
北西ブロック	新田、新栄、清門、長栄
松原ブロック	栄、花栗南、小山、松原
中央ブロック	草加、高砂、瀬崎、西町
南部ブロック	谷塚、氷川、新里、両新田

（１）お子さんの性別

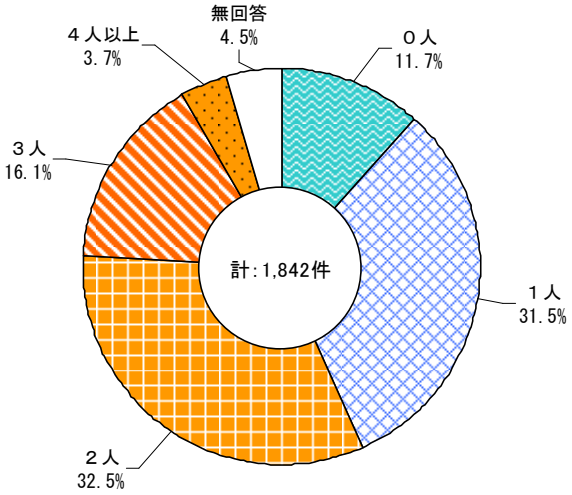
図３－１　お子さんの性別



お子さんの性別は、「男」が 48.6%、「女」が 50.8%となっています。

（２）兄弟姉妹の人数

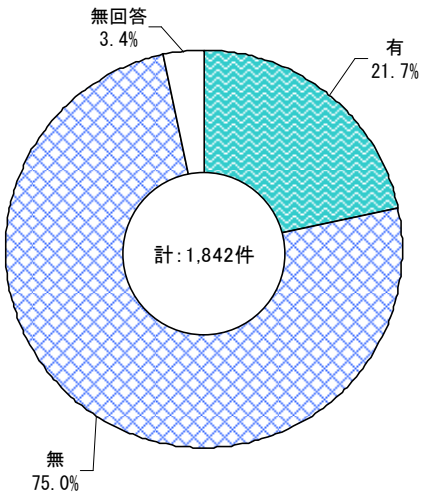
図３－２　兄弟姉妹の人数



兄弟姉妹の人数は、「２人」が 32.5%と最も高く、次いで「１人」(31.5%)、「３人」(16.1%)となっています。

（３）祖父母との同居

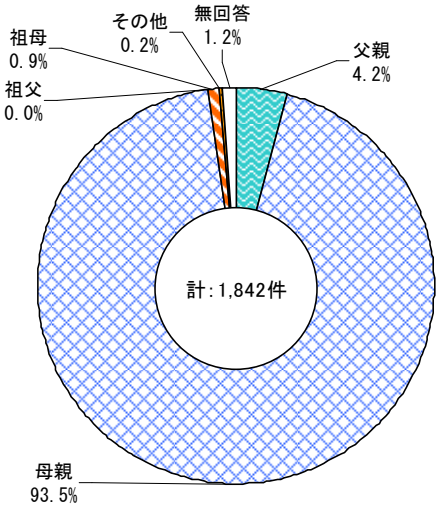
図３－３　祖父母との同居



祖父母との同居は、「有」が 21.7%、「無」が 75.0%と、「無」の割合が高くなっています。

（４）アンケート回答者の続柄

図３－４　アンケート回答者の続柄

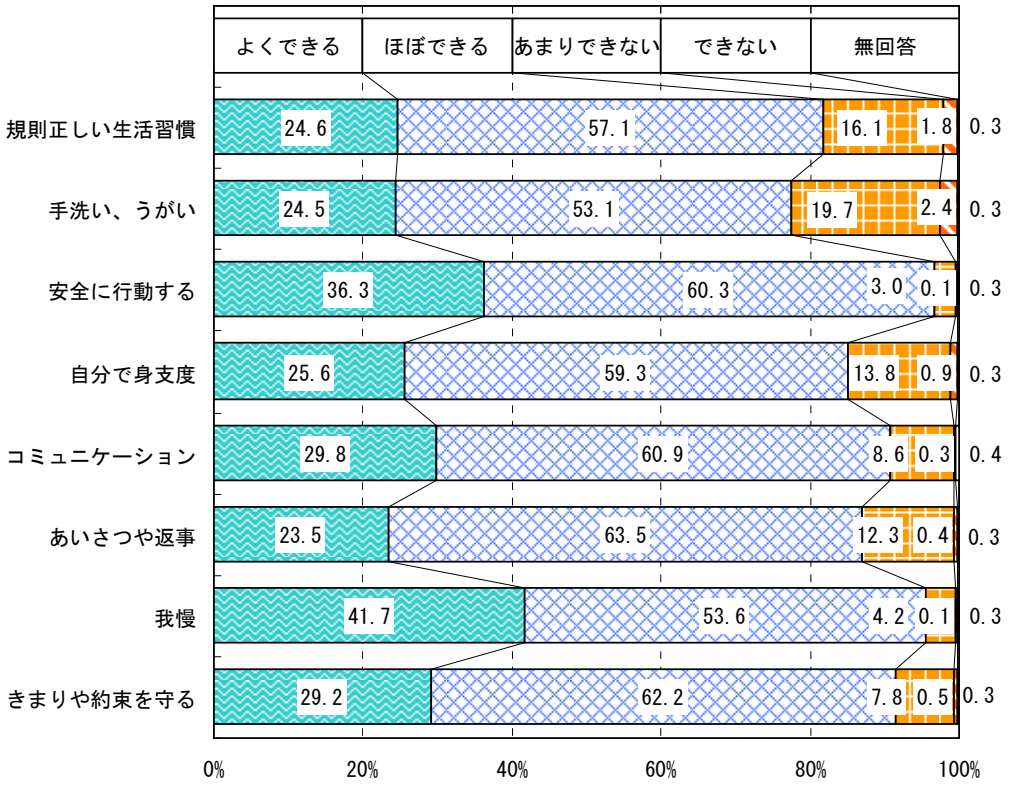


アンケート回答者の続柄は、「母親」が 93.5%と大部分を占めています。
「その他」として「叔母」、「兄」などの回答があります。

２．お子さんの生活の様子について

問１～８　お子さんの生活の様子について教えてください。（それぞれ○は１つだけ）

図３－５　お子さんの生活の様子

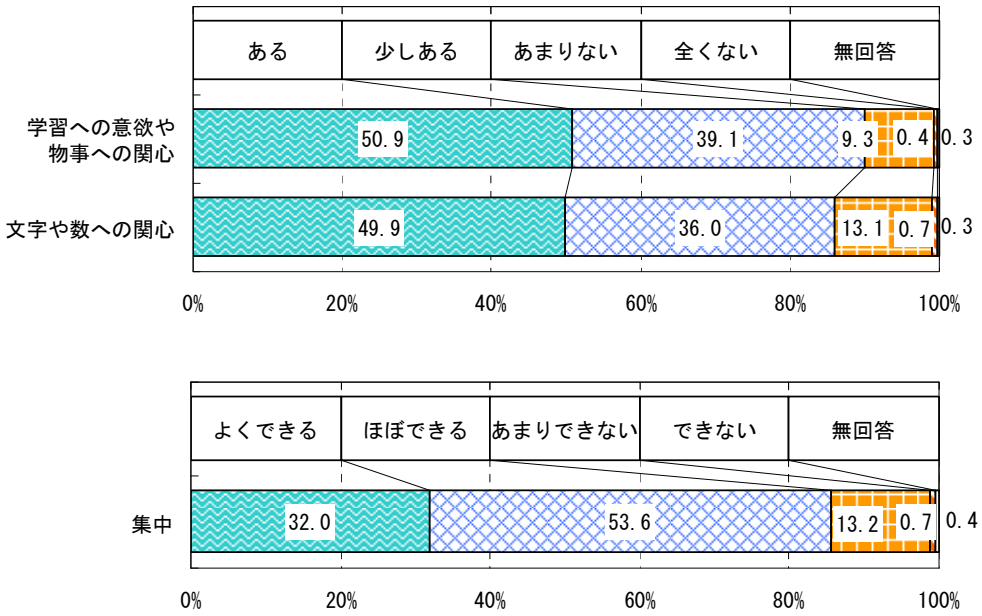


［選択肢の説明］
- **規則正しい生活習慣**…早寝早起き、朝ごはんなどの規則正しい生活習慣が身に付いていますか。
- **手洗い、うがい**…外出後や食事前に手洗い、うがいをしますか。
- **安全に行動する**…危ないことをしない、交通ルールを守るなど、安全に行動することができますか。
- **自分で身支度**…身の回りのことなど、自分のことを自分でしていますか。
- **コミュニケーション**…友達と一緒に遊ぶ、自分の気持ちを伝えるなど、周囲の人とコミュニケーションがとれていますか。
- **あいさつや返事**…あいさつや返事がきちんとできていますか。
- **我慢**…順番を待つ、友達に譲るなど、我慢をすることができますか。
- **きまりや約束を守る**…きまりや約束を守ることができますか。

お子さんの生活の様子については、肯定的な回答（「よくできる」と「ほぼできる」の合計）の割合が最も高いのは「安全に行動する」（96.6%）で、次いで「我慢」（95.3%）、「きまりや約束を守る」（91.4%）の順となっています。

問９～11　お子さんの生活の様子について教えてください。（それぞれ○は１つだけ）

図３－６　お子さんの生活の様子



［選択肢の説明］

・**学習への意欲や物事への関心**…学習への意欲や、生活・周囲のさまざまな物事への関心を持っていますか。

・**文字や数への関心**…文章を読んだり、計算や数量について理解しようとしたりするなど、文字や数への関心がありますか。

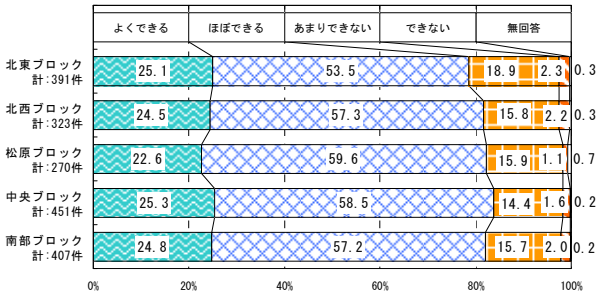
・**集中**…人の話を静かに聞いたり、物事にじっくり取り組んだりなど、集中して何かをすることができますか。

「学習への意欲や物事への関心」では、肯定的な回答（「ある」と「少しある」の合計）の割合が 90.0%、「文字や数への関心」では、肯定的な回答（「ある」と「少しある」の合計）の割合が 85.9%となっています。

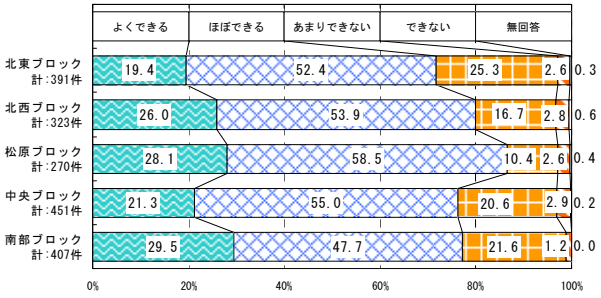
「集中」では、肯定的な回答（「よくできる」と「ほぼできる」の合計）の割合が 85.6%となっています。

■図３－７　地域別集計（お子さんの生活の様子）

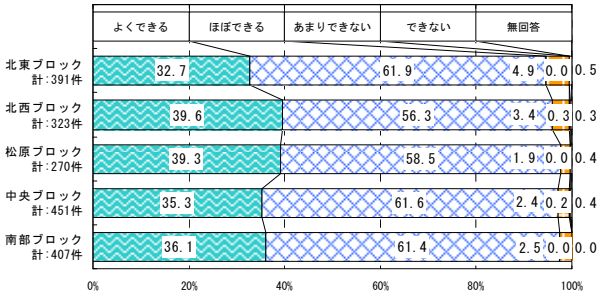
【規則正しい生活習慣】



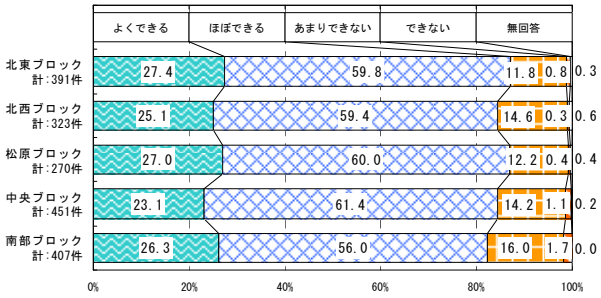
【手洗い、うがい】



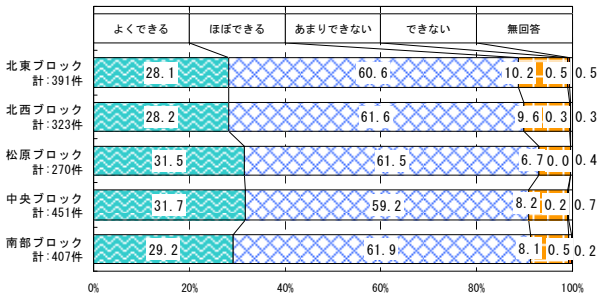
【安全に行動する】



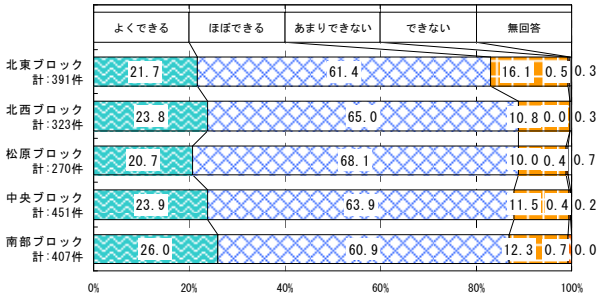
【自分で身支度】



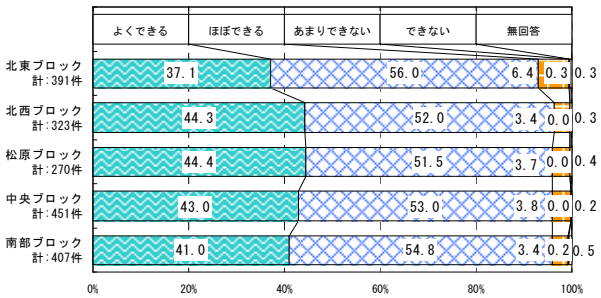
【コミュニケーション】



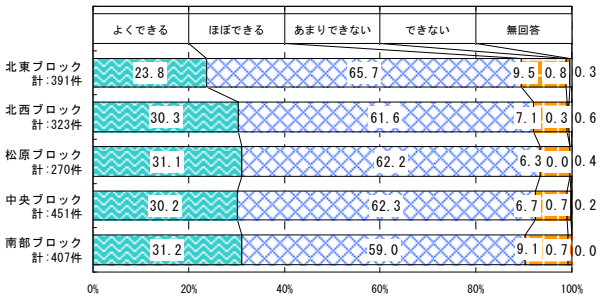
【あいさつや返事】



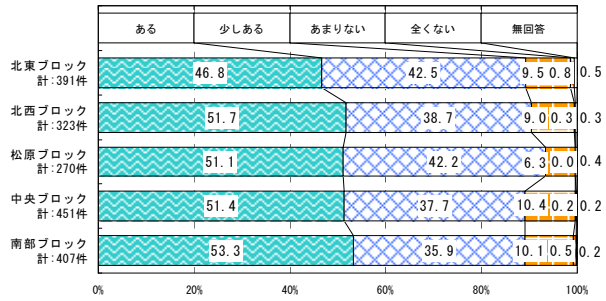
【我慢】



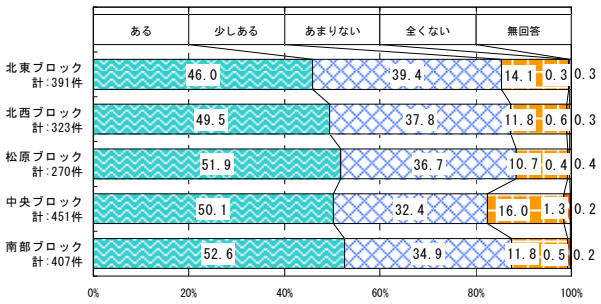
【きまりや約束を守る】



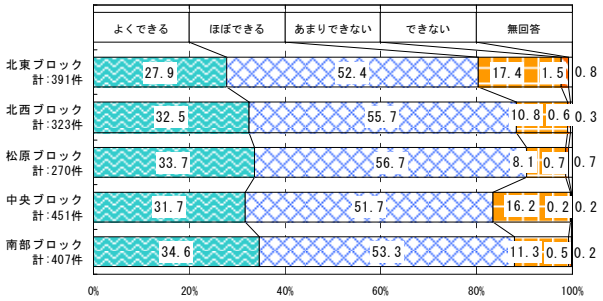
【学習への意欲や物事への関心】



【文字や数への関心】



【集中】



地域別にみると、「規則正しい生活習慣」では〔中央ブロック〕、「手洗い、うがい」では〔松原ブロック〕、「安全に行動する」では〔松原ブロック〕、「自分で身支度」では、〔北東ブロック〕、「コミュニケーション」では〔松原ブロック〕、「あいさつや返事」では〔北西ブロック〕、〔松原ブロック〕、「我慢」では〔北西ブロック〕、「きまりや約束を守る」では〔松原ブロック〕が肯定的な回答（「よくできる」と「ほぼできる」の合計）の割合が最も高くなっています。

「学習への意欲や物事への関心」では〔松原ブロック〕、「文字や数への関心」では〔松原ブロック〕が肯定的な回答（「ある」と「少しある」の合計）の割合が最も高くなっています。

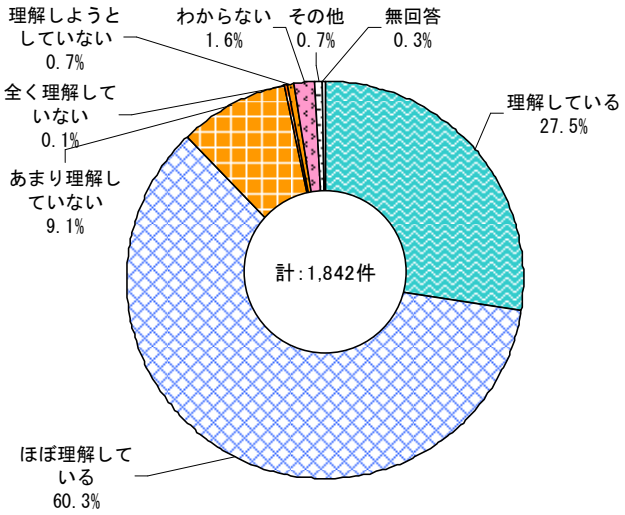
「集中」では〔松原ブロック〕が肯定的な回答（「よくできる」と「ほぼできる」の合計）の割合が最も高くなっています。

３．お子さんの学習の様子について

（１）学校の授業の理解度

問 12　お子さんは、学校での授業を理解している様子ですか。（○は１つだけ）

図３－８　学校の授業の理解度



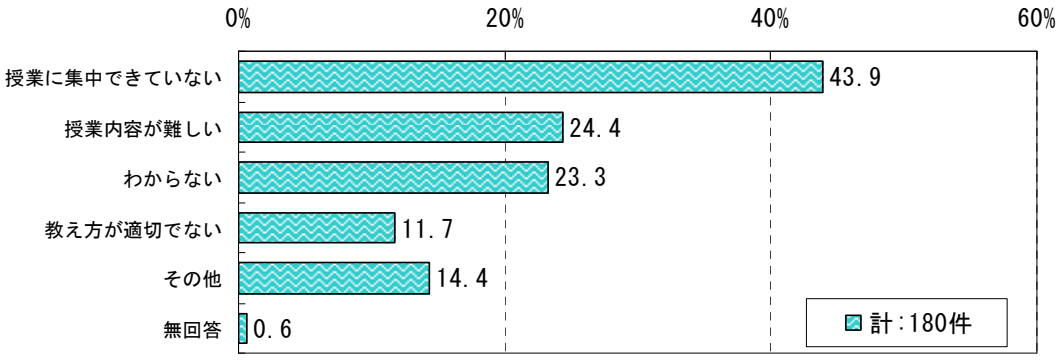
学校の授業の理解度については、肯定的な回答（「理解している」と「ほぼ理解している」の合計）の割合が 87.8%となっています。

「その他」として「教科によって異なる」、「理解しようと努力している」などの回答があります。

（２）学校の授業を理解していない理由

問 13　【問 12 で３～５に○をつけた場合に答えてください】
学校の授業を理解していない理由や原因は何だと思われますか。（あてはまるもの全てに○）

図３－９　学校の授業を理解していない理由



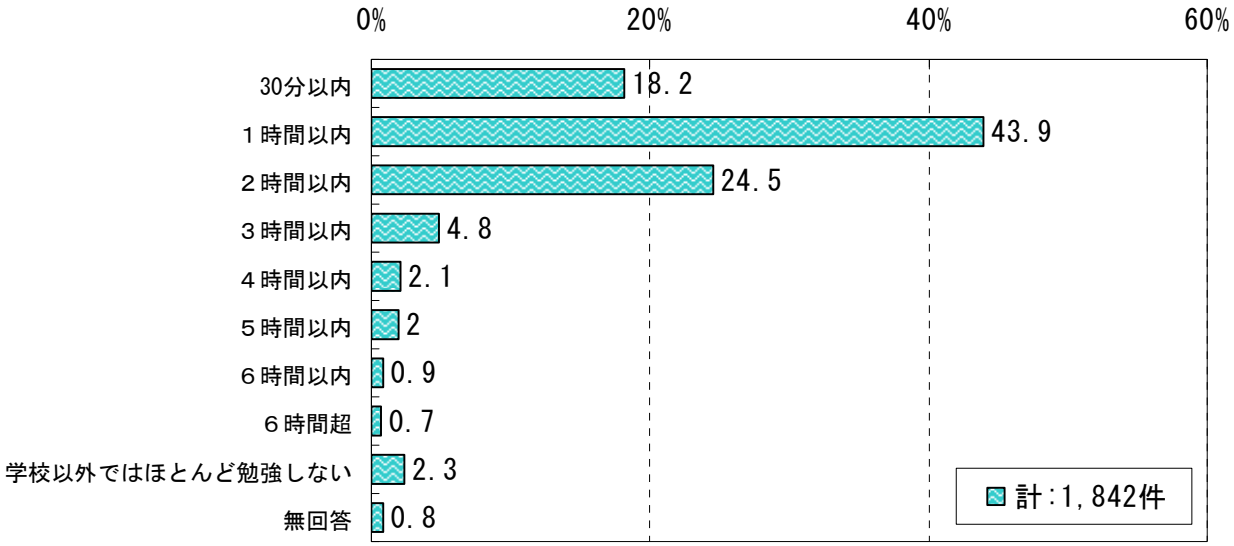
学校の授業を理解していない理由としては、「授業に集中できていない」の回答の割合が 43.9%と最も高く、次いで「授業内容が難しい」(24.4%)、「わからない」(23.3%) の順となっています。

「その他」として、「わからない事を先生に聞けない」、「興味が持てていない」、「授業の進行が早い」、「予習、復習が出来てない」などの回答があります。

（３）１日の平均学習時間

問 14　学校以外での、１日の平均学習時間（塾などでの学習の時間を含む）はどのくらいですか。
（○は１つだけ）

図３－１０　１日の平均学習時間



１日の平均学習時間については、「１時間以内」の回答の割合が 43.9%と最も高く、次いで「２時間以内」(24.5%)、「30 分以内」(18.2%) の順となっています。

■表３－２　集中して物事を行うこと別集計（１日の平均学習時間）（単位　上段：件、下段：%）

		１日の平均学習時間										
		合計	30分以内	1時間以内	2時間以内	3時間以内	4時間以内	5時間以内	6時間以内	6時間超	学校以外ではほとんど勉強しない	無回答
集中して物事を行うこと	全体	1,842 100.0	335 18.2	808 43.9	452 24.5	88 4.8	38 2.1	37 2.0	16 0.9	12 0.7	42 2.3	14 0.8
	よくできる	589 100.0	82 13.9	248 42.1	161 27.3	34 5.8	20 3.4	16 2.7	9 1.5	8 1.4	7 1.2	4 0.7
	ほぼできる	988 100.0	188 19.0	448 45.3	238 24.1	44 4.5	16 1.6	19 1.9	7 0.7	4 0.4	17 1.7	7 0.7
	あまりできない	244 100.0	59 24.2	104 42.6	49 20.1	9 3.7	2 0.8	2 0.8	0 0.0	0 0.0	18 7.4	1 0.4
	できない	13 100.0	5 38.5	6 46.2	2 15.4	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

集中して物事を行うことの回答別に１日の平均学習時間をみると、肯定的な回答（「よくできる」と「ほぼできる」の合計）の場合ほど、１日の平均学習時間が長くなる傾向をうかがうことができます。

■表３－３　学校での授業の理解度別集計（１日の平均学習時間）（単位　上段：件、下段：%）

		１日の平均学習時間										
		合計	30分以内	1時間以内	2時間以内	3時間以内	4時間以内	5時間以内	6時間以内	6時間超	学校以外ではほとんど勉強しない	無回答
学校での授業の理解	全体	1,842 100.0	335 18.2	808 43.9	452 24.5	88 4.8	38 2.1	37 2.0	16 0.9	12 0.7	42 2.3	14 0.8
	理解している	506 100.0	60 11.9	200 39.5	122 24.1	39 7.7	27 5.3	26 5.1	14 2.8	11 2.2	3 0.6	4 0.8
	ほぼ理解している	1,110 100.0	206 18.6	513 46.2	297 26.8	46 4.1	9 0.8	11 1.0	1 0.1	1 0.1	18 1.6	8 0.7
	あまり理解していない	167 100.0	49 29.3	77 46.1	23 13.8	2 1.2	1 0.6	0 0.0	0 0.0	0 0.0	14 8.4	1 0.6
	全く理解していない	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0
	理解しようとしていない	12 100.0	1 8.3	7 58.3	2 16.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 16.7	0 0.0
	わからない	29 100.0	15 51.7	6 20.7	4 13.8	1 3.4	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 10.3	0 0.0
	その他	12 100.0	3 25.0	5 41.7	3 25.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 8.3	0 0.0

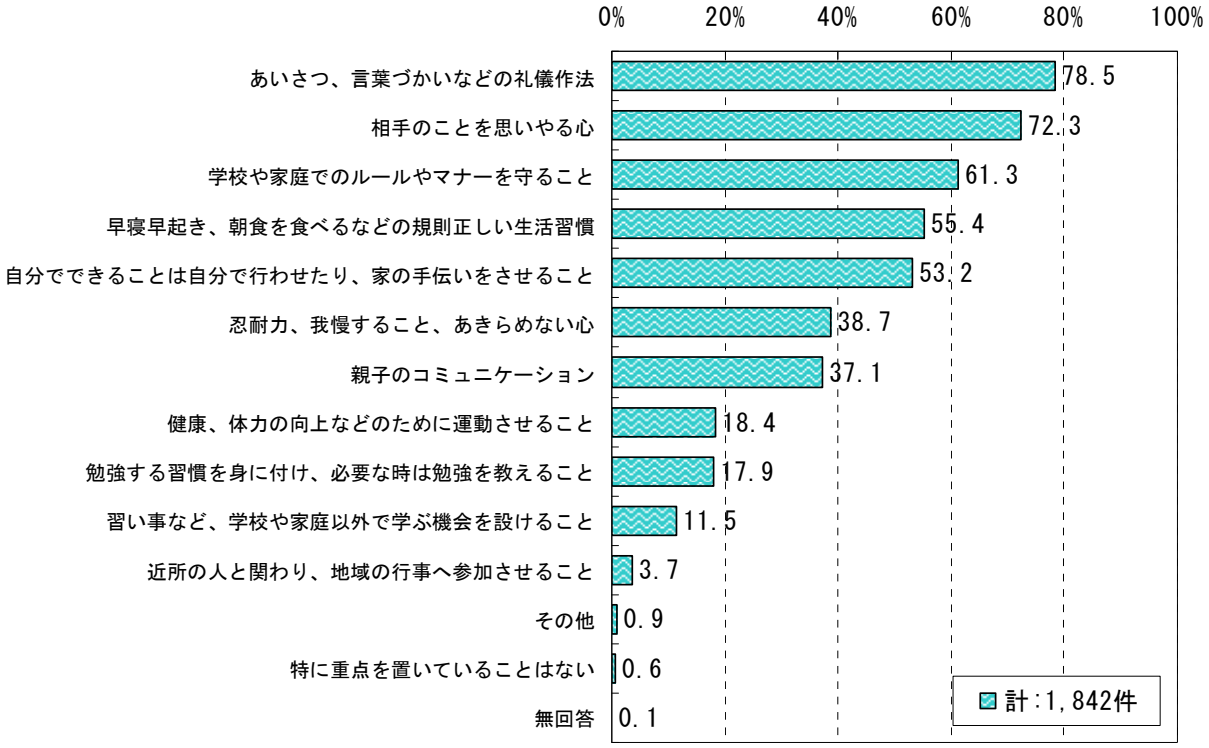
学校での授業の理解度別に１日の平均学習時間をみると、肯定的な回答（「理解している」と「ほぼ理解している」の合計）の場合ほど、１日の平均学習時間が長くなる傾向をうかがうことができます。

４．家庭での教育について

（１）家庭でのしつけや教育で重視していること

問 15　家庭でのしつけや教育で、特に重視していることは何ですか。（○は５つまで）

図３－１１　家庭でのしつけや教育で重視していること



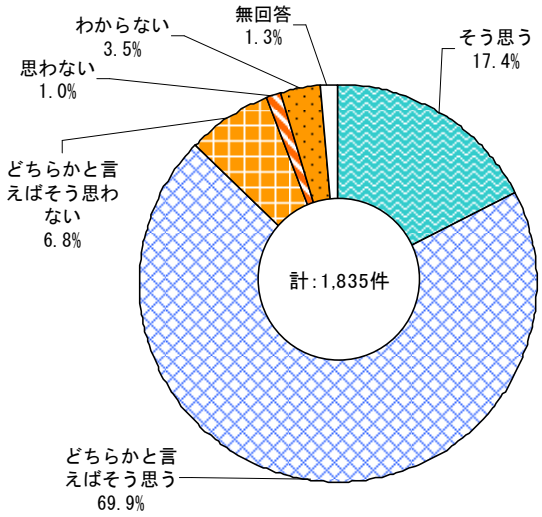
家庭でのしつけや教育で重視していることとしては、「あいさつ、言葉づかいなどの礼儀作法」の回答の割合が 78.5%と最も高く、次いで「相手のことを思いやる心」（72.3%）、「学校や家庭でのルールやマナーを守ること」（61.3%）の順となっています。

「その他」として、「結果だけ見るのではなく、頑張った事をほめる事」、「学校や社会の人たちとのコミュニケーション」などの回答があります。

（２）子どもに対するしつけや教育の実践

問 16　【問 15 で１～12 に○をつけた場合に答えてください】
保護者の方が、お子さんに対して、ご家庭で特に重視しているしつけや教育を実際にできていると思いますか。（○は１つだけ）

図３－１２　子どもに対するしつけや教育の実践

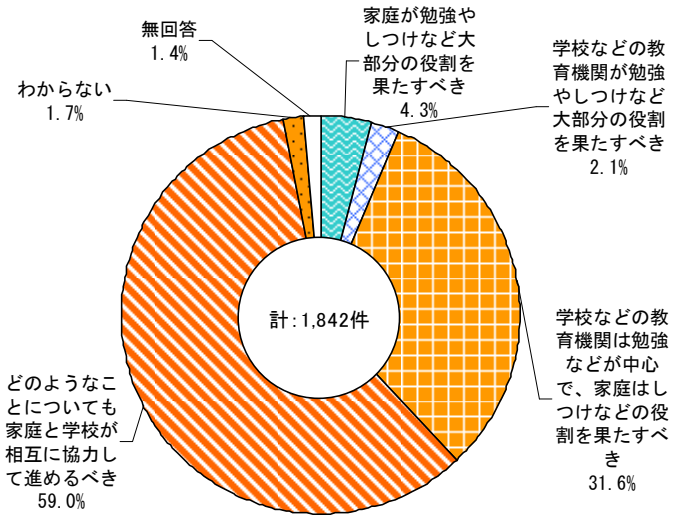


子どもに対するしつけや教育の実践ができているかについては、肯定的な回答（「そう思う」と「どちらかと言えばそう思う」の合計）の割合が 87.3%と、８割を超えています。

（３）家庭と学校などの教育機関の役割

問 17　子どもを育てるにあたっての、家庭と学校などの教育機関（幼稚園、保育園を含む）の役割について、もっとも近い考えはどれですか。（○は１つだけ）

図３－１３　家庭と学校などの教育機関の役割



家庭と学校などの教育機関の役割については、「どのようなことについても家庭と学校が相互に協力して進めるべき」の回答の割合が 59.0％と最も高く、次いで「学校などの教育機関は勉強などが中心で、家庭はしつけなどの役割を果たすべき」（31.6％）、「家庭が勉強やしつけなど大部分の役割を果たすべき」（4.3％）の順となっています。

■表３－４　地域別集計（家庭と学校などの教育機関の役割）（単位　上段：件、下段：％）

	合計	家庭が勉強やしつけなど大部分の役割を果たすべき	学校などの教育機関が勉強やしつけなど大部分の役割を果たすべき	学校などの教育機関は勉強などが中心で、家庭はしつけなどの役割を果たすべき	どのようなことについても家庭と学校が相互に協力して進めるべき	わからない	無回答
全体	1,842 100.0	79 4.3	38 2.1	582 31.6	1,086 59.0	31 1.7	26 1.4
北東ブロック	391 100.0	13 3.3	10 2.6	119 30.4	231 59.1	11 2.8	7 1.8
北西ブロック	323 100.0	17 5.3	6 1.9	108 33.4	187 57.9	4 1.2	1 0.3
松原ブロック	270 100.0	15 5.6	3 1.1	80 29.6	163 60.4	3 1.1	6 2.2
中央ブロック	451 100.0	15 3.3	10 2.2	136 30.2	277 61.4	7 1.6	6 1.3
南部ブロック	407 100.0	19 4.7	9 2.2	139 34.2	228 56.0	6 1.5	6 1.5

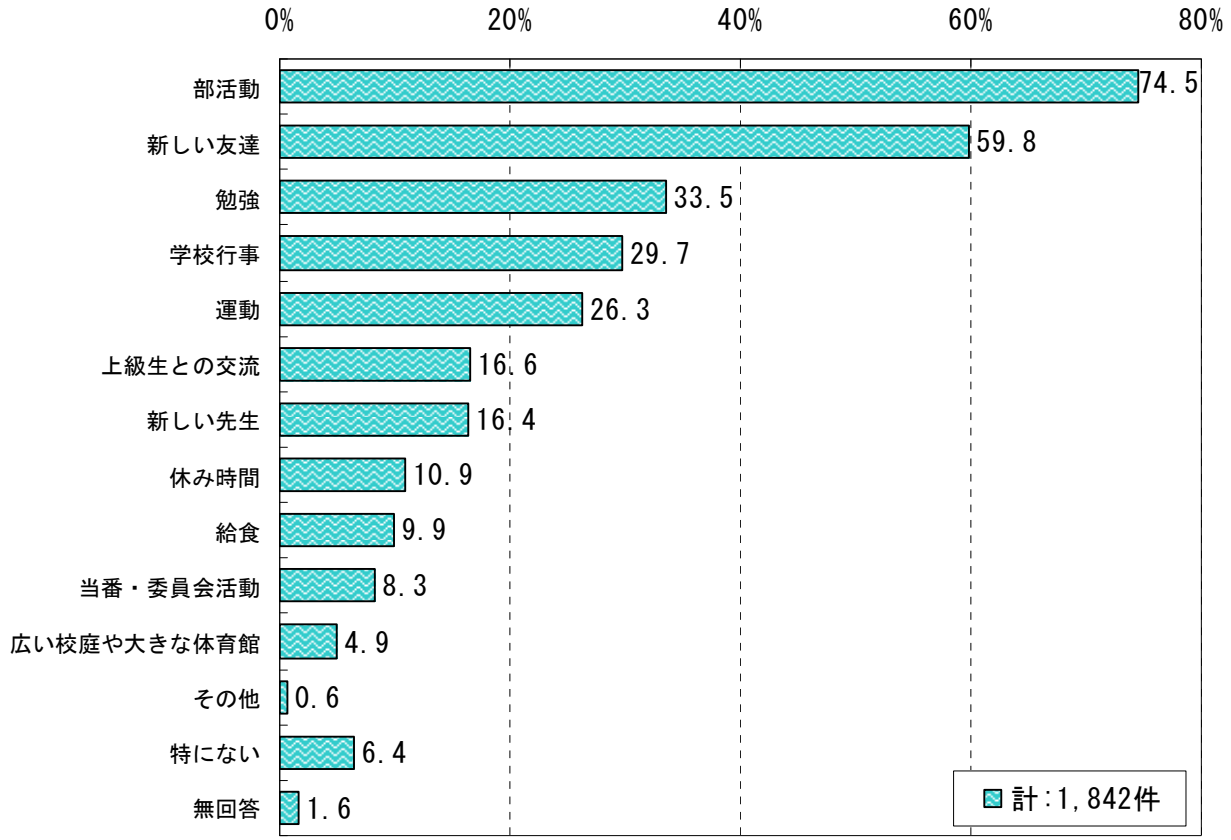
地域別にみても、全体と同様の傾向がうかがえます。

５．中学校入学について

（１）中学校入学後の生活で楽しみにしていることや期待していること

問 18　お子さんの中学校入学後の生活について、楽しみにしていることや期待していることは何ですか。（あてはまるもの全てに○）

図３－１４　中学校入学後の生活で楽しみにしていることや期待していること



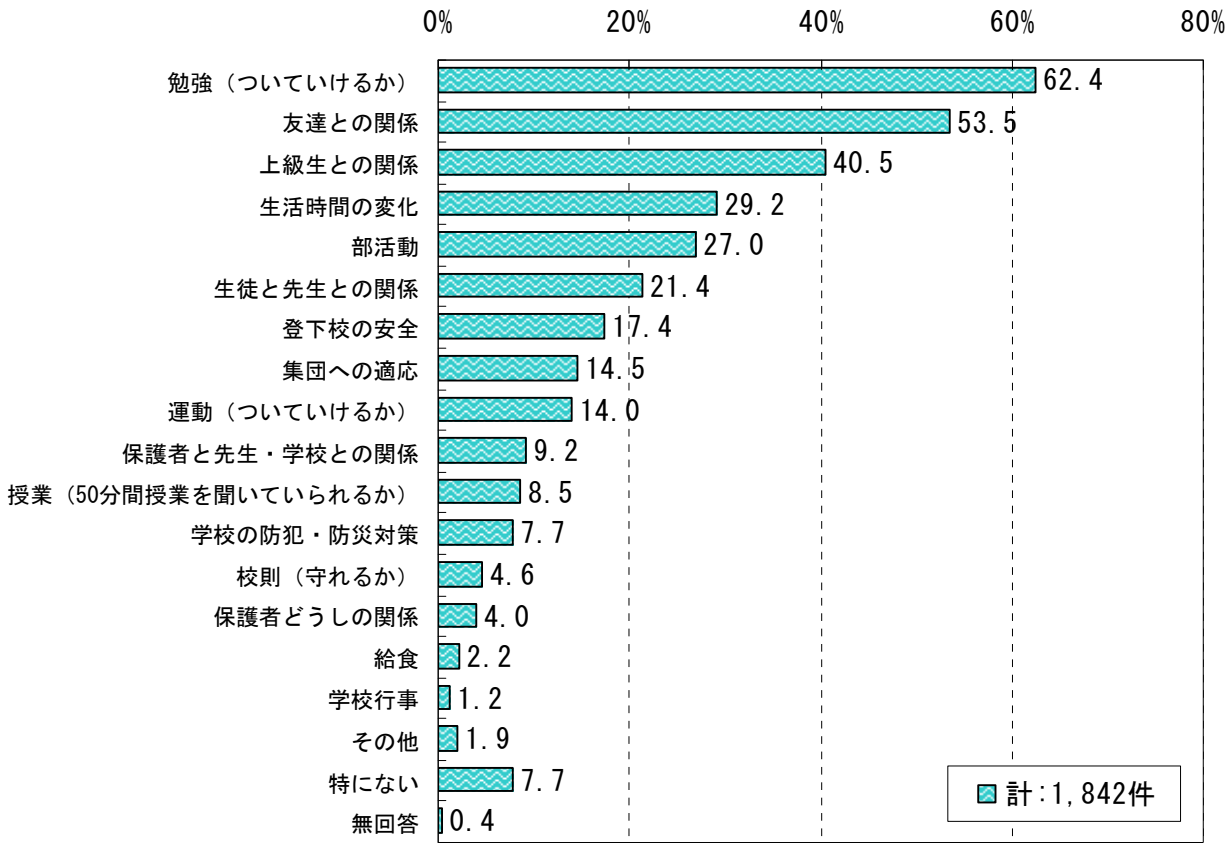
中学校入学後の生活で楽しみにしていることや期待していることとしては、「部活動」の回答の割合が 74.5％と最も高く、次いで「新しい友達」（59.8％）、「勉強」（33.5％）の順となっています。「特にない」の回答の割合は、6.4％です。

「その他」として、「制服の着用」、「修学旅行」などの回答があります。

（２）中学校入学後の不安や心配

問 19　お子さんが中学校に入学した後に、不安なことや心配なことは何ですか。
（あてはまるもの全てに〇）

図３－１５　中学校入学後の不安や心配



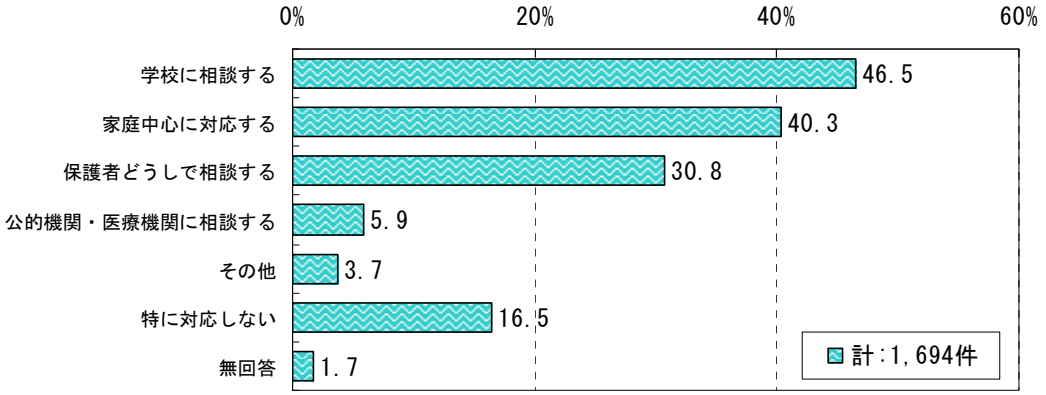
中学校入学後の不安や心配としては、「勉強（ついていけるか)」の回答の割合が 62.4%と最も高く、次いで「友達との関係」（53.5%)、「上級生との関係」（40.5%）の順となっています。

「その他」として、「部活と勉強の両立」、「いじめ」、「学校の風紀」などの回答があります。

（３）不安や心配に対する対応

問 20　【問 19 で１～17 に○をつけた場合に答えてください】
不安なことや心配なことに対しては、何か対応をされますか（実施済みを含む）。
（あてはまるもの全てに○）

図３－１６　不安や心配に対する対応



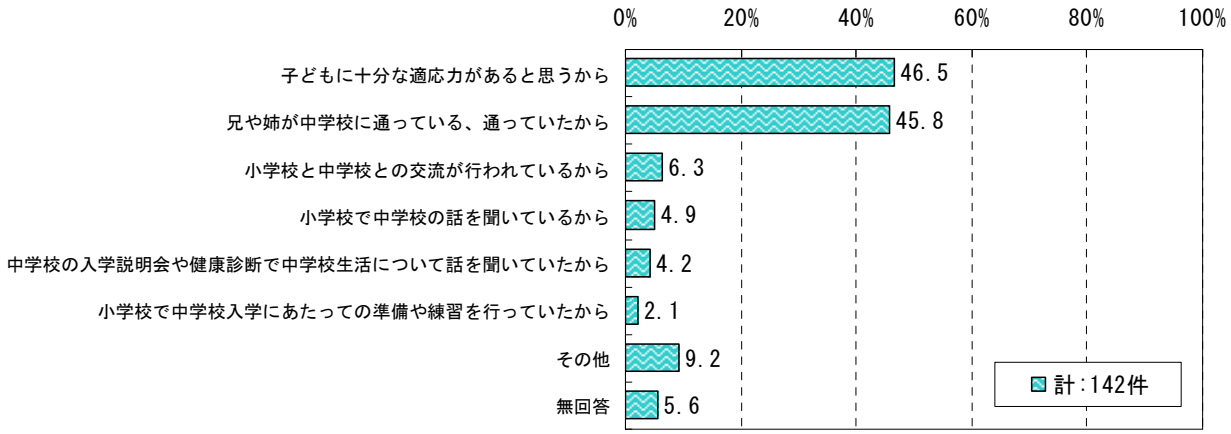
不安や心配に対する対応については、「学校に相談する」の回答の割合が 46.5%と最も高く、次いで「家庭中心に対応する」(40.3%)、「保護者どうしで相談する」(30.8%) の順となっています。「特に対応しない」の回答の割合は、16.5%です。

「その他」として、「塾などに通わせる」、「子供と話をする」、「まだわからない」などの回答があります。

（４）不安や心配がない理由

問 21　【問 19 で 18 の「特にない」に○をつけた場合に答えてください】
不安なことや心配なことがない理由は何ですか。（あてはまるもの全てに○）

図３－１７　不安なことや心配なことがない理由



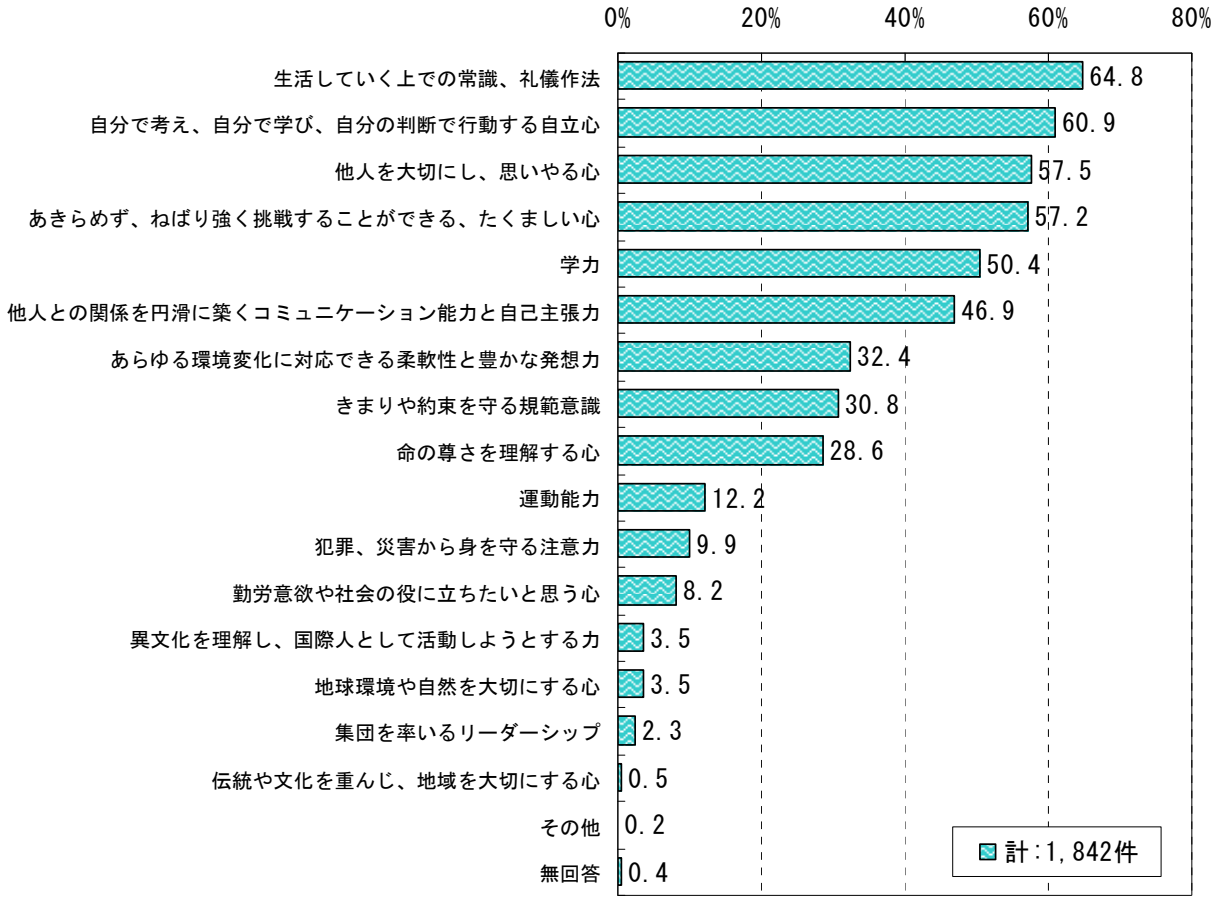
不安や心配がない理由については、「子どもに十分な適応力があると思うから」の回答の割合が 46.5%と最も高く、次いで「兄や姉が中学校に通っている、通っていたから」(45.8%) の順となっています。

「その他」として「友達がいっぱいいるから」、「入学してみないとわからないから」などの回答があります。

６．お子さんの将来像について

問 22　将来、成人し社会の支え手となる、あなたのお子さんに、中学を卒業する時までに、身に付けてほしい能力や考え方として、特に重要だと思うことは何ですか。（○は５つまで）

図３－１８　中学校卒業までに身に付けてほしい能力や考え方



中学校卒業までに身に付けてほしい能力や考え方については、「生活していく上での常識、礼儀作法」の回答の割合が 64.8％と最も高く、次いで「自分で考え、自分で学び、自分の判断で行動する自立心」（60.9％）、「他人を大切にし、思いやる心」（57.5％）、「あきらめず、ねばり強く挑戦することができる、たくましい心」（57.2％）、「学力」（50.4％）の順となっています。

「その他」として、「友達を大切にすること」、「ハンディキャップを持つ人達との共生力」などの回答があります。

■表３－５　地域別集計（中学校卒業までに身に付けてほしい能力や考え方）（単位　上段：件、下段：%）

	合計	学力	運動能力	生活していく上での常識、礼儀作法	きまりや約束を守る規範意識	他人を大切にし、思いやる心	あきらめず、ねばり強く挑戦することができる、たくましい心	命の尊さを理解する心	自分で考え、自分で学び、自分の判断で行動する自立心	他人との関係を円滑に築くコミュニケーション能力と自己主張力	あらゆる環境変化に対応できる柔軟性と豊かな発想力	集団を率いるリーダーシップ	犯罪、災害から身を守る注意力	勤労意欲や社会の役に立ちたいと思う心	伝統や文化を重んじ、地域を大切にする心	異文化を理解し、国際人として活動しようとする力	地球環境や自然を大切にする心	その他	無回答
全体	1,842	929	224	1,193	568	1,060	1,053	526	1,122	863	597	43	183	151	9	64	65	4	7
	100.0	50.4	12.2	64.8	30.8	57.5	57.2	28.6	60.9	46.9	32.4	2.3	9.9	8.2	0.5	3.5	3.5	0.2	0.4
北東ブロック	391	203	56	256	128	221	225	105	228	173	116	10	44	28	4	12	13	0	1
	100.0	51.9	14.3	65.5	32.7	56.5	57.5	26.9	58.3	44.2	29.7	2.6	11.3	7.2	1.0	3.1	3.3	0.0	0.3
北西ブロック	323	155	33	216	99	189	191	88	203	149	118	8	30	30	2	5	12	1	1
	100.0	48.0	10.2	66.9	30.7	58.5	59.1	27.2	62.8	46.1	36.5	2.5	9.3	9.3	0.6	1.5	3.7	0.3	0.3
松原ブロック	270	142	28	172	83	154	160	74	164	125	94	7	20	26	0	7	8	0	3
	100.0	52.6	10.4	63.7	30.7	57.0	59.3	27.4	60.7	46.3	34.8	2.6	7.4	9.6	0.0	2.6	3.0	0.0	1.1
中央ブロック	451	228	60	291	134	267	247	132	291	216	144	8	41	37	2	23	16	2	0
	100.0	50.6	13.3	64.5	29.7	59.2	54.8	29.3	64.5	47.9	31.9	1.8	9.1	8.2	0.4	5.1	3.5	0.4	0.0
南部ブロック	407	201	47	258	124	229	230	127	236	200	125	10	48	30	1	17	16	1	2
	100.0	49.4	11.5	63.4	30.5	56.3	56.5	31.2	58.0	49.1	30.7	2.5	11.8	7.4	0.2	4.2	3.9	0.2	0.5

地域別にみても、全体とほぼ同様の傾向がうかがえます。

７．自由記述

最後に、子ども教育の連携や草加市の教育についてご意見などがあれば、自由にご記入ください。

自由記述は、回収数 1,842 件中 265 件から回答があり、結果を項目別にまとめると以下のようになります。1 件の回答の中に複数の項目にまたがるものもあるため、各項目の回答件数の合計は 265 件より多くなっています。

■表３－６　自由記述（小学校６年生保護者）

項目			件数
小中学校に関すること	教育内容について		74
		学力向上に力を入れてほしい	20
		ゆとりのある授業をしてほしい	8
		命の尊さや思いやる心を教えるなど道徳の授業を大切にしてほしい	7
		子どもの個性や能力を尊重し、それを伸ばすように導いてほしい	7
		少人数クラスにしてほしい	5
		夏休みなどにプールの授業を増やしてほしい	4
		英語教育を充実してほしい	3
		体力向上を図って欲しい	3
		寺子屋を充実してほしい（どこの学校でもやってほしい）	2
		交通安全教育、犯罪から身を守る教育、災害教育を充実させてほしい	2
		レベル別の授業をしてほしい	2
		成長に応じた教育をしてほしい	2
		その他	9
	教員について		35
		教員の資質・指導力の向上を図ってほしい	16
		生徒や保護者にもっと厳しく接してほしい	7
		保護者ともっと交流、連携してほしい	6
		先生によって差がですぎないよう、指導内容・方法をある程度統一してほしい	3
		その他	3
	子どもたちへの対応について		58
		いじめに対してしっかりと対応してほしい	28
		もっと子どもにきめ細かく接してほしい	13
		いじめのない学校にしてほしい	11
		いじめについて、家庭と連携して対応できる体制づくりをしてほしい	3
		楽しく学校生活が送れるようにしてほしい	3
	特別支援教育について		7
		障害のある子どもへの支援を充実してほしい	5
		障害のある子どもと関わる機会を与えてほしい	1
		その他	1
	施設・設備について		5
		エアコンを設置してほしい	3
		校舎を立て替えてほしい、きれいにしてほしい	2

項　　目			件数
小中学校に関すること	安心・安全について（通学路の安全対策の強化など）		3
	給食、食育について		1
	進路相談、受験対策について		3
	学区域について		9
		中学校選択制を充実してほしい	5
		中学校選択制を廃止してほしい	2
		その他	2
	土曜授業について		23
		土曜授業を実施してほしい	23
	放課後について		9
		クラブ活動・部活動の充実	7
		その他	2
	家庭・地域との連携について		30
		家庭と学校の連携を充実してほしい	12
		親教育を充実してほしい	8
		保護者の相談窓口を充実してほしい	6
		ＰＴＡ活動の親の負担を軽減してほしい	2
		その他	2
学童、 放課後子ども教室に関すること	学童について		1
		学童の充実（預かり時間の延長、対象学年の拡大など）	1
教育行政に関すること	子ども教育の連携推進について		5
		幼稚園、保育園、小学校、中学校の連携を充実させてほしい	4
		その他	1
	教育施策全般について		31
		草加市の教育を充実してほしい	11
		学校の風紀を良くしてほしい	6
		市内の教育格差をなくしてほしい	4
		公立の中高一貫校を作ってほしい	2
		その他	8
その他	子どもの遊び場について		9
		安心してのびのびと子どもが遊べる公園などの増設・充実	8
		その他	1
	その他		13
		夕焼けチャイムの時間が遅い（特に夏期）のでもっと早くしてほしい	5
		マナーの守れない子どもが多い	3
		その他	5

Ⅳ. 中学校１年生保護者

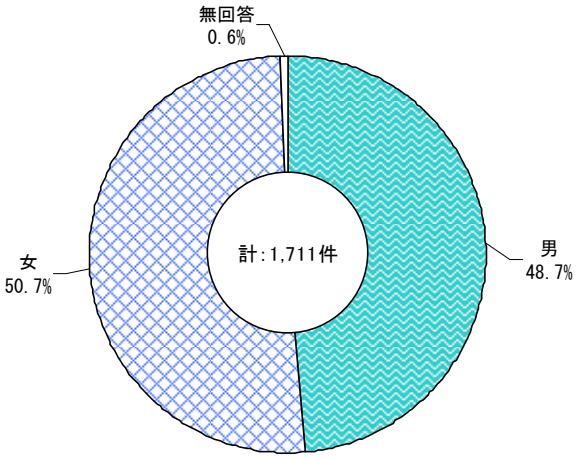
１. 基礎情報

■表４－１　地域別集計の内訳は次のようになっています。

地域名	中学校
北東ブロック	青柳、川柳、松江
北西ブロック	新田、新栄
松原ブロック	栄、花栗
中央ブロック	草加、瀬崎
南部ブロック	谷塚、両新田

（１）お子さんの性別

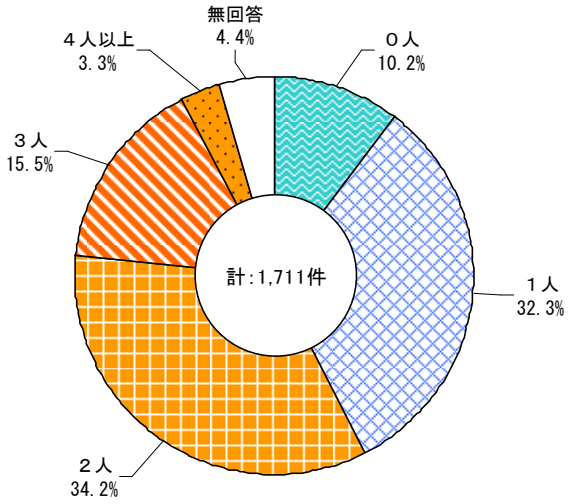
図４－１　お子さんの性別



お子さんの性別は、「男」が 48.7%、「女」が 50.7%となっています。

（２）兄弟姉妹の人数

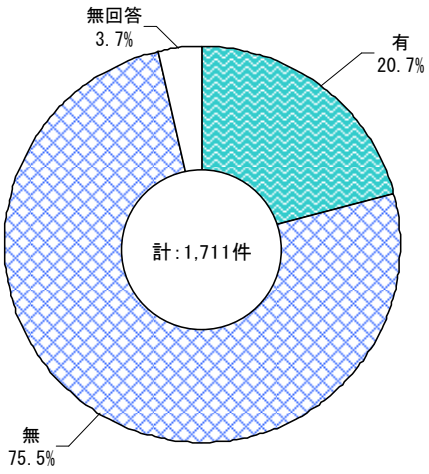
図４－２　兄弟姉妹の人数



兄弟姉妹の人数は、「２人」が 34.2%と最も高く、次いで「１人」(32.3%)、「３人」(15.5%)となっています。

（３）祖父母との同居

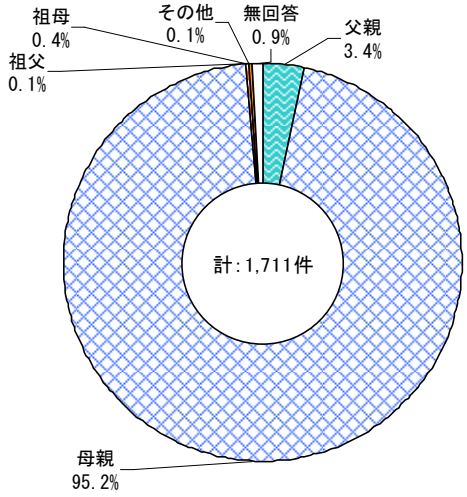
図４－３　祖父母との同居



祖父母との同居は、「有」が 20.7%、「無」が 75.5%と、「無」の割合が高くなっています。

（４）アンケート回答者の続柄

図４－４　アンケート回答者の続柄

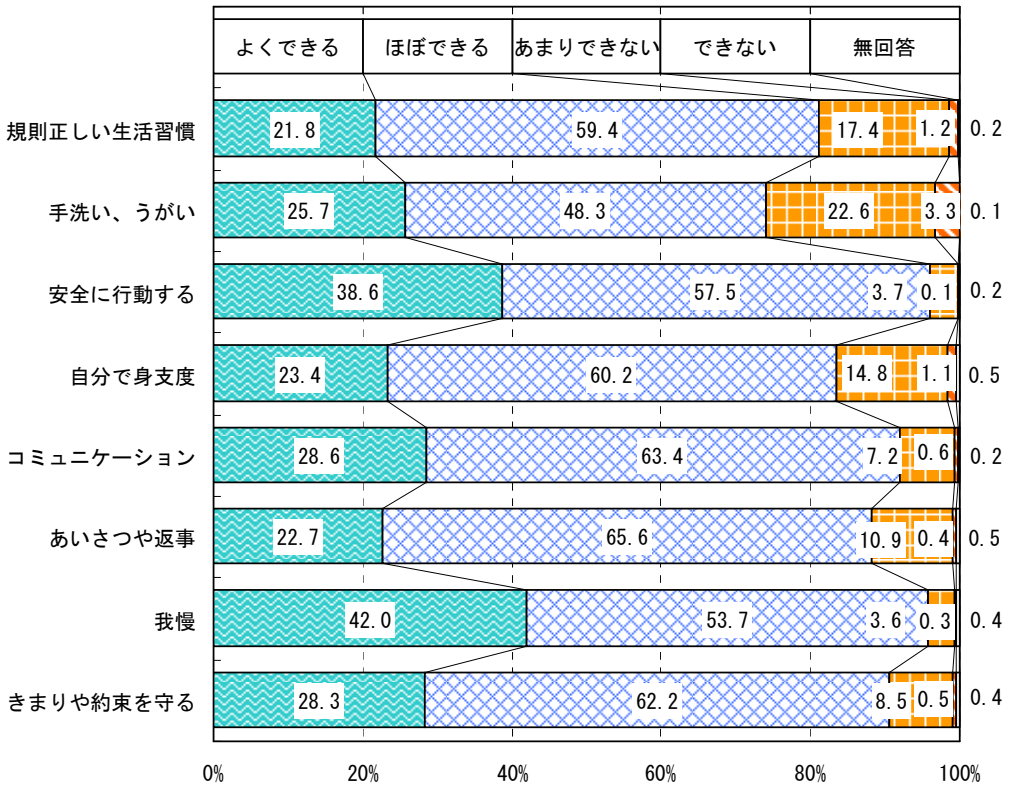


アンケート回答者の続柄は、「母親」が 95.2%と大部分を占めています。
「その他」として、「姉」との回答があります。

２．お子さんの生活の様子について

問１～８　お子さんの生活の様子について教えてください。（それぞれ○は１つだけ）

図４－５　お子さんの生活の様子

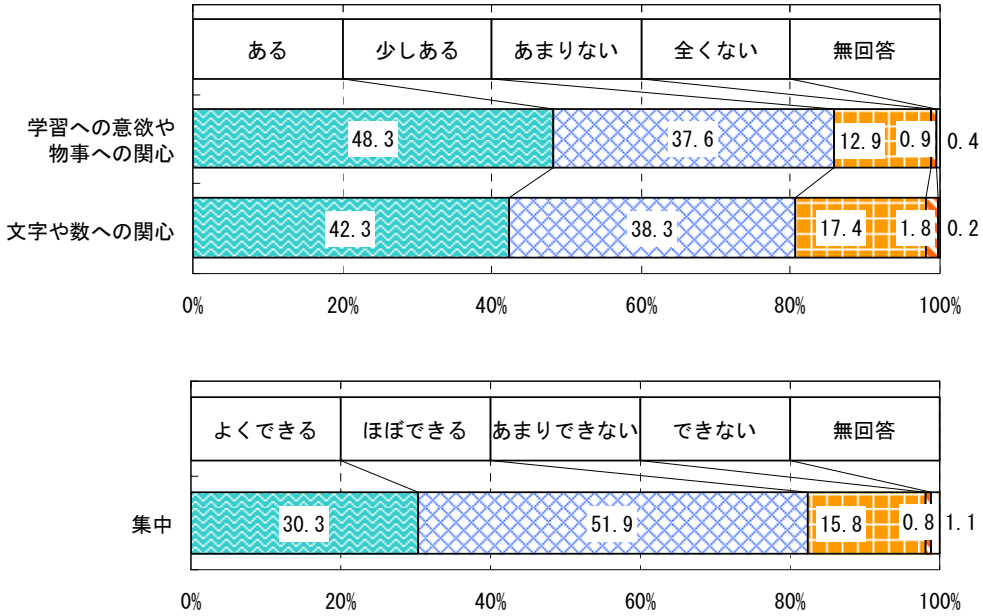


［選択肢の説明］
- **規則正しい生活習慣**…早寝早起き、朝ごはんなどの規則正しい生活習慣が身に付いていますか。
- **手洗い、うがい**…外出後や食事前に手洗い、うがいをしますか。
- **安全に行動する**…危ないことをしない、交通ルールを守るなど、安全に行動することができますか。
- **自分で身支度**…身の回りのことなど、自分のことを自分でしていますか。
- **コミュニケーション**…友達と一緒に遊ぶ、自分の気持ちを伝えるなど、周囲の人とコミュニケーションがとれていますか。
- **あいさつや返事**…あいさつや返事がきちんとできていますか。
- **我慢**…順番を待つ、友達に譲るなど、我慢をすることができますか。
- **きまりや約束を守る**…きまりや約束を守ることができますか。

お子さんの生活の様子については、肯定的な回答（「よくできる」と「ほぼできる」の合計）の割合が最も高いのは「安全に行動する」（96.1%）で、次いで「我慢」（95.7%）、「コミュニケーション」（92.0%）の順となっています。

問９～11　お子さんの生活の様子について教えてください。（それぞれ○は１つだけ）

図４－６　お子さんの生活の様子



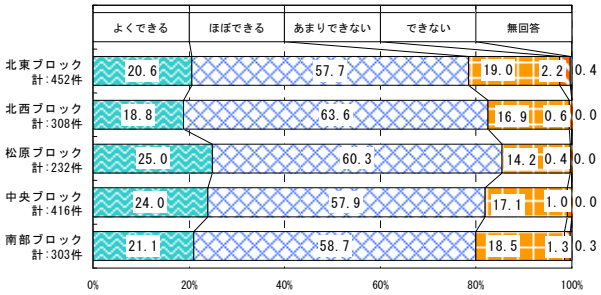
［選択肢の説明］
・**学習への意欲や物事への関心**…学習への意欲や、生活・周囲のさまざまな物事への関心を持ち、学校生活に積極的に取り組む意欲がありますか。
・**文字や数への関心**…文章を読んだり、計算や数量について理解しようとしたりするなど、文字や数への関心がありますか。
・**集中**…人の話を静かに聞いたり、物事にじっくり取り組んだりなど、集中して何かをすることができますか。

「学習への意欲や物事への関心」では、肯定的な回答（「ある」と「少しある」の合計）の割合が 85.9%、「文字や数への関心」では、肯定的な回答（「ある」と「少しある」の合計）の割合が 80.6%となっています。

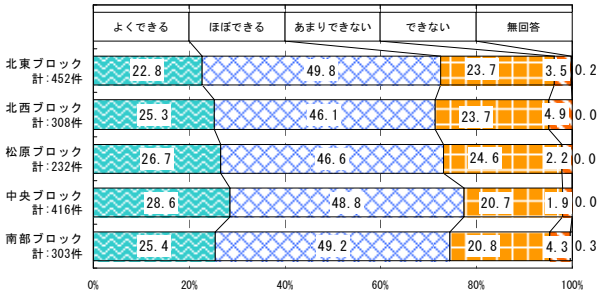
「集中」では、肯定的な回答（「よくできる」と「ほぼできる」の合計）の割合が 82.2%となっています。

■図４－７　地域別集計（お子さんの生活の様子）

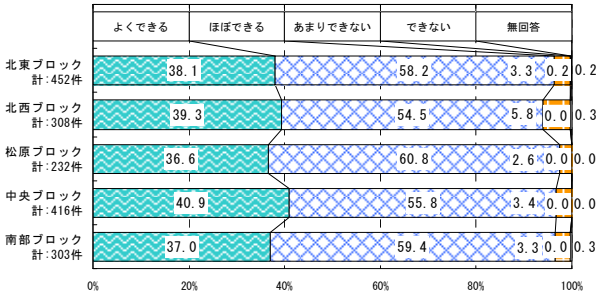
【規則正しい生活習慣】



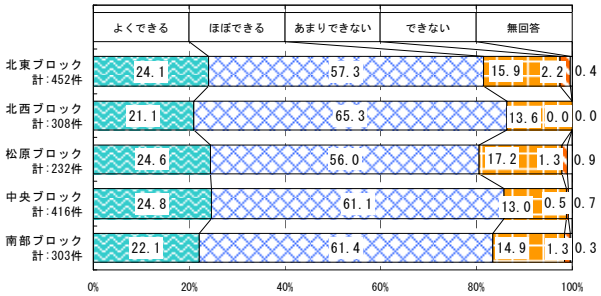
【手洗い、うがい】



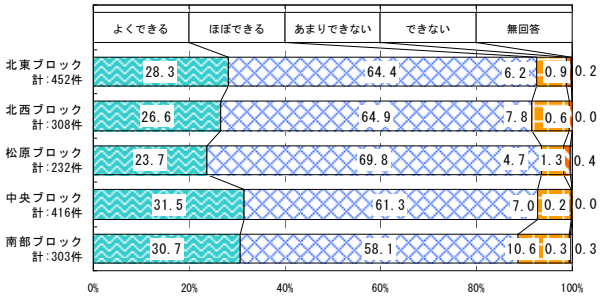
【安全に行動する】



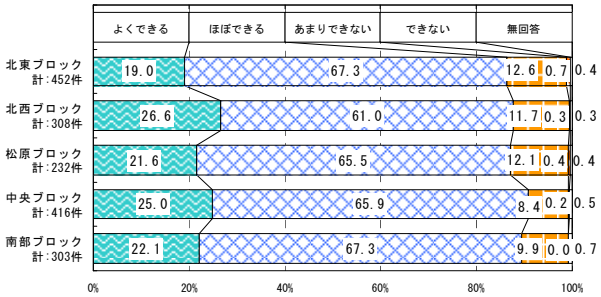
【自分で身支度】



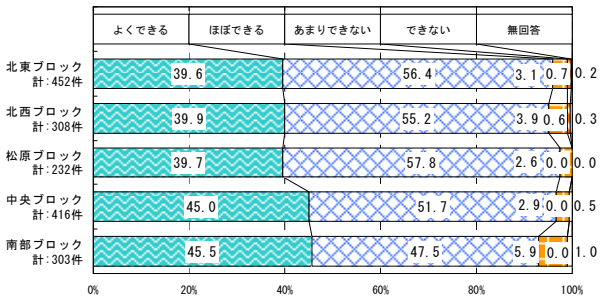
【コミュニケーション】



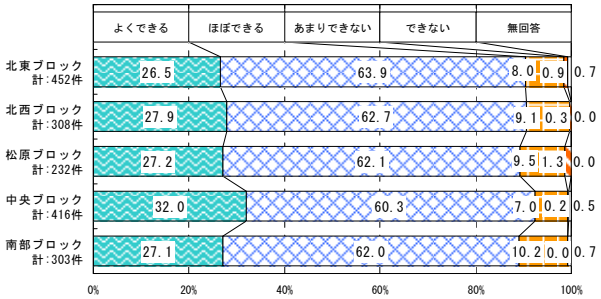
【あいさつや返事】



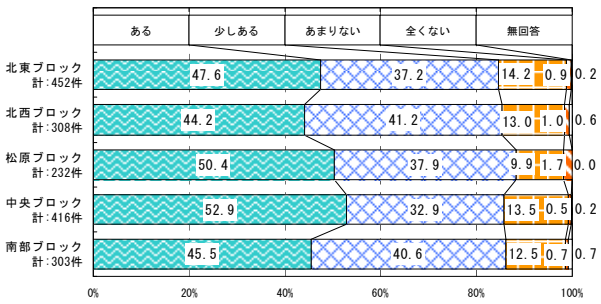
【我慢】



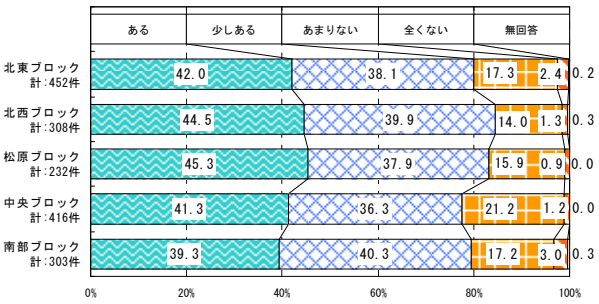
【きまりや約束を守る】



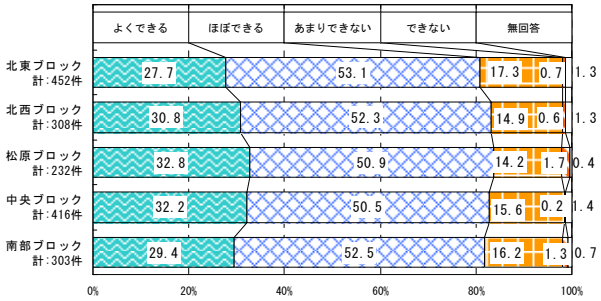
【学習への意欲や物事への関心】



【文字や数への関心】



【集中】



地域別にみると、「規則正しい生活習慣」では〔松原ブロック〕、「手洗い、うがい」では〔中央ブロック〕、「安全に行動する」では〔松原ブロック〕、「自分で身支度」では〔北西ブロック」、「コミュニケーション」では〔松原ブロック〕、「あいさつや返事」では〔中央ブロック〕、「我慢」では〔松原ブロック〕、「きまりや約束を守る」では〔中央ブロック〕が、肯定的な回答（「よくできる」と「ほぼできる」の合計）の割合が最も高くなっています。

「学習への意欲や物事への関心」では〔松原ブロック〕、「文字や数への関心」では〔北西ブロック〕が、肯定的な回答（「ある」と「少しある」の合計）の割合が最も高くなっています。

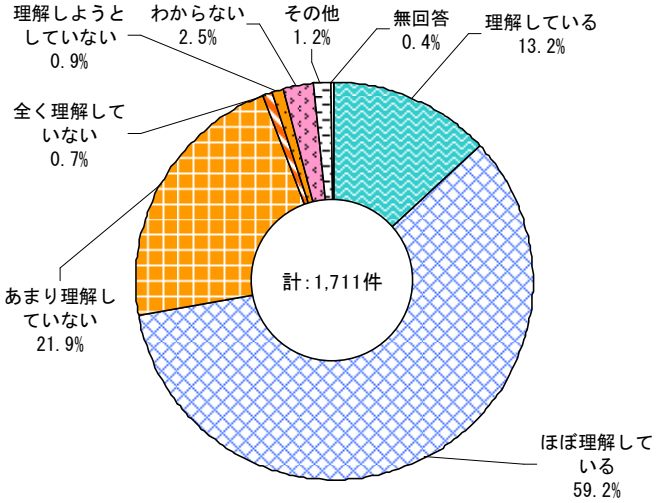
「集中」では〔松原ブロック〕が、肯定的な回答（「よくできる」と「ほぼできる」の合計）の割合が最も高くなっています。

３．お子さんの学習の様子について

（１）学校の授業の理解度

問 12　お子さんは、学校での授業を理解している様子ですか。（○は１つだけ）

図４－８　学校の授業の理解度



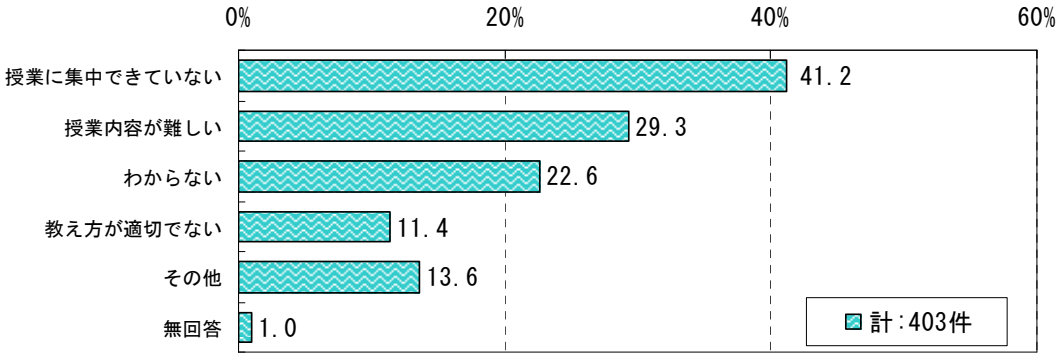
学校の授業の理解度については、肯定的な回答（「理解している」と「ほぼ理解している」の合計）の割合が 72.4%を占めています。

「その他」として、「教科によって異なる」、「理解しようとしている」などの回答があります。

（２）学校の授業を理解していない理由

問 13　【問 12 で３～５に○をつけた場合に答えてください】
学校の授業を理解していない理由や原因は何だと思われますか。
（あてはまるもの全てに○）

図４－９　学校の授業を理解していない理由



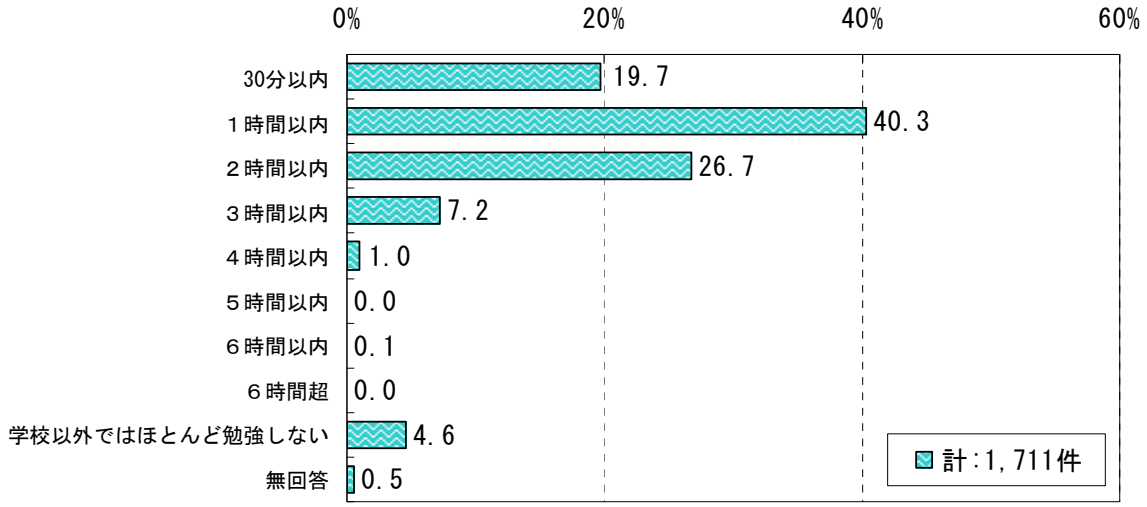
学校の授業を理解していない理由としては、「授業に集中できていない」の回答の割合が 41.2%と最も高く、次いで「授業内容が難しい」（29.3%）、「わからない」（22.6%）の順となっています。

「その他」として、「本人の意欲が欠けている」、「授業のペースについていけていない」などの回答があります。

（３）１日の平均学習時間

問 14　学校以外での、１日の平均学習時間（塾などでの学習の時間を含む）はどのくらいですか。
（○は１つだけ）

図４－１０　１日の平均学習時間



１日の平均学習時間は、「１時間以内」の回答の割合が 40.3%と最も高く、次いで「２時間以内」（26.7%）、「30 分以内」（19.7%）の順となっています。「学校以外ではほとんど勉強しない」の回答の割合が 4.6%であり、「30 分以内」（19.7%）と合わせて考えると、一部の生徒は宿題を行うための十分な時間を確保していない可能性を考えることができます。

■表４－２　集中して物事を行うこと別集計（１日の平均学習時間）（単位　上段：件、下段：%）

		１日の平均学習時間										
		合計	30分以内	1時間以内	2時間以内	3時間以内	4時間以内	5時間以内	6時間以内	6時間超	学校以外ではほとんど勉強しない	無回答
集中して物事を行うこと	全体	1,711 100.0	337 19.7	690 40.3	456 26.7	123 7.2	17 1.0	0 0.0	1 0.1	0 0.0	78 4.6	9 0.5
	よくできる	519 100.0	62 11.9	200 38.5	178 34.3	64 12.3	7 1.3	0 0.0	1 0.2	0 0.0	6 1.2	1 0.2
	ほぼできる	888 100.0	182 20.5	371 41.8	231 26.0	49 5.5	9 1.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	38 4.3	8 0.9
	あまりできない	271 100.0	79 29.2	111 41.0	40 14.8	9 3.3	1 0.4	0 0.0	0 0.0	0 0.0	31 11.4	0 0.0
	できない	14 100.0	7 50.0	3 21.4	1 7.1	1 7.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 14.3	0 0.0

集中して物事を行うことの回答別に１日の平均学習時間をみると、肯定的な回答（「よくできる」と「ほぼできる」の合計）の場合ほど、１日の平均学習時間が長くなる傾向をうかがうことができます。

■表４－３　学校での授業の理解度別集計（１日の平均学習時間）（単位　上段：件、下段：%）

		１日の平均学習時間										
		合計	30分以内	1時間以内	2時間以内	3時間以内	4時間以内	5時間以内	6時間以内	6時間超	学校以外ではほとんど勉強しない	無回答
学校での授業の理解	全体	1,711 100.0	337 19.7	690 40.3	456 26.7	123 7.2	17 1.0	0 0.0	1 0.1	0 0.0	78 4.6	9 0.5
	理解している	225 100.0	16 7.1	82 36.4	81 36.0	33 14.7	9 4.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 1.3	1 0.4
	ほぼ理解している	1,013 100.0	190 18.8	418 41.3	296 29.2	72 7.1	7 0.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	25 2.5	5 0.5
	あまり理解していない	375 100.0	98 26.1	161 42.9	62 16.5	13 3.5	0 0.0	0 0.0	1 0.3	0 0.0	40 10.7	0 0.0
	全く理解していない	12 100.0	4 33.3	5 41.7	1 8.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 16.7	0 0.0
	理解しようとしていない	16 100.0	8 50.0	3 18.8	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	5 31.3	0 0.0
	わからない	43 100.0	12 27.9	12 27.9	13 30.2	1 2.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 7.0	2 4.7
	その他	21 100.0	9 42.9	7 33.3	2 9.5	1 4.8	1 4.8	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 4.8

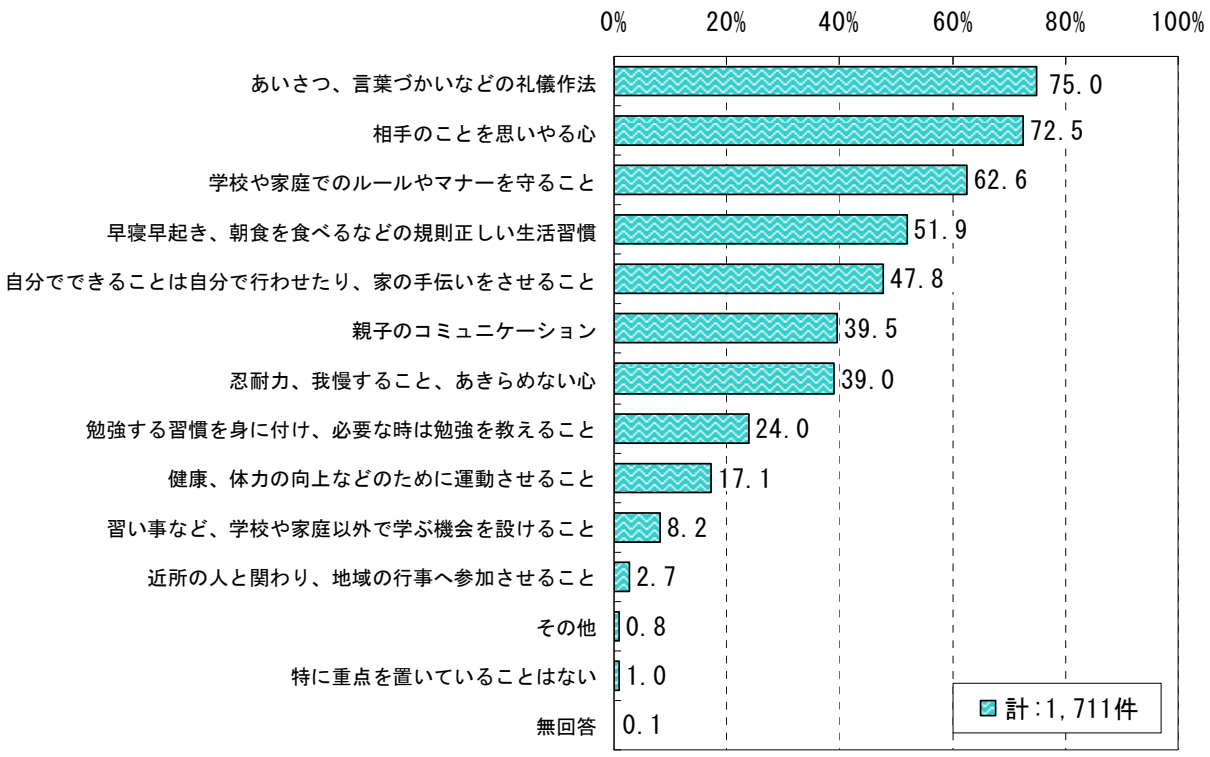
学校での授業の理解度別に１日の平均学習時間をみると、肯定的な回答（「理解している」と「ほぼ理解している」の合計）の場合ほど、１日の平均学習時間が長くなる傾向をうかがうことができます。

４．家庭での教育について

（１）家庭でのしつけや教育で重視していること

問 15　家庭でのしつけや教育で、特に重視していることは何ですか。（○は５つまで）

図４－１１　家庭でのしつけや教育で重視していること



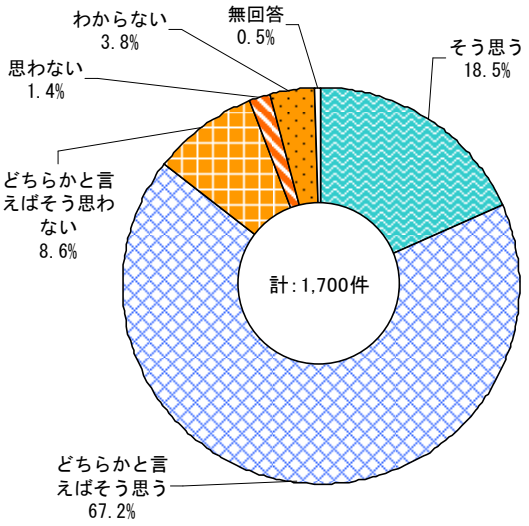
家庭でのしつけや教育で重視していることとしては、「あいさつ、言葉づかいなどの礼儀作法」の回答の割合が 75.0%と最も高く、次いで「相手のことを思いやる心」（72.5%）、「学校や家庭でのルールやマナーを守ること」（62.6%）の順となっています。

「その他」として、「努力することの大切さ、努力と結果の関係」、「仲間を作る、大切にする」、「自分の考え、自分を大切にする心」などの回答があります。

（２）子どもに対するしつけや教育の実践

問 16　【問 15 で１～12 に○をつけた場合に答えてください】
保護者の方が、お子さんに対して、ご家庭で特に重視しているしつけや教育を実際にできていると思いますか。（○は１つだけ）

図４－１２　子どもに対するしつけや教育の実践

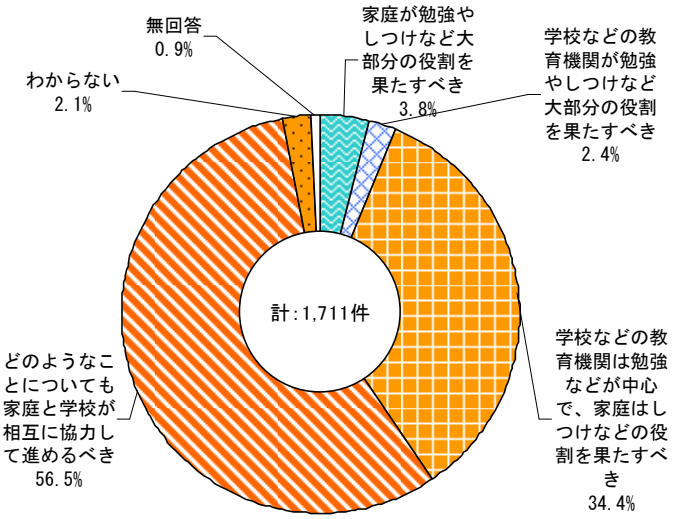


子どもに対するしつけや教育の実践ができているかについては、肯定的な回答（「そう思う」と「どちらかと言えばそう思う」の合計）の割合が 85.7％と、８割を超えています。

（３）家庭と学校などの教育機関の役割

問 17　子どもを育てるにあたっての、家庭と学校などの教育機関（幼稚園、保育園を含む）の役割について、もっとも近い考えはどれですか。（○は１つだけ）

図４－１３　家庭と学校などの教育機関の役割



家庭と学校などの教育機関の役割については、「どのようなことについても家庭と学校が相互に協力して進めるべき」の回答の割合が 56.5%と最も高く、次いで「学校などの教育機関は勉強などが中心で、家庭はしつけなどの役割を果たすべき」（34.4%）、「家庭が勉強やしつけなど大部分の役割を果たすべき」（3.8%）の順となっています。

■表４－４　地域別集計（家庭と学校などの教育機関の役割）（単位　上段：件、下段：%）

	合計	家庭が勉強やしつけなど大部分の役割を果たすべき	学校などの教育機関が勉強やしつけなど大部分の役割を果たすべき	学校などの教育機関は勉強などが中心で、家庭はしつけなどの役割を果たすべき	どのようなことについても家庭と学校が相互に協力して進めるべき	わからない	無回答
全体	1,711 100.0	65 3.8	41 2.4	588 34.4	966 56.5	36 2.1	15 0.9
北東ブロック	452 100.0	13 2.9	13 2.9	152 33.6	256 56.6	12 2.7	6 1.3
北西ブロック	308 100.0	12 3.9	9 2.9	113 36.7	165 53.6	7 2.3	2 0.6
松原ブロック	232 100.0	10 4.3	5 2.2	70 30.2	138 59.5	8 3.4	1 0.4
中央ブロック	416 100.0	19 4.6	12 2.9	148 35.6	226 54.3	5 1.2	6 1.4
南部ブロック	303 100.0	11 3.6	2 0.7	105 34.7	181 59.7	4 1.3	0 0.0

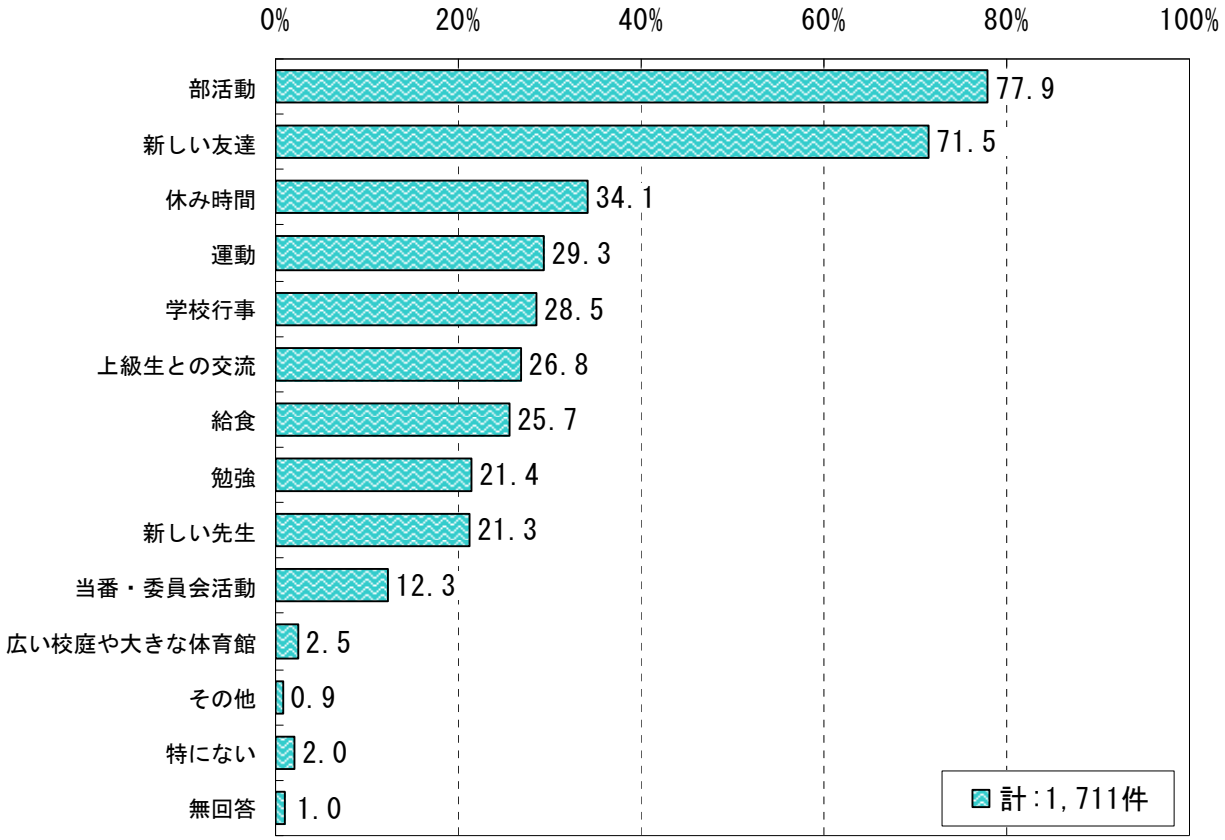
地域別にみても全体と同様の傾向がうかがえます。

５．中学校入学後のお子さんの様子について

（１）中学校入学後の生活で楽しんでいること

問 18　お子さんが中学校入学後の生活において、楽しんでいることは何ですか。
（あてはまるもの全てに○）

図４－１４　中学校入学後の生活で楽しんでいること



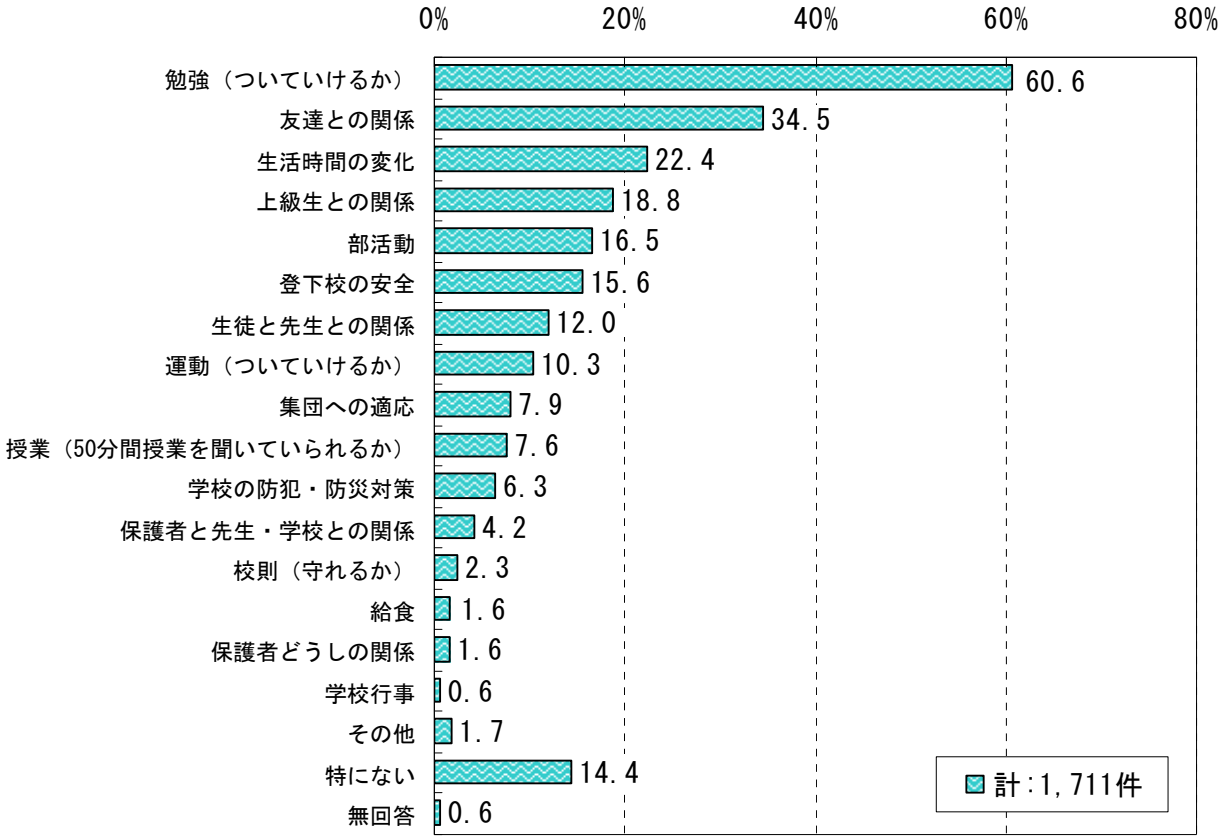
中学校入学後の生活で楽しんでいることとしては、「部活動」の回答の割合が 77.9%と最も高く、次いで「新しい友達」（71.5%）、「休み時間」（34.1%）の順となっています。

「その他」として、「習い事」、「サッカークラブチームでの活動」などの回答があります。

（２）中学校入学後の不安

問 19　お子さんの中学校入学後の生活において、不安に感じていることは何かありますか。
（あてはまるもの全てに〇）

図４－１５　中学校入学後の不安



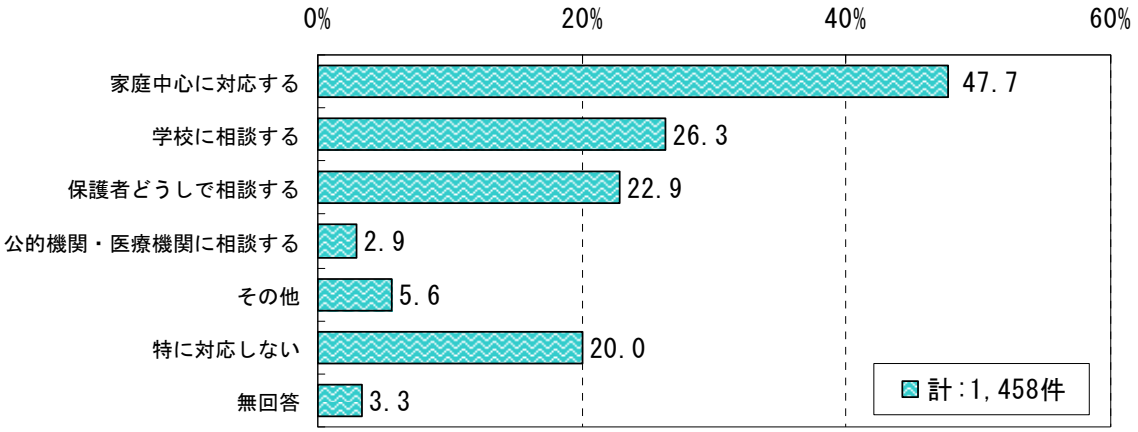
中学校入学後の不安としては、「勉強（ついていけるか)」の回答の割合が 60.6%と最も高く、次いで「友達との関係」(34.5%)、「生活時間の変化」(22.4%) の順となっています。

「その他」として、「いじめ」、「受験へのストレス」「非行」、「部活、習い事の両立」などの回答があります。

（３）不安や心配に対する対応

問 20　【問 19 で１～17 に○をつけた場合に答えてください】
不安や心配に対しては、何か対応をされますか（実施済みを含む）。（あてはまるもの全てに○）

図４－１６　不安や心配に対する対応



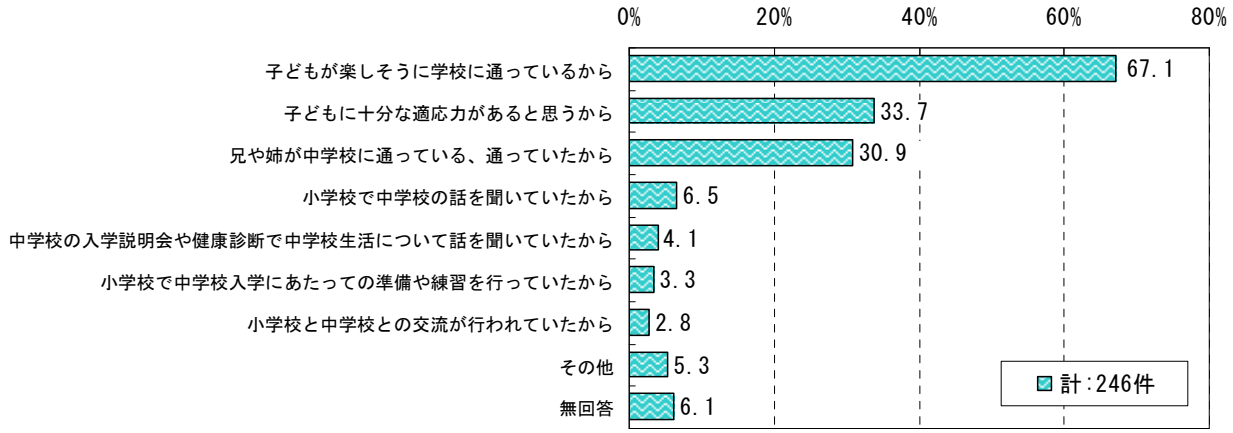
不安や心配に対する対応については、「家庭中心に対応する」の回答の割合が 47.7%と最も高く、次いで「学校に相談する」(26.3%)、「保護者どうしで相談する」(22.9%) の順となっています。「特に対応しない」の回答の割合は 20.0%です。

「その他」として、「本人を見守る」、「塾などに通う」などの回答があります。

（４）不安がない理由

問 21　【問 19 で 18 の「特にない」に○をつけた場合に答えてください】
不安に感じていることがない理由は何ですか。（あてはまるもの全てに○）

図４－１７　不安がない理由



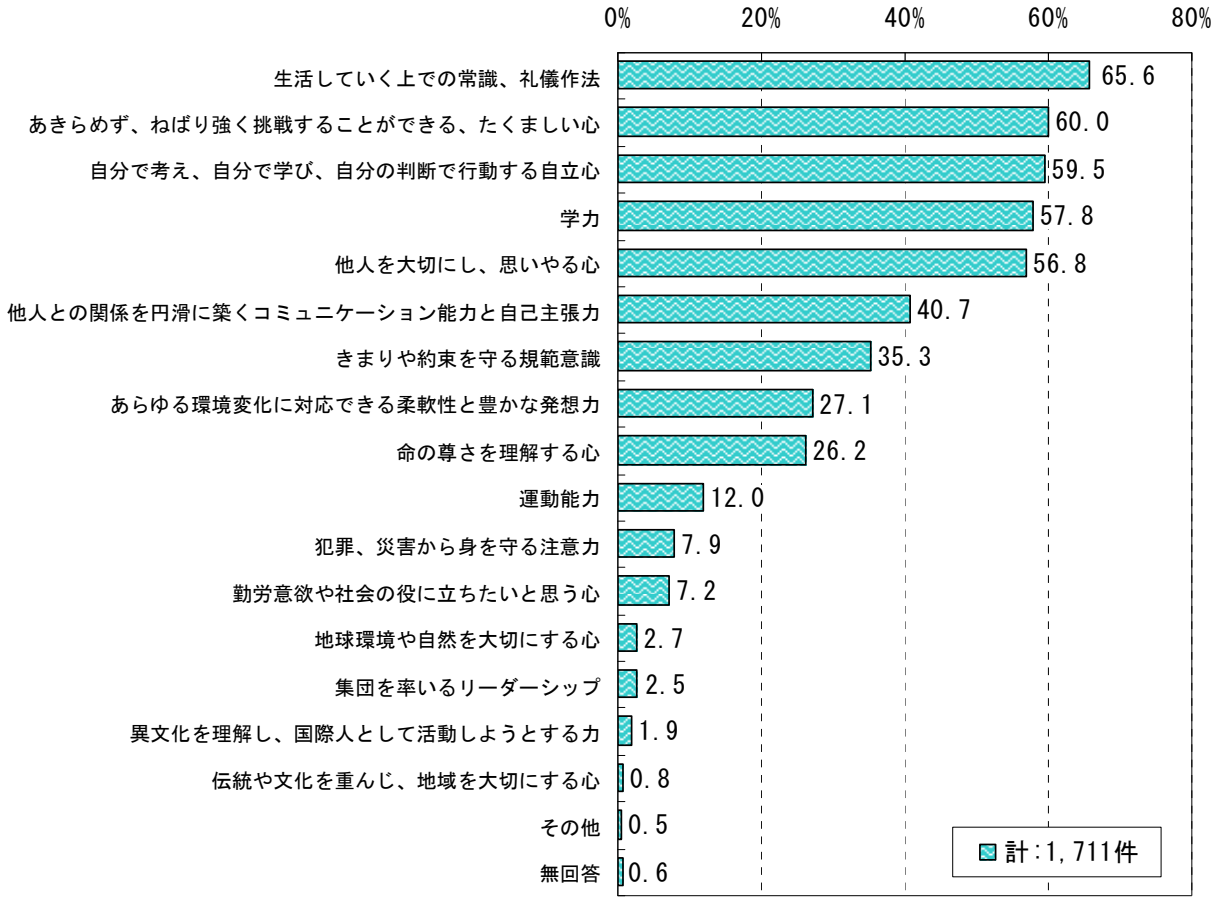
不安がない理由については、「子どもが楽しそうに学校に通っているから」の回答の割合が 67.1%と最も高く、次いで「子どもに十分適応能力があると思うから」(33.7%)、「兄や姉が中学校に通っている、通っていたから」(30.9%) の順となっています。

「その他」として「そこまでは不安と感じない」、「小学生の時から友達が多い方だから」などの回答があります。

６．お子さんの将来像について

問 22　将来、成人し社会の支え手となる、あなたのお子さんに、中学を卒業する時までに、身に付けてほしい能力や考え方として、特に重要だと思うことは何ですか。（○は５つまで）

図４－１８　中学校卒業までに身に付けてほしい能力や考え方



中学校卒業までに身に付けてほしい能力や考え方については、「生活していく上での常識、礼儀作法」の回答の割合が 65.6%と最も高く、次いで「あきらめず、ねばり強く挑戦することができる、たくましい心」(60.0%)、「自分で考え、自分で学び、自分の判断で行動する自立心」(59.5%)、「学力」(57.8%)、「他人を大切にし、思いやる心」(56.8%) の順となっています。

「その他」として、「どんな事にも負けない強い精神力」、「人と違うものの見方・考え方ができるようになる力」などの回答があります。

■表４－５　地域別集計（中学校卒業までに身に付けてほしい能力や考え方）（単位　上段：件、下段：%）

	合計	学力	運動能力	生活していく上での常識、礼儀作法	きまりや約束を守る規範意識	他人を大切にし、思いやる心	あきらめず、ねばり強く挑戦することができる、たくましい心	命の尊さを理解する心	自分で考え、自分で学び、自分の判断で行動する自立心	他人との関係を円滑に築くコミュニケーション能力と自己主張力	あらゆる環境変化に対応できる柔軟性と豊かな発想力	集団を率いるリーダーシップ	犯罪、災害から身を守る注意力	勤労意欲や社会の役に立ちたいと思う心	伝統や文化を重んじ、地域を大切にする心	異文化を理解し、国際人として活動しようとする力	地球環境や自然を大切にする心	その他	無回答
全体	1,711	989	206	1,123	604	972	1,026	448	1,018	696	463	42	135	124	13	33	47	8	10
	100.0	57.8	12.0	65.6	35.3	56.8	60.0	26.2	59.5	40.7	27.1	2.5	7.9	7.2	0.8	1.9	2.7	0.5	0.6
北東ブロック	452	268	58	296	156	252	282	119	257	178	117	12	38	30	5	6	7	2	2
	100.0	59.3	12.8	65.5	34.5	55.8	62.4	26.3	56.9	39.4	25.9	2.7	8.4	6.6	1.1	1.3	1.5	0.4	0.4
北西ブロック	308	168	37	203	117	174	178	84	174	127	76	6	23	25	1	4	10	1	5
	100.0	54.5	12.0	65.9	38.0	56.5	57.8	27.3	56.5	41.2	24.7	1.9	7.5	8.1	0.3	1.3	3.2	0.3	1.6
松原ブロック	232	129	29	151	77	136	131	58	152	93	70	5	16	23	1	3	9	0	2
	100.0	55.6	12.5	65.1	33.2	58.6	56.5	25.0	65.5	40.1	30.2	2.2	6.9	9.9	0.4	1.3	3.9	0.0	0.9
中央ブロック	416	248	45	271	146	246	251	101	255	168	119	9	35	23	4	8	13	1	1
	100.0	59.6	10.8	65.1	35.1	59.1	60.3	24.3	61.3	40.4	28.6	2.2	8.4	5.5	1.0	1.9	3.1	0.2	0.2
南部ブロック	303	176	37	202	108	164	184	86	180	130	81	10	23	23	2	12	8	4	0
	100.0	58.1	12.2	66.7	35.6	54.1	60.7	28.4	59.4	42.9	26.7	3.3	7.6	7.6	0.7	4.0	2.6	1.3	0.0

地域別にみても、全体とほぼ同様の傾向がうかがえますが、〔松原ブロック〕では「自分で考え、自分で学び、自分の判断で行動する自立心」の回答の割合が最も高くなっています。

7．自由記述

最後に、子ども教育の連携や草加市の教育についてご意見などがあれば、自由にご記入ください。

自由記述は、回収数 1,711 件中 188 件から回答があり、結果を項目別にまとめると以下のようになります。1 件の回答の中に複数の項目にまたがるものもあるため、各項目の回答件数の合計は 188 件より多くなっています。

■表４－６　自由記述（中学校１年生保護者）

項目			件数
小中学校に関すること	教育内容について		50
		ゆとりのある授業をしてほしい	9
		命の尊さや思いやる心を教えるなど道徳の授業を大切にしてほしい	8
		学力向上に力を入れてほしい	6
		英語教育を充実してほしい	3
		レベル別の授業をしてほしい	3
		寺子屋を充実してほしい（どこの学校でもやってほしい）	2
		少人数クラスにしてほしい	2
		交通安全教育、犯罪から身を守る教育、災害教育を充実させてほしい	2
		子どもの個性や能力を尊重し、それを伸ばすように導いてほしい	2
		成長に応じた教育をしてほしい	2
		その他	11
	教員について		28
		教員の資質・指導力の向上を図ってほしい	14
		生徒や保護者にもっと厳しく接してほしい	7
		保護者ともっと交流、連携してほしい	3
		やる気のある経験豊富な先生を採用してほしい	2
		その他	2
	子どもたちへの対応について		35
		いじめに対してしっかりと対応してほしい	19
		いじめのない学校にしてほしい	10
		もっと子どもにきめ細かく接してほしい	6
	特別支援教育について		3
		障害のある子どもへの支援を充実してほしい	3
	施設・設備について		9
		エアコンを設置してほしい	6
		校舎を立て替えてほしい、きれいにしてほしい	2
		その他	1
	安心・安全について		4
		登下校、通学路の安全対策を強化してほしい	4
	給食、食育について		2
	進路相談、受験対策について		2
	学区域について		5
		中学校選択制を充実してほしい	3
		その他	2
	土曜授業について		10
		土曜授業を実施してほしい	10
	放課後について		8
		クラブ活動・部活動の充実	6
		放課後の学び、運動、遊びの場を充実してほしい	2
	家庭・地域との連携について		14
		家庭と学校の連携を充実してほしい	7
		親教育を充実してほしい	4
		保護者の相談窓口を充実してほしい	2
		その他	1

項　　目			件数
教育行政に関すること	子ども教育の連携推進について		5
		幼稚園、保育園、小学校、中学校の連携を充実させてほしい	4
		その他	1
	教育施策全般について		24
		草加市の子どもの教育に満足している	7
		草加市の教育を充実してほしい	5
		学校の風紀を良くしてほしい	5
		市内の教育格差をなくしてほしい	2
		その他	5
その他	子どもの遊び場について		2
		安心してのびのびと子どもが遊べる公園などの増設・充実	2
	その他		8
		夕焼けチャイムの時間が遅い（特に夏期）のでもっと早くしてほしい	2
		マナーの守れない子どもが多い	2
		その他	4

Ⅴ．中学校３年生保護者

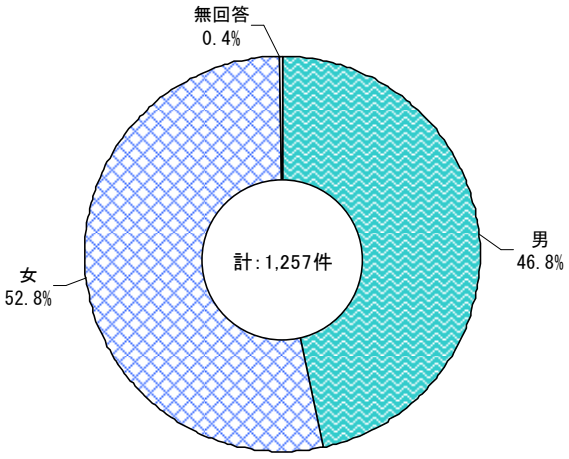
１．基礎情報

■表５－１　地域別集計の内訳は、次のようになっています。

地域名	中学校
北東ブロック	青柳、川柳、松江
北西ブロック	新田、新栄
松原ブロック	栄、花栗
中央ブロック	草加、瀬崎
南部ブロック	谷塚、両新田

（１）お子さんの性別

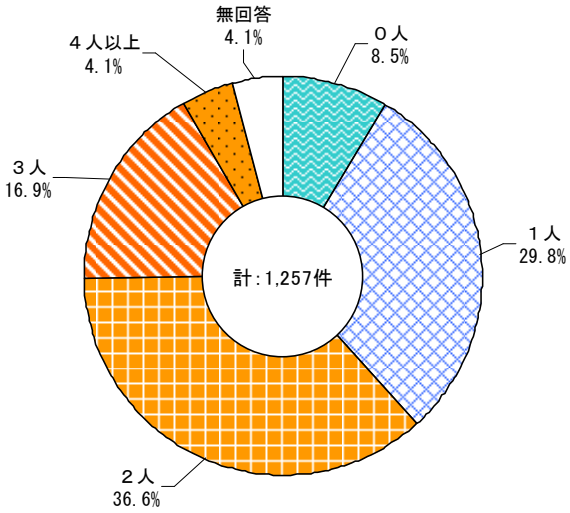
図５－１　お子さんの性別



お子さんの性別は、「男」が 46.8%、「女」が 52.8%となっています。

（２）兄弟姉妹の人数

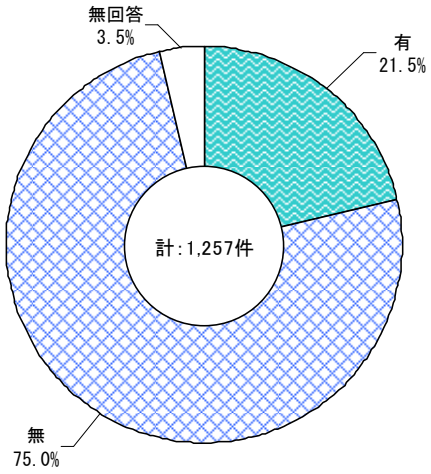
図５－２　兄弟姉妹の人数



兄弟姉妹の人数は、「２人」が 36.6%と最も高く、次いで「１人」(29.8%)、「３人」(16.9%)となっています。

（３）祖父母との同居

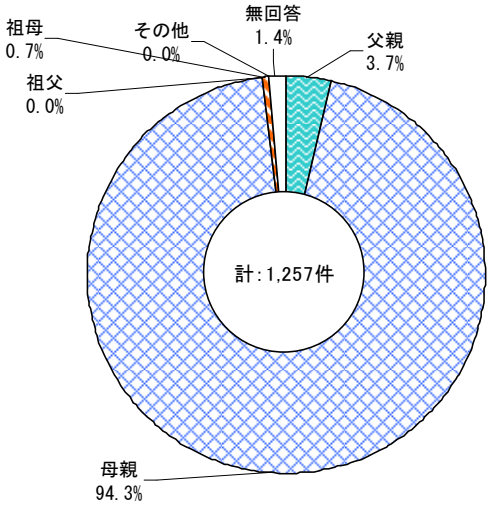
図５－３　祖父母との同居



祖父母との同居は、「有」が 21.5%、「無」が 75.0%と、「無」の割合が高くなっています。

（４）アンケート回答者の続柄

図５－４　アンケート回答者の続柄

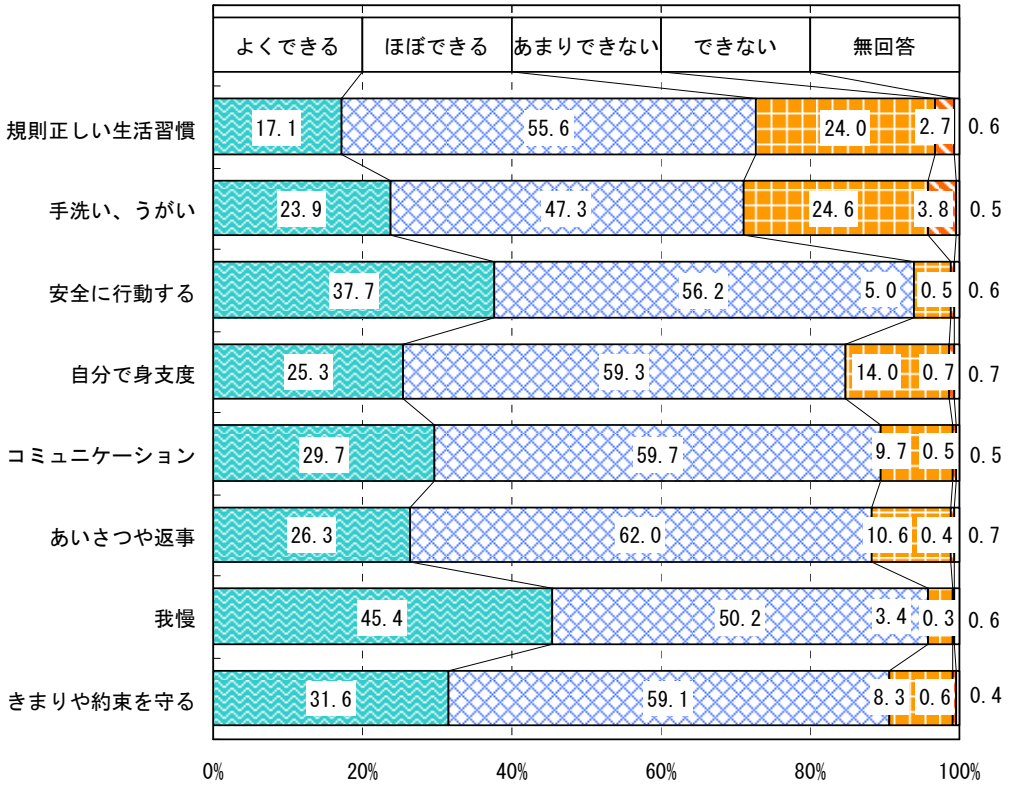


アンケート回答者の続柄は、「母親」が 94.3%と大部分を占めています。

２．お子さんの生活の様子について

問１～８　お子さんの生活の様子について教えてください。（それぞれ○は１つだけ）

図５－５　お子さんの生活の様子



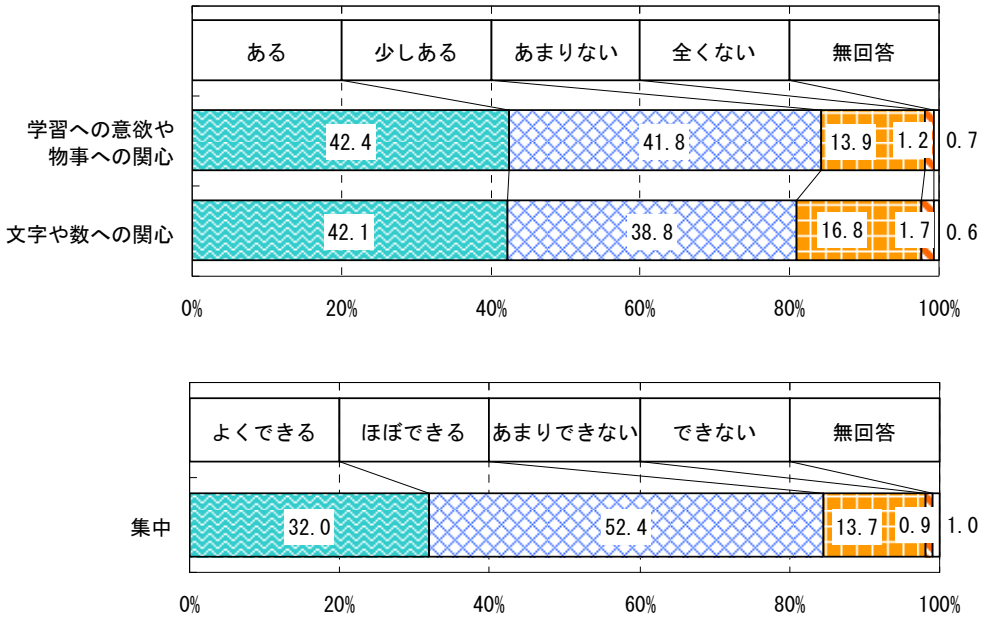
［選択肢の説明］
- **規則正しい生活習慣**…早寝早起き、朝ごはんなどの規則正しい生活習慣が身に付いていますか。
- **手洗い、うがい**…外出後や食事前に手洗い、うがいをしますか。
- **安全に行動する**…危ないことをしない、交通ルールを守るなど、安全に行動することができますか。
- **自分で身支度**…身の回りのことなど、自分のことを自分でしていますか。
- **コミュニケーション**…友達と一緒に遊ぶ、自分の気持ちを伝えるなど、周囲の人とコミュニケーションがとれていますか。
- **あいさつや返事**…あいさつや返事がきちんとできていますか。
- **我慢**…順番を待つ、友達に譲るなど、我慢をすることができますか。
- **きまりや約束を守る**…きまりや約束を守ることができますか。

お子さんの生活の様子については、肯定的な回答（「よくできる」と「ほぼできる」の合計）の割合が最も高いのは「我慢」（95.6%）で、次いで「安全に行動する」（93.9%）、「きまりや約束を守る」（90.7%）の順となっています。

「規則正しい生活習慣」、「手洗い、うがい」では、「あまりできない」と「できない」を合計した回答の割合が、それぞれ 30%弱となっています。

問９～11　お子さんの生活の様子について教えてください。（それぞれ○は１つだけ）

図５－６　お子さんの生活の様子



［選択肢の説明］

・**学習への意欲や物事への意欲**…学習への意欲や、生活・周囲のさまざまな物事への関心を持ち、学校生活に積極的に取り組む意欲がありますか。

・**文字や数への関心**…文章を読んだり、計算や数量について理解しようとしたりするなど、文字や数への関心がありますか。

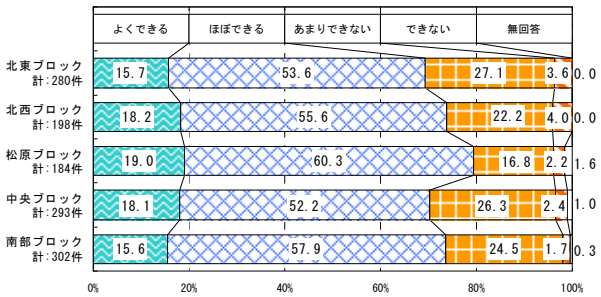
・**集中**…人の話を静かに聞いたり、物事にじっくり取り組んだりなど、集中して何かをすることができますか。

「学習への意欲や物事への関心」では、肯定的な回答（「ある」と「少しある」の合計）の割合が 84.2%、「文字や数への関心」では、肯定的な回答（「ある」と「少しある」の合計）の割合が 80.9%となっています。

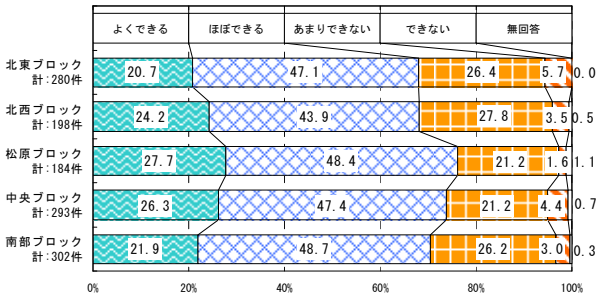
「集中」では、肯定的な回答（「よくできる」と「ほぼできる」の合計）の割合が 84.4%となっています。

■図５－７　地域別集計（お子さんの生活の様子）

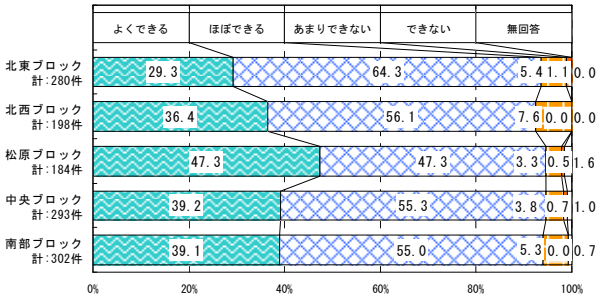
【規則正しい生活習慣】



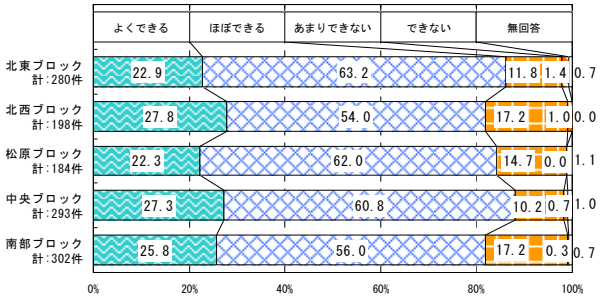
【手洗い、うがい】



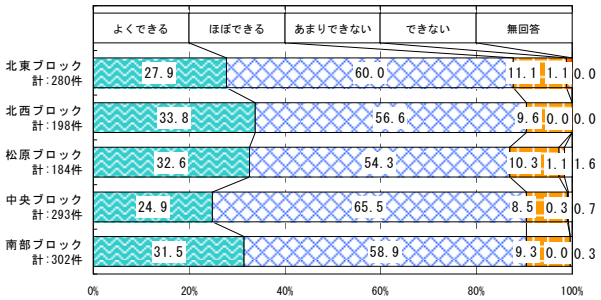
【安全に行動する】



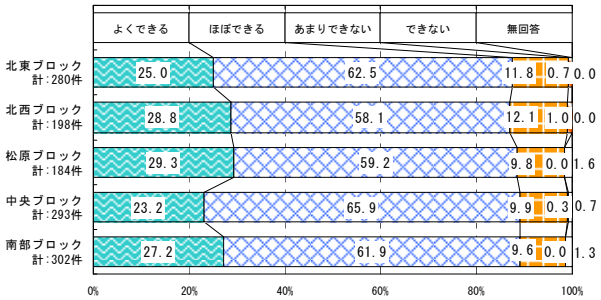
【自分で身支度】



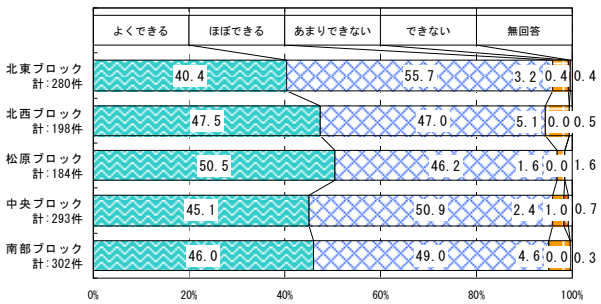
【コミュニケーション】



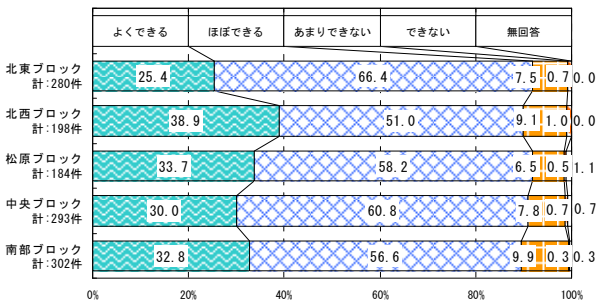
【あいさつや返事】



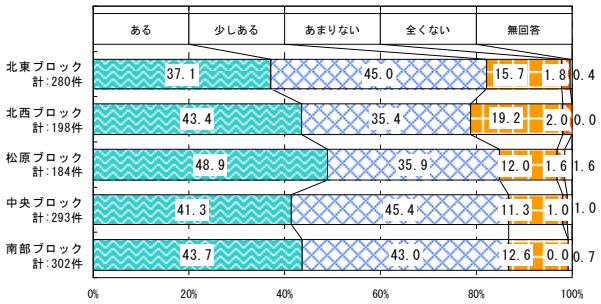
【我慢】



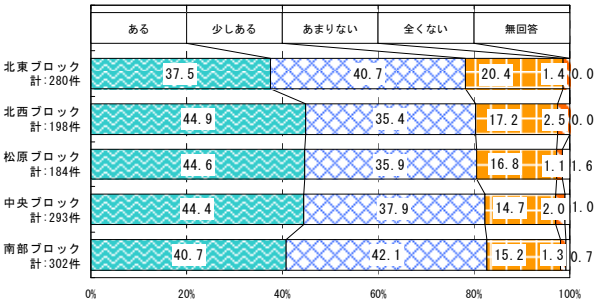
【きまりや約束を守る】



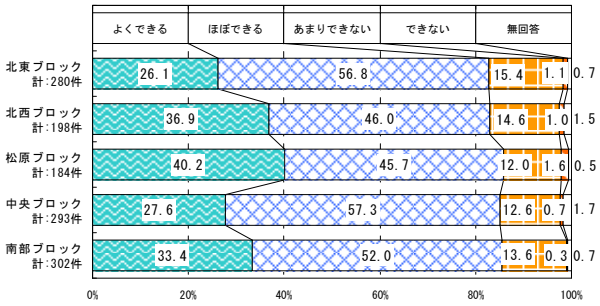
【学習への意欲や物事への関心】



【文字や数への関心】



【集中】



地域別にみると、「規則正しい生活習慣」では〔松原ブロック〕、「手洗い、うがい」では〔松原ブロック〕、「安全に行動する」では〔松原ブロック〕、「自分で身支度」では〔中央ブロック〕、「コミュニケーション」では〔北西ブロック〕、〔中央ブロック〕、〔南部ブロック〕、「あいさつや返事」では〔中央ブロック〕、〔南部ブロック〕、「我慢」では〔松原ブロック〕、「きまりや約束を守る」では〔松原ブロック〕が肯定的な回答（「よくできる」と「ほぼできる」の合計）の割合が最も高くなっています。

「学習への意欲や物事への関心」では、〔中央ブロック〕、〔南部ブロック〕、「文字や数への関心」では〔南部ブロック〕が肯定的な回答（「ある」と「少しある」の合計）の割合が最も高くなっています。

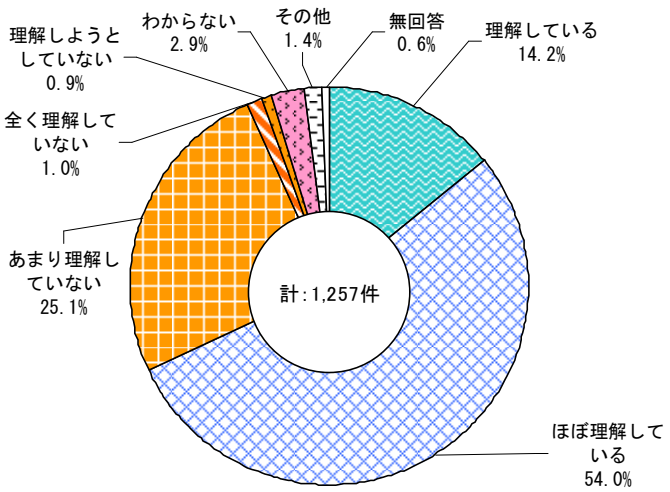
「集中」では〔松原ブロック〕が肯定的な回答（「よくできる」と「ほぼできる」の合計）の割合が最も高くなっています。

３．お子さんの学習の様子について

（１）学校の授業の理解度

問 12　お子さんは、学校での授業を理解している様子ですか。（○は１つだけ）

図５－８　学校の授業の理解度



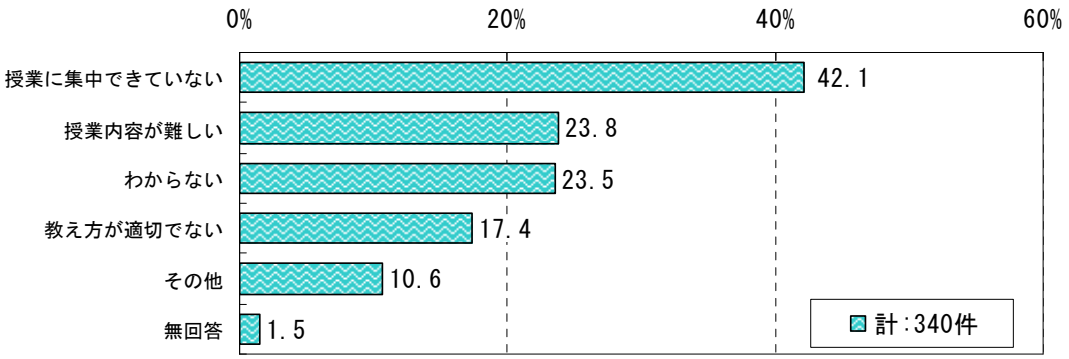
学校の授業の理解度については、肯定的な回答（「理解している」と「ほぼ理解している」の合計）の割合が 68.2%となっています。

「その他」として、「学科によって異なる」、「理解しようとしている」などの回答があります。

（２）学校の授業を理解していない理由

問 13　【問 12 で３～５に○をつけた場合に答えてください】
学校の授業を理解していない理由や原因は何だと思われますか。（あてはまるもの全てに○）

図５－９　学校の授業を理解していない理由



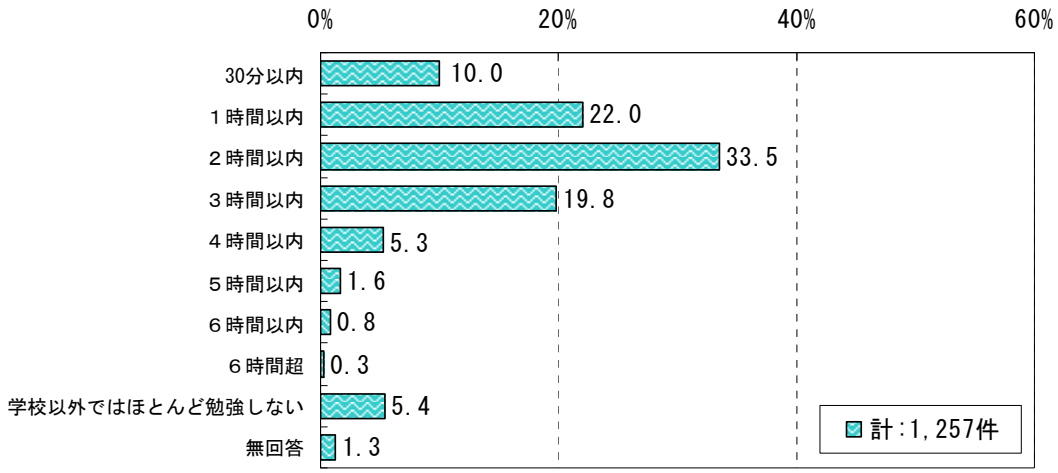
学校の授業を理解していない理由としては、「授業に集中できていない」の回答の割合が 42.1%と最も高く、次いで「授業内容が難しい」(23.8%)、「わからない」(23.5%) の順となっています。

「その他」として、「基礎ができていないため、ついていけない」、「勉強に興味がない」などの回答があります。

（３）１日の平均学習時間

問 14　学校以外での、１日の平均学習時間（塾などでの学習の時間を含む）はどのくらいですか。
（○は１つだけ）

図５－１０　１日の平均学習時間



１日の平均学習時間については、「２時間以内」の回答の割合が 33.5%と最も高く、次いで「１時間以内」(22.0%)、「３時間以内」(19.8%) の順となっています。「学校以外ではほとんど勉強しない」の回答の割合が 5.4%であり、「30 分以内」(10.0%)、「１時間以内」(22.0%) と合わせて考えると、一部の生徒は、中学校３年生の１日の平均学習時間として十分な学習時間を確保していない可能性を考えることができます。

■表５－２　集中して物事を行うこと別集計（１日の平均学習時間）（単位　上段：件、下段：%）

		１日の平均学習時間										
		合計	３０分以内	１時間以内	２時間以内	３時間以内	４時間以内	５時間以内	６時間以内	６時間超	学校以外ではほとんど勉強しない	無回答
集中して物事を行うこと	全体	1,257 100.0	126 10.0	276 22.0	421 33.5	249 19.8	67 5.3	20 1.6	10 0.8	4 0.3	68 5.4	16 1.3
	よくできる	402 100.0	26 6.5	83 20.6	127 31.6	115 28.6	25 6.2	9 2.2	7 1.7	3 0.7	4 1.0	3 0.7
	ほぼできる	659 100.0	65 9.9	147 22.3	241 36.6	117 17.8	37 5.6	11 1.7	2 0.3	1 0.2	31 4.7	7 1.1
	あまりできない	172 100.0	34 19.8	43 25.0	47 27.3	14 8.1	4 2.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	28 16.3	2 1.2
	できない	11 100.0	0 0.0	2 18.2	4 36.4	0 0.0	1 9.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 27.3	1 9.1

集中して物事を行うことの回答別に１日の平均学習時間をみると、肯定的な回答（「よくできる」と「ほぼできる」の合計）の場合ほど、１日の平均学習時間が長くなる傾向をうかがうことができます。

■表５－３　学校での授業の理解度別集計（１日の平均学習時間）（単位　上段：件、下段：%）

		１日の平均学習時間										
		合計	３０分以内	１時間以内	２時間以内	３時間以内	４時間以内	５時間以内	６時間以内	６時間超	学校以外ではほとんど勉強しない	無回答
学校での授業の理解	全体	1,257 100.0	126 10.0	276 22.0	421 33.5	249 19.8	67 5.3	20 1.6	10 0.8	4 0.3	68 5.4	16 1.3
	理解している	178 100.0	9 5.1	33 18.5	52 29.2	52 29.2	19 10.7	6 3.4	6 3.4	0 0.0	1 0.6	0 0.0
	ほぼ理解している	679 100.0	60 8.8	136 20.0	260 38.3	150 22.1	37 5.4	11 1.6	2 0.3	2 0.3	14 2.1	7 1.0
	あまり理解していない	316 100.0	46 14.6	91 28.8	85 26.9	36 11.4	11 3.5	2 0.6	2 0.6	1 0.3	39 12.3	3 0.9
	全く理解していない	13 100.0	5 38.5	2 15.4	2 15.4	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4 30.8	0 0.0
	理解しようとしていない	11 100.0	2 18.2	5 45.5	3 27.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 9.1	0 0.0
	わからない	36 100.0	3 8.3	6 16.7	13 36.1	5 13.9	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 2.8	6 16.7	2 5.6
	その他	17 100.0	1 5.9	2 11.8	5 29.4	5 29.4	0 0.0	1 5.9	0 0.0	0 0.0	3 17.6	0 0.0

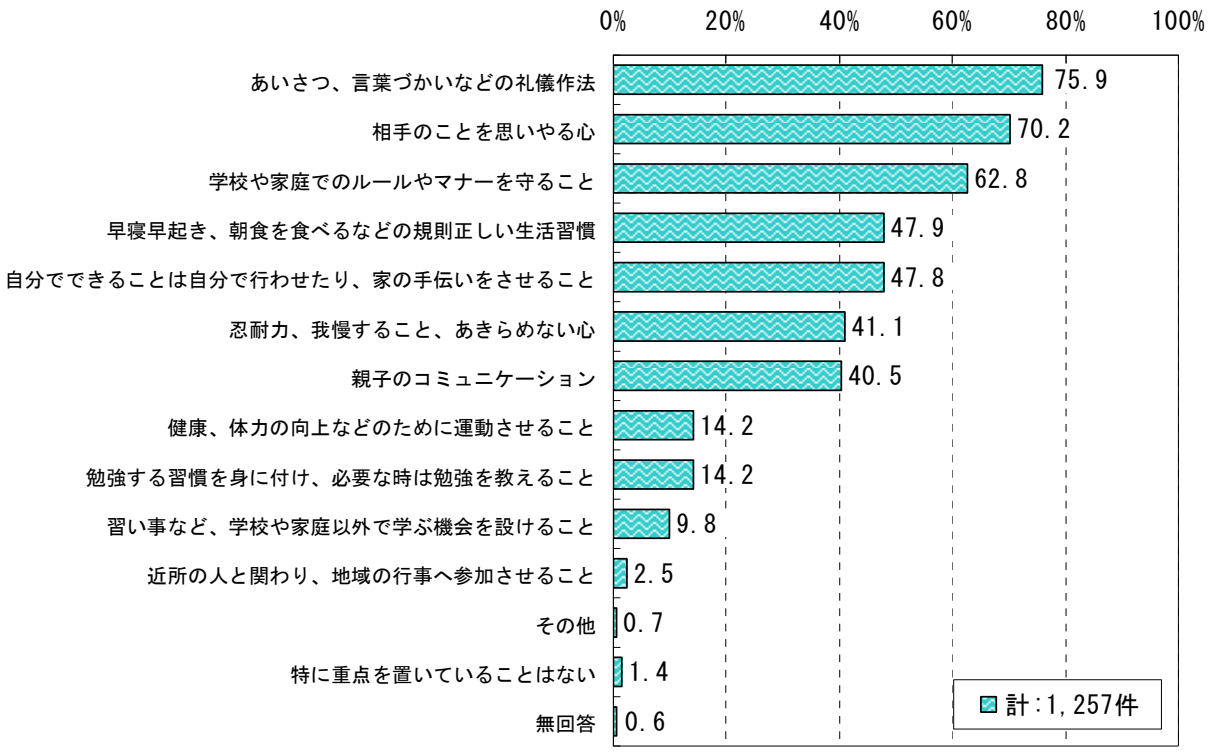
学校での授業の理解度別に１日の平均学習時間をみると、肯定的な回答（「理解している」と「ほぼ理解している」の合計）の場合ほど、１日の平均学習時間が長くなる傾向をうかがうことができます。

４．家庭での教育について

（１）家庭でのしつけや教育で重視していること

問 15　家庭でのしつけや教育で、特に重視していることは何ですか。（○は５つまで）

図５－１１　家庭でのしつけや教育で重視していること



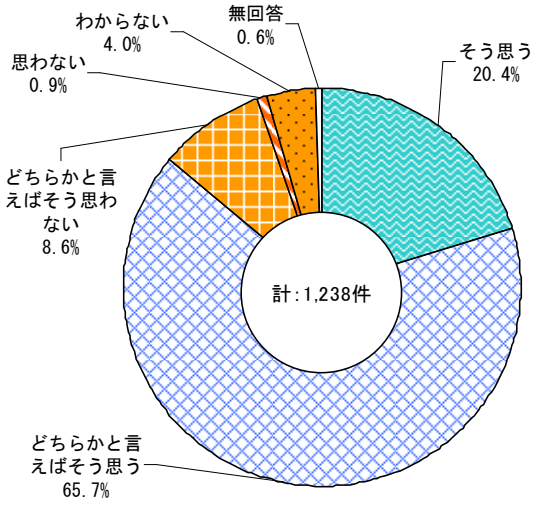
家庭でのしつけや教育で重視していることとしては、「あいさつ、言葉づかいなどの礼儀作法」の回答の割合が 75.9%と最も高く、次いで「相手のことを思いやる心」（70.2%）、「学校や家庭でのルールやマナーを守ること」（62.8%）の順となっています。

「その他」として「いろいろな友だちと関わりを持つこと」、「うそをつかない」、「趣味の時間をとる」などの回答があります。

（２）子どもに対するしつけや教育の実践

問 16　【問 15 で１～12 に○をつけた場合に答えてください】
保護者の方が、お子さんに対して、ご家庭で特に重視しているしつけや教育を実際にできていると思いますか。（○は１つだけ）

図５－１２　子どもに対するしつけや教育の実践

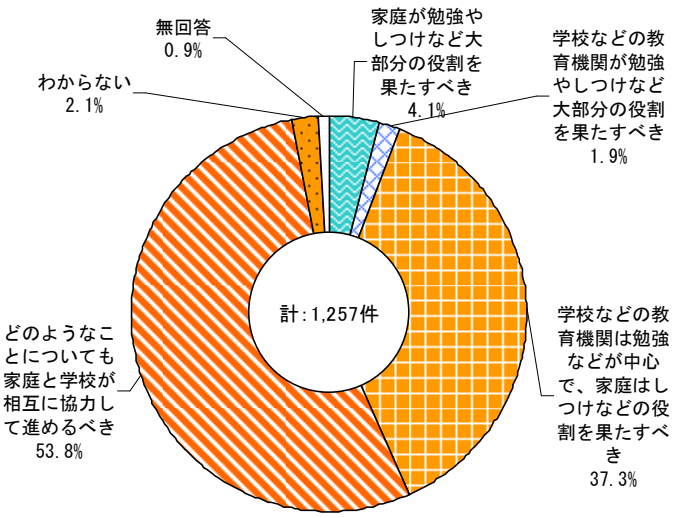


子どもに対するしつけや教育の実践ができているかについては、肯定的な回答（「そう思う」と「どちらかと言えばそう思う」の合計）の割合が 86.1%と、８割を超えています。

（３）家庭と学校などの教育機関の役割

問 17　子どもを育てるにあたっての、家庭と学校などの教育機関（幼稚園、保育園を含む）の役割について、もっとも近い考えはどれですか。（○は１つだけ）

図５－１３　家庭と学校などの教育機関の役割



家庭と学校などの教育機関の役割については、「どのようなことについても家庭と学校が相互に協力して進めるべき」の回答の割合が 53.8%と最も高く、次いで「学校などの教育機関は勉強などが中心で、家庭はしつけなどの役割を果たすべき」（37.3%）、「家庭が勉強やしつけなど大部分の役割を果たすべき」（4.1%）の順となっています。

■表５－４　地域別集計（家庭と学校などの教育機関の役割）（単位　上段：件、下段：%）

	合計	家庭が勉強やしつけなど大部分の役割を果たすべき	学校などの教育機関が勉強やしつけなど大部分の役割を果たすべき	学校などの教育機関は勉強などが中心で、家庭はしつけなどの役割を果たすべき	どのようなことについても家庭と学校が相互に協力して進めるべき	わからない	無回答
全体	1,257 100.0	51 4.1	24 1.9	469 37.3	676 53.8	26 2.1	11 0.9
北東ブロック	280 100.0	13 4.6	10 3.6	104 37.1	145 51.8	6 2.1	2 0.7
北西ブロック	198 100.0	11 5.6	2 1.0	76 38.4	104 52.5	3 1.5	2 1.0
松原ブロック	184 100.0	3 1.6	0 0.0	70 38.0	104 56.5	5 2.7	2 1.1
中央ブロック	293 100.0	10 3.4	8 2.7	120 41.0	145 49.5	7 2.4	3 1.0
南部ブロック	302 100.0	14 4.6	4 1.3	99 32.8	178 58.9	5 1.7	2 0.7

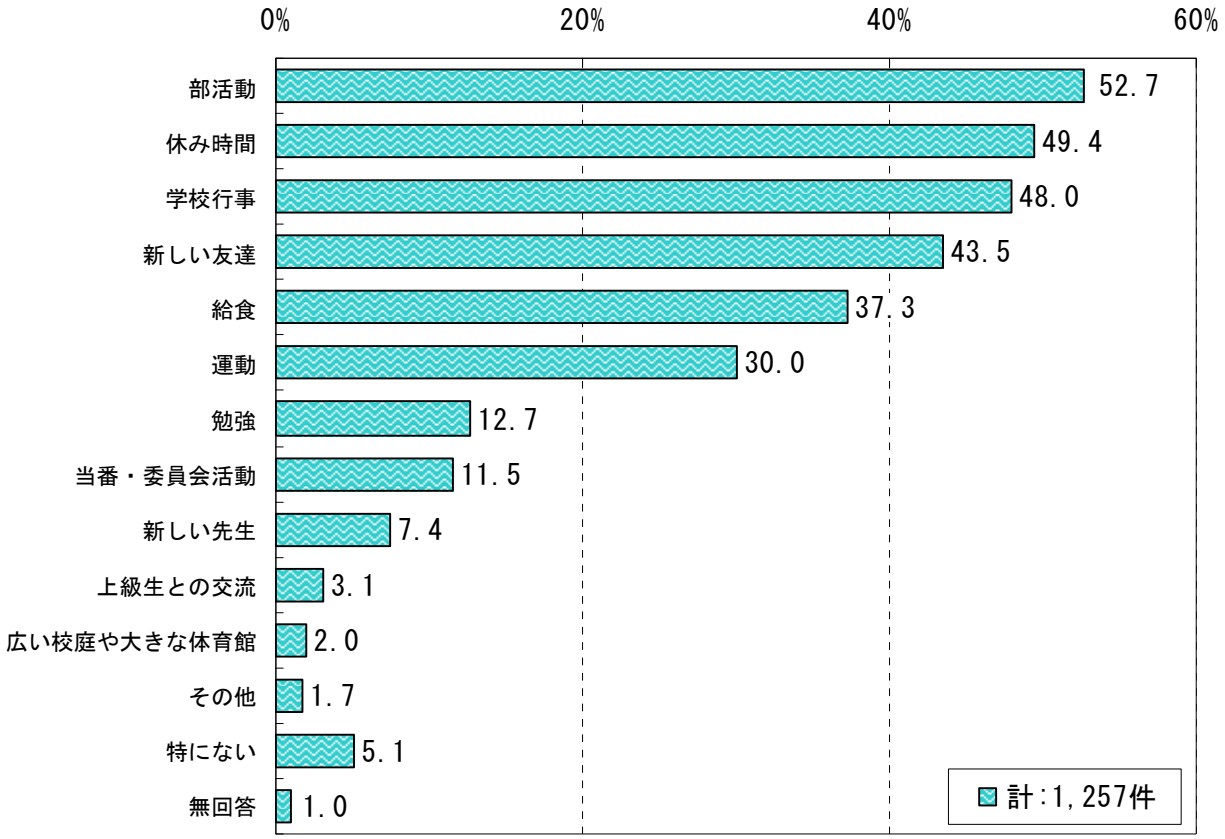
地域別にみても、全体と同様の傾向がうかがえます。

５．お子さんの中学校生活の様子について

（１）中学校生活で楽しんでいること

問 18　お子さんが中学校の生活において、楽しんでいることは何ですか。
（あてはまるもの全てに○）

図５－１４　中学校生活で楽しんでいること



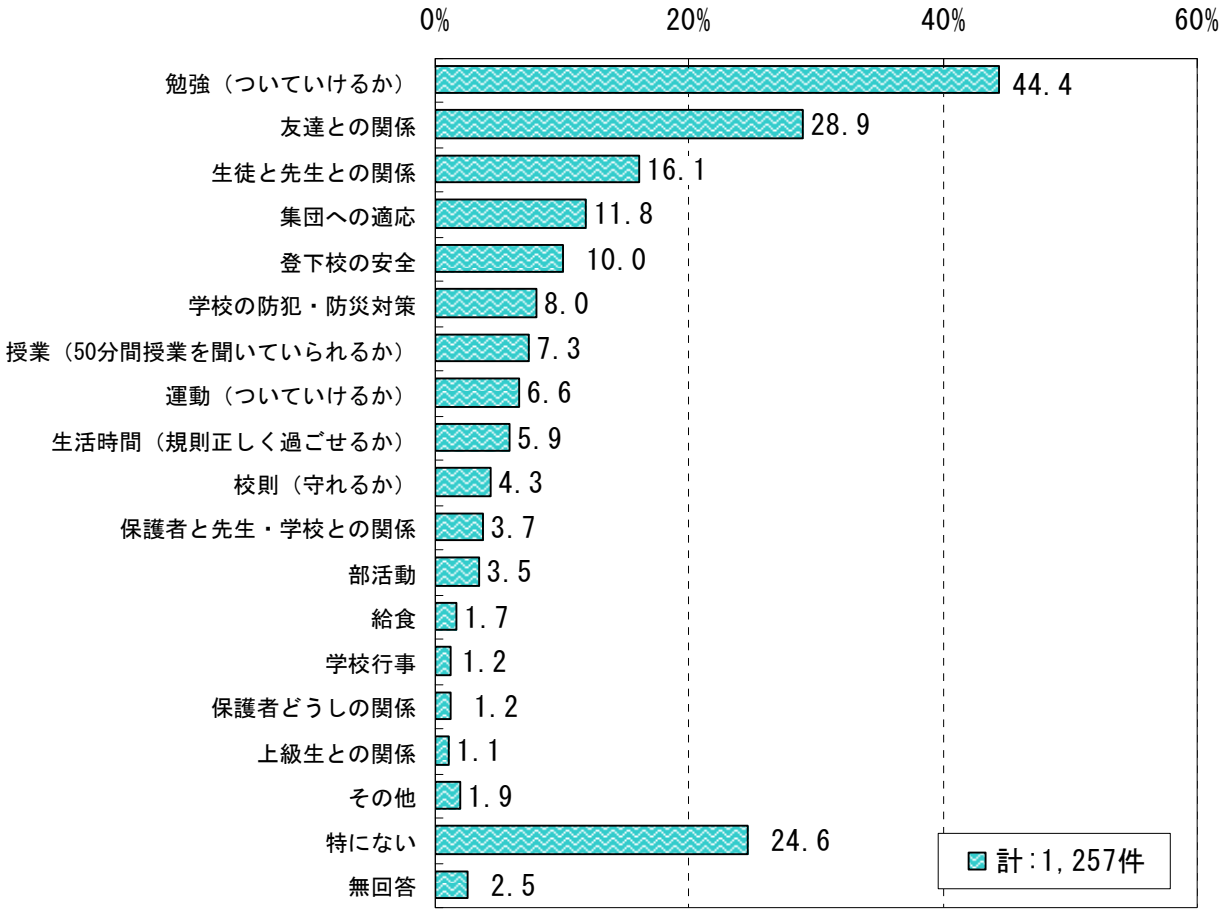
中学校生活で楽しんでいることとしては、「部活動」の回答の割合が 52.7%と最も高く、次いで「休み時間」(49.4%)、「学校行事」(48.0%) の順となっています。

「その他」として「下級生との交流」、「読書」などの回答があります。

（２）中学校生活での不安

問 19　お子さんの中学校の生活において、不安に感じていることは何かありますか。
（あてはまるもの全てに○）

図５－１５　中学校生活での不安



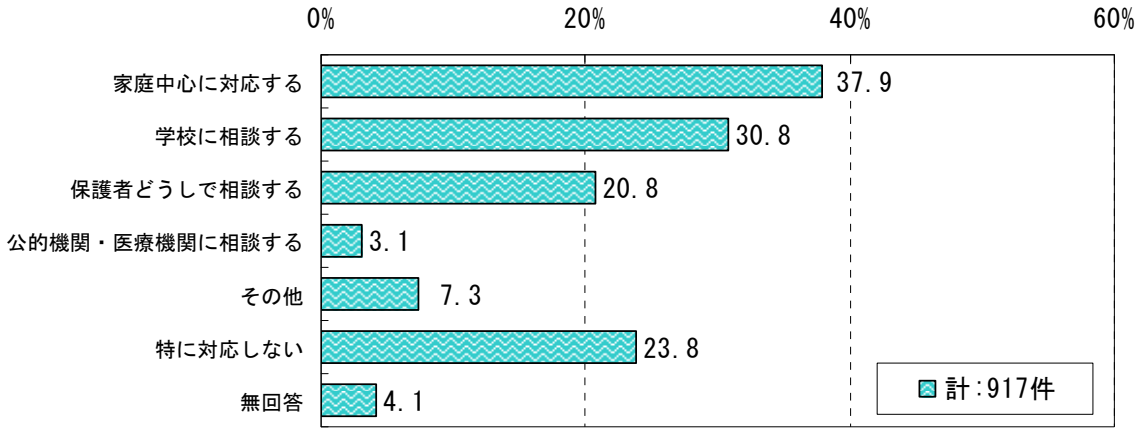
中学校生活での不安としては、「勉強（ついていけるか)」の回答の割合が 44.4%と最も高く、次いで「友達との関係」(28.9%)、「生徒と先生との関係」(16.1%）の順となっています。

「その他」として、「進路」、「受験」、「いじめ」などの回答があります。

（３）不安や心配に対する対応

問 20　【問 19 で１～17 に○をつけた場合に答えてください】
不安や心配に対しては、何か対応をされますか（実施済みを含む）。（あてはまるもの全てに○）

図５－１６　不安や心配に対する対応



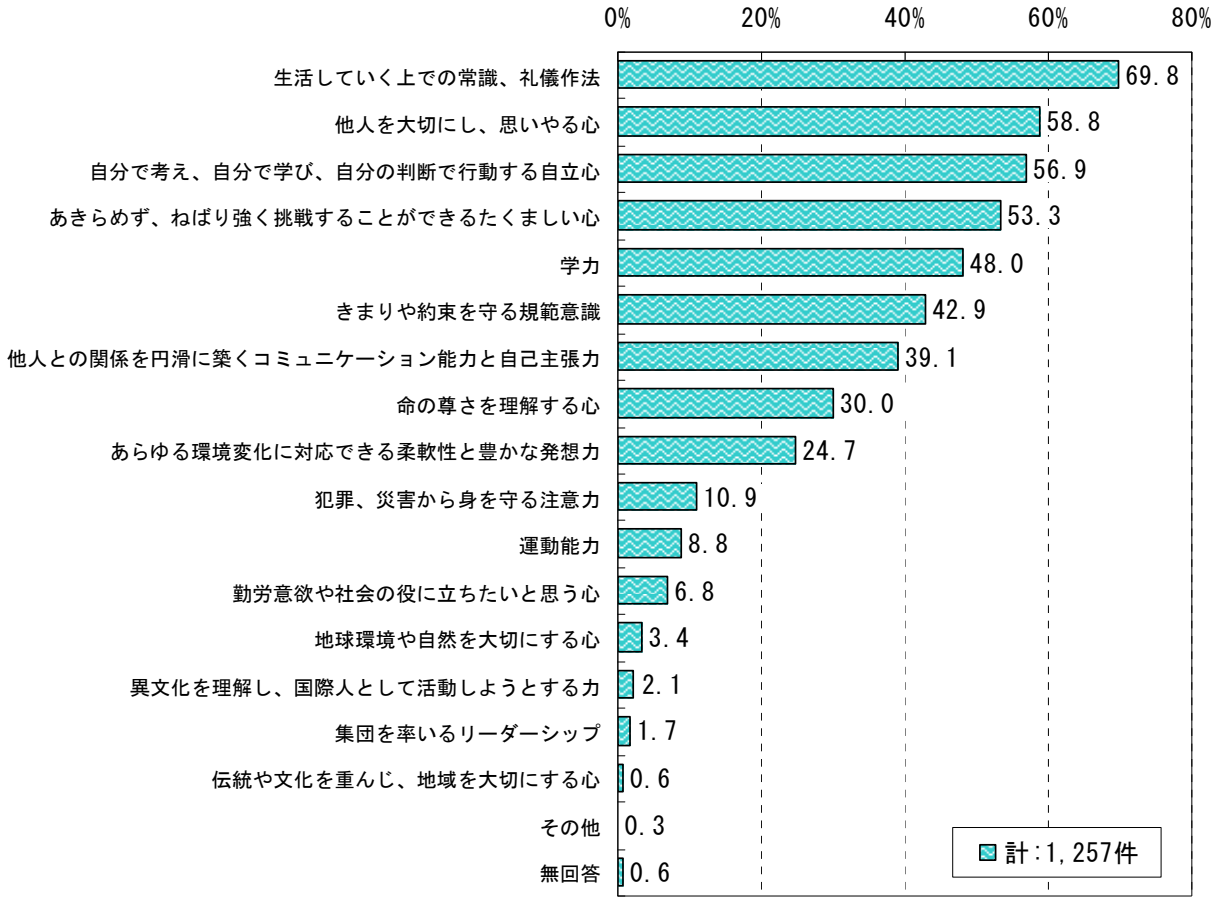
不安や心配に対する対応については、「家庭中心に対応する」の回答の割合が 37.9％と最も高く、次いで「学校に相談する」(30.8％)、「保護者どうしで相談する」(20.8％) の順となっています。「特に対応しない」の回答の割合は、23.8％です。

「その他」として、「塾に通わせる」、「友達同士で相談する」、「子どもとの会話」などの回答があります。

６．お子さんの将来像について

問 21　将来、成人し社会の支え手となる、あなたのお子さんに、中学校を卒業する時までに、身に付けてほしい能力や考え方として、特に重要だと思うことは何ですか。（○は５つまで）

図５－１７　中学校卒業までに身に付けてほしい能力や考え方



中学校卒業までに身に付けてほしい能力や考え方については、「生活していく上での常識、礼儀作法」の回答の割合が 69.8％と最も高く、次いで「他人を大切にし、思いやる心」（58.8％）、「自分で考え、自分で学び、自分の判断で行動する自立心」（56.9％）、「あきらめず、ねばり強く挑戦することができる、たくましい心」（53.3％）、「学力」（48.0％）の順となっています。

「その他」として、「差別をしない人」、「すべて該当する」などの回答があります。

■表５－５　地域別集計（中学校卒業までに身に付けてほしい能力や考え方）（単位　上段：件、下段：%）

	合計	学力	運動能力	生活していく上での常識、礼儀作法	きまりや約束を守る規範意識	他人を大切にし、思いやる心	あきらめず、ねばり強く挑戦することができる、たくましい心	命の尊さを理解する心	自分で考え、自分で学び、自分の判断で行動する自立心	他人との関係を円滑に築くコミュニケーション能力と自己主張力	あらゆる環境変化に対応できる柔軟性と豊かな発想力	集団を率いるリーダーシップ	犯罪、災害から身を守る注意力	勤労意欲や社会の役に立ちたいと思う心	伝統や文化を重んじ、地域を大切にする心	異文化を理解し、国際人として活動しようとする力	地球環境や自然を大切にする心	その他	無回答
全体	1,257	603	110	877	539	739	670	377	715	492	310	21	137	86	8	27	43	4	8
	100.0	48.0	8.8	69.8	42.9	58.8	53.3	30.0	56.9	39.1	24.7	1.7	10.9	6.8	0.6	2.1	3.4	0.3	0.6
北東ブロック	280	122	26	201	119	164	146	85	161	114	75	6	30	17	2	8	10	0	1
	100.0	43.6	9.3	71.8	42.5	58.6	52.1	30.4	57.5	40.7	26.8	2.1	10.7	6.1	0.7	2.9	3.6	0.0	0.4
北西ブロック	198	103	18	137	86	122	103	56	108	82	45	4	20	11	1	1	10	2	2
	100.0	52.0	9.1	69.2	43.4	61.6	52.0	28.3	54.5	41.4	22.7	2.0	10.1	5.6	0.5	0.5	5.1	1.0	1.0
松原ブロック	184	93	16	132	74	103	106	46	113	61	35	0	19	13	0	7	4	2	0
	100.0	50.5	8.7	71.7	40.2	56.0	57.6	25.0	61.4	33.2	19.0	0.0	10.3	7.1	0.0	3.8	2.2	1.1	0.0
中央ブロック	293	143	24	201	129	175	159	87	166	117	71	5	37	23	3	5	10	0	2
	100.0	48.8	8.2	68.6	44.0	59.7	54.3	29.7	56.7	39.9	24.2	1.7	12.6	7.8	1.0	1.7	3.4	0.0	0.7
南部ブロック	302	142	26	206	131	175	156	103	167	118	84	6	31	22	2	6	9	0	3
	100.0	47.0	8.6	68.2	43.4	57.9	51.7	34.1	55.3	39.1	27.8	2.0	10.3	7.3	0.7	2.0	3.0	0.0	1.0

地域別にみても、全体とほぼ同様の傾向がうかがえます。

７．自由記述

最後に、子ども教育の連携や草加市の教育についてご意見などがあれば、自由にご記入ください。

自由記述は、回収数 1,257 件中 121 件から回答があり、結果を項目別にまとめると以下のようになります。１件の回答の中に複数の項目にまたがるものもあるため、各項目の回答件数の合計は 121 件より多くなっています。

■表５－６　自由記述（中学校３年生保護者）

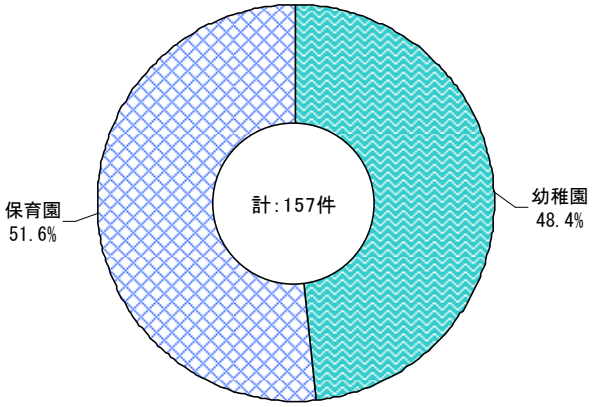
項目			件数
小中学校に関すること	教育内容について		22
		学力向上に力を入れてほしい	4
		少人数クラスにしてほしい	3
		レベル別の授業をしてほしい	3
		その他	12
	教員について		36
		教員の資質・指導力の向上を図ってほしい	20
		保護者ともっと交流、連携してほしい	9
		先生によって差がですぎないよう、指導内容・方法をある程度統一してほしい	4
		生徒や保護者にもっと厳しく接してほしい	2
		その他	1
	子どもたちへの対応について		21
		いじめのない学校にしてほしい	7
		もっと子どもにきめ細かく接してほしい	6
		いじめについて、家庭と連携して対応できる体制づくりをしてほしい	4
		いじめに対してしっかりと対応してほしい	3
		その他	1
	施設・設備について		8
		エアコンを設置してほしい	4
		校舎を立て替えてほしい、きれいにしてほしい	3
		その他	1
	安心・安全について（登下校の安全対策の強化）		1
	給食、食育について		2
	進路相談・指導について		4
	学区域について（中学校選択制の廃止など）		2
	土曜授業について		5
		土曜授業を実施してほしい	5
	放課後について		10
		放課後の学び、運動、遊びの場を充実してほしい	5
		クラブ活動・部活動の充実	5
	家庭・地域との連携について		10
		家庭と学校の連携を充実してほしい	6
		親教育を充実してほしい	3
		その他	1
教育行政に関すること	子ども教育の連携推進について（連携の充実）		1
	教育施策全般について		11
		草加市の教育を充実してほしい	4
		草加市の子どもの教育に満足している	3
		その他	4
その他	子どもの居場所・遊び場について（居場所・遊び場の増設・充実）		3
	その他		2

Ⅵ. 幼稚園教員・保育園保育士

１. 基礎情報

（１）幼稚園・保育園の回答割合

図６－１　幼稚園・保育園の回答割合



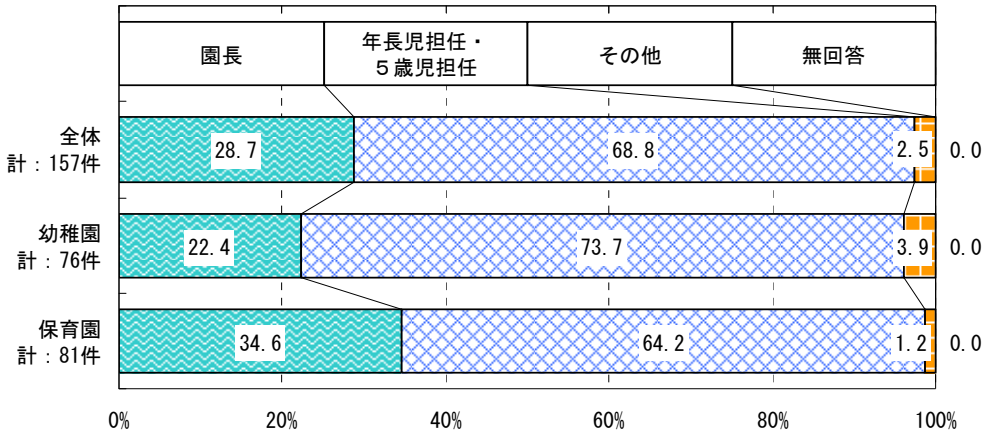
調査回答者は、「幼稚園」が 48.4%、「保育園」が 51.6%となっています。

■表６－１　地域別集計の内訳は、次のようになっています。

地域名	幼稚園	保育園
北東ブロック	青徳、草加ひので、 いなり	やはた、あおやぎ、しのは、ひかり幼稚舎、さくら
北西ブロック	清門、新田	しんえい、あさひ、しんぜん、けやきの森清門町園、しんでん
松原ブロック	みのべ、草加藤、 ひかり、草加みどり、 草加ひまわり	こやま、きたや、さかえ、めぇめぇこやぎこども園、まつばら
中央ブロック	かおり、ルミ、 フラワー、谷塚	たかさご、あずま、きたうら、にしまち、せざき、さくらの実、 さくらの実分園、かおり Putra、スマイルキッズルーム、 もりまさ草加園
南部ブロック	あずま、草加氷川、 谷塚おざわ	ひかわ、やなぎしま、やつか、やつかかみ、草加なかよし、 そうか草花

（２）職名

図６－２　職名

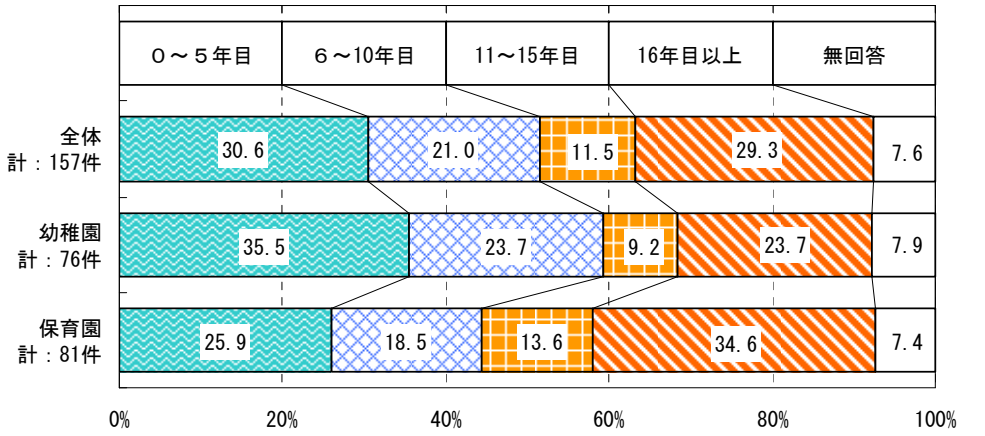


回答者の職名は、「年長児担任・５歳児担任」が 68.8%と最も高く、次いで「園長」（28.7%）の順となっています。

幼稚園・保育園の別にみると、「園長」の割合については、保育園（34.6%）が幼稚園（22.4%）より高くなっています。

（３）教員・保育士歴

図６－３　教員・保育士歴



回答者の教員・保育士歴は、「０～５年目」が 30.6%と最も高く、次いで「16 年目以上」（29.3%）、「６～10 年目」（21.0%）の順となっています。

幼稚園・保育園の別にみると、「０～５年目」の割合については、幼稚園（35.5%）が保育園（25.9%）より高く、「16 年目以上」の割合については、保育園（34.6%）が幼稚園（23.7%）より高くなっています。

■表６－２　職名別集計（教員・保育士歴）（単位　上段：件、下段：%）

		教員・保育士歴					
		合計	０～５年目	６～10年目	11～15年目	16年目以上	無回答
幼稚園	全体	76 100.0	27 35.5	18 23.7	7 9.2	18 23.7	6 7.9
	園長	17 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	14 82.4	3 17.6
	年長児担任	56 100.0	26 46.4	18 32.1	7 12.5	2 3.6	3 5.4
	その他	3 100.0	1 33.3	0 0.0	0 0.0	2 66.7	0 0.0
保育園	全体	81 100.0	21 25.9	15 18.5	11 13.6	28 34.6	6 7.4
	園長	28 100.0	1 3.6	4 14.3	1 3.6	19 67.9	3 10.7
	５歳児担任	52 100.0	20 38.5	11 21.2	10 19.2	8 15.4	3 5.8
	その他	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0

職名別、教員・保育士歴別にみると、幼稚園では、園長は「16 年目以上」、年長児担任は「０～５年目」の割合が高くなっています。保育園では、園長は「16 年目以上」、５歳児担任は「０～５年目」の割合が高くなっています。

（４）園児の進学先（平成 23 年度　上位３校）

■表６－３　園児の進学先（平成 23 年度　上位３校）

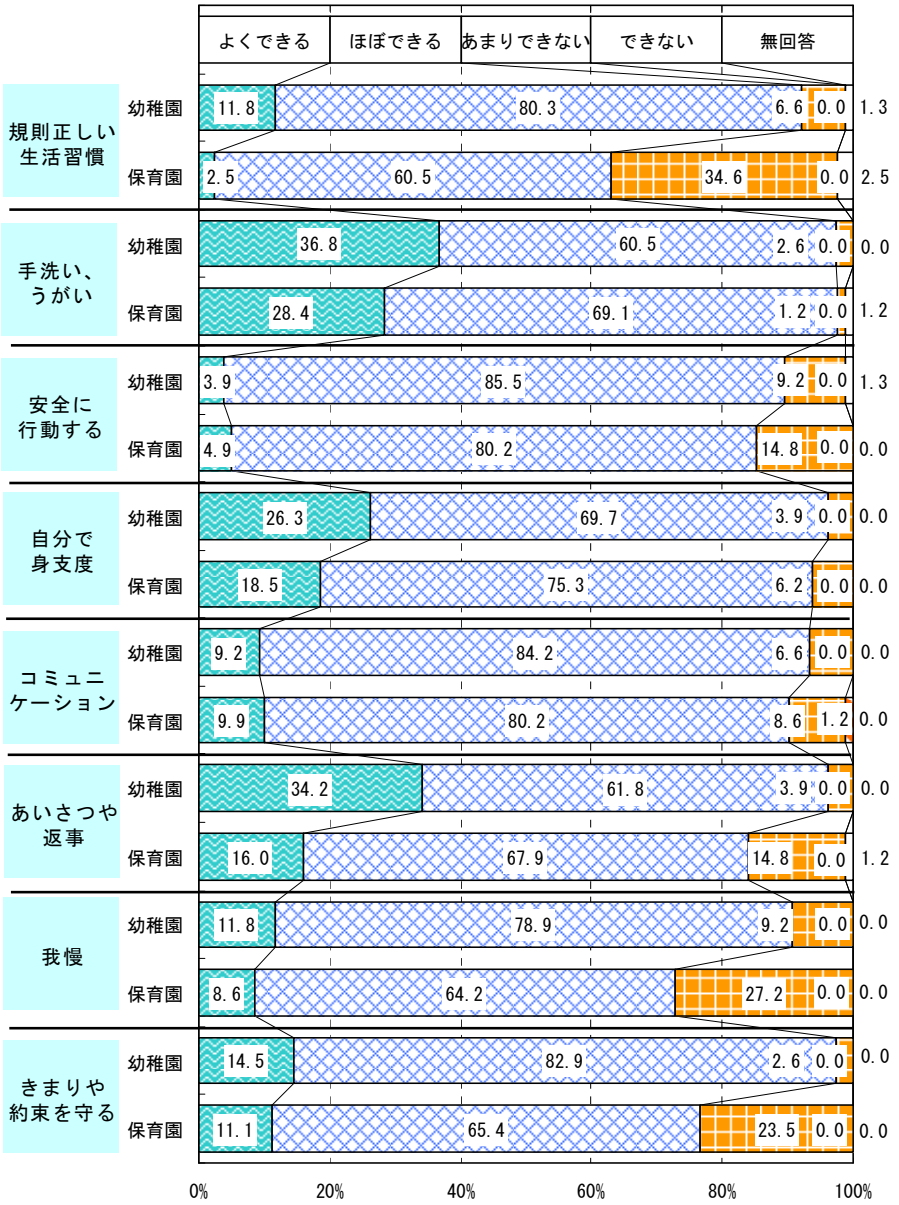
（単位:%）

幼稚園・保育園名		園児の進学先小学校					
		第１位		第２位		第３位	
幼稚園	谷塚	瀬崎	50.0	谷塚	25.0	高砂	15.0
	ルミ	草加	44.0	高砂	44.0	花栗南	8.0
	あずま	新里	60.0	両新田	30.0	新郷東（川口）、谷塚	7.0
	いなり	稲荷	50.0	高砂	20.0	松之木（八潮）	10.0
	かおり	西町	50.0	高砂	11.0	草加	6.0
	草加みどり	栄	50.0	八幡	20.0	草加、花栗南	10.0
	青徳	川柳	43.0	八幡北	21.0	青柳	21.0
	ひかり	栄	35.1	松原	16.2	花栗南	24.3
	草加ひまわり	草加	17.0	花栗南	17.0	松原	12.0
	草加藤	高砂	9.5	八幡	9.5	清門	9.5
	新田	新田	38.5	長栄	24.4	清門	7.0
	谷塚おざわ	谷塚	40.0	高砂	15.0	氷川	15.0
	草加氷川	氷川	30.0	西町	25.0	高砂	15.0
	みのべ	清門	29.0	松原	16.0	小山	9.0
	草加ひので	八幡	74.0	川柳	6.0	青柳	6.0
	清門	清門	54.0	新栄	21.0	新田	7.0
	フラワー	西町	38.0	小山	36.0	草加	11.0
保育園	あおやぎ	川柳	85.0	青柳	10.0	八幡	5.0
	あさひ	新田	28.0	長栄	28.0	清門	28.0
	あずま	高砂	72.0	草加	16.0	稲荷	4.0
	きたうら	草加	41.0	花栗南	15.0	西町、栄	11.0
	きたや	松原	27.0	清門	18.0	花栗南、八幡	14.0
	こやま	小山	60.0	松原	10.0	川柳	10.0
	さかえ	栄	60.0	松原	9.0	清門、草加	6.0
	しのは	八幡	75.0	稲荷	8.0	青柳	8.0
	しんえい	新栄	80.0	清門	20.0		－
	しんぜん	清門	50.0	新田	40.0	長栄	10.0
	せざき	瀬崎	84.0	谷塚	8.0	高砂	8.0
	たかさご	高砂	75.0	草加	15.0	西町、谷塚	5.0
	にしまち	西町	45.5	氷川	13.3	草加	13.3
	ひかわ	氷川	50.0	高砂	17.0	谷塚	13.0
	やつか	谷塚	75.0	瀬崎	10.0	氷川	5.0
	やつかかみ	両新田	63.0	谷塚	19.0	新里	15.0
	やなぎしま	新里	90.0	両新田	10.0		－
	やはた	八幡北	50.0	八幡	15.0	青柳	10.0
	かおりPutra	西町	39.0	氷川	23.0	稲荷	15.0
	草加なかよし	新里	80.0	谷塚	10.0	氷川	5.0
	さくらの実分園	草加	－	稲荷	－		－
	そうか草花	瀬崎	70.0	氷川	30.0		－
	けやきの森清門町園	清門	42.0	新栄	28.0	長栄、八幡	14.0
	めぇめぇこやぎこども園	新田	－	小山	－	八幡北	－
	まつばら	栄	－	八幡	－		－
	もりまさ草加園	高砂	60.0	草加	30.0	柳之宮（八潮）	10.0

２．年長組（５歳児クラス）のお子さんの生活の様子について

問１～８　年長組または５歳児クラスのお子さんの生活の様子について、以下にあげる内容が、どの程度できているとお感じになりますか。クラス全体としての傾向を教えてください。（それぞれ○は１つだけ）

図６－４　年長組（５歳児クラス）のお子さんの生活の様子



［選択肢の説明］
- **規則正しい生活習慣**…早寝早起き、朝ごはんなどの規則正しい生活習慣が身に付いていますか。
- **手洗い、うがい**…外出後や食事前に手洗い、うがいをしますか。
- **安全に行動する**…危ないことをしない、交通ルールを守るなど、危険なことに気づくことができますか。
- **自分で身支度**…身の回りのことなど、自分のことを自分でしていますか。
- **コミュニケーション**…友達と一緒に遊ぶ、自分の気持ちを伝えるなど、周囲の人とコミュニケーションがとれていますか。
- **あいさつや返事**…あいさつや返事がきちんとできていますか。
- **我慢**…順番を待つ、友達に譲るなど、我慢をすることができますか。
- **きまりや約束を守る**…きまりや約束を守ることができますか。

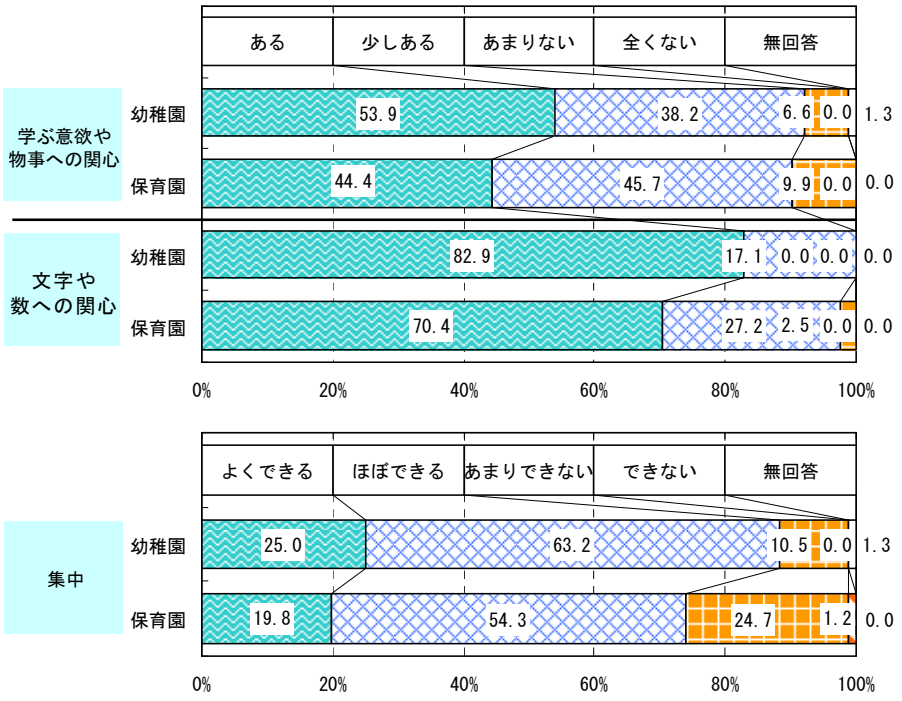
お子さんの生活の様子については、幼稚園では、肯定的な回答（「よくできる」と「ほぼできる」の合計）の割合が最も高いのは「きまりや約束を守る」（97.4%）で、次いで「手洗い・うがい」（97.3%）、「自分で身支度」、「あいさつや返事」（96.0%）の順となっています。

また、保育園では、肯定的な回答（「できる」と「ほぼできる」の合計）の割合が最も高いのは「手洗い・うがい」（97.5%）で、次いで「自分で身支度」（93.8%）、「コミュニケーション」（90.1%）の順となっています。

幼稚園と保育園の肯定的な回答の割合の差を比べると、「手洗い、うがい」以外は、保育園よりも幼稚園の回答の割合が高くなっています。また、幼稚園と保育園の回答の割合の差が大きい上位３項目は、「規則正しい生活習慣」で 29.1%、「きまりや約束を守る」で 20.9%、「我慢」で 17.9%、幼稚園の回答の割合が保育園の回答の割合より高くなっています。

問９～11　年長組または５歳児クラスのお子さんの生活の様子について、以下にあげる内容が、どの程度できているとお感じになりますか。クラス全体としての傾向を教えてください。（それぞれ○は１つだけ）

図６－５　年長組（５歳児クラス）のお子さんの生活の様子



［選択肢の説明］
- **学ぶ意欲や物事への関心**…色々なことに疑問を持ち尋ねたり、遊び方を工夫したりするなど、学びへの意欲や物事への関心を持っていますか。
- **文字や数への関心**…絵本を読んだり、物の数を数えたりするなど、文字や数への関心がありますか。
- **集中**…人の話を静かに聞いたり、好きなことにじっくり取り組んだりなど、集中して何かをすることができますか。

幼稚園では、「学ぶ意欲や物事への関心」は、肯定的な回答（「ある」と「少しある」の合計）の割合が 92.1%、「文字や数への関心」は、肯定的な回答（「ある」と「少しある」の合計）の割合が 100.0%、「集中」は、肯定的な回答（「よくできる」と「ほぼできる」の合計）の割合が 88.2%となっています。

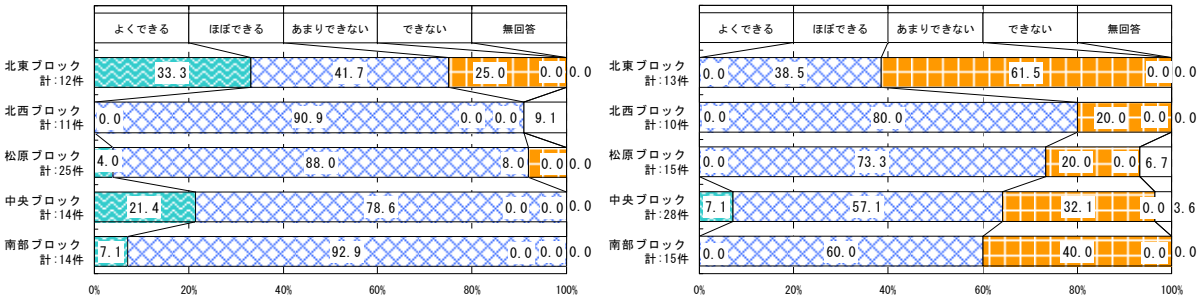
保育園では、「学ぶ意欲や物事への関心」は、肯定的な回答（「ある」と「少しある」の合計）の割合が 90.1%、「文字や数への関心」は、肯定的な回答（「ある」と「少しある」の合計）の割合が 97.6%、「集中」は、肯定的な回答（「よくできる」と「ほぼできる」の合計）の割合が 74.1%となっています。

幼児期においては、子どもたちの「学ぶ意欲や物事への関心」や「文字や数への関心」が高いことがうかがえます。

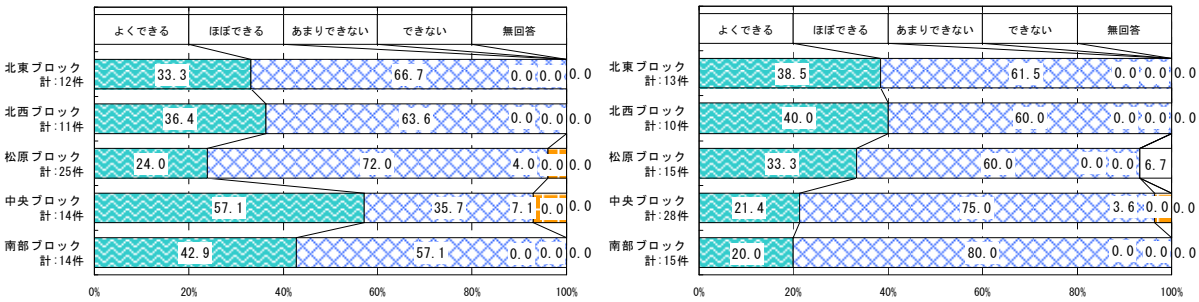
■図６－６　地域別集計（幼稚園：年長組、保育園：５歳児クラス、お子さんの生活の様子）

幼稚園　　保育園

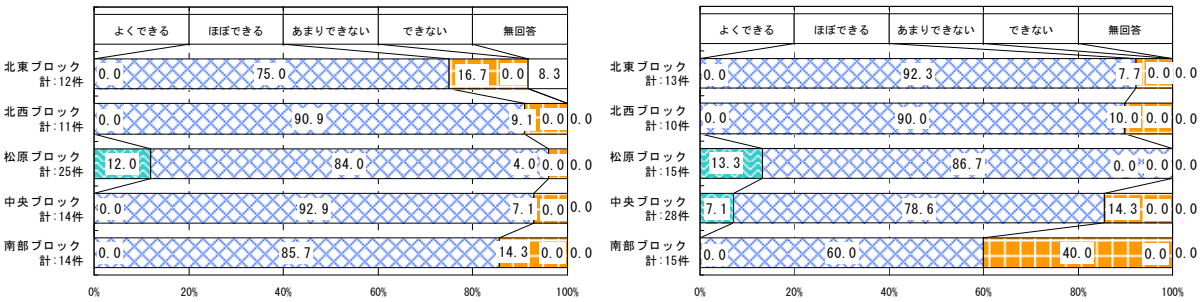
【規則正しい生活習慣】



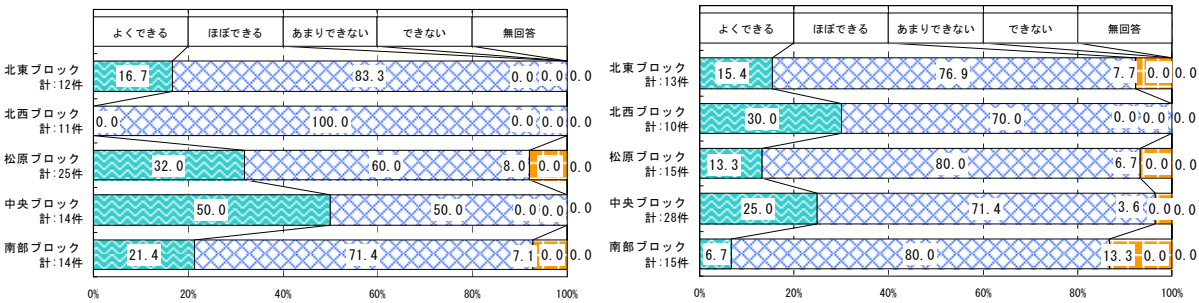
【手洗い、うがい】



【安全に行動する】

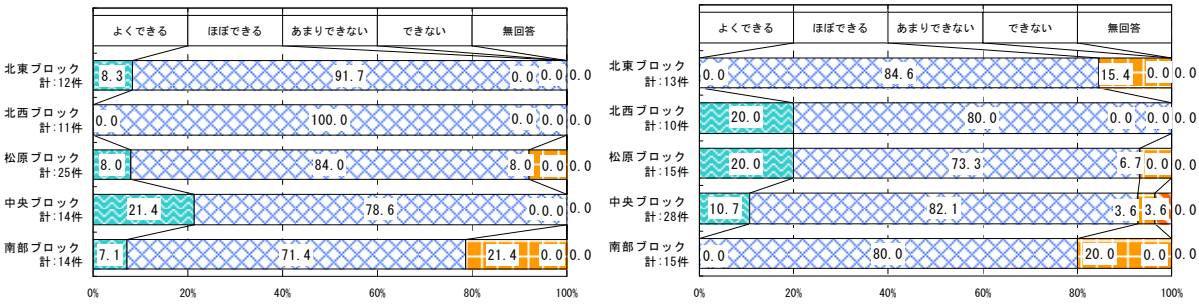


【自分で身支度】

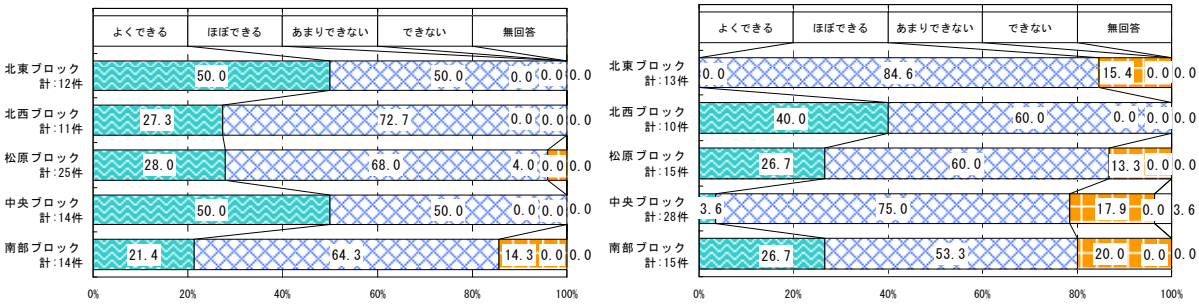


幼稚園　　保育園

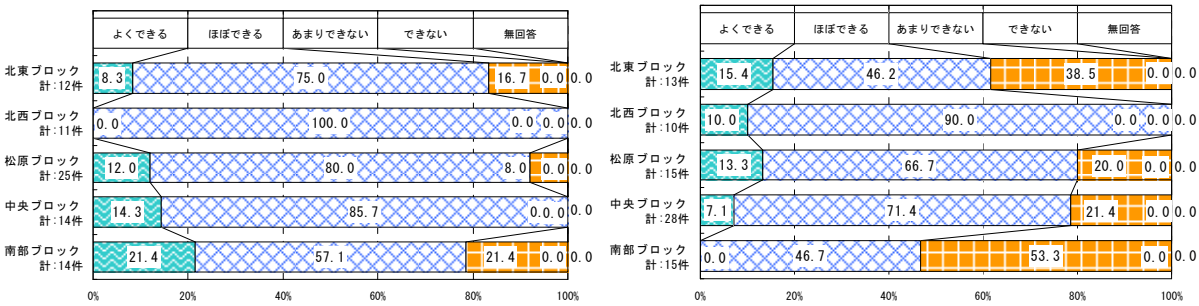
【コミュニケーション】



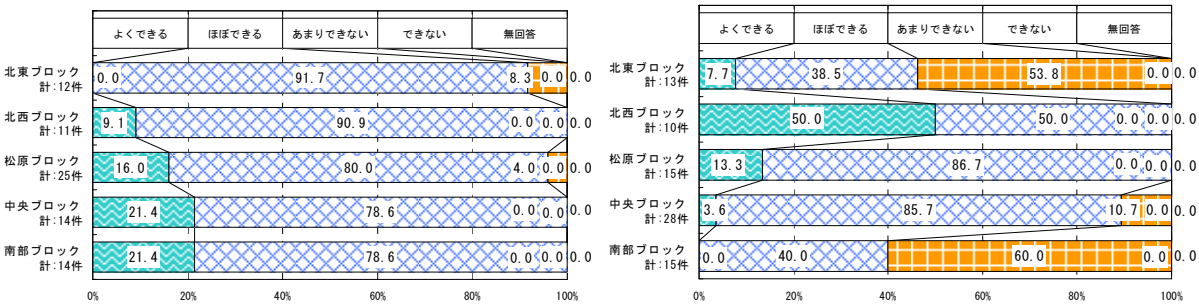
【あいさつや返事】



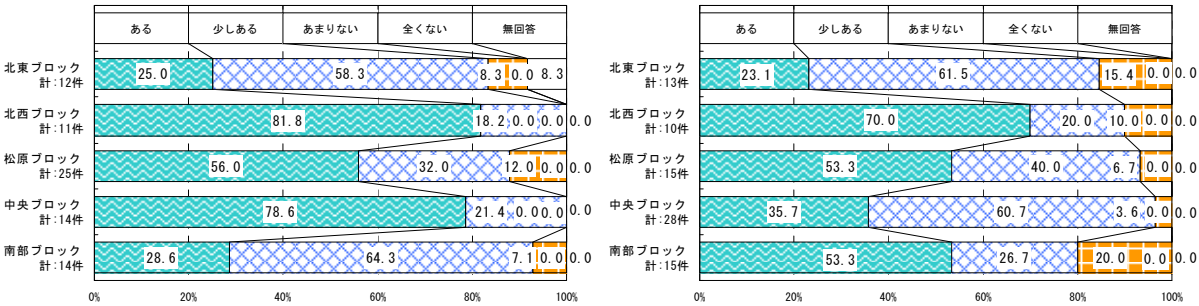
【我慢】



【きまりや約束を守る】

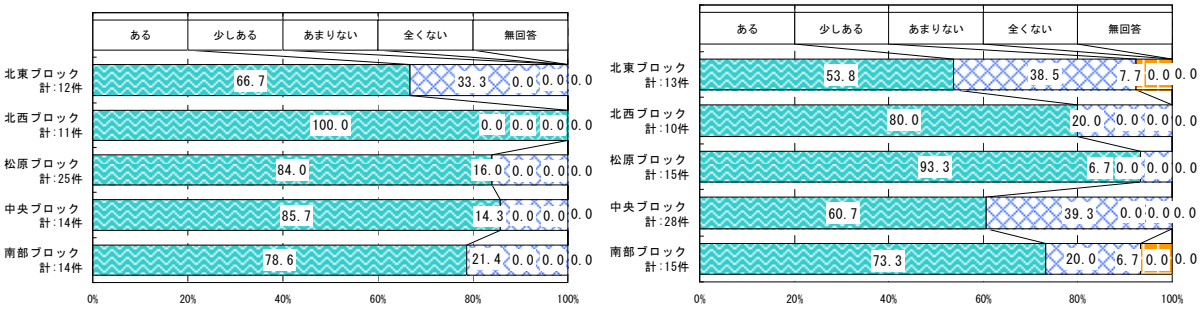


【学ぶ意欲や物事への関心】

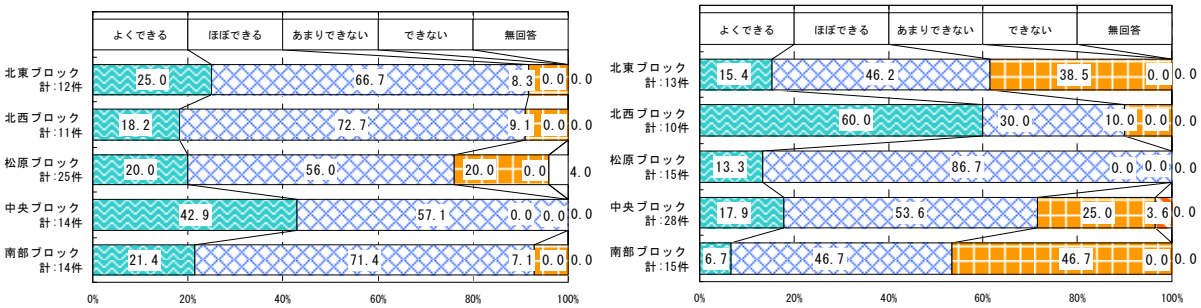


幼稚園　　保育園

【文字や数への関心】



【集中】



地域別に幼稚園の回答をみると、「規則正しい生活習慣」では〔中央ブロック〕、〔南部ブロック〕、「手洗い、うがい」では〔北東ブロック〕、〔北西ブロック〕、〔南部ブロック〕、「安全に行動する」では、〔松原ブロック〕、「自分で身支度」では、〔北東ブロック〕、〔北西ブロック〕、〔中央ブロック〕、「コミュニケーション」では〔北東ブロック〕、〔北西ブロック〕、〔中央ブロック〕、「あいさつや返事」では〔北東ブロック〕、〔北西ブロック〕、〔中央ブロック〕、「我慢」では〔北西ブロック〕、〔中央ブロック〕、「きまりや約束を守る」では〔北西ブロック〕、〔中央ブロック〕、〔南部ブロック〕が肯定的な回答（「よくできる」と「ほぼできる」の合計）の割合が最も高くなっています。

「学ぶ意欲や物事への関心」では、〔北西ブロック〕、〔中央ブロック〕、「文字や数への関心」では、全てのブロックで肯定的な回答（「ある」と「少しある」の合計）の割合が100.0%となっています。

「集中」では、〔中央ブロック〕が肯定的な回答（「よくできる」と「ほぼできる」の合計）の割合が最も高くなっています。

また、地域別に保育園の回答をみると、「規則正しい生活習慣」では〔北西ブロック〕、「手洗い、うがい」では〔北東ブロック〕、〔北西ブロック〕、〔南部ブロック〕、「安全に行動する」では、〔松原ブロック〕、「自分で身支度」では、〔北西ブロック〕、「コミュニケーション」では〔北西ブロック〕、「あいさつや返事」では〔北西ブロック〕、「我慢」では〔北西ブロック〕、「きまりや約束を守る」では〔北西ブロック〕、〔松原ブロック〕が肯定的な回答（「よくできる」と「ほぼできる」の合計）の割合が最も高くなっています。

「学ぶ意欲や物事への関心」では、〔中央ブロック〕、「文字や数への関心」では、〔北西ブロック〕、〔松原ブロック〕、〔中央ブロック〕が肯定的な回答（「ある」と「少しある」の合計）の割合が最も高くなっています。

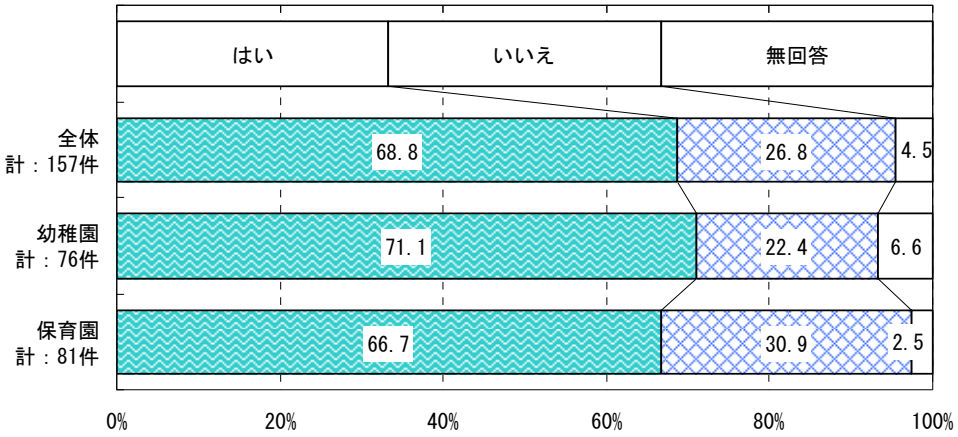
「集中」では、〔松原ブロック〕が肯定的な回答（「よくできる」と「ほぼできる」の合計）の割合が最も高くなっています。

３．幼稚園・保育園・小学校・中学校の交流、連携の実施状況について

（１）他の幼稚園・保育園・小学校・中学校との交流、連携の実施状況

問 12　あなたの園では、平成 23 年度に、他の幼稚園・保育園・小学校・中学校のいずれか又はいくつかと交流、連携を行いましたか。（○は１つだけ）

図６－７　他の幼稚園・保育園・小学校・中学校との交流、連携の実施状況



他の幼稚園・保育園・小学校・中学校との交流、連携の実施状況については、平成 23 年度に交流、連携を実施したとする幼稚園・保育園の割合は、68.8%となっています。

幼稚園・保育園の別にみると、幼稚園では 71.1%、保育園では 66.7%が、平成 23 年度に交流、連携を実施したと回答しています。平成 23 年度に交流、連携を実施していないとする園の割合は、幼稚園では 22.4%、保育園では 30.9%と、保育園の方が高くなっています。

■表６－４　地域別集計（他の幼稚園・保育園・小学校・中学校との交流、連携の実施状況）

（単位　上段：件、下段：%）

		合計	はい	いいえ	無回答
幼稚園	全体	76 100.0	54 71.1	17 22.4	5 6.6
	北東ブロック	12 100.0	8 66.7	4 33.3	0 0.0
	北西ブロック	11 100.0	9 81.8	1 9.1	1 9.1
	松原ブロック	25 100.0	11 44.0	11 44.0	3 12.0
	中央ブロック	14 100.0	12 85.7	1 7.1	1 7.1
	南部ブロック	14 100.0	14 100.0	0 0.0	0 0.0
保育園	全体	81 100.0	54 66.7	25 30.9	2 2.5
	北東ブロック	13 100.0	9 69.2	4 30.8	0 0.0
	北西ブロック	10 100.0	10 100.0	0 0.0	0 0.0
	松原ブロック	15 100.0	5 33.3	9 60.0	1 6.7
	中央ブロック	28 100.0	16 57.1	12 42.9	0 0.0
	南部ブロック	15 100.0	14 93.3	0 0.0	1 6.7

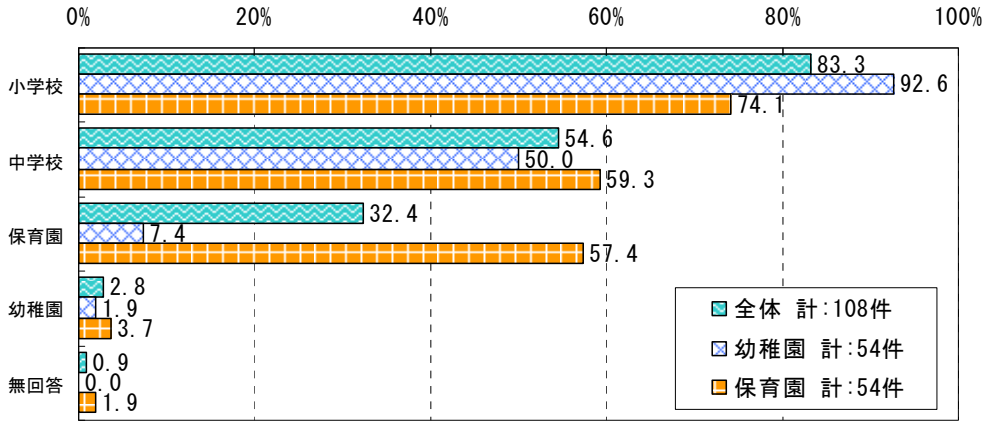
地域別に幼稚園の回答をみると、平成 23 年度に交流、連携を実施したとする幼稚園の割合は、〔南部ブロック〕で 100.0%と最も高くなっています。

また、地域別に保育園の回答をみると、平成 23 年度に交流、連携を実施したとする保育園の割合は、〔北西ブロック〕で 100.0%と最も高くなっています。

（２）交流、連携の相手方

問 13　【問 12 で１の「はい」に○をつけた場合に答えてください】
交流、連携の相手方はどこでしたか。（あてはまるもの全てに○）

図６－８　交流、連携の相手方



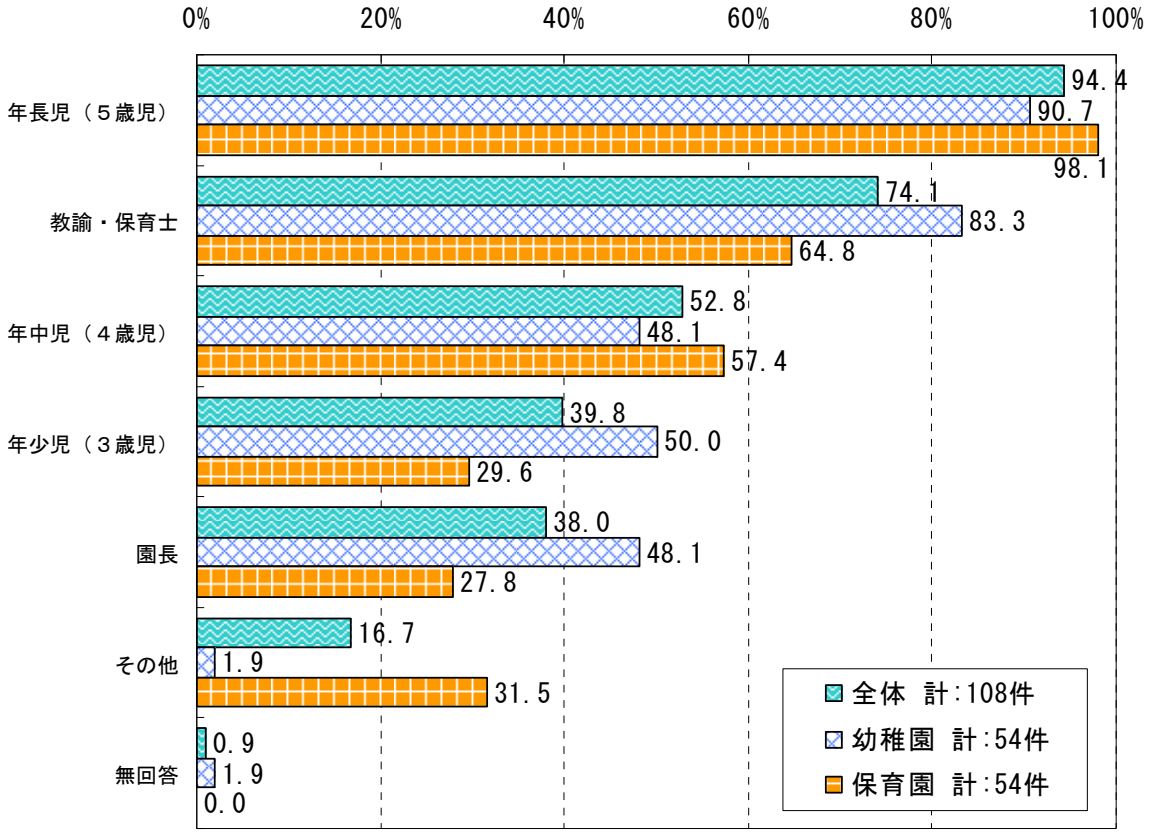
交流、連携の相手方としては、「小学校」の回答の割合が 83.3%と最も高く、次いで「中学校」(54.6%)、「保育園」(32.4%) の順となっています。

幼稚園・保育園の別にみると、幼稚園・保育園ともに「小学校」の回答の割合が最も高くなっています。また、保育園については、57.4%の園で保育園どうしの交流が行われています。

（３）交流、連携の参加者

問 14　【問 12 で１の「はい」に○をつけた場合に答えてください】
交流、連携に参加したのは以下のうち誰でしたか。（あてはまるもの全てに○）

図６－９　交流、連携の参加者



交流、連携の参加者については、「年長児（５歳児）」の割合が 94.4%と最も高く、次いで「教諭・保育士」（74.1%）、「年中児（４歳児）」（52.8%）の順となっています。

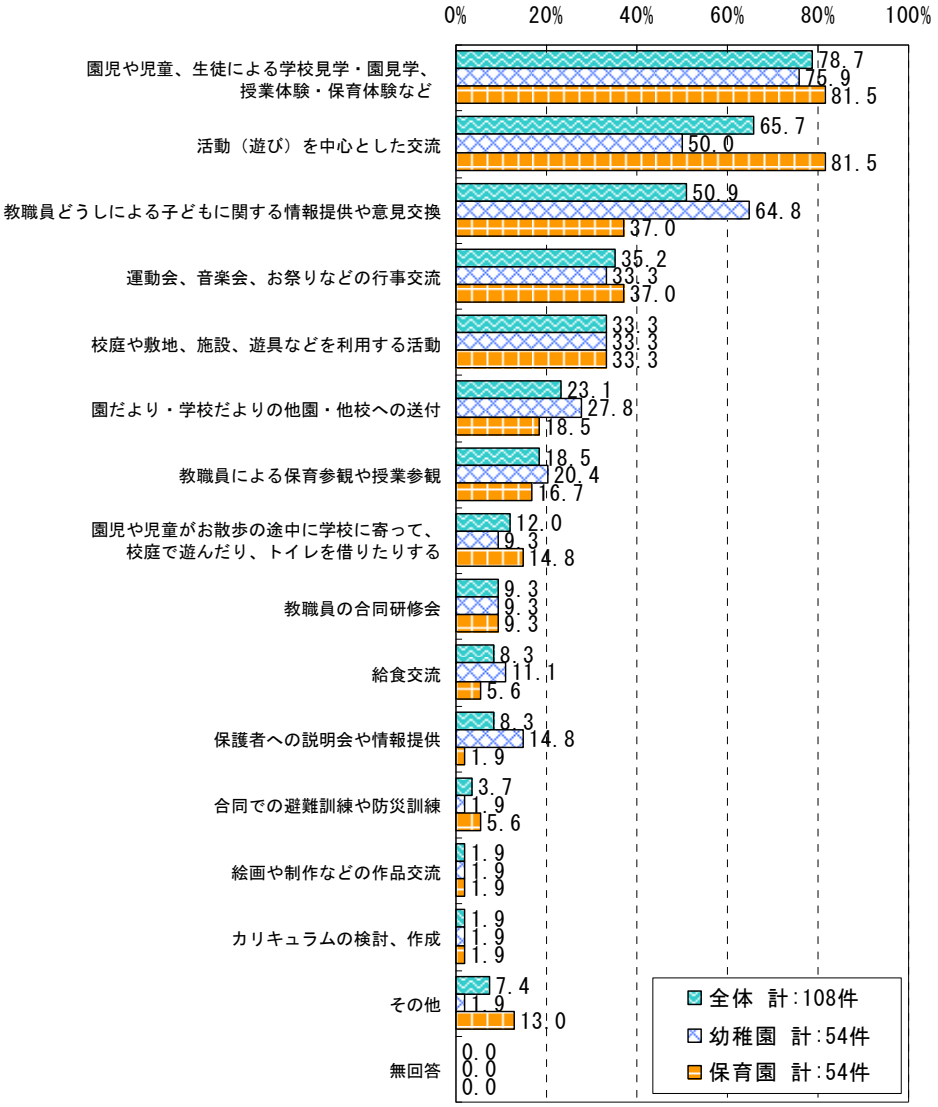
「その他」として、「０～２才児」、「地域の親子」、「民生委員」などの回答があります。

幼稚園・保育園の別にみると、幼稚園は、「年長児（５歳児）」、「教諭・保育士」、「年少児（３歳児）」、保育園は「年長児（５歳児）」、「教諭・保育士」、「年中児（４歳児）」の順で割合が高くなっています。

（４）交流、連携の内容

問 15　【問 12 で１の「はい」に○をつけた場合に答えてください】
交流、連携の内容はどのようなものでしたか。（あてはまるもの全てに○）

図６－１０　交流、連携の内容



交流、連携の内容としては、「園児や児童、生徒による学校見学・園見学、授業体験・保育体験など」の回答の割合が 78.7%と最も高く、次いで「活動（遊び）を中心とした交流」(65.7%)、「教職員どうしによる子どもに関する情報提供や意見交換」(50.9%）の順となっています。

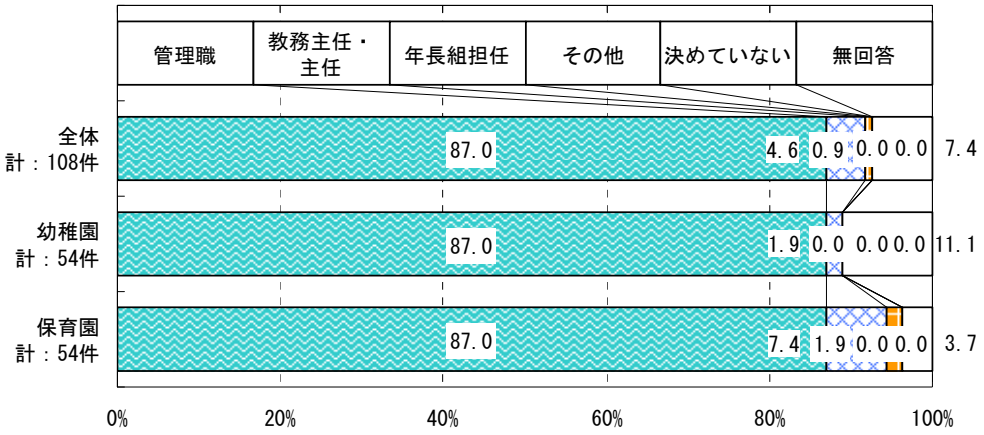
幼稚園・保育園の別にみると、保育園は、「園児や児童、生徒による学校見学・園見学、授業体験・保育体験など」、「活動（遊び）を中心とした交流」の回答の割合が同率で最も高くなっています。特に、「活動（遊び）を中心とした交流」については、幼稚園の回答の割合よりも 31.5 ポイント上回っています。

幼稚園は、「園児や児童、生徒による学校見学・園見学、授業体験・保育体験など」、「教職員どうしによる子どもに関する情報提供や意見交換」の順で回答の割合が高くなっています。特に、「教職員どうしによる子どもに関する情報提供や意見交換」については、保育園の回答の割合よりも 27.8 ポイント上回っています。

（５）交流、連携の窓口の担当者

問 16　【問 12 で１の「はい」に○をつけた場合に答えてください】
交流、連携の窓口は、主にどなたが担当していますか。（○は１つだけ）

図６－１１　交流、連携の窓口の担当者

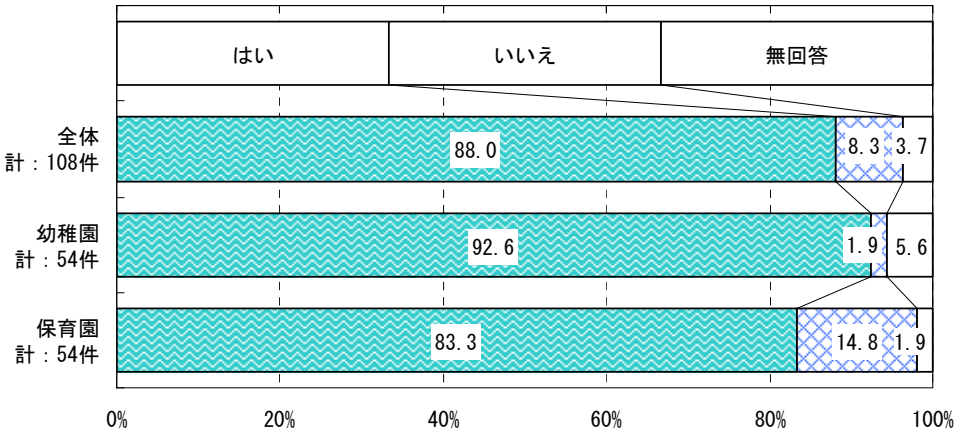


交流、連携の窓口の担当者については、「管理職」の割合が 87.0%となっています。
幼稚園・保育園の別にみても、全体と同様の傾向がうかがえます。

（６）交流、連携の窓口の担当者の固定化

問 17　【問 12 で１の「はい」に○をつけた場合に答えてください】
交流、連携の窓口の担当者は、固定していますか。（○は１つだけ）

図６－１２　交流、連携の窓口の担当者の固定化



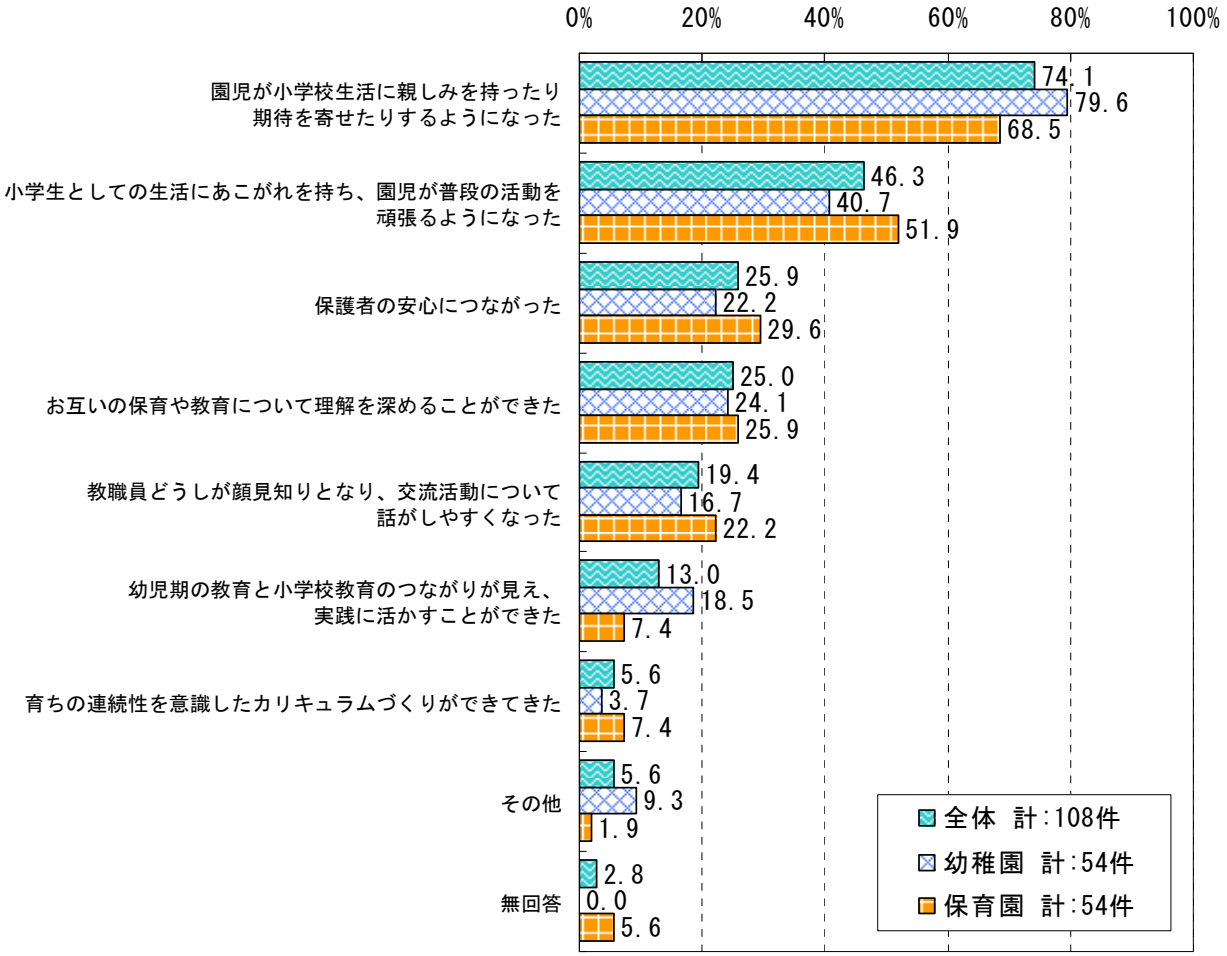
交流、連携の窓口については、幼稚園・保育園全体の 88.0%が担当者を固定していると回答しています。

幼稚園・保育園の別にみると、交流、連携の窓口の担当者を固定している園の割合は、幼稚園が保育園に比べて 9.3 ポイント上回っています。

（７）交流、連携を行って良かった点

問 18　【問 12 で１の「はい」に○をつけた場合に答えてください】
交流、連携を行って良かった点は何ですか。（あてはまるもの全てに○）

図６－１３　交流、連携を行って良かった点



交流、連携を行って良かった点としては、「園児が小学校生活に親しみを持ったり期待を寄せたりするようになった」の回答の割合が 74.1%と最も高く、次いで「小学生としての生活にあこがれを持ち、園児が普段の活動を頑張るようになった」(46.3%)、「保護者の安心につながった」(25.9%)の順となっています。

「その他」として、「子どもの園での様子、卒園後に心配な点を伝えることができた」、「中学生と関わる事で、知らなかった遊びを教えてもらい、遊びのおもしろさを更に味わう事が出来る」などの回答があります。

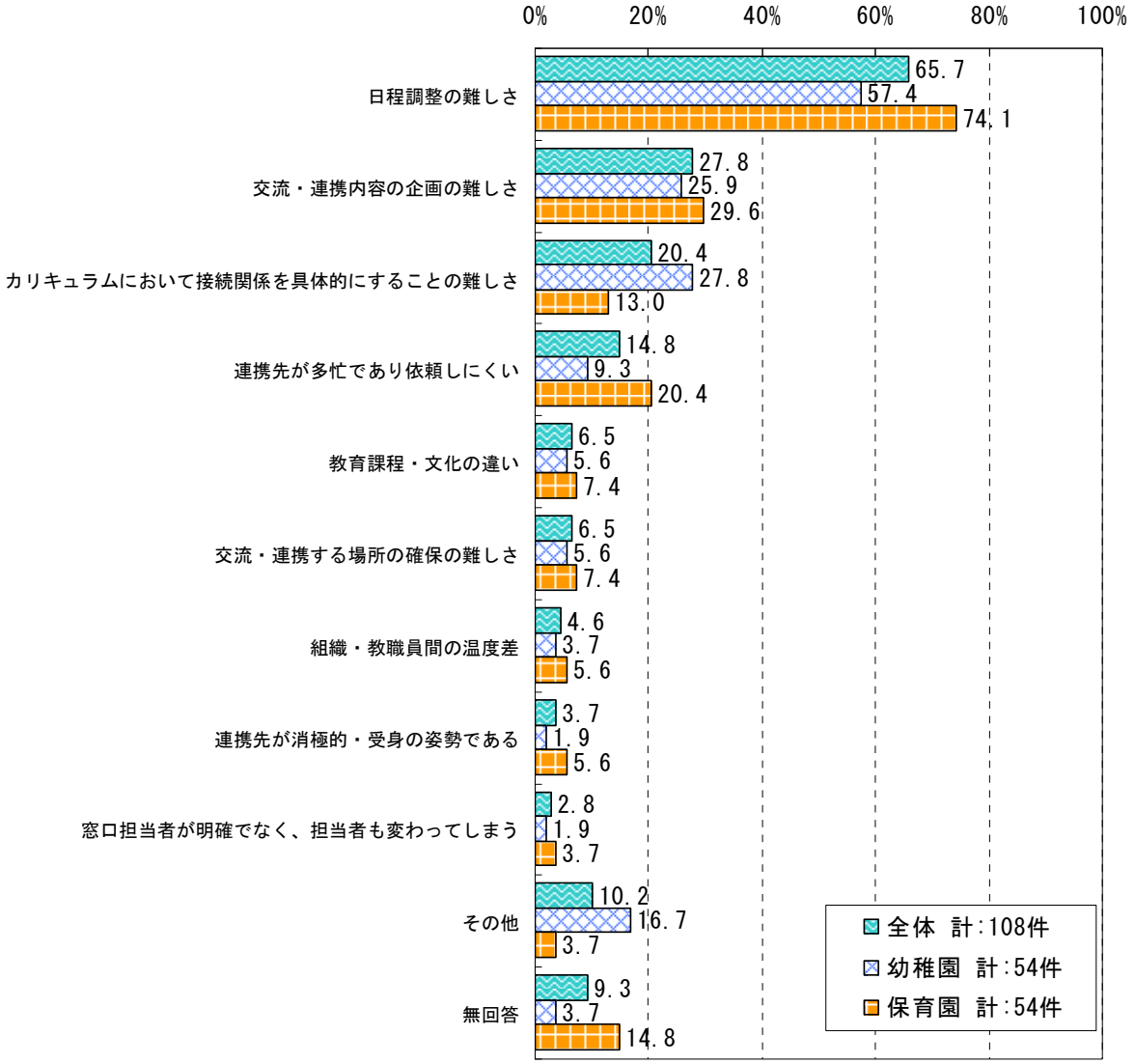
幼稚園・保育園の別にみると、保育園では、特に「小学生としての生活にあこがれを持ち、園児が普段の活動を頑張るようになった」の回答の割合が、幼稚園の回答の割合より高くなっています。

幼稚園では、特に「幼児期の教育と小学校教育のつながりが見え、実践に活かすことができた」の回答の割合が、保育園の回答の割合より高くなっています。

（８）交流、連携の課題となる点

問 19　【問 12 で１の「はい」に○をつけた場合に答えてください】
交流、連携の実施にあたって課題となる点は何ですか。（あてはまるもの全てに○）

図６－１４　交流、連携の課題となる点



交流、連携の課題となる点としては、「日程調整の難しさ」の回答の割合が 65.7%と最も高く、次いで「交流・連携内容の企画の難しさ」(27.8%)、「カリキュラムにおいて接続関係を具体的にすることの難しさ」(20.4%) の順となっています。

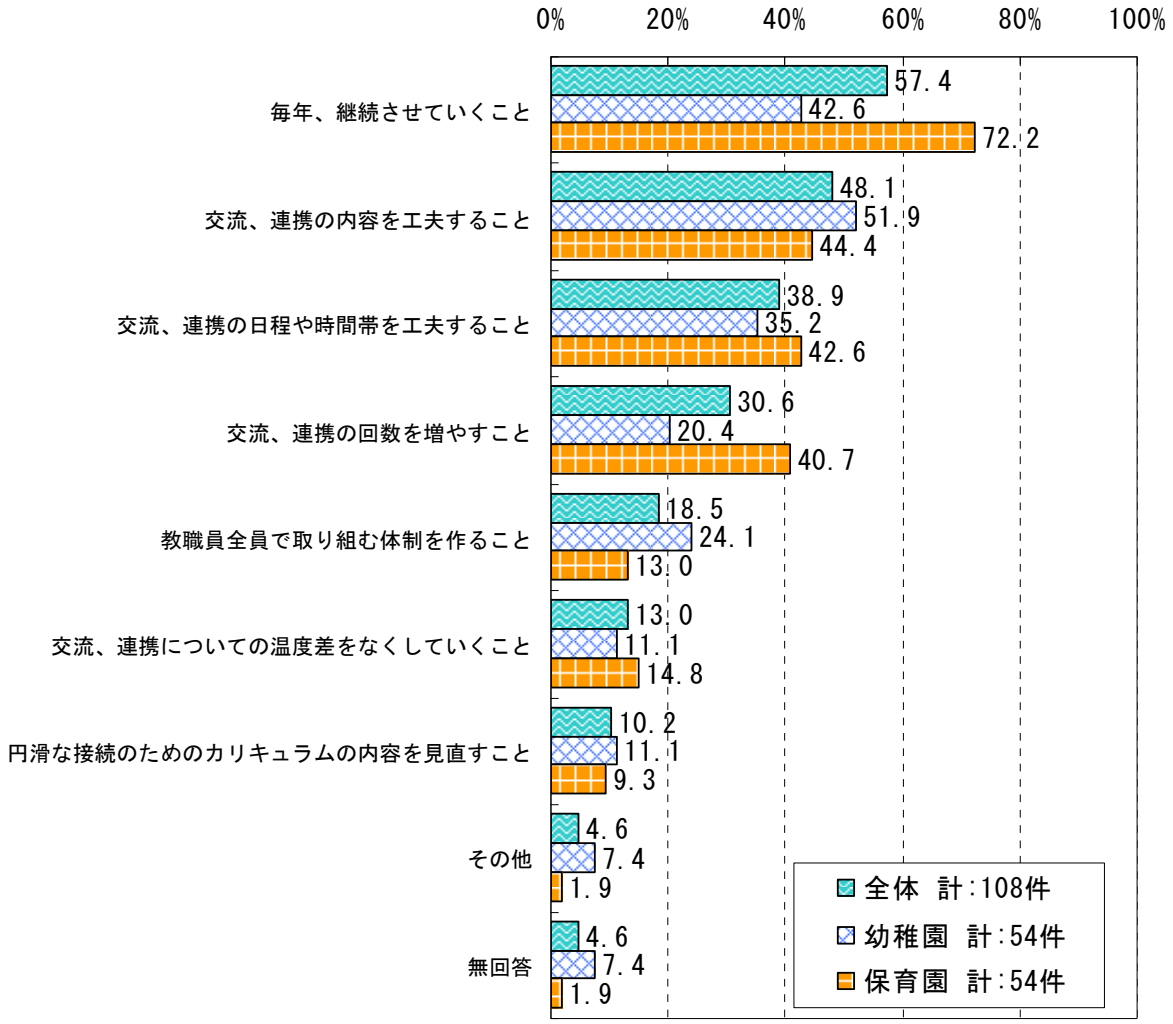
「その他」として、「開始されたばかりなので、これからというところです」などの回答があります。

幼稚園・保育園の別にみると、保育園では、特に「日程調整の難しさ」、「連携先が多忙であり依頼しにくい」の回答の割合が、幼稚園の回答の割合より高くなっています。幼稚園では、特に「カリキュラムにおいて接続関係を具体的にすることの難しさ」の回答の割合が、保育園の回答の割合より高くなっています。

（９）交流、連携の改善点

問 20　【問 12 で１の「はい」に○をつけた場合に答えてください】
交流、連携の実施にあたって改善したい点は何ですか。（あてはまるもの全てに○）

図６－１５　交流、連携の改善点



交流、連携の改善点としては、「毎年、継続させていくこと」の回答の割合が 57.4%と最も高く、次いで「交流、連携の内容を工夫すること」（48.1%）、「交流、連携の日程や時間帯を工夫すること」（38.9%）の順となっています。

「その他」として「同じ学校に偏らず、幅広く交流を持ちたい」、「開始されたばかりなので、これからというところです」などの回答があります。

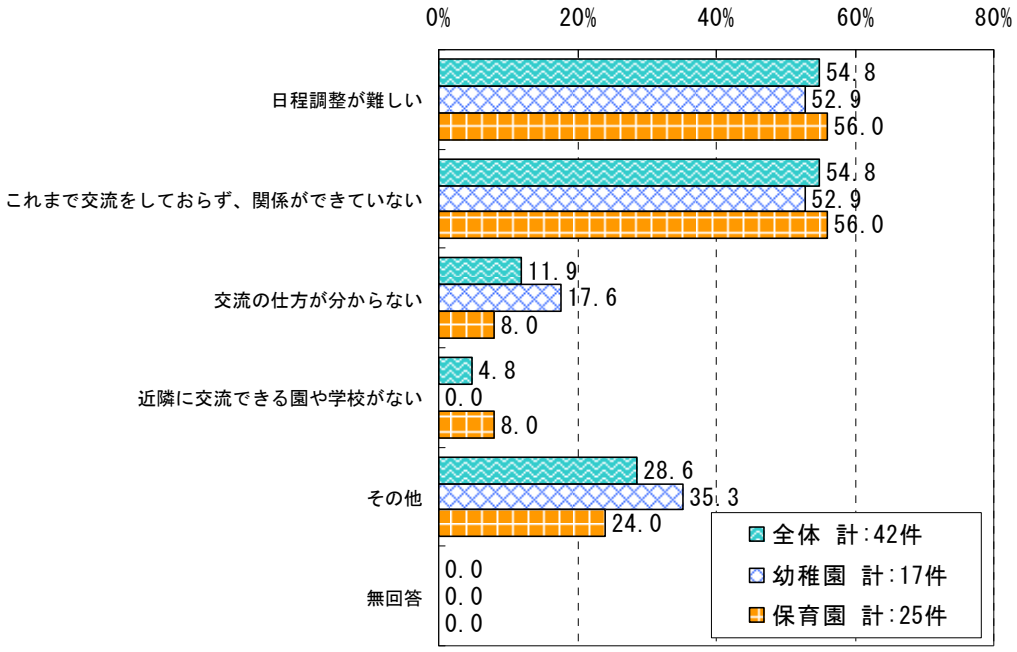
幼稚園・保育園の別にみると、保育園では全体と同様の傾向がうかがえますが、幼稚園では、全体の傾向と一部で異なり、「交流、連携の内容を工夫すること」の回答の割合が最も高く、次いで「毎年、継続させていくこと」の順となっています。

また、保育園では、特に「毎年、継続させていくこと」、「交流、連携の回数を増やすこと」の回答の割合が幼稚園の回答の割合より高く、幼稚園では、特に、「教職員全員で取り組む体制を作ること」の回答の割合が保育園の回答の割合より高くなっています。

（10）交流、連携が困難な理由

問 21　【問 12 で２の「いいえ」に○をつけた場合に答えてください】
交流、連携の実施が困難な理由は何ですか。（あてはまるもの全てに○）

図６－１６　交流、連携が困難な理由



交流、連携が困難な理由としては、「日程調整が難しい」と「これまで交流をしておらず、関係ができていない」の回答の割合が 54.8%と同率で最も高く、次いで「交流の仕方が分からない」（11.9%）の順となっています。

「その他」として、「多くの小学校へ進学する為、１つの学校を選ぶ事がなかった」、「職員数の不足」、「新園のため、これから予定を立てていく」などの回答があります。

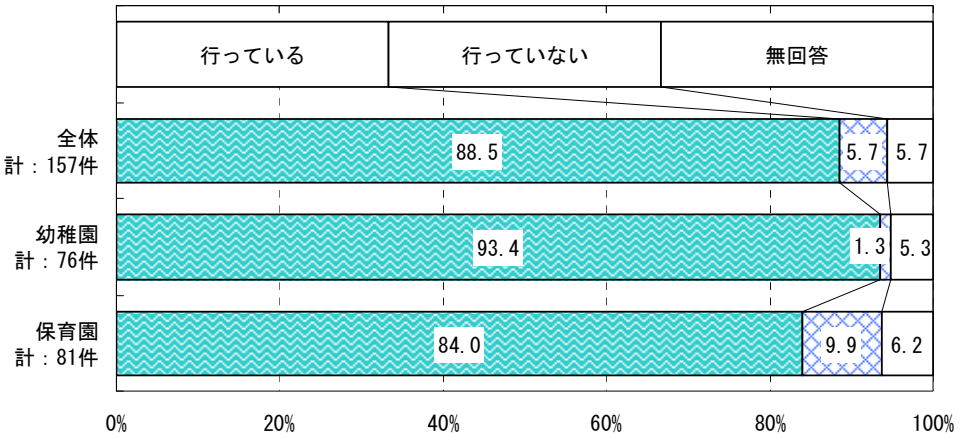
幼稚園・保育園の別にみても、全体とほぼ同様の傾向がうかがえます。

４．就学に向けた取り組みについて

（１）交流、連携以外の接続を意識した幼児教育

問 22　あなたの園では、他の幼稚園・保育園・小学校・中学校との交流、連携以外に、小学校教育への接続を意識して行う幼児教育を行っていますか。（○は１つだけ）

図６－１７　交流、連携以外の接続を意識した幼児教育



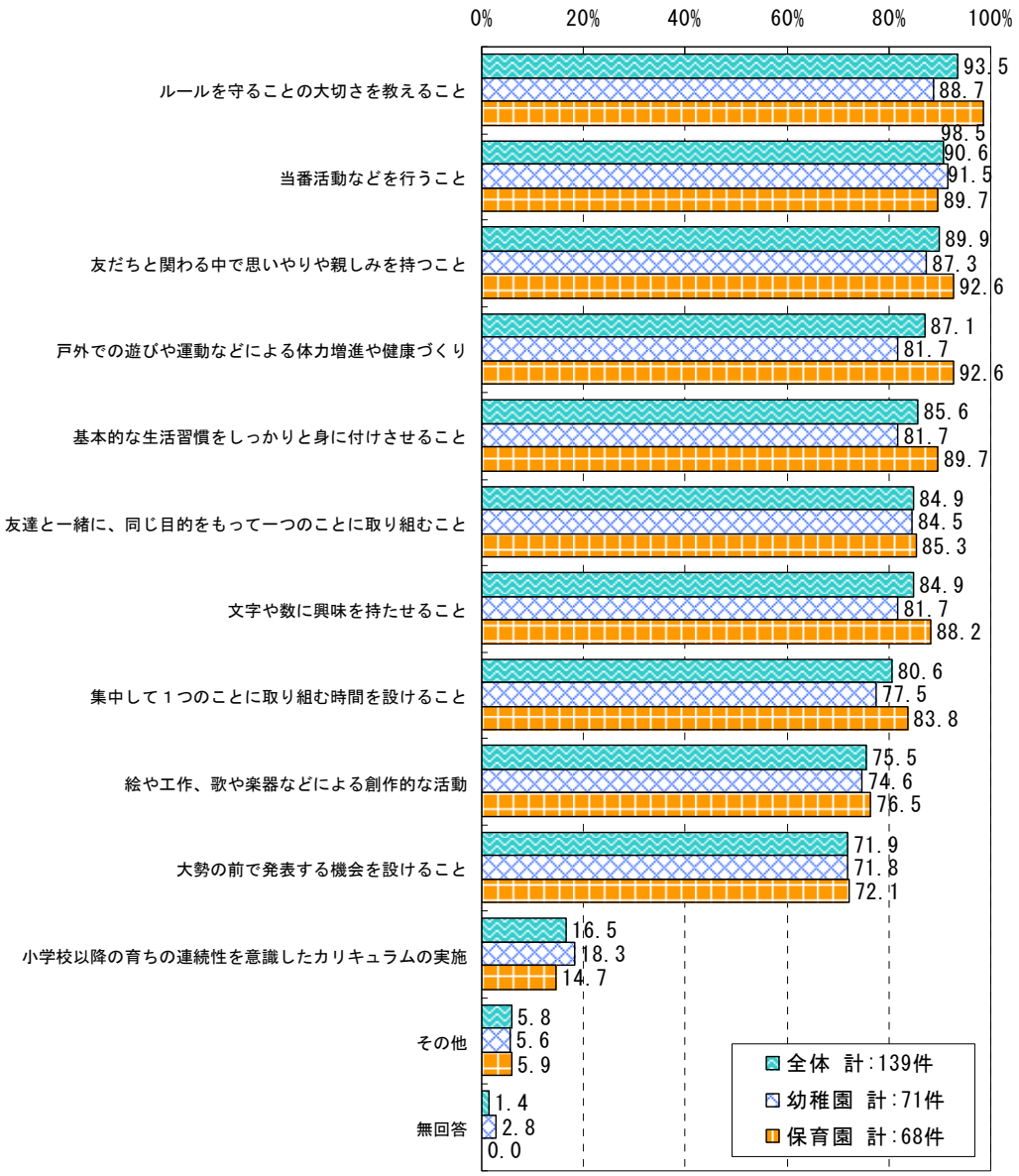
交流､連携以外の接続を意識した幼児教育については､88.5%の園が行っていると回答しています。

幼稚園・保育園の別にみると、幼稚園では 93.4%、保育園では 84.0%の園が、交流、連携以外の接続を意識した幼児教育を行っていると回答しています。

（２）小学校教育への接続を意識した幼児教育の実施

問 23　【問 22 で１の「行っている」に○をつけた場合に答えてください】
小学校教育への接続を意識して行う幼児教育として、どのようなことを行っていますか。
（あてはまるもの全てに○）

図６－１８　小学校教育への接続を意識した幼児教育の実施



小学校教育への接続を意識して実施する幼児教育としては、「ルールを守ることの大切さを教えること」の回答の割合が 93.5%と最も高く、次いで「当番活動などを行うこと」(90.6%)、「友だちと関わる中で思いやりや親しみを持つこと」(89.9%) の順となっています。

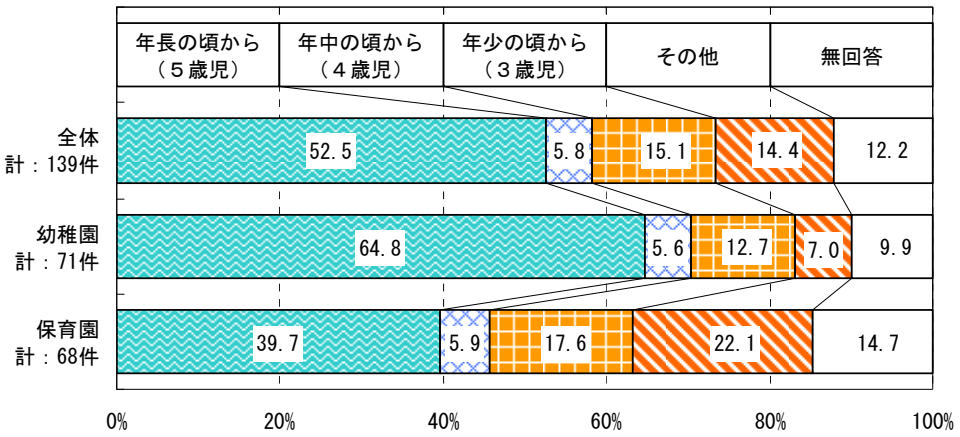
「その他」として、「食育」、「知能テスト」、「礼儀正しく、けじめのある子。目標にむかってがんばる子。仲間と共に育ちあう心豊かな子」、「保育園と小学校の連携だけではなく、幼稚園（他地域ですが）との情報共有を行っています」などの回答があります。

幼稚園・保育園の別にみると、全体とほぼ同様の傾向がうかがえますが、幼稚園では、「当番活動などを行うこと」の回答の割合が最も高くなっています。

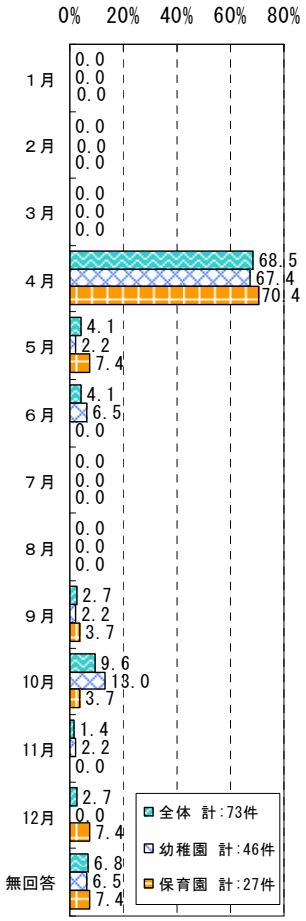
（３）接続を意識した幼児教育の実施時期

問 24　【問 22 で１の「行っている」に○をつけた場合に答えてください】
小学校教育への接続を意識して行う幼児教育を、いつ頃から行っていますか。（○は１つだけ）

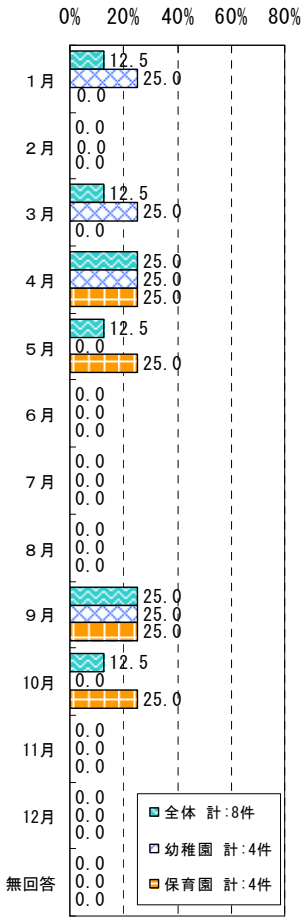
図６－１９　接続を意識した幼児教育の実施時期



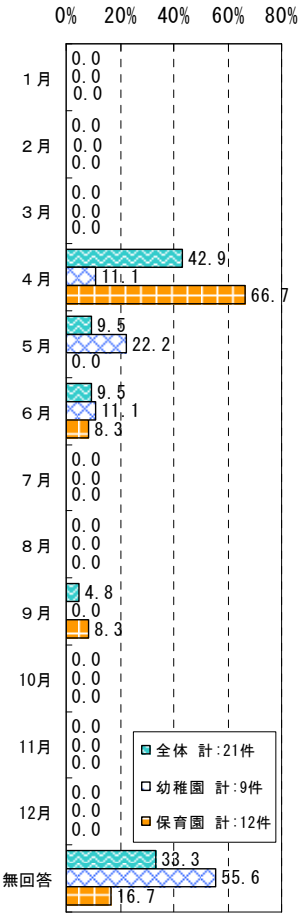
【年長児（５歳児）の実施時期】



【年中児（４歳児）の実施時期】



【年少児（３歳児）の実施時期】



小学校教育への接続を意識した幼児教育の実施時期については、「年長（５歳児）の頃から」（52.5%）、「年少（３歳児）の頃から」（15.1%）、「年中（４歳児）の頃から」（5.8%）の順となっています。

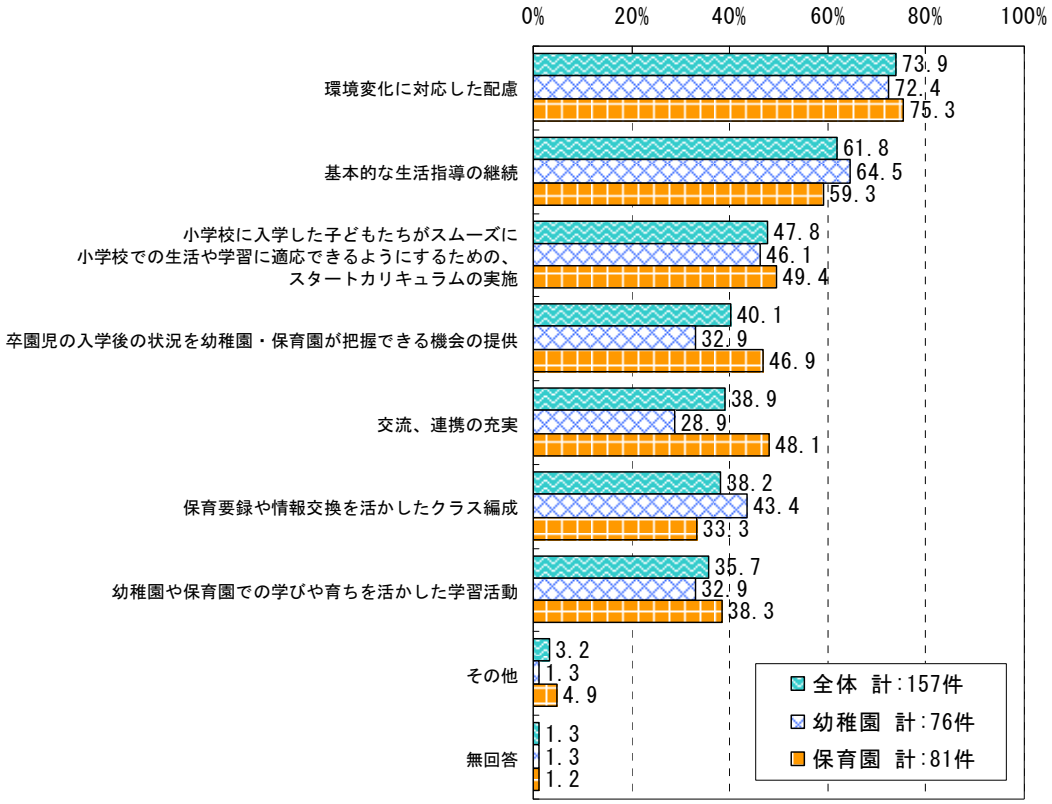
「その他」として、「入園と同時に、その個人の成長にあわせて行う」、「０歳児から」などの回答があります。

学年ごとにみた実施時期（月）については、「年長児（５歳児)」、「年少児（３歳児)」については「４月」、「年中児（４歳児)」については４月及び９月の回答の割合が高くなっています。

（４）小学校に対する期待

問 25　卒園児が進学する小学校に対して、どのようなことを期待しますか。
（あてはまるもの全てに○）

図６－２０　小学校に対する期待



卒園児が進学する小学校に対する期待としては、「環境変化に対応した配慮」の回答の割合が73.9%と最も高く、次いで「基本的な生活指導の継続」(61.8%)、「小学校に入学した子どもたちがスムーズに小学校での生活や学習に適応できるようにするための、スタートカリキュラムの実施」(47.8%）の順となっています。

「その他」として、「保護者が授業参観できる機会」、「友達や先生との信頼関係を築いてほしい」などの回答があります。

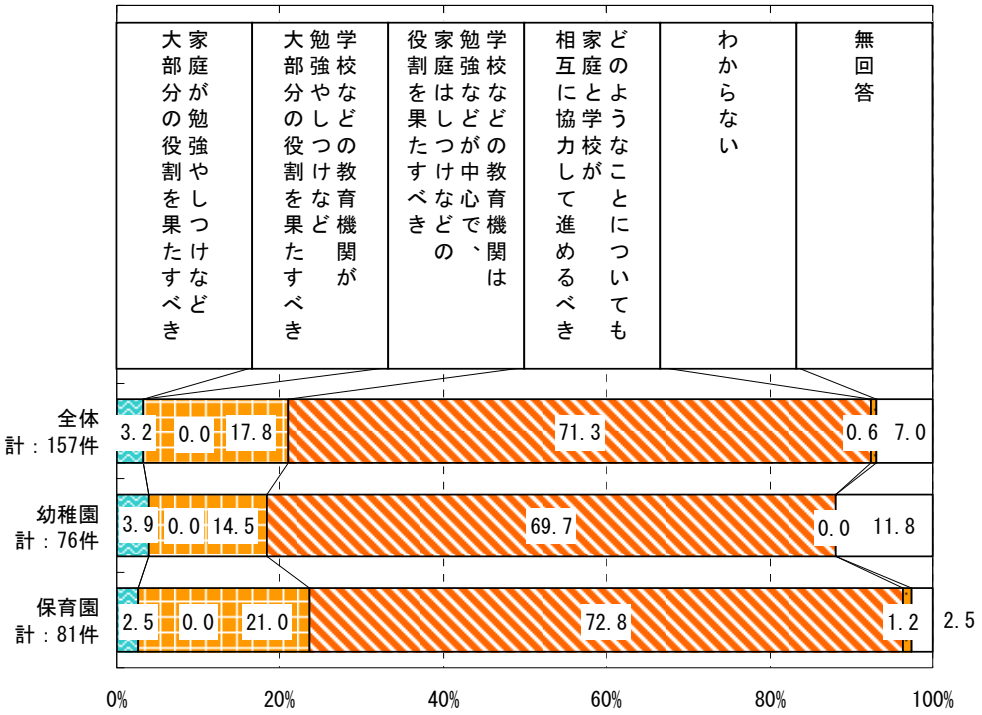
幼稚園・保育園の別をみても、全体とほぼ同様の傾向がうかがえますが、「卒園児の入学後の状況を幼稚園・保育園が把握できる機会の提供」、「交流、連携の充実」については、保育園の回答の割合が幼稚園の回答の割合を、それぞれ 14.0 ポイント、19.2 ポイント上回っています。一方、「保育要録や情報交換を活かしたクラス編成」については、幼稚園の回答の割合が保育園の回答の割合を 10.1 ポイント上回っています。

５．教育全般について

（１）家庭と学校などの教育機関の役割

問 26　子どもを育てるにあたっての、家庭と学校などの教育機関（幼稚園、保育園を含む）の役割について、もっとも近い考えはどれですか。（○は１つだけ）

図６－２１　家庭と学校などの教育機関の役割



家庭と学校などの教育機関の役割については、「どのようなことについても家庭と学校が相互に協力して進めるべき」の回答の割合が 71.3％と最も高く、次いで「学校などの教育機関は勉強などが中心で、家庭はしつけなどの役割を果たすべき」（17.8％）、「家庭が勉強やしつけなど大部分の役割を果たすべき」（3.2％）の順となっています。

■表６－５地域別集計（家庭と学校などの教育機関の役割）（単位　上段：件、下段：%）

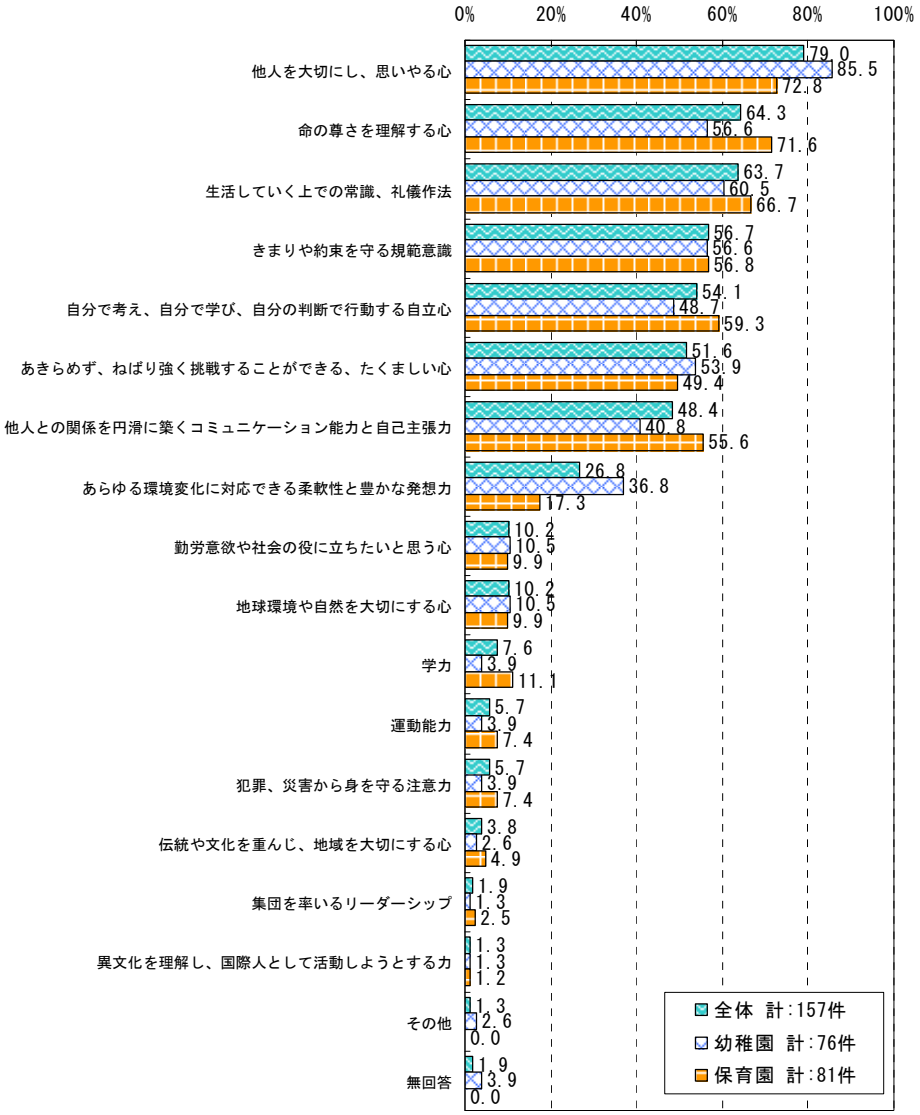
		合計	家庭が勉強やしつけなど大部分の役割を果たすべき	学校などの教育機関が勉強やしつけなど大部分の役割を果たすべき	学校などの教育機関は勉強などが中心で、家庭はしつけなどの役割を果たすべき	どのようなことについても家庭と学校が相互に協力して進めるべき	わからない	無回答
幼稚園	全体	76 100.0	3 3.9	0 0.0	11 14.5	53 69.7	0 0.0	9 11.8
	北東ブロック	12 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	10 83.3	0 0.0	2 16.7
	北西ブロック	11 100.0	1 9.1	0 0.0	6 54.5	2 18.2	0 0.0	2 18.2
	松原ブロック	25 100.0	1 4.0	0 0.0	3 12.0	17 68.0	0 0.0	4 16.0
	中央ブロック	14 100.0	1 7.1	0 0.0	1 7.1	11 78.6	0 0.0	1 7.1
	南部ブロック	14 100.0	0 0.0	0 0.0	1 7.1	13 92.9	0 0.0	0 0.0
保育園	全体	81 100.0	2 2.5	0 0.0	17 21.0	59 72.8	1 1.2	2 2.5
	北東ブロック	13 100.0	0 0.0	0 0.0	6 46.2	7 53.8	0 0.0	0 0.0
	北西ブロック	10 100.0	0 0.0	0 0.0	4 40.0	5 50.0	0 0.0	1 10.0
	松原ブロック	15 100.0	0 0.0	0 0.0	3 20.0	11 73.3	0 0.0	1 6.7
	中央ブロック	28 100.0	2 7.1	0 0.0	1 3.6	24 85.7	1 3.6	0 0.0
	南部ブロック	15 100.0	0 0.0	0 0.0	3 20.0	12 80.0	0 0.0	0 0.0

地域別にみると、幼稚園の〔北西ブロック〕では全体の傾向と異なり、「学校などの教育機関は勉強などが中心で、家庭はしつけなどの役割を果たすべき」の回答の割合が最も高くなっています。

（２）中学校卒業までに身に付けてほしい能力や考え方

問 27　将来、成人し社会の支え手となる、あなたの園の卒園児のお子さんたちに、中学校を卒業する時までに、身に付けてほしい能力や考え方として、特に重要だと思うことは何ですか。（○は５つまで）

図６－２２　中学校卒業までに身に付けてほしい能力や考え方



中学校卒業までに身に付けてほしい能力や考え方については、「他人を大切にし、思いやる心」の回答の割合が 79.0%と最も高く、次いで「命の尊さを理解する心」（64.3%）、「生活していく上での常識、礼儀作法」（63.7%）、「きまりや約束を守る規範意識」（56.7%）、「自分で考え、自分で学び、自分の判断で行動する自立心」（54.1%）の順となっています。

「その他」として、「すべてにおいてバランスのとれた人格、人間教育の形成」などの回答があります。

幼稚園・保育園の別にみると、「他人を大切にし、思いやる心」、「あらゆる環境変化に対応できる柔軟性と豊かな発想力」については、幼稚園の回答の割合が保育園の回答の割合を、それぞれ 12.7 ポイント、19.5 ポイント上回っています。一方、「命の尊さを理解する心」、「自分で考え、自分で学び、自分の判断で行動する自立心」、「他人との関係を円滑に築くコミュニケーション能力と自己主張力」については、保育園の回答の割合が幼稚園の回答の割合を、それぞれ 15.0 ポイント、10.6 ポイント、14.8 ポイント上回っています。

■表６－６　地域別集計（中学校卒業までに身に付けてほしい能力や考え方）（単位　上段：件、下段：%）

		合計	学力	運動能力	生活していく上での常識、礼儀作法	きまりや約束を守る規範意識	他人を大切にし、思いやる心	あきらめず、ねばり強く挑戦することができる、たくましい心	命の尊さを理解する心	自分で考え、自分で学び、自分の判断で行動する自立心	他人との関係を円滑に築くコミュニケーション能力と自己主張力	あらゆる環境変化に対応できる柔軟性と豊かな発想力	集団を率いるリーダーシップ	犯罪、災害から身を守る注意力	勤労意欲や社会の役に立ちたいと思う心	伝統や文化を重んじ、地域を大切にする心	異文化を理解し、国際人として活動しようとする力	地球環境や自然を大切にする心	その他	無回答
幼稚園	全体	76	3	3	46	43	65	41	43	37	31	28	1	3	8	2	1	8	2	3
		100.0	3.9	3.9	60.5	56.6	85.5	53.9	56.6	48.7	40.8	36.8	1.3	3.9	10.5	2.6	1.3	10.5	2.6	3.9
	北東ブロック	12	0	0	8	10	12	6	6	4	5	3	0	0	1	0	0	5	0	0
		100.0	0.0	0.0	66.7	83.3	100.0	50.0	50.0	33.3	41.7	25.0	0.0	0.0	8.3	0.0	0.0	41.7	0.0	0.0
	北西ブロック	11	1	1	2	9	8	8	2	6	1	6	0	0	0	0	0	0	0	2
		100.0	9.1	9.1	18.2	81.8	72.7	72.7	18.2	54.5	9.1	54.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	18.2
	松原ブロック	25	2	2	20	10	22	13	15	13	10	10	0	1	2	0	0	3	2	0
		100.0	8.0	8.0	80.0	40.0	88.0	52.0	60.0	52.0	40.0	40.0	0.0	4.0	8.0	0.0	0.0	12.0	8.0	0.0
	中央ブロック	14	0	0	9	6	11	6	10	6	7	4	0	2	3	2	0	0	0	1
		100.0	0.0	0.0	64.3	42.9	78.6	42.9	71.4	42.9	50.0	28.6	0.0	14.3	21.4	14.3	0.0	0.0	0.0	7.1
	南部ブロック	14	0	0	7	8	12	8	10	8	8	5	1	0	2	0	1	0	0	0
		100.0	0.0	0.0	50.0	57.1	85.7	57.1	71.4	57.1	57.1	35.7	7.1	0.0	14.3	0.0	7.1	0.0	0.0	0.0
保育園	全体	81	9	6	54	46	59	40	58	48	45	14	2	6	8	4	1	8	0	0
		100.0	11.1	7.4	66.7	56.8	72.8	49.4	71.6	59.3	55.6	17.3	2.5	7.4	9.9	4.9	1.2	9.9	0.0	0.0
	北東ブロック	13	2	1	5	7	8	9	11	8	8	1	0	2	0	1	0	1	0	0
		100.0	15.4	7.7	38.5	53.8	61.5	69.2	84.6	61.5	61.5	7.7	0.0	15.4	0.0	7.7	0.0	7.7	0.0	0.0
	北西ブロック	10	2	1	8	5	8	2	8	5	5	2	0	1	0	0	0	0	0	0
		100.0	20.0	10.0	80.0	50.0	80.0	20.0	80.0	50.0	50.0	20.0	0.0	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	松原ブロック	15	0	1	11	5	9	9	9	9	10	5	0	1	2	1	1	2	0	0
		100.0	0.0	6.7	73.3	33.3	60.0	60.0	60.0	60.0	66.7	33.3	0.0	6.7	13.3	6.7	6.7	13.3	0.0	0.0
	中央ブロック	28	2	1	19	18	20	12	20	16	18	2	1	1	3	1	0	3	0	0
		100.0	7.1	3.6	67.9	64.3	71.4	42.9	71.4	57.1	64.3	7.1	3.6	3.6	10.7	3.6	0.0	10.7	0.0	0.0
	南部ブロック	15	3	2	11	11	14	8	10	10	4	4	1	1	3	1	0	2	0	0
		100.0	20.0	13.3	73.3	73.3	93.3	53.3	66.7	66.7	26.7	26.7	6.7	6.7	20.0	6.7	0.0	13.3	0.0	0.0

地域別に、全体での回答の割合が最も高い項目と比較すると、幼稚園の〔北西ブロック〕では、「きまりや約束を守る規範意識」、保育園の〔北東ブロック〕では「命の尊さを理解する心」、保育園の〔北西ブロック〕では「他人を大切にし、思いやる心」と並び「生活していく上での常識、礼儀作法」「命の尊さを理解する心」、保育園の〔松原ブロック〕では「生活していく上での常識、礼儀作法」、保育園の〔中央ブロック〕では「他人を大切にし、思いやる心」と並び「命の尊さを理解する心」の回答の割合が最も高くなっています。

６．自由記述

最後に、子ども教育の連携や草加市の教育についてご意見などがあれば、自由にご記入ください。

自由記述は、回収数 158 件中 34 件から回答があり、結果を項目別にまとめると以下のようになります。１件の回答の中に複数の項目にまたがるものもあるため、各項目の回答件数の合計は 34 件より多くなっています。

■表６－７　自由記述（幼稚園教員・保育園保育士）

項目			件数
幼稚園・保育園に関すること	活動内容について		7
		思いやりの心や命の尊さを理解する心を育てたい	2
		人と関わる力や規範意識を育て、豊かな体験をすることができるようにしていきたい	3
		生活力を育てたい	1
		協力し理解し合いながら親の子育ての力を育みたい	1
	巡回相談員を増員してほしい		1
小学校に関すること	施設・設備について		1
		学校のトイレの環境を整えてほしい	1
	家庭との連携について		1
		小学校と家庭の関わりをもっと作ってほしい	1
教育行政に関すること	子ども教育の連携推進について		28
		園と小学校の連携は大切であり積極的に取り組みたい	4
		子どもたちにとって何か大切なのかを考えて取組を行ってほしい	2
		小さなことの積み重ねを大切にして連携を進めてほしい	2
		幼保型保育園との連携について具体的に教えてほしい	2
		子どもたちどうしの小学校との交流の機会を増やしたい	2
		小学校入学後の子どもたちの様子を知る機会を設けてほしい	1
		園から学校への環境の変化に子どもたちがスムーズに移行できるようにしてほしい	1
		小学校への見学日程を１年のカリキュラムとして組み入れてほしい	1
		ブロック別の意見交換会を年度の早い時期に行ってほしい	1
		連携を子どもたちの心の成長の役に立てたい	1
		保護者とも連携をとり、よりよい教育を進めてほしい	1
		科学的に子どもの育ちを支え、中学校までを見通した連携を行ってほしい	1
		教育と発達をともに大切に考えていってほしい	1
		保護者、教育者、保育者がしっかり連携することが大切	1
		連携の目的をはっきりさせ、そのための方法をよく考え、環境を整えてほしい	1
		連携の目標と手立てについて議論できる場がほしい	1
		園で育てた力を上へ上へとつなげていってほしい	1
		縦のつながりだけでなく横のつながりの連携も行っていきたい	1
		その他	3
	教育施策全般について		3
		人間としての人格形成ができるような教育環境を子どもたちに与えてほしい	1
		これからも保育や子育てに意欲的に取り組んでほしい	1
		その他	1

Ⅶ. 小学校教員

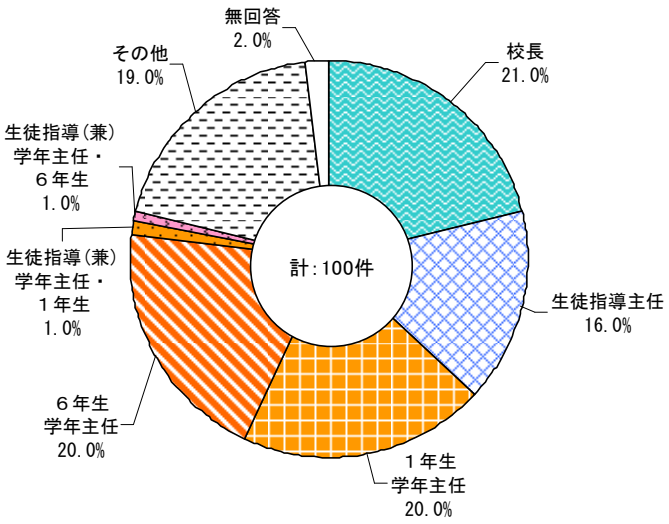
１. 基礎情報

■表７－１　地域別集計の内訳は、次のようになっています。

地域名	小学校
北東ブロック	川柳、八幡、八幡北、青柳、稲荷
北西ブロック	新田、新栄、清門、長栄
松原ブロック	栄、花栗南、小山、松原
中央ブロック	草加、高砂、瀬崎、西町
南部ブロック	谷塚、氷川、新里、両新田

（１）職名

図７－１　職名

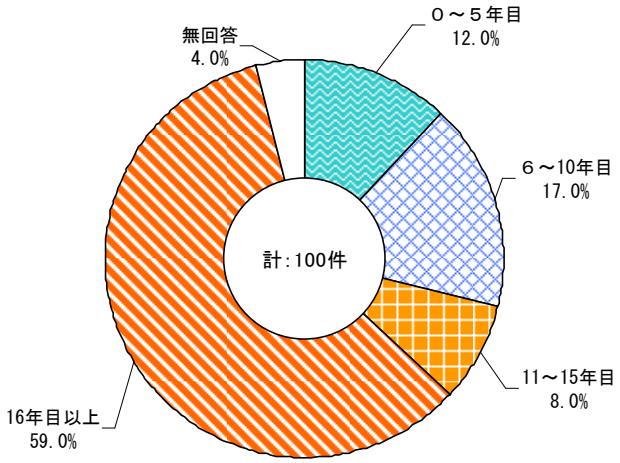


回答者の職名は、「校長」が 21.0％と最も高く、次いで「１年生学年主任」（20.0％）及び「６年生学年主任」（20.0％）の順となっています。

「その他」として、「特別支援学級の主担任」があります。

（２）教員歴

図７－２　教員歴



回答者の教員歴は、「16 年目以上」が 59.0%と最も高く、次いで「６～10 年目」(17.0%)、「０～５年目」(12.0%) の順となっています。

■表７－２　職名別集計（教員歴）（単位　上段：件、下段：%）

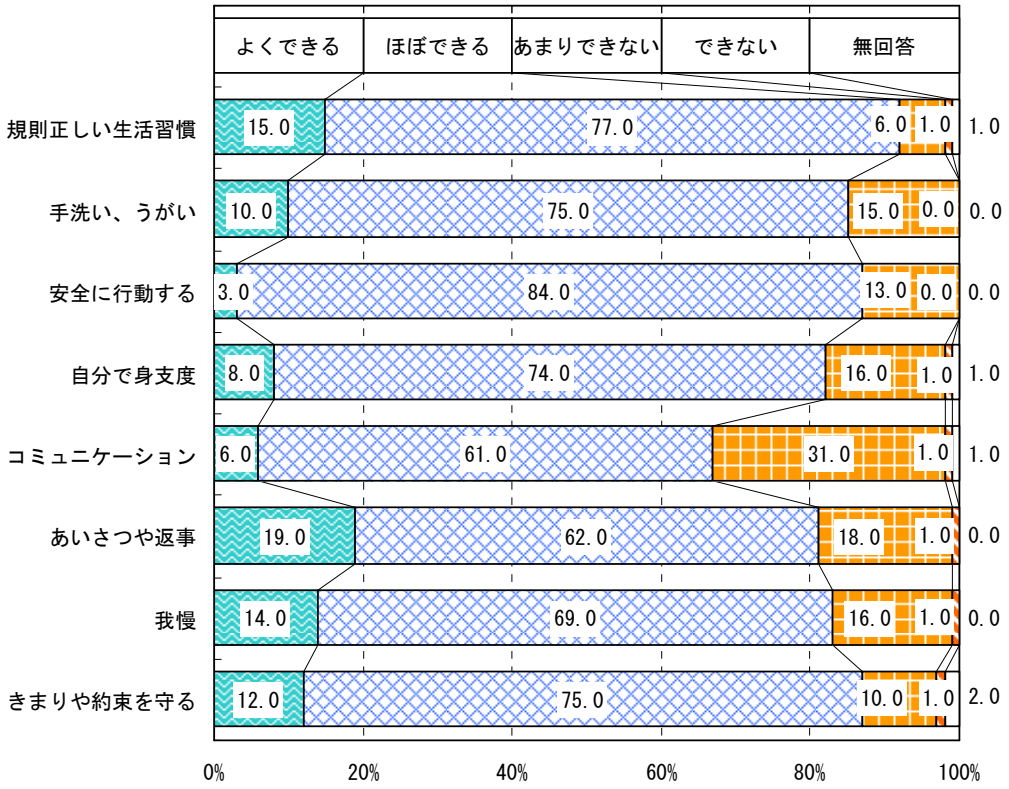
	教員歴					
	合計	０～５年目	６～10年目	11～15年目	16年目以上	無回答
全体	98 100.0	12 12.2	17 17.3	8 8.2	58 59.2	3 3.1
校長	21 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	19 90.5	2 9.5
生徒指導主任	16 100.0	2 12.5	8 50.0	2 12.5	3 18.8	1 6.3
１年生学年主任	20 100.0	0 0.0	1 5.0	0 0.0	19 95.0	0 0.0
６年生学年主任	20 100.0	2 10.0	5 25.0	4 20.0	9 45.0	0 0.0
生徒指導(兼) 学年主任・１年生	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0
生徒指導(兼) 学年主任・６年生	1 100.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
その他	19 100.0	8 42.1	2 10.5	2 10.5	7 36.8	0 0.0

職名別・教員歴別にみると、校長は「16 年目以上」、生徒指導主任は「６～10 年目」、１年生学年主任は「16 年目以上」、６年生学年主任は「16 年目以上」の割合が最も高くなっています。

２．児童の生活の様子について

問１～８　児童の生活の様子について、以下にあげる内容が、どの程度できているとお感じになりますか。クラス全体としての傾向を教えてください。（それぞれ○は一つだけ）

図７－３　児童の生活の様子



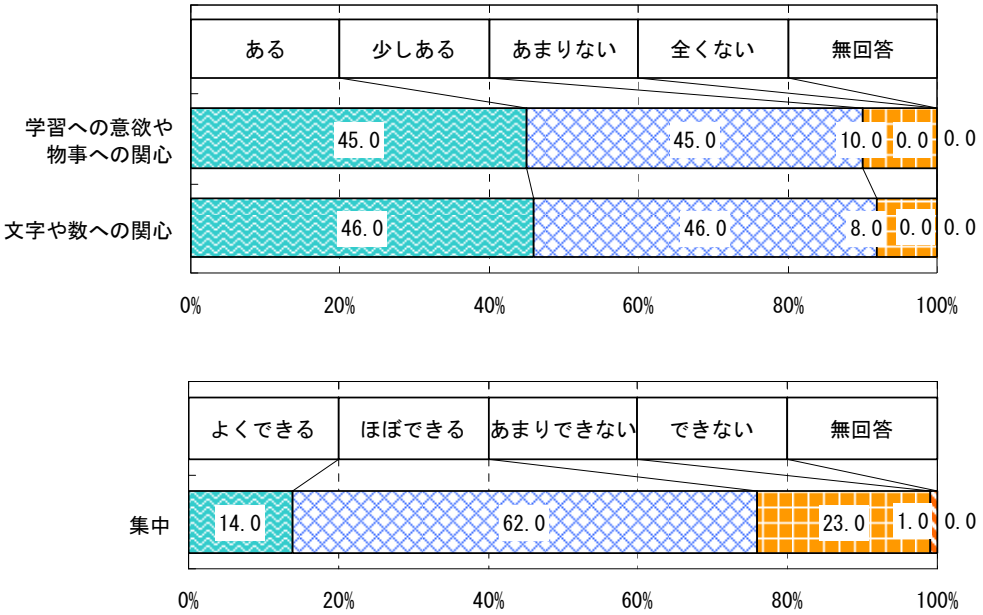
［選択肢の説明］
- **規則正しい生活習慣**…早寝早起き、朝ごはんなどの規則正しい生活習慣が身に付いていますか。
- **手洗い、うがい**…外出後や食事前に手洗い、うがいをしますか。
- **安全に行動する**…危ないことをしない、交通ルールを守るなど、安全に行動することができますか。
- **自分で身支度**…身の回りのことなど、自分のことを自分でしていますか。
- **コミュニケーション**…友達と一緒に遊ぶ、自分の気持ちを伝えるなど、周囲の人とコミュニケーションがとれていますか。
- **あいさつや返事**…あいさつや返事がきちんとできていますか。
- **我慢**…順番を待つ、友達に譲るなど、我慢をすることができますか。
- **きまりや約束を守る**…きまりや約束を守ることができますか。

児童の生活の様子については、肯定的な回答（「よくできる」と「ほぼできる」の合計）の割合が最も高いのは「規則正しい生活習慣」（92.0%）で、次いで「安全に行動する」（87.0%）及び「きまりや約束を守る」（87.0%）の順となっています。

一方、否定的な回答（「あまりできない」と「できない」の合計）の割合が最も高いのは「コミュニケーション」（32.0%）となっています。

問９～11　児童の生活の様子について、以下にあげる内容が、どの程度できているとお感じになりますか。クラス全体としての傾向を教えてください。（それぞれ○は一つだけ）

図７－４　児童の生活の様子



［選択肢の説明］

・**学習への意欲や物事への関心**…学習への意欲や、生活・周囲のさまざまな物事への関心を持っていますか。

・**文字や数への関心**…文章を読んだり、計算や数量について理解しようとしたりするなど、文字や数への関心がありますか。

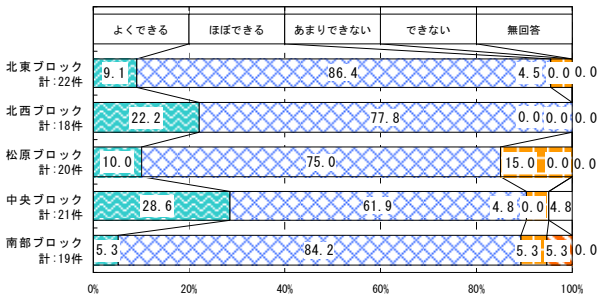
・**集中**…人の話を静かに聞いたり、物事にじっくり取り組んだりなど、集中して何かをすることができますか。

「学習への意欲や物事への関心」では、肯定的な回答（「ある」と「少しある」の合計）の割合が 90.0%、「文字や数への関心」では、肯定的な回答（「ある」と「少しある」の合計）の割合が 92.0%となっています。

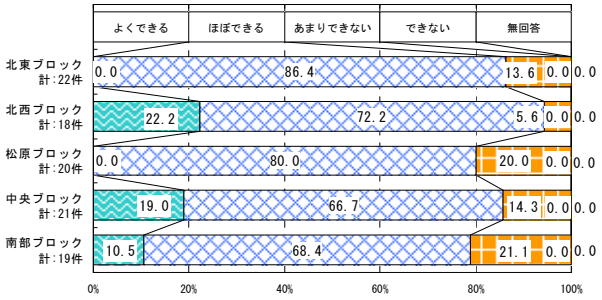
「集中」では、肯定的な回答（「よくできる」と「ほぼできる」の合計）の割合が 76.0%となっています。

■図７－５　地域別集計（児童の生活の様子）

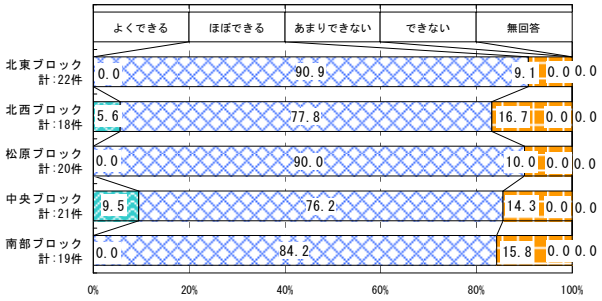
【規則正しい生活習慣】



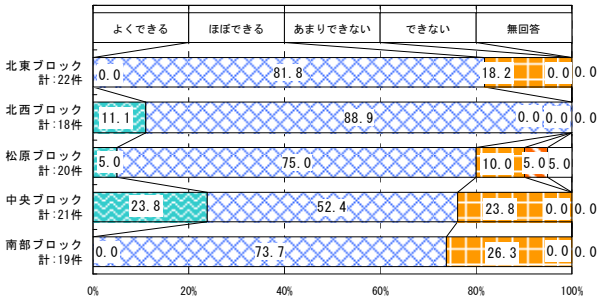
【手洗い、うがい】



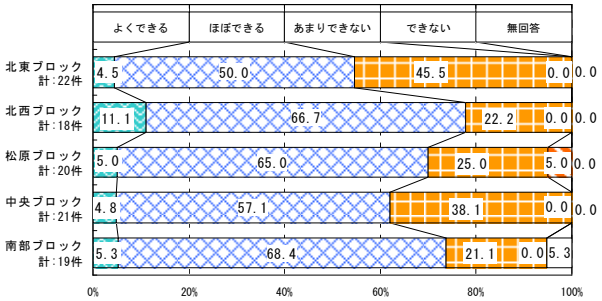
【安全に行動する】



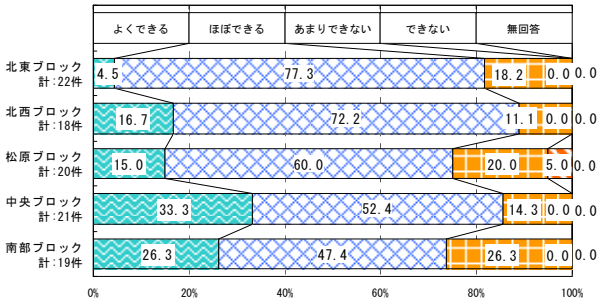
【自分で身支度】



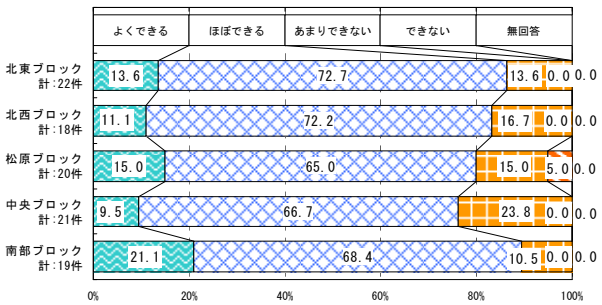
【コミュニケーション】



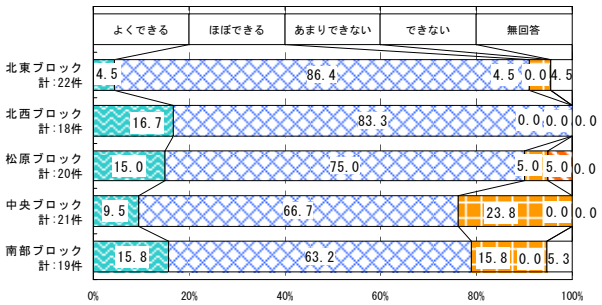
【あいさつや返事】



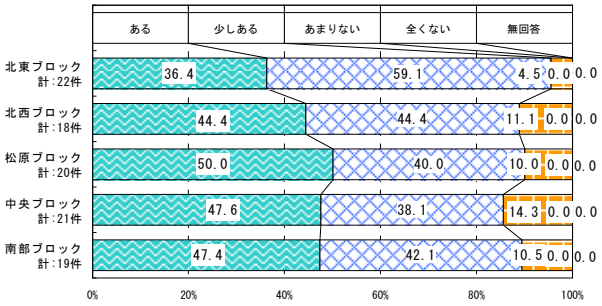
【我慢】



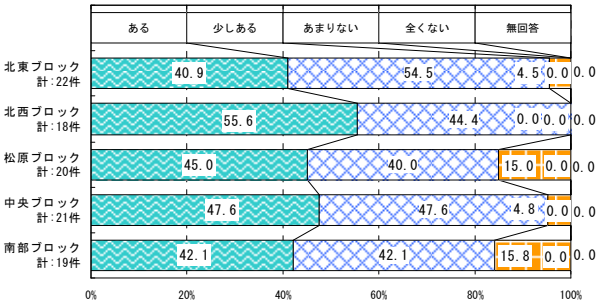
【きまりや約束を守る】



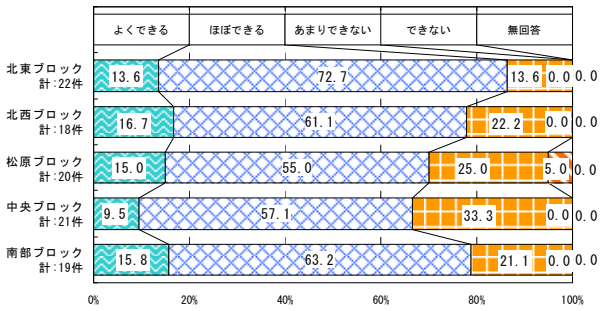
【学習への意欲や物事への関心】



【文字や数への関心】



【集中】



地域別にみると、「規則正しい生活習慣」では〔北西ブロック〕、「手洗い、うがい」では〔北西ブロック〕、「安全に行動する」では〔北東ブロック〕、「自分で身支度」では〔北西ブロック〕、「コミュニケーション」では〔北西ブロック〕、「あいさつや返事」では〔北西ブロック〕、「我慢」では〔南部ブロック〕、「きまりや約束を守る」では〔北西ブロック〕が肯定的な回答（「よくできる」と「ほぼできる」の合計）の割合が最も高くなっています。

「学習への意欲や物事への関心」では、〔北東ブロック〕、「文字や数への関心」では〔北西ブロック〕が肯定的な回答（「ある」と「少しある」の合計）の割合が最も高くなっています。

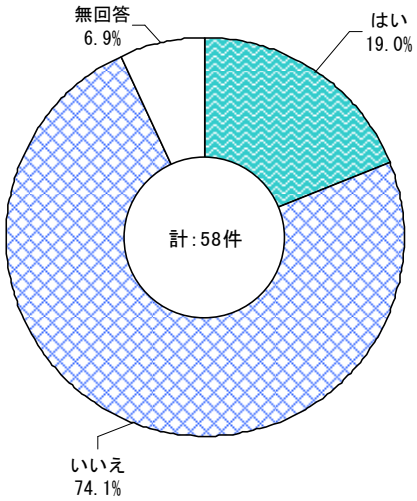
「集中」では〔北東ブロック〕が肯定的な回答（「よくできる」と「ほぼできる」の合計）の割合が最も高くなっています。

３.「小１プロブレム」について

（１）「小１プロブレム」の発生状況

問 12　あなたの学校では、今年度（平成 24 年度）、「小１プロブレム」（入学したばかりの１年生の教室において、集団行動がとれない、授業中に座っていられない、先生の話を聞かないなど、学校生活にうまく適応できない状態が続き、学級として機能しないこと）といわれる状況がみられますか。（○は１つだけ）（校長、生徒指導主任、１年生の学年主任のみ回答）

図７－６　「小１プロブレム」の発生状況



「小１プロブレム」の発生状況について、平成 24 年度、「小１プロブレム」といわれる状況がみられるとする回答の割合は、19.0%となっています。

■表７－３　地域別集計（「小１プロブレム」の発生状況）（単位　上段：件、下段：%）

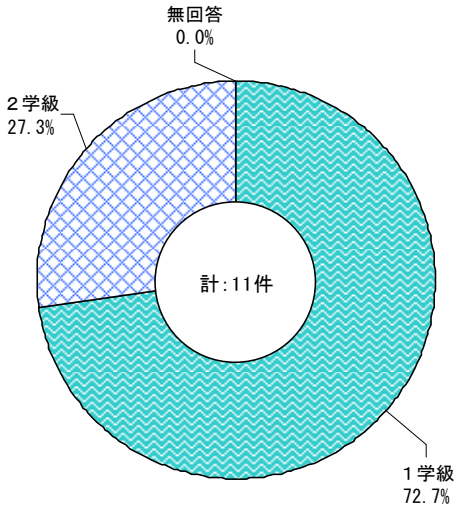
	合計	はい	いいえ	無回答
全体	58 100.0	11 19.0	43 74.1	4 6.9
北東ブロック	14 100.0	1 7.1	12 85.7	1 7.1
北西ブロック	10 100.0	0 0.0	8 80.0	2 20.0
松原ブロック	11 100.0	2 18.2	9 81.8	0 0.0
中央ブロック	11 100.0	3 27.3	7 63.6	1 9.1
南部ブロック	12 100.0	5 41.7	7 58.3	0 0.0

地域別にみると、平成 24 年度、「小１プロブレム」といわれる状況がみられるとする回答の割合は、〔南部ブロック〕で 41.7%と最も高くなっています。

（２）「小１プロブレム」がみられた学級数

問 13　【問 12 で１の「はい」に○をつけた場合に答えてください】
「小１プロブレム」がみられた学級は何学級ですか。
（校長、生徒指導主任、１年生の学年主任のみ回答）

図７－７　「小１プロブレム」がみられた学級数

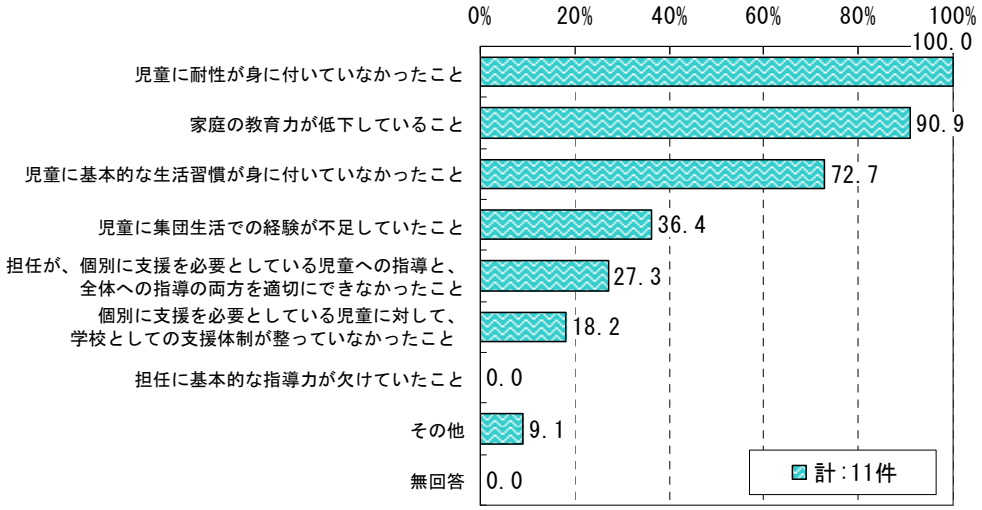


「小１プロブレム」がみられた学級数については、「１学級」の割合が 72.7%と最も高く、次いで「２学級」(27.3%) の順となっています。

（３）「小１プロブレム」がみられた要因

問 14　【問 12 で１の「はい」に○をつけた場合に答えてください】
「小１プロブレム」がみられた要因はどのようなことであると考えますか。
（あてはまるもの全てに○）（校長、生徒指導主任、１年生の学年主任のみ回答）

図７－８　「小１プロブレム」がみられた要因

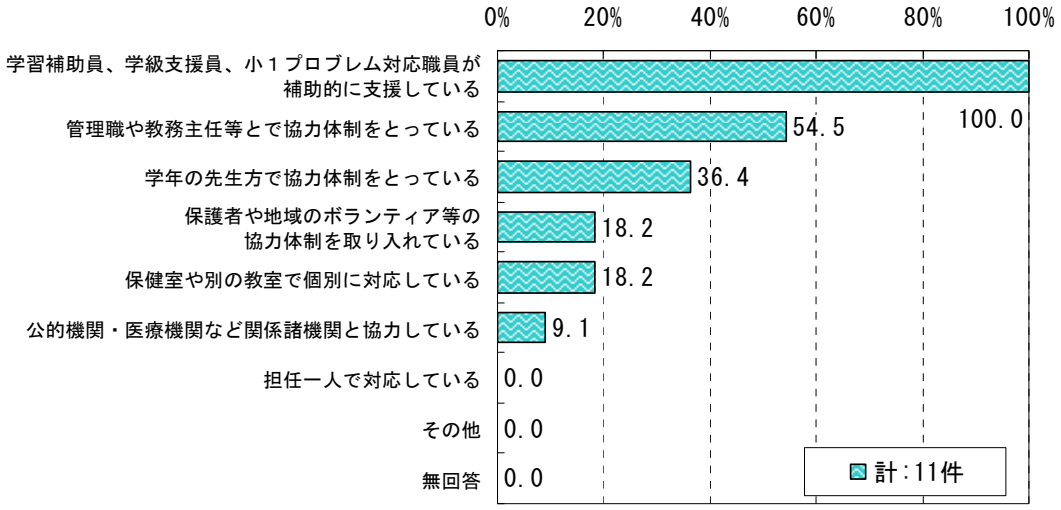


「小１プロブレム」がみられた要因については、「児童に耐性が身に付いていなかったこと」の回答の割合が 100.0%と最も高く、次いで「家庭の教育力が低下していること」(90.9%)、「児童に基本的な生活習慣が身に付いていなかったこと」(72.7%) の順となっています。

（４）「小１プロブレム」への対応

問 15　【問 12 で１の「はい」に○をつけた場合に答えてください】
「小１プロブレム」とみられる状況に、どのように対応していますか。
（あてはまるもの全てに○）（校長、生徒指導主任、１年生の学年主任のみ回答）

図７－９　「小１プロブレム」への対応

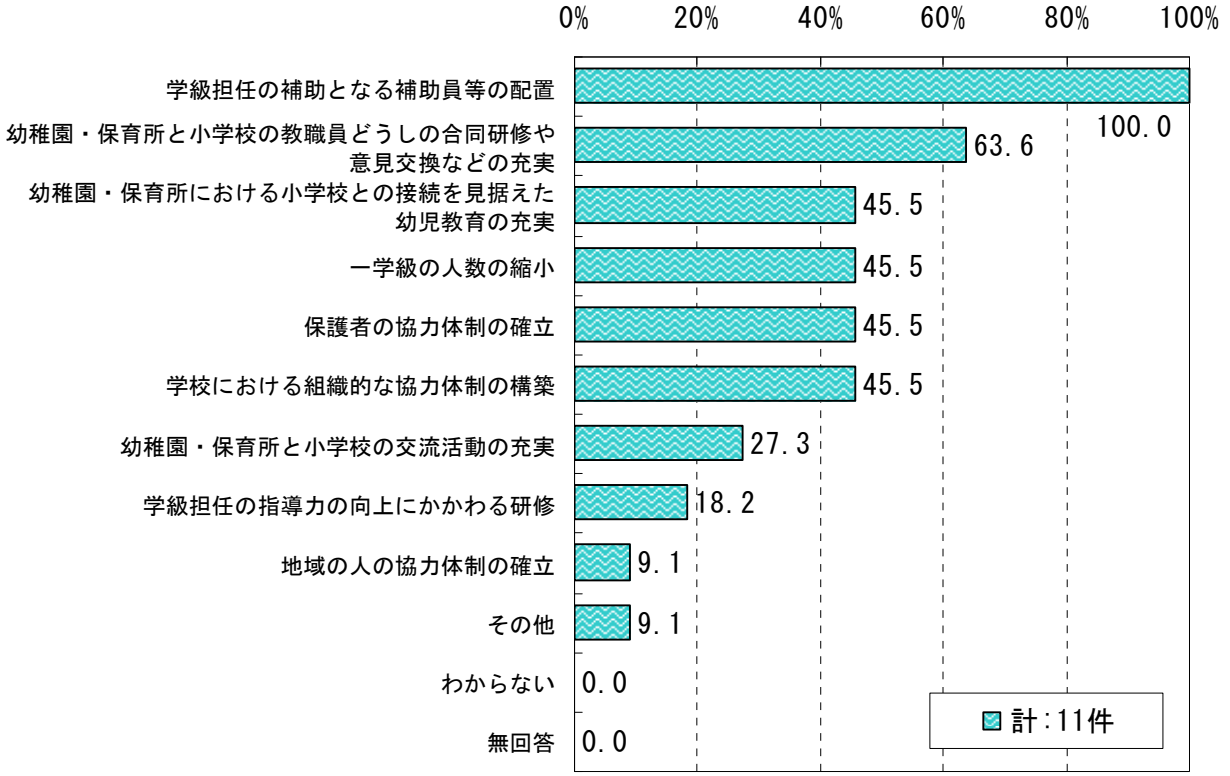


「小１プロブレム」への対応としては、「学習補助員、学級支援員、小１プロブレム対応職員が補助的に支援している」の回答の割合が 100.0%と最も高く、次いで「管理職や教務主任等とで協力体制をとっている」（54.5%）、「学年の先生方で協力体制をとっている」（36.4%）の順となっています。

（５）「小１プロブレム」の予防や解消のための対応策

問 16　【問 12 で１の「はい」に○をつけた場合に答えてください】
「小１プロブレム」の発生の予防や解消にはどのような対応策が効果的だと思われますか。
（あてはまるもの全てに○）（校長、生徒指導主任、１年生の学年主任のみ回答）

図７－１０　「小１プロブレム」の予防や解消のための対応策



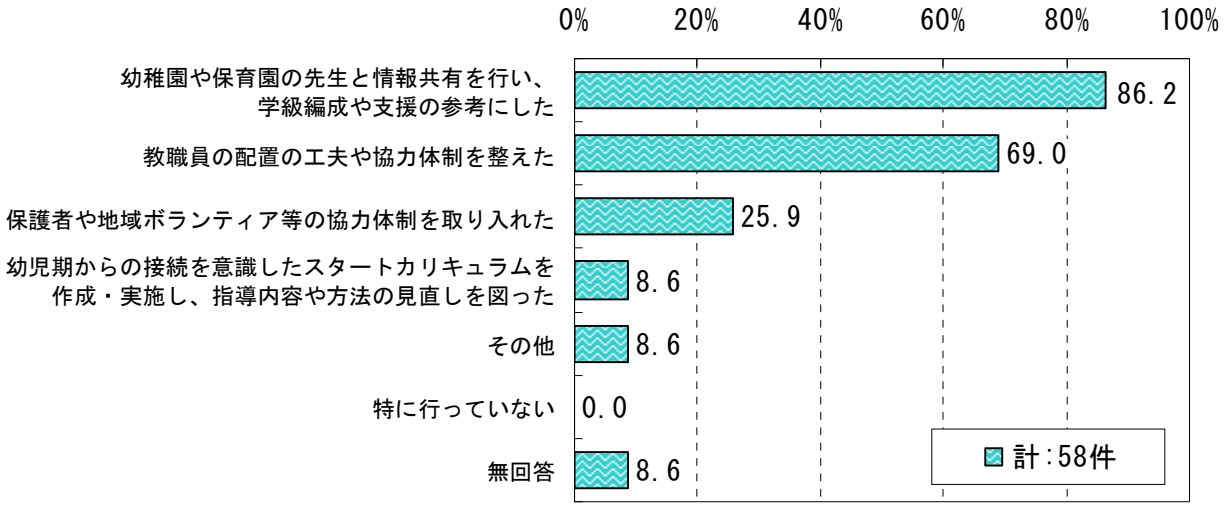
「小１プロブレム」の予防や解消のための対応策としては、「学級担任の補助となる補助員等の配置」の回答の割合が 100.0%と最も高く、次いで「幼稚園・保育所と小学校の教職員どうしの合同研修や意見交換などの充実」（63.6%）の順となっており、「幼稚園・保育所における小学校との接続を見据えた幼児教育の充実」（45.5%）、「一学級の人数の縮小」（45.5%）、「保護者の協力体制の確立」（45.5%）、「学校における組織的な協力体制の構築」（45.5%）については同率となっています。

「その他」として、「就学前の保護者への啓発の充実」、「家庭の教育力の向上」などの回答があります。

（６）入学に際しての配慮や準備

問 17　あなたの学校では、入学に際し、以下のような配慮や準備を何か行っていますか。
（あてはまるもの全てに○）（校長、生徒指導主任、１年生の学年主任のみ回答）

図７－１１　入学に際しての配慮や準備



入学に際しての配慮や準備としては、「幼稚園や保育園の先生と情報共有を行い、学級編成や支援の参考にした」の回答の割合が 86.2%と最も高く、次いで「教職員の配置の工夫や協力体制を整えた」(69.0%)、「保護者や地域ボランティア等の協力体制を取り入れた」(25.9%) の順となっています。

「その他」として、「その子にあった指導を考え、実施の方向へと考える計画を立てる」などの回答があります。

■表７－４　入学に際しての配慮や準備状況別集計（「小１プロブレム」の発生状況）

（単位　上段：件、下段：%）

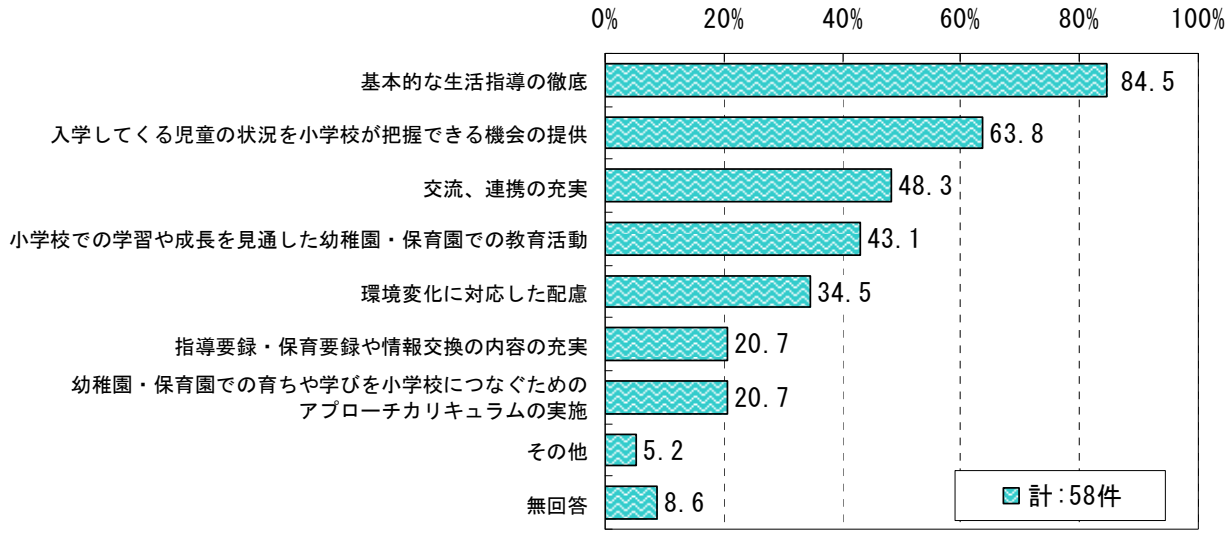
		「小１プロブレム」の発生状況			
		合計	はい	いいえ	無回答
入学に際しての配慮や準備	全体	58 100.0	11 19.0	43 74.1	4 6.9
	幼稚園や保育園の先生と情報共有を行い、学級編成や支援の参考にした	50 100.0	10 20.0	40 80.0	0 0.0
	教職員の配置の工夫や協力体制を整えた	40 100.0	6 15.0	34 85.0	0 0.0
	保護者や地域ボランティア等の協力体制を取り入れた	15 100.0	2 13.3	13 86.7	0 0.0
	幼児期からの接続を意識したスタートカリキュラムを作成・実施し、指導内容や方法の見直しを図った	5 100.0	0 0.0	5 100.0	0 0.0
	その他	5 100.0	2 40.0	3 60.0	0 0.0
	特に行っていない	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

入学に際しての配慮や準備の状況別に「小１プロブレム」の発生状況をみると、「教職員の配置の工夫や協力体制を整えた」、「保護者や地域ボランティア等の協力体制を取り入れた」、「幼児期からの接続を意識したスタートカリキュラムを作成・実施し、指導内容や方法の見直しを図った」といった配慮や準備を行っている場合、「小１プロブレム」の発生割合が低くなる傾向がうかがえます。

（７）幼稚園や保育園に対する期待

問 18　あなたの学校に入学する児童の出身園である幼稚園や保育園に対して、どのようなことを期待しますか。（あてはまるもの全てに○）
（校長、生徒指導主任、１年生の学年主任のみ回答）

図７－１２　幼稚園や保育園に対する期待



幼稚園や保育園に対する期待としては、「基本的な生活指導の徹底」の回答の割合が 84.5％と最も高く、次いで「入学してくる児童の状況を小学校が把握できる機会の提供」（63.8％）、「交流、連携の充実」（48.3％）の順となっています。

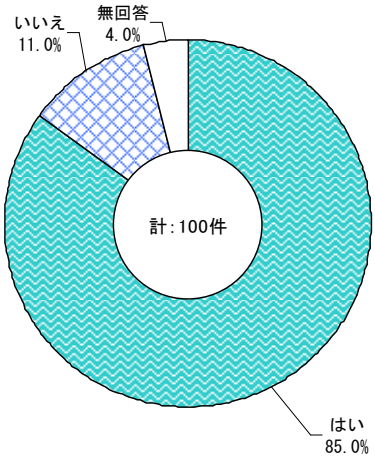
「その他」として、「がまん強さ、感情のコントロール、集団行動を身につける」、「問題行動の判定を明確にする」などの回答があります。

４．幼稚園・保育園・小学校・中学校の交流、連携の実施状況について

（１）幼稚園・保育園・他の小学校・中学校との交流、連携の実施状況

問 19　あなたの学校では、平成 23 年度に、幼稚園・保育園・他の小学校・中学校のいずれか又はいくつかと交流、連携を行いましたか。（○は１つだけ）

図７－１３　幼稚園・保育園・他の小学校・中学校との交流、連携の実施状況



幼稚園・保育園・他の小学校・中学校との交流、連携の実施状況については、平成 23 年度に交流、連携を実施したとする小学校の割合は、85.0%となっています。

■表７－５　地域別集計（幼稚園・保育園・他の小学校・中学校との交流、連携の実施状況）

（単位　上段：件、下段：%）

	合計	はい	いいえ	無回答
全体	100 100.0	85 85.0	11 11.0	4 4.0
北東ブロック	22 100.0	17 77.3	3 13.6	2 9.1
北西ブロック	18 100.0	17 94.4	0 0.0	1 5.6
松原ブロック	20 100.0	15 75.0	5 25.0	0 0.0
中央ブロック	21 100.0	19 90.5	1 4.8	1 4.8
南部ブロック	19 100.0	17 89.5	2 10.5	0 0.0

地域別にみると、平成 23 年度に交流、連携を実施したとする小学校の割合は、〔北西ブロック〕で 94.4%と最も高くなっています。

■表７－６　幼稚園・保育園・他の小学校・中学校との交流、連携の実施状況別集計

（「小１プロブレム」の発生状況）　（単位　上段：件、下段：%）

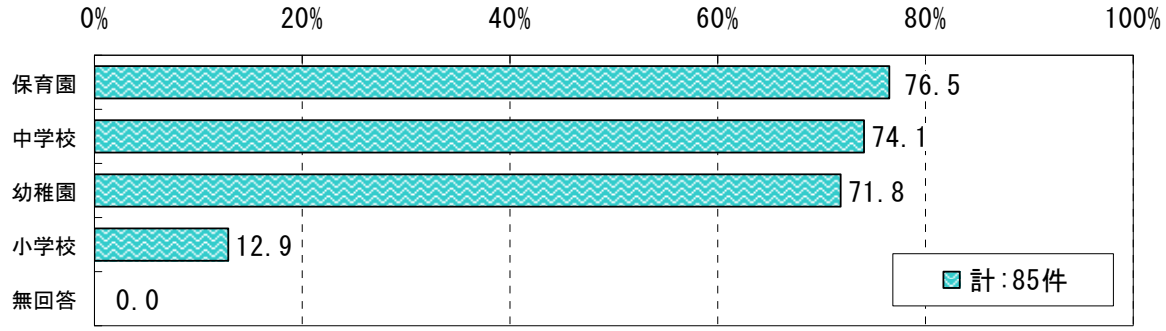
		「小１プロブレム」の発生状況			
		合計	はい	いいえ	無回答
幼稚園・保育園・他の小学校・中学校との交流、連携の実施状況	全体	58 100.0	11 19.0	43 74.1	4 6.9
	はい	54 100.0	10 18.5	40 74.1	4 7.4
	いいえ	4 100.0	1 25.0	3 75.0	0 0.0

幼稚園・保育園・他の小学校・中学校との交流、連携の実施状況別に「小１プロブレム」の発生状況をみると、幼稚園・保育園・他の小学校・中学校との交流、連携の実施をしている小学校は、実施していない小学校に比べ、小１プロブレムの発生割合が若干低くなる傾向が伺えます。

（２）交流、連携の相手方

問 20　【問 19 で１の「はい」に○をつけた場合に答えてください】
交流、連携の相手方はどこでしたか。（あてはまるもの全てに○）

図７－１４　交流、連携の相手方

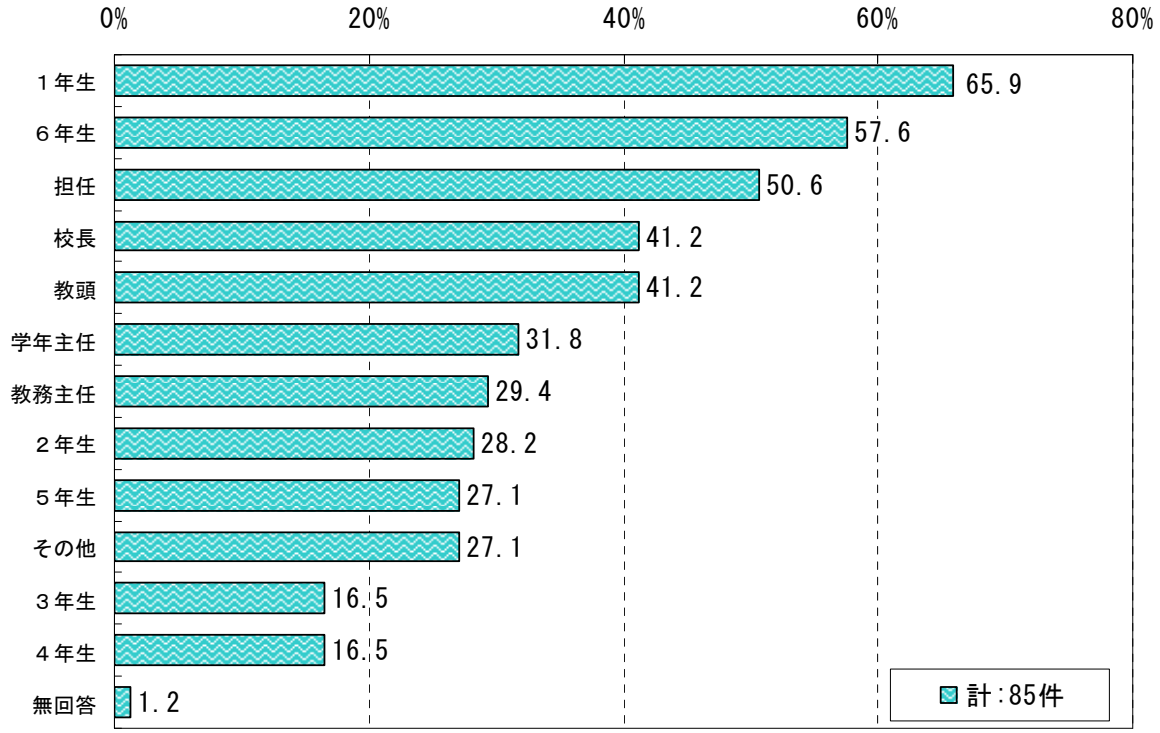


交流、連携の相手方としては、「保育園」の割合が 76.5%と最も高く、次いで「中学校」(74.1%)、「幼稚園」(71.8%) の順となっています。

（３）交流、連携の参加者

問 21　【問 19 で１の「はい」に○をつけた場合に答えてください】
交流、連携に参加したのは以下のうち誰でしたか。（あてはまるもの全てに○）

図７－１５　交流、連携の参加者

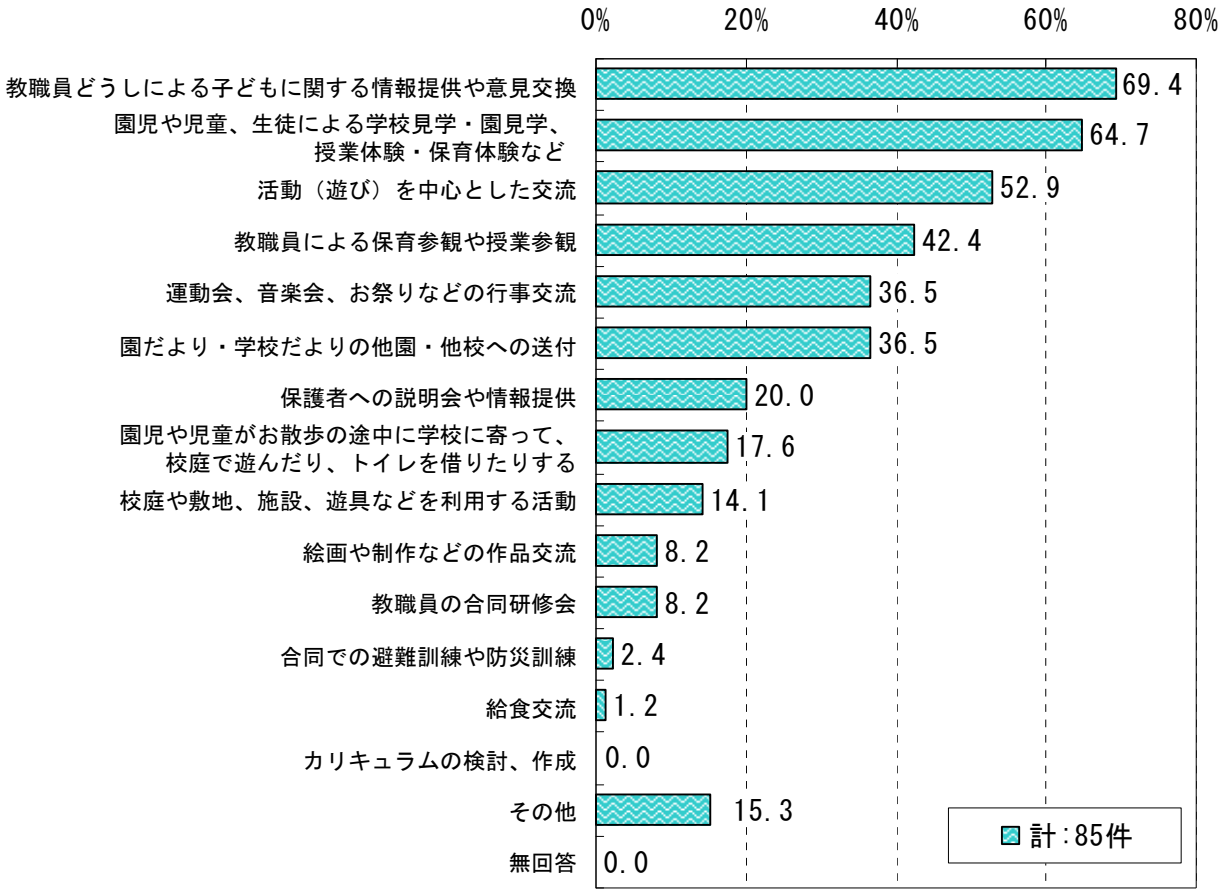


交流、連携の参加者については、「１年生」の割合が 65.9%と最も高く、次いで「６年生」(57.6%)、「担任」(50.6%) の順となっています。

（４）交流、連携の内容

問 22　【問 19 で１の「はい」に○をつけた場合に答えてください】
交流、連携の内容はどのようなものでしたか。（あてはまるもの全てに○）

図７－１６　交流、連携の内容



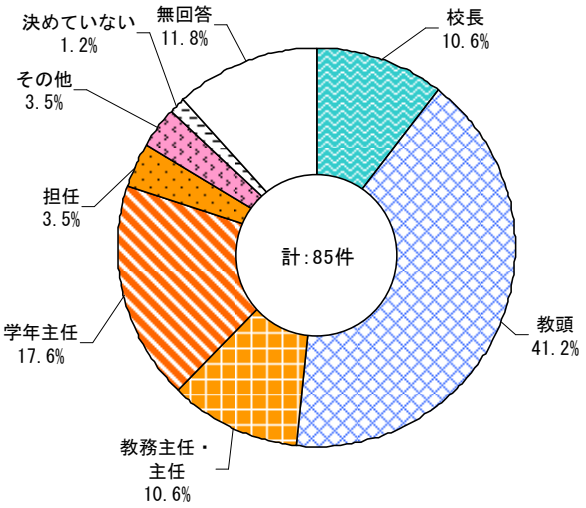
交流、連携の内容としては、「教職員どうしによる子どもに関する情報提供や意見交換」の回答の割合が 69.4%と最も高く、次いで「園児や児童、生徒による学校見学・園見学、授業体験・保育体験など」（64.7%）、「活動（遊び）を中心とした交流」（52.9%）の順となっています。

「その他」として、「中学英語教諭による外国語活動の授業参観や指導」、「中学校の生徒指導の先生による授業」などの回答があります。

（５）交流、連携の窓口の担当者

問 23　【問 19 で１の「はい」に○をつけた場合に答えてください】
交流、連携の窓口は、主に　どなたが担当していますか。（○は１つだけ）

図７－１７　交流、連携の窓口の担当者



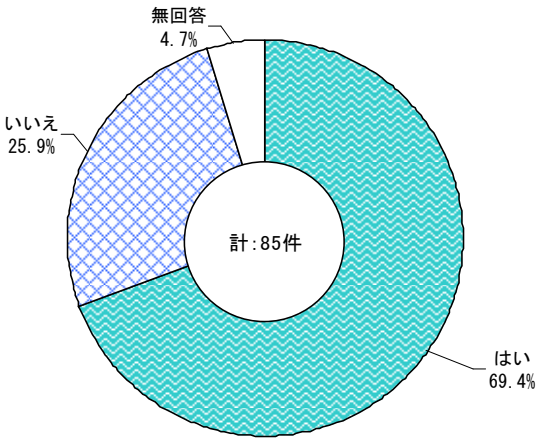
交流、連携の窓口の担当者については、「教頭」の割合が 41.2%と最も高く、次いで「学年主任」（17.6%）、「校長」（10.6%）及び「教務主任・主任」（10.6%）の順となっています。

「その他」として、「２人以上います」などの回答があります。

（６）交流、連携の窓口の担当者の固定化

問 24　【問 19 で１の「はい」に○をつけた場合に答えてください】
交流、連携の窓口の担当者は、固定していますか。（○は１つだけ）

図７－１８　交流、連携の窓口の担当者の固定化

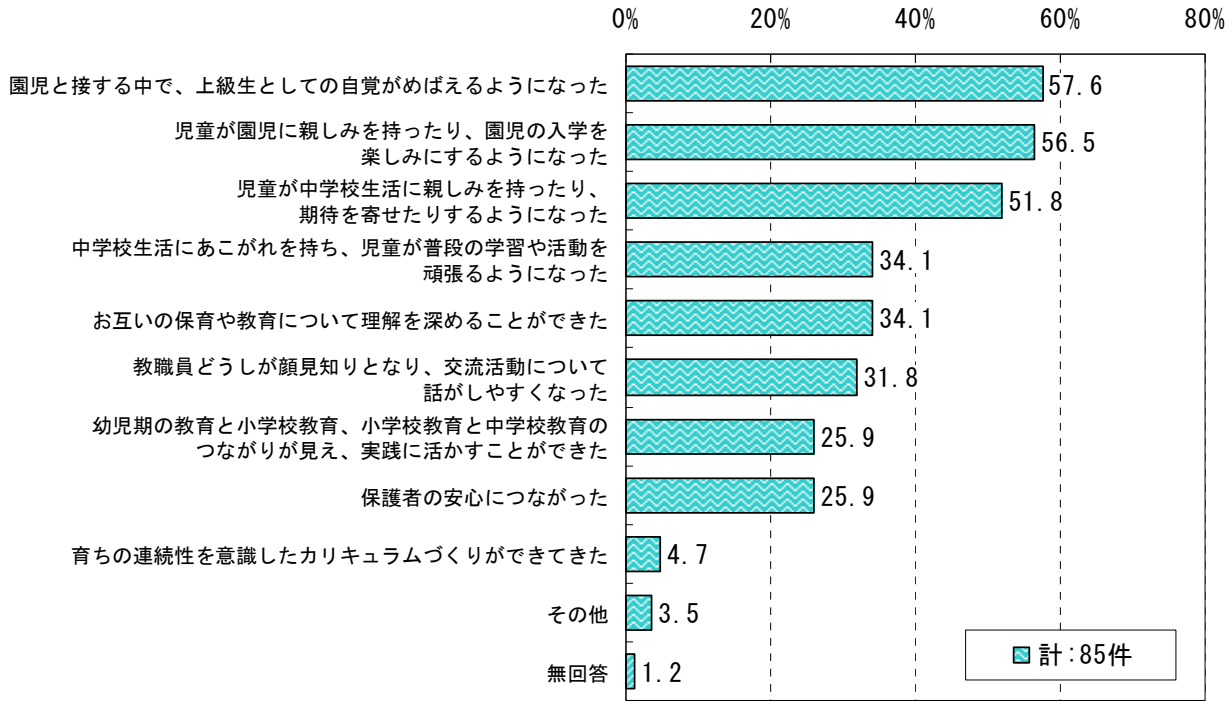


交流、連携の窓口については、69.4%が担当者を固定していると回答しています。

（７）交流、連携を行って良かった点

問 25　【問 19 で１の「はい」に○をつけた場合に答えてください】
交流、連携を行って良かった点は何ですか。（あてはまるもの全てに○）

図７－１９　交流、連携を行って良かった点



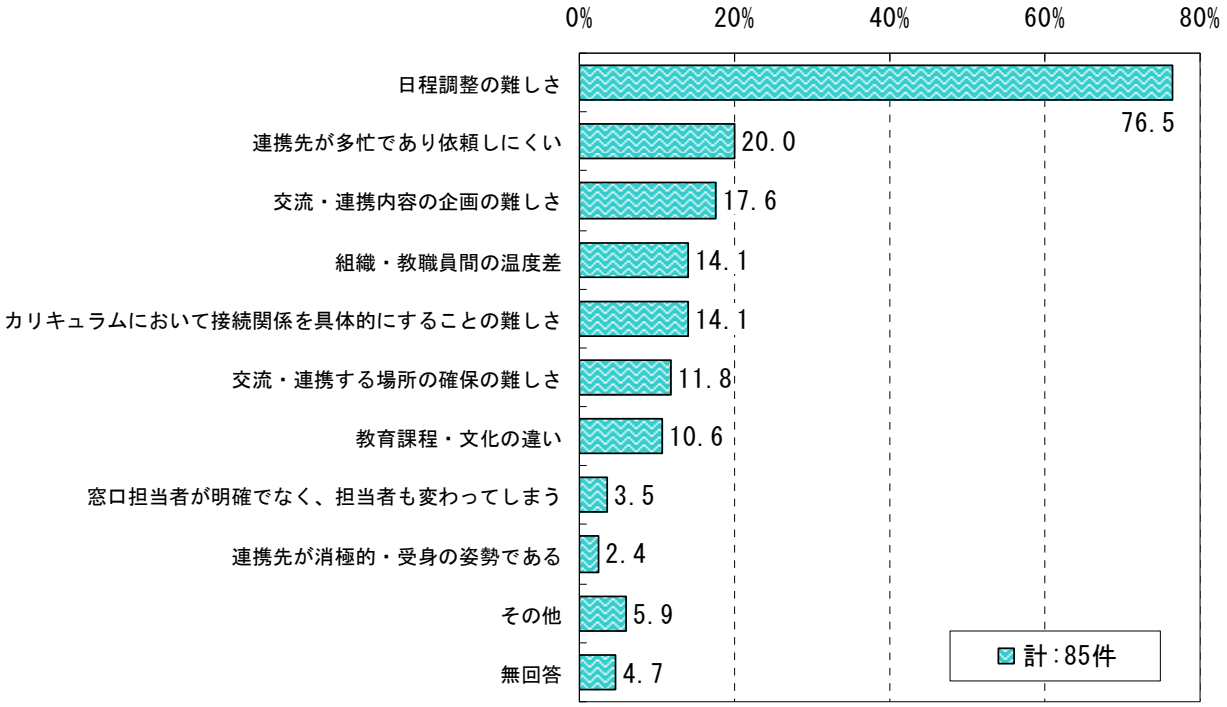
交流、連携を行って良かった点としては、「園児と接する中で、上級生としての自覚がめばえるようになった」の回答の割合が 57.6%と最も高く、次いで「児童が園児に親しみを持ったり、園児の入学を楽しみにするようになった」(56.5%)、「児童が中学校生活に親しみを持ったり、期待を寄せたりするようになった」(51.8%) の順となっています。

「その他」として、「子どもの理解ができ、学級編成に役立てられた」という回答があります。

（８）交流、連携の課題となる点

問 26　【問 19 で１の「はい」に○をつけた場合に答えてください】
交流、連携の実施にあたって課題となる点は何ですか。（あてはまるもの全てに○）

図７－２０　交流、連携の課題となる点



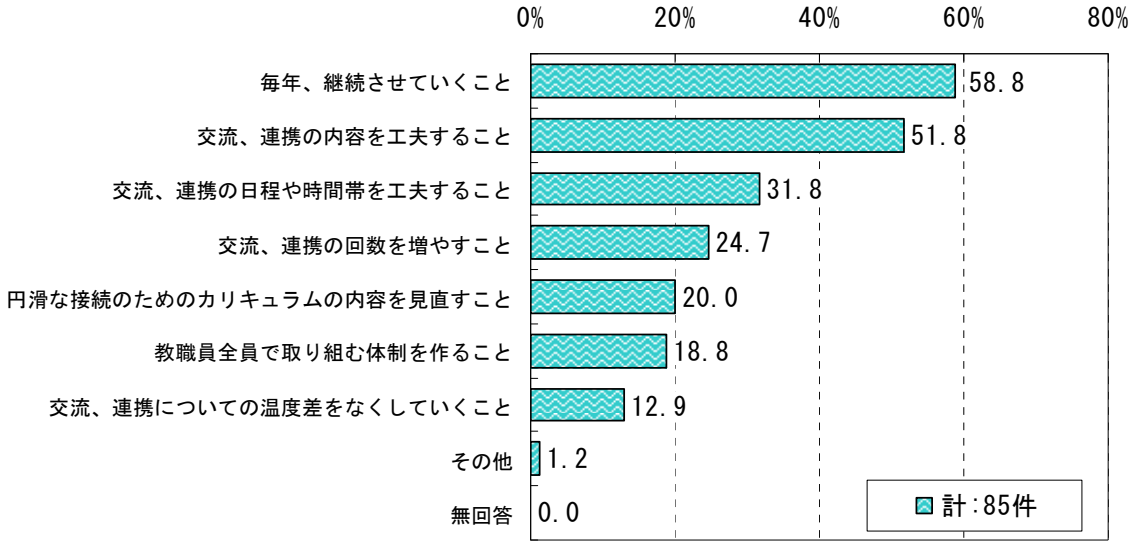
交流、連携の課題となる点としては、「日程調整の難しさ」の回答の割合が 76.5%と最も高く、次いで「連携先が多忙であり依頼しにくい」(20.0%)、「交流・連携内容の企画の難しさ」(17.6%)の順となっています。

「その他」として、「連携先が多い」、「日常の教育活動、学校行事とのかね合いを考え負担の少ない時期実施することの調整」、「打合せ等の時間の確保」、「求めている情報が入ってこないことがある」などの回答があります。

（９）交流、連携の改善点

問 27　【問 19 で１の「はい」に○をつけた場合に答えてください】
交流、連携の実施にあたって改善したい点は何ですか。（あてはまるもの全てに○）

図７－２１　交流、連携の改善点



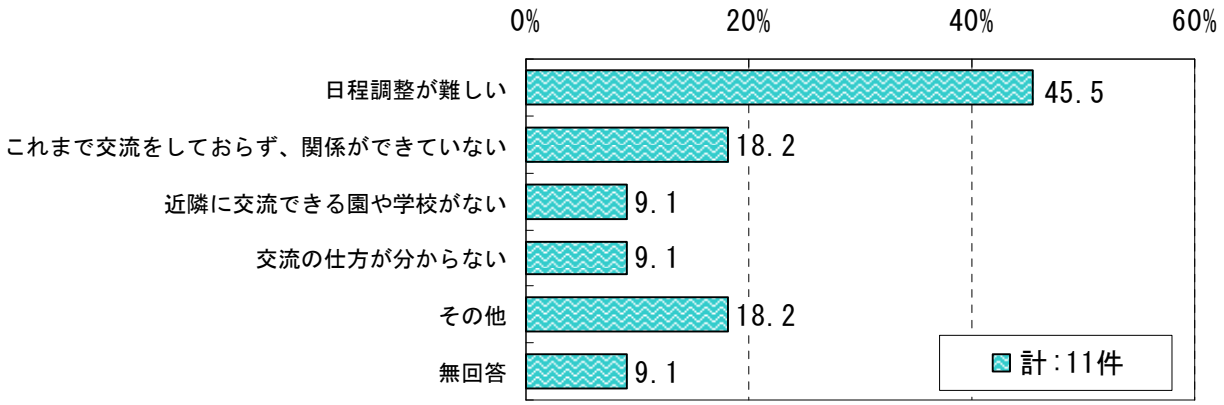
交流、連携の改善点としては、「毎年、継続させていくこと」の回答の割合が 58.8%と最も高く、次いで「交流、連携の内容を工夫すること」（51.8%）、「交流、連携の日程や時間帯を工夫すること」（31.8%）の順となっています。

「その他」として、「職員の意識を高める」という回答があります。

（10）交流、連携が困難な理由

問 28　【問 19 で２の「いいえ」に○をつけた場合に答えてください】
交流、連携の実施が困難な理由は何ですか。（あてはまるもの全てに○）

図７－２２　交流、連携が困難な理由



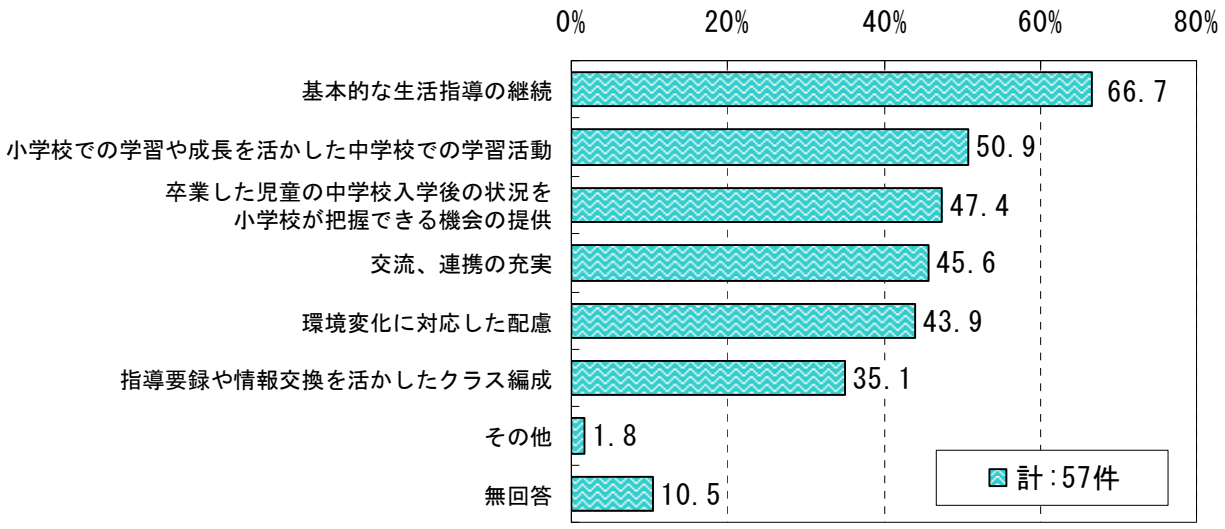
交流、連携が困難な理由としては、「日程調整が難しい」の回答の割合が 45.5%と最も高く、次いで「これまで交流をしておらず、関係ができていない」（18.2%）の順となっています。

「その他」として、「特に困った状況がない」などの回答があります。

（11）中学校に対する期待

問 29　【校長、生徒指導主任、６年生の学年主任のみ、お答えください】
あなたの学校を卒業する児童が進学する中学校に対して、どのようなことを期待しますか。
（あてはまるもの全てに○）

図７－２３　中学校に対する期待



卒業生が進学する中学校に対する期待としては、「基本的な生活指導の継続」の回答の割合が66.7%と最も高く、次いで「小学校での学習や成長を活かした中学校での学習活動」（50.9%）、「卒業した児童の中学校入学後の状況を小学校が把握できる機会の提供」（47.4%）の順となっています。

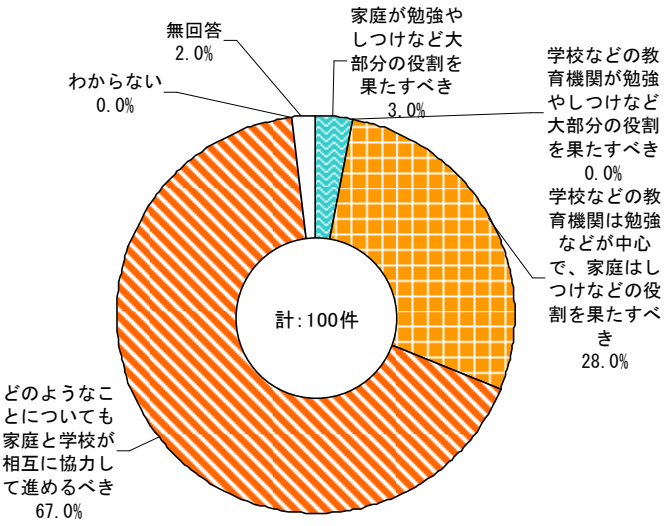
「その他」として、「中学校ならではの教育指導」という回答があります。

５．教育全般について

（１）家庭と学校などの教育機関の役割

問 30　子どもを育てるにあたっての、家庭と学校などの教育機関（幼稚園、保育園を含む）の役割について、もっとも近い考えはどれですか。（○は１つだけ）

図７－２４　家庭と学校などの教育機関の役割



家庭と学校などの教育機関の役割については、「どのようなことについても家庭と学校が相互に協力して進めるべき」の回答の割合が 67.0％と最も高く、次いで「学校などの教育機関は勉強などが中心で、家庭はしつけなどの役割を果たすべき」（28.0％）、「家庭が勉強やしつけなど大部分の役割を果たすべき」（3.0％）の順となっています。

■表７－７　地域別集計（家庭と学校などの教育機関の役割）（単位　上段：件、下段：%）

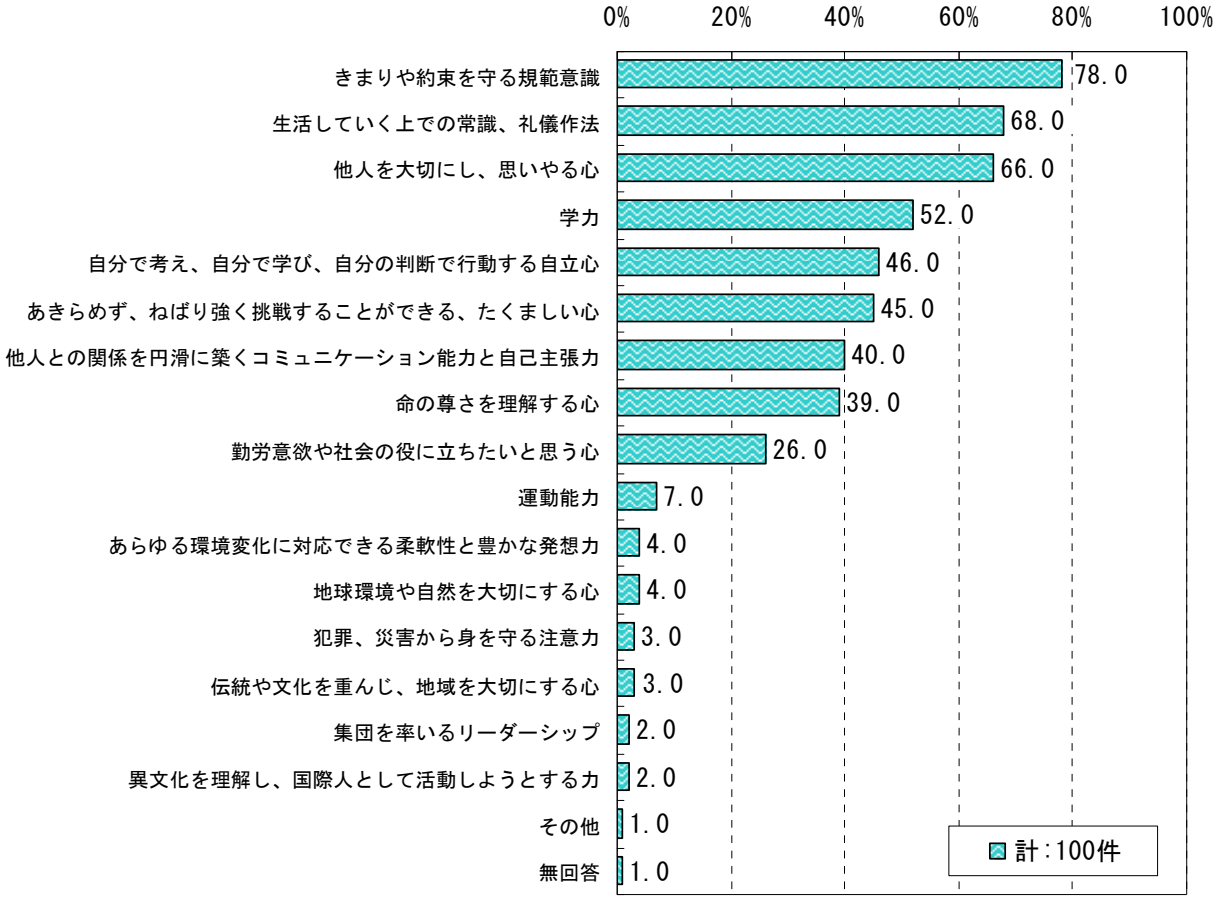
	合計	家庭が勉強やしつけなど大部分の役割を果たすべき	学校などの教育機関が勉強やしつけなど大部分の役割を果たすべき	学校などの教育機関は勉強などが中心で、家庭はしつけなどの役割を果たすべき	どのようなことについても家庭と学校が相互に協力して進めるべき	わからない	無回答
全体	100 100.0	3 3.0	0 0.0	28 28.0	67 67.0	0 0.0	2 2.0
北東ブロック	22 100.0	0 0.0	0 0.0	8 36.4	14 63.6	0 0.0	0 0.0
北西ブロック	18 100.0	0 0.0	0 0.0	4 22.2	13 72.2	0 0.0	1 5.6
松原ブロック	20 100.0	1 5.0	0 0.0	6 30.0	12 60.0	0 0.0	1 5.0
中央ブロック	21 100.0	2 9.5	0 0.0	6 28.6	13 61.9	0 0.0	0 0.0
南部ブロック	19 100.0	0 0.0	0 0.0	4 21.1	15 78.9	0 0.0	0 0.0

地域別にみても、全体と同様の傾向がうかがえます。

（２）中学校卒業までに身に付けてほしい能力や考え方

問 31　将来、成人し社会の支え手となる、あなたの学校の卒業生に、中学校を卒業する時までに、身に付けてほしい能力や考え方として、特に重要だと思うことは何ですか。（○は５つまで）

図７－２５　中学校卒業までに身に付けてほしい能力や考え方



中学校卒業までに身に付けてほしい能力や考え方については、「きまりや約束を守る規範意識」の回答の割合が 78.0％と最も高く、次いで「生活していく上での常識、礼儀作法」（68.0％）、「他人を大切にし、思いやる心」（66.0％）、「学力」（52.0％）、「自分で考え、自分で学び、自分の判断で行動する自立心」（46.0％）の順となっています。

「その他」として、「社会性、集団の一員としてのあり方を身につけていること」という回答があります。

■表７－８　地域別集計（中学校卒業までに身に付けてほしい能力や考え方）（単位　上段：件、下段：%）

	合計	学力	運動能力	生活していく上での常識、礼儀作法	きまりや約束を守る規範意識	他人を大切にし、思いやる心	あきらめず、ねばり強く挑戦することができる、たくましい心	命の尊さを理解する心	自分で考え、自分で学び、自分の判断で行動する自立心	他人との関係を円滑に築くコミュニケーション能力と自己主張力	あらゆる環境変化に対応できる柔軟性と豊かな発想力	集団を率いるリーダーシップ	犯罪、災害から身を守る注意力	勤労意欲や社会の役に立ちたいと思う心	伝統や文化を重んじ、地域を大切にする心	異文化を理解し、国際人として活動しようとする力	地球環境や自然を大切にする心	その他	無回答
全体	100	52	7	68	78	66	45	39	46	40	4	2	3	26	3	2	4	1	1
	100.0	52.0	7.0	68.0	78.0	66.0	45.0	39.0	46.0	40.0	4.0	2.0	3.0	26.0	3.0	2.0	4.0	1.0	1.0
北東ブロック	22	15	0	15	18	13	9	9	9	8	1	0	0	8	1	0	1	0	0
	100.0	68.2	0.0	68.2	81.8	59.1	40.9	40.9	40.9	36.4	4.5	0.0	0.0	36.4	4.5	0.0	4.5	0.0	0.0
北西ブロック	18	7	3	14	14	13	7	12	8	6	0	0	2	4	0	0	0	0	0
	100.0	38.9	16.7	77.8	77.8	72.2	38.9	66.7	44.4	33.3	0.0	0.0	11.1	22.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
松原ブロック	20	7	0	11	17	9	9	8	12	9	2	0	0	4	2	1	2	0	1
	100.0	35.0	0.0	55.0	85.0	45.0	45.0	40.0	60.0	45.0	10.0	0.0	0.0	20.0	10.0	5.0	10.0	0.0	5.0
中央ブロック	21	16	1	15	17	16	7	7	7	8	1	0	1	5	0	1	0	1	0
	100.0	76.2	4.8	71.4	81.0	76.2	33.3	33.3	33.3	38.1	4.8	0.0	4.8	23.8	0.0	4.8	0.0	4.8	0.0
南部ブロック	19	7	3	13	12	15	13	3	10	9	0	2	0	5	0	0	1	0	0
	100.0	36.8	15.8	68.4	63.2	78.9	68.4	15.8	52.6	47.4	0.0	10.5	0.0	26.3	0.0	0.0	5.3	0.0	0.0

地域別に、全体での回答の割合が最も高い項目と比較すると、〔北西ブロック〕では、「きまりや約束を守る規範意識」と並び「生活していく上での常識、礼儀作法」、〔南部ブロック〕では「他人を大切にし、思いやる心」の回答の割合が最も高くなっています。

６．自由記述

最後に、子ども教育の連携や草加市の教育についてご意見などがあれば、自由にご記入ください。

自由記述は、回収数 100 件中 20 件から回答があり、結果を項目別にまとめると以下のようになります。１件の回答の中に複数の項目にまたがるものもあるため、各項目の回答件数の合計は 20 件より多くなっています。

■表７－９　自由記述

項目			件数
小中学校に関すること	教育内容について		2
		子どもたちに強くたくましい精神力や社会の変化に対応できる力を身に付けさせたい	1
		対外行事を減らし一つ一つの行事にしっかり取り組めるようにしてほしい	1
	教員について		1
		教員の指導力向上のため、教員が自ら学ぶ時間と環境づくり、意欲向上のための取組をしてほしい	1
教育行政に関すること	子ども教育の連携推進について		21
		子ども教育の連携は不可欠であり、充実させていきたい	4
		現場の実態に合った連携の在り方を確立してほしい	2
		教育機関と家庭、地域が情報交換を密にし、お互いを支援していく姿勢・方向性が大切である	2
		幼保小、小中の接続に具体的に取り組むためのプログラムを作ってほしい	1
		学習の基盤となる生活習慣の定着について連携を進めてほしい	1
		小学校と中学校間で乗り入れ授業ができるようにしてほしい	1
		連携推進について、５年、10年といった長期的な計画により取り組んでほしい	1
		園と学校が連携について共通認識を持つ必要がある	1
		相互交流により理解を深め合うことが必要である	1
		持続可能な草加市のスタンダードを構築する必要がある	1
		窓口の担当を増やして充実を図る必要がある	1
		アンケートの結果を公表し、改善のための方向性を示してほしい	1
		その他	4
	教育施策全般について		2
		０～３歳までのお子さんの保護者に、お子さんの年齢に応じた生活習慣が身に付けられるように支援する機会を継続的に実施してほしい	1
		地域で子育て経験者との交流会等を設けてほしい	1

Ⅷ. 中学校教員

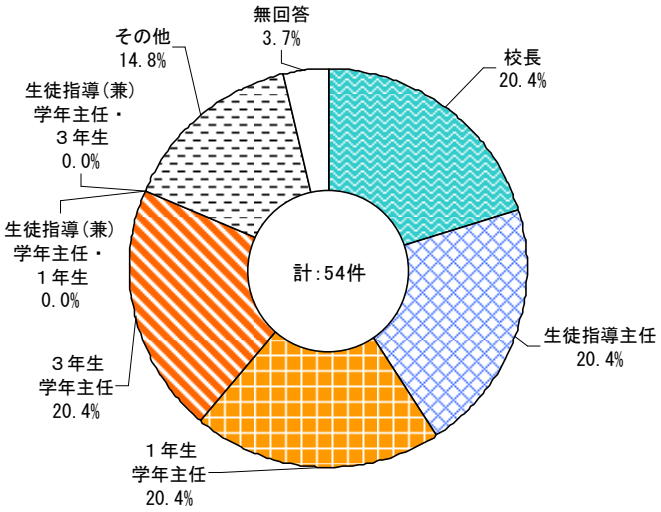
１. 基礎情報

■表８－１　地域別集計の内訳は、次のようになっています。

地域名	中学校
北東ブロック	青柳、川柳、松江
北西ブロック	新田、新栄
松原ブロック	栄、花栗
中央ブロック	草加、瀬崎
南部ブロック	谷塚、両新田

（１）職名

図８－１　職名

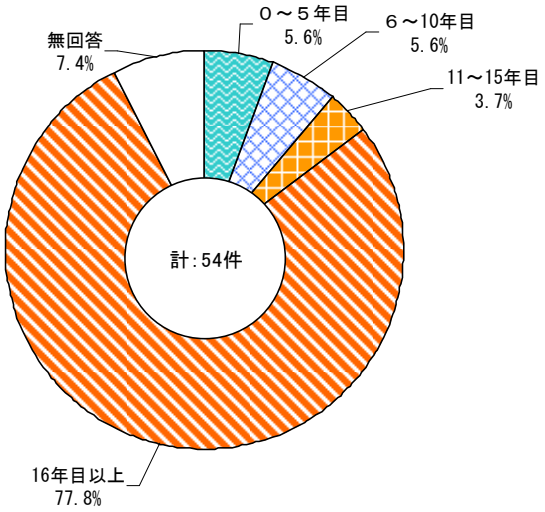


回答者の職名は、「校長」、「生徒指導主任」、「１年生学年主任」、「３年生学年主任」がともに 20.4%と同率で最も高くなっています。

「その他」として、「特別支援学級の主担任」があります。

（２）教員歴

図８－２　教員歴



回答者の教員歴は、「16 年目以上」が 77.8%と最も高くなっています。

■表８－２　職名別集計（教員歴）　　（単位　上段：件、下段：%）

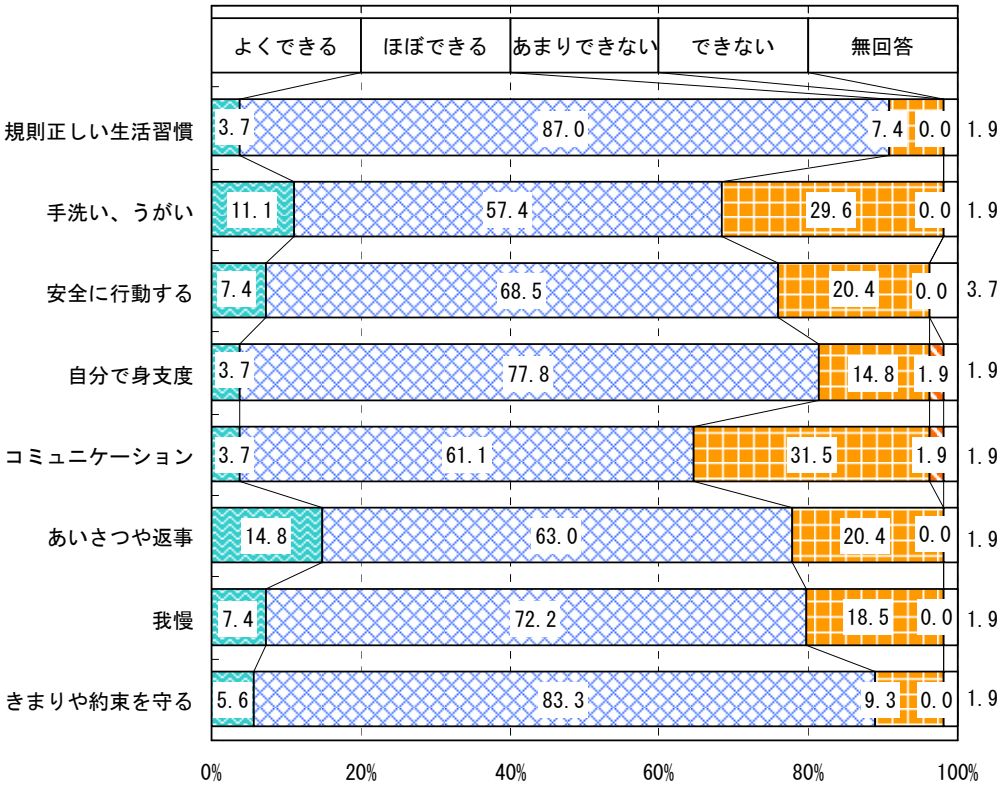
	教員歴					
	合計	０～５年目	６～10年目	11～15年目	16年目以上	無回答
全体	54 100.0	3 5.6	3 5.6	2 3.7	42 77.8	4 7.4
校長	11 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	10 90.9	1 9.1
生徒指導主任	11 100.0	0 0.0	3 27.3	2 18.2	5 45.5	1 9.1
１年生学年主任	11 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	10 90.9	1 9.1
３年生学年主任	11 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	10 90.9	1 9.1
その他	8 100.0	1 12.5	0 0.0	0 0.0	7 87.5	0 0.0
無回答	2 100.0	2 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

職名別・教員歴別にみると、校長、生徒指導主任、１年生学年主任、３年生学年主任、ともに「16 年目以上」の割合が最も高くなっています。

２．生徒の生活の様子について

問１～８　生徒の生活の様子について、以下にあげる内容が、どの程度できているとお感じになりますか。クラス全体としての傾向を教えてください。
（それぞれ○は１つだけ）

図８－３　生徒の生活の様子



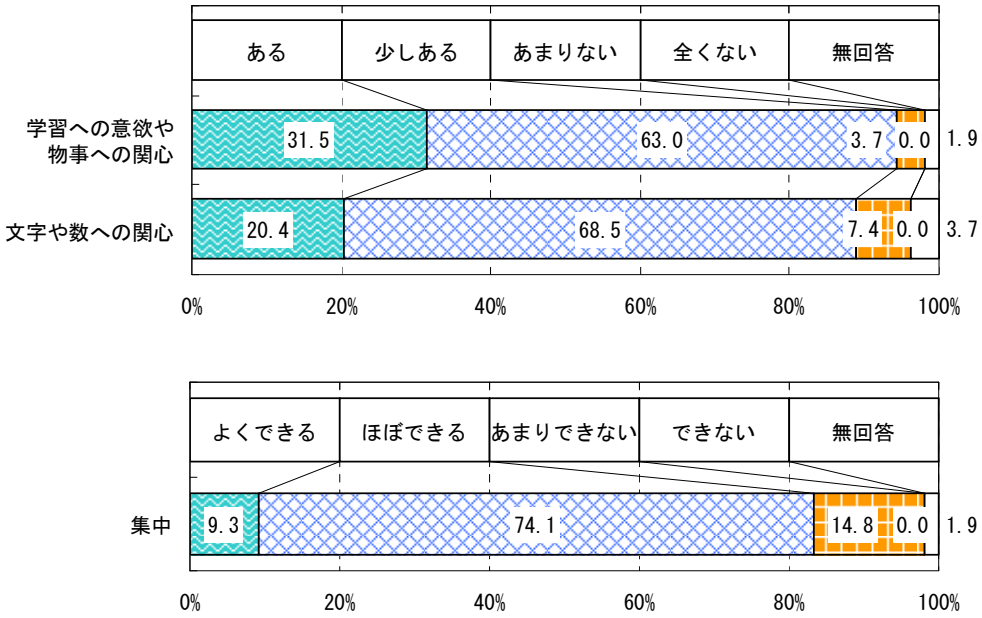
［選択肢の説明］
・**規則正しい生活習慣**…早寝早起き、朝ごはんなどの規則正しい生活習慣が身に付いていますか。
・**手洗い、うがい**…外出後や食事前に手洗い、うがいをしますか。
・**安全に行動する**…危ないことをしない、交通ルールを守るなど、安全に行動することができますか。
・**自分で身支度**…身の回りのことなど、自分のことを自分でしていますか。
・**コミュニケーション**…友達と一緒に遊ぶ、自分の気持ちを伝えるなど、周囲の人とコミュニケーションがとれていますか。
・**あいさつや返事**…あいさつや返事がきちんとできていますか。
・**我慢**…順番を待つ、友達に譲るなど、我慢をすることができますか。
・**きまりや約束を守る**…きまりや約束を守ることができますか。

生徒の生活の様子については、肯定的な回答（「よくできる」と「ほぼできる」の合計）の割合が最も高いのは「規則正しい生活習慣」（90.7%）で、次いで「きまりや約束を守る」（88.9%）、「自分で身支度」（81.5%）の順となっています。

一方、否定的な回答（「あまりできない」と「できない」の合計）の割合が最も高いのは「コミュニケーション」（33.4%）で、次いで「手洗い、うがい」（29.6%）、「安全に行動する」（20.4%）及び「あいさつや返事」（20.4%）の順となっています。

問９～11　生徒の生活の様子について、以下にあげる内容が、どの程度できているとお感じになりますか。クラス全体としての傾向を教えてください。
（それぞれ○は１つだけ）

図８－４　生徒の生活の様子



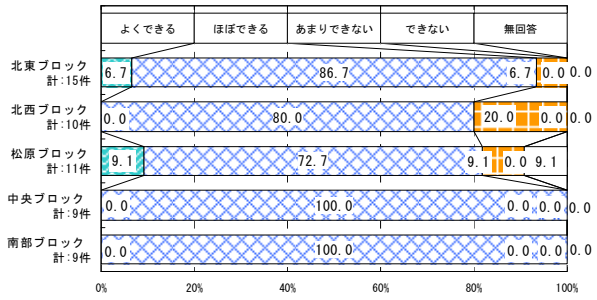
［選択肢の説明］
・**学習への意欲や物事への関心**…学習への意欲や、生活・周囲のさまざまな物事への関心を持ち、学校生活に積極的に取り組む意欲がありますか。
・**文字や数への関心**…文章を読んだり、計算や数量について理解しようとしたりするなど、文字や数への関心がありますか。
・**集中**…人の話を静かに聞いたり、物事にじっくり取り組んだりなど、集中して何かをすることができますか。

「学習への意欲や物事への関心」では、肯定的な回答（「ある」と「少しある」の合計）の割合が 94.5%、「文字や数への関心」では、肯定的な回答（「ある」と「少しある」の合計）の割合が 88.9%となっています。

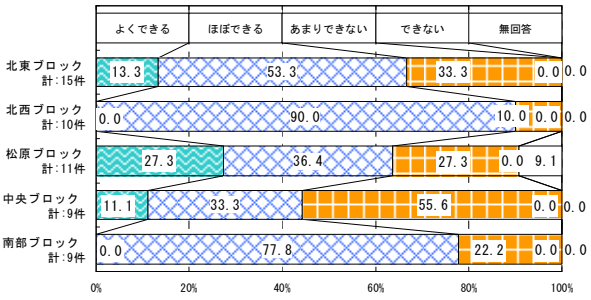
「集中」では、肯定的な回答（「よくできる」と「ほぼできる」の合計）の割合が 83.4%となっています。

■図８－５　地域別集計（生徒の生活の様子）

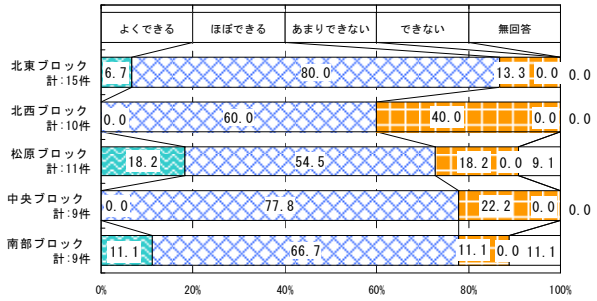
【規則正しい生活習慣】



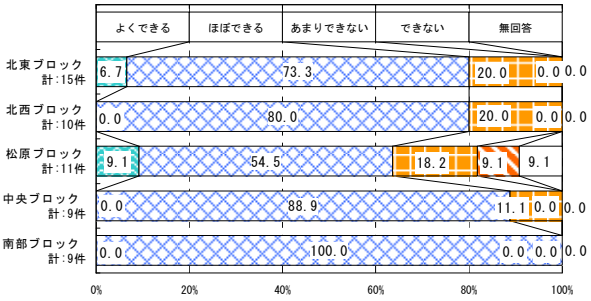
【手洗い、うがい】



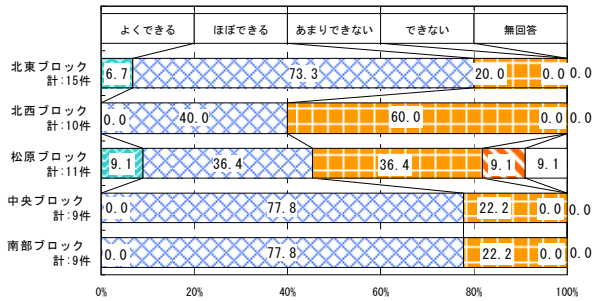
【安全に行動する】



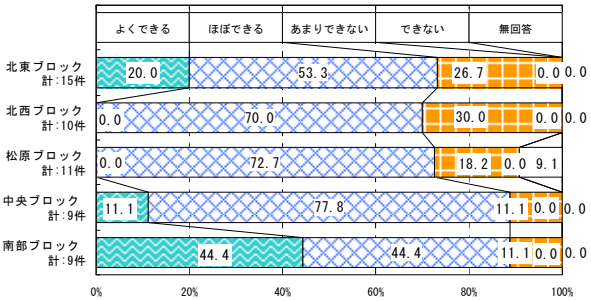
【自分で身支度】



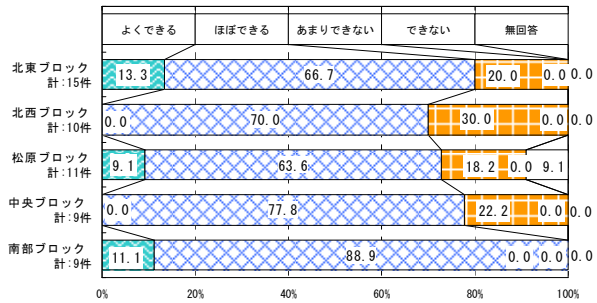
【コミュニケーション】



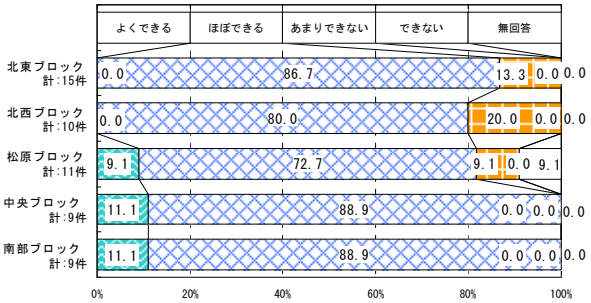
【あいさつや返事】



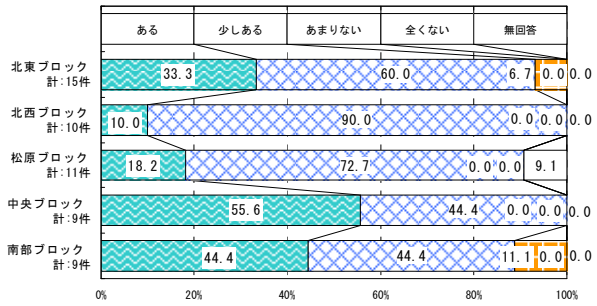
【我慢】



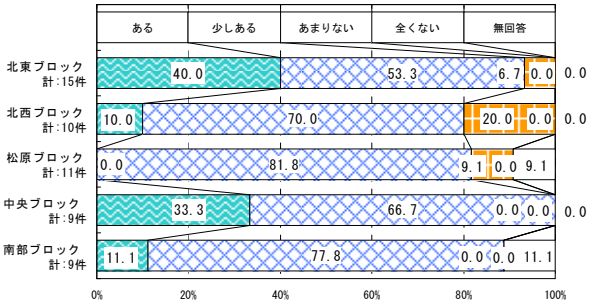
【きまりや約束を守る】



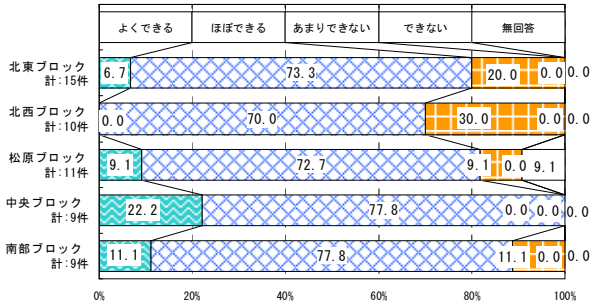
【学習への意欲や物事への関心】



【文字や数への関心】



【集中】



地域別にみると、「規則正しい生活習慣」では〔中央ブロック〕、〔南部ブロック〕、「手洗い、うがい」では〔北西ブロック〕、「安全に行動する」では〔北東ブロック〕、「自分で身支度」では、〔南部ブロック〕、「コミュニケーション」では〔北東ブロック〕、「あいさつや返事」では〔中央ブロック〕、「我慢」では〔南部ブロック〕、「きまりや約束を守る」では〔中央ブロック〕、〔南部ブロック〕が肯定的な回答（「よくできる」と「ほぼできる」の合計）の割合が最も高くなっています。

「学習への意欲や物事への関心」では〔北西ブロック〕、〔中央ブロック〕、「文字や数への関心」では〔中央ブロック〕が肯定的な回答（「ある」と「少しある」の合計）の割合が最も高くなっています。

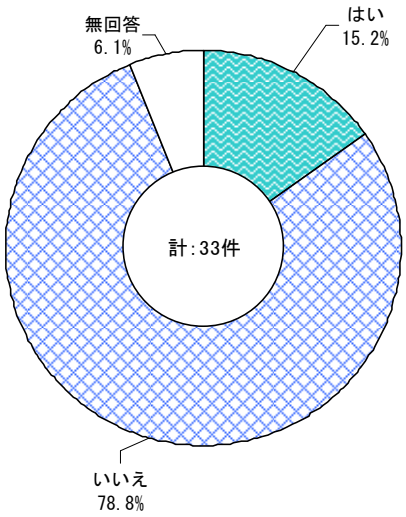
「集中」では〔中央ブロック〕が肯定的な回答（「よくできる」と「ほぼできる」の合計）の割合が最も高くなっています。

３.「中１ギャップ」について

（１）「中１ギャップ」の発生状況

問 12　あなたの学校では、今年度（平成 24 年度）、「中１ギャップ」（授業内容の高度化や、先輩・後輩といった上下関係など、小学校にはなかった新しい環境になじめず、不登校などになってしまう生徒が中学生になって急増すること）といわれる状況がみられますか。
（○は１つだけ）（校長、生徒指導主任、１年生の学年主任のみ回答）

図８－６　「中１ギャップ」の発生状況



「中１ギャップ」の発生状況について、平成 24 年度、「中１ギャップ」といわれる状況がみられるとする回答の割合は、15.2%となっています。

■表８－３　地域別集計（「中１ギャップ」の発生状況）（単位　上段：件、下段：%）

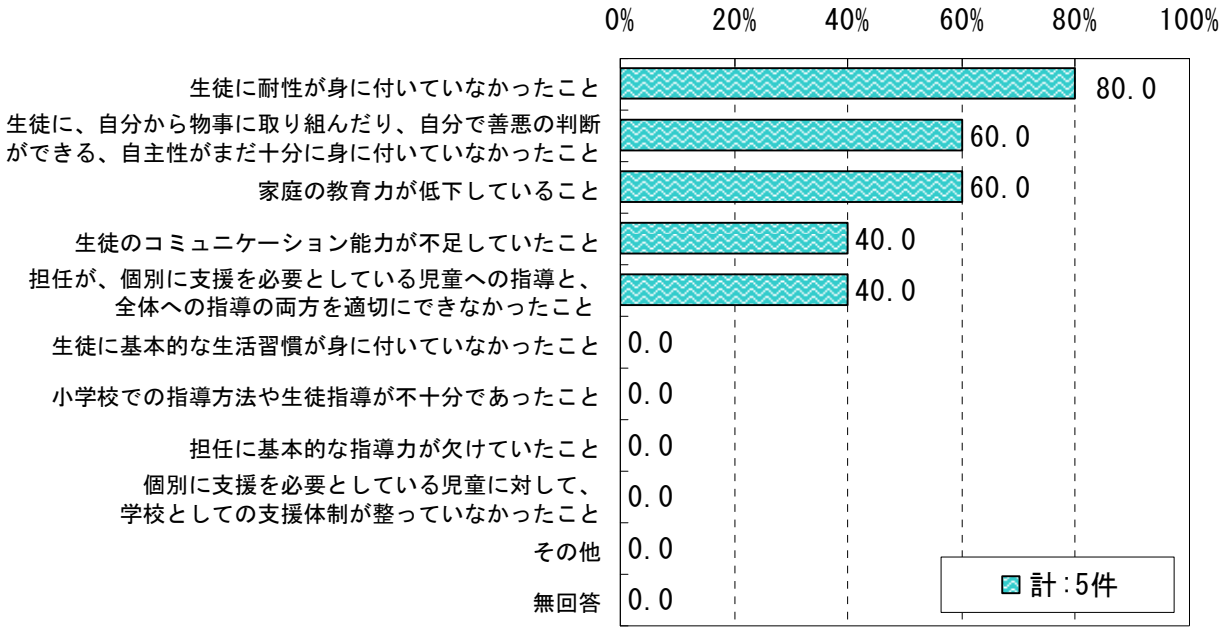
	合計	はい	いいえ	無回答
全体	33 100.0	5 15.2	26 78.8	2 6.1
北東ブロック	9 100.0	1 11.1	7 77.8	1 11.1
北西ブロック	6 100.0	1 16.7	4 66.7	1 16.7
松原ブロック	6 100.0	2 33.3	4 66.7	0 0.0
中央ブロック	6 100.0	1 16.7	5 83.3	0 0.0
南部ブロック	6 100.0	0 0.0	6 100.0	0 0.0

地域別にみると、平成 24 年度、「中１ギャップ」といわれる状況がみられるとする回答の割合は、〔松原ブロック〕で 33.3%と最も高くなっています。

（２）「中１ギャップ」がみられた要因

問 13　【問 12 で１の「はい」に○をつけた場合に答えてください】
「中１ギャップ」がみられる要因はどのようなことであると考えますか。
（あてはまるもの全てに○）（校長、生徒指導主任、１年生の学年主任のみ回答）

図８－７　「中１ギャップ」がみられた要因

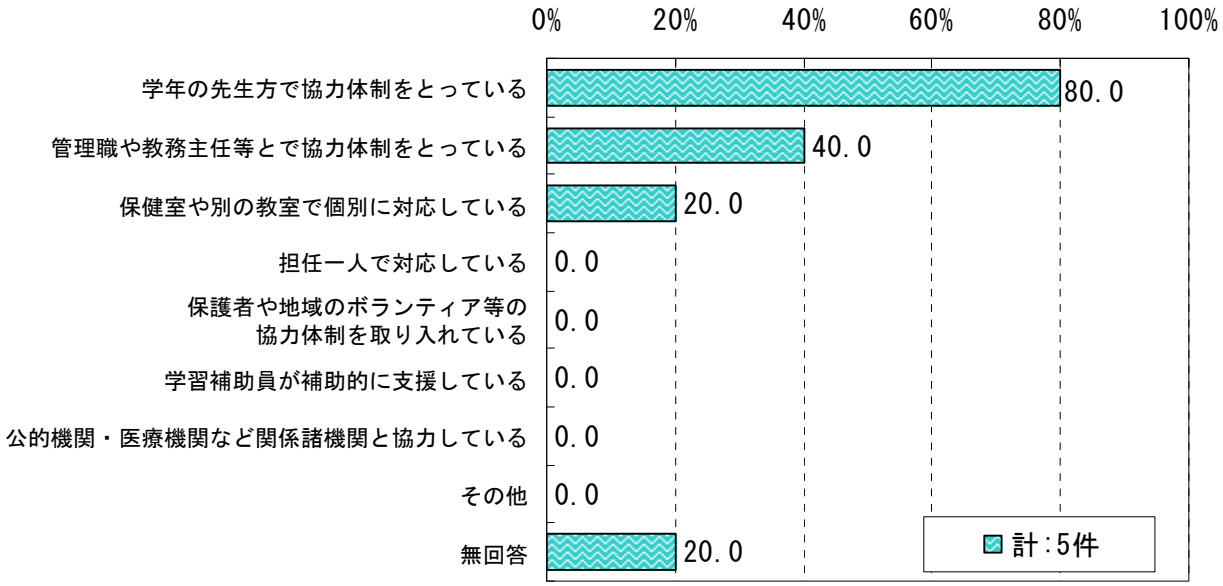


「中１ギャップ」がみられた要因については、「生徒に耐性が身に付いていなかったこと」の回答の割合が 80.0%と最も高く、次いで「生徒に、自分から物事に取り組んだり、自分で善悪の判断ができる、自主性がまだ十分に身に付いていなかったこと」、「家庭の教育力が低下していること」がともに 60.0%となっています。

（３）「中１ギャップ」への対応

問 14　【問 12 で１の「はい」に○をつけた場合に答えてください】
「中１ギャップ」とみられる状況に、どのように対応していますか。
（あてはまるもの全てに○）（校長、生徒指導主任、１年生の学年主任のみ回答）

図８－８　「中１ギャップ」への対応

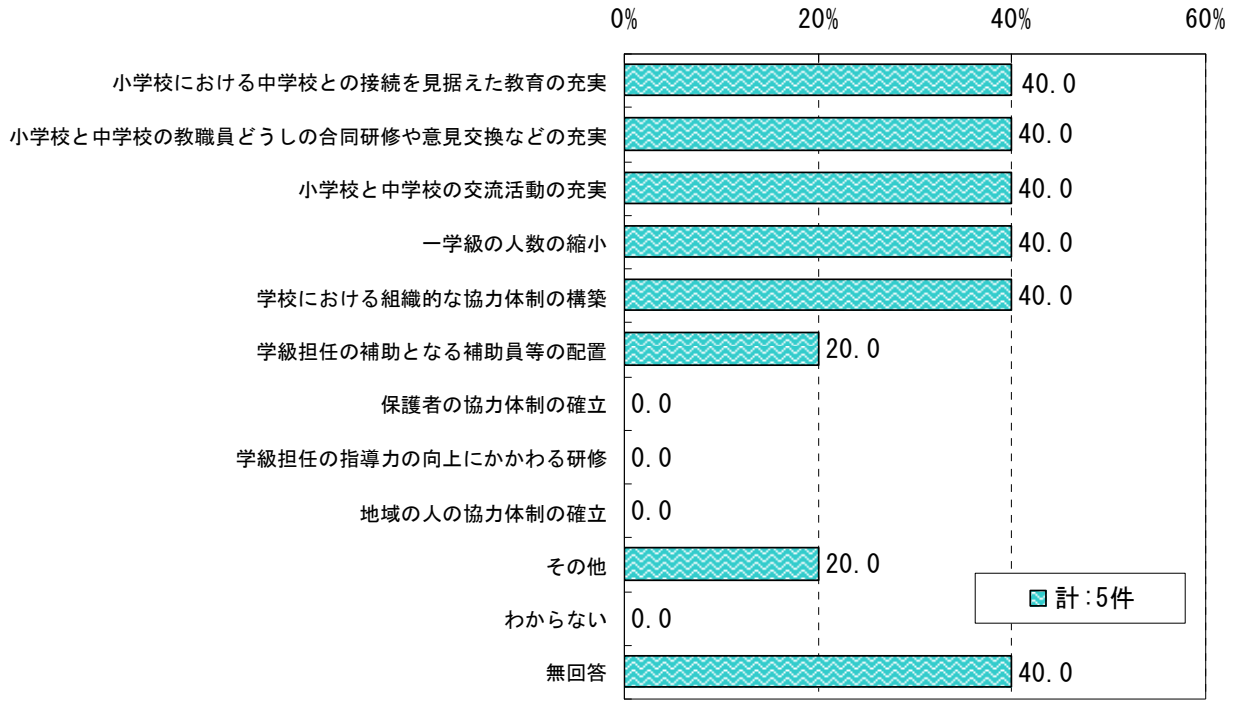


「中 1 ギャップ」への対応としては、「学年の先生方で協力体制をとっている」の回答の割合が 80.0%と最も高く、次いで「管理職や教務主任等とで協力体制をとっている」（40.0%）、「保健室や別の教室で個別に対応している」（20.0%）の順となっています。

（４）「中１ギャップ」の予防や解消のための対応策

問 15　【問 12 で１の「はい」に○をつけた場合に答えてください】
「中１ギャップ」の発生の予防や解消にはどのような対応策が効果的だと思われますか。
（あてはまるもの全てに○）（校長、生徒指導主任、１年生の学年主任のみ回答）

図８－９　「中１ギャップ」の予防や解消のための対応策

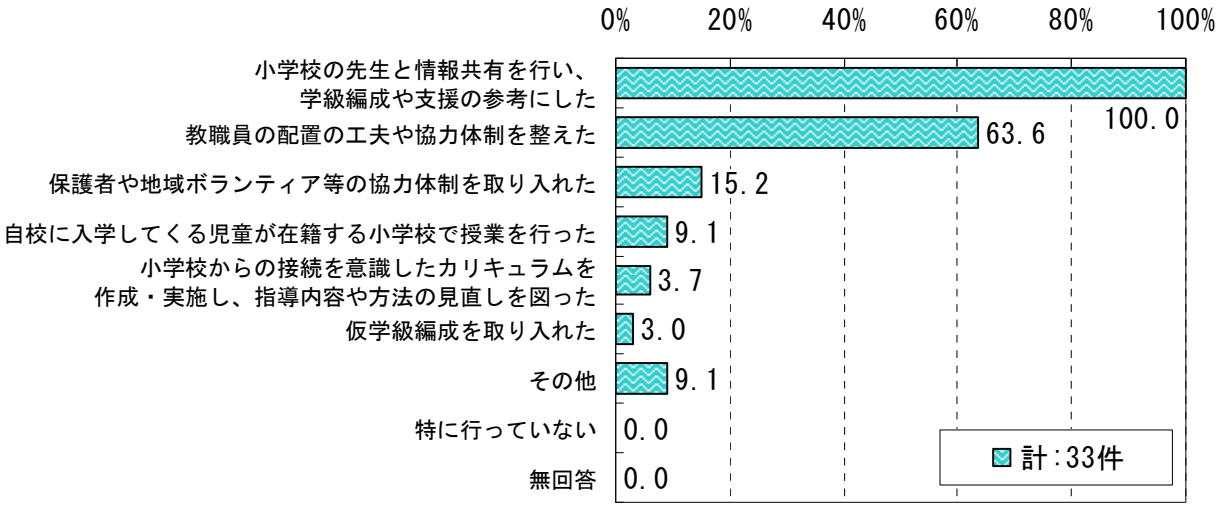


「中１ギャップ」の予防や解消のための対応策としては、「小学校における中学校との接続を見据えた教育の充実」、「小学校と中学校の教職員どうしの合同研修や意見交換などの充実」、「小学校と中学校の交流活動の充実」、「一学級の人数の縮小」、「学校における組織的な協力体制の構築」が、ともに 40.0％で最も高くなっています。

（５）入学に際しての配慮や準備

問 16　あなたの学校では、入学に際し、以下のような配慮や準備を何か行っていますか。
（あてはまるもの全てに○）（校長、生徒指導主任、１年生の学年主任のみ回答）

図８－１０　入学に際しての配慮や準備



入学に際しての配慮や準備としては、「小学校の先生と情報共有を行い、学級編成や支援の参考にした」の回答の割合が 100.0%と最も高く、次いで「教職員の配置の工夫や協力体制を整えた」（63.6%）、「保護者や地域ボランティア等の協力体制を取り入れた」（15.2%）の順となっています。

「その他」として、「保護者との連携、生徒一人一人へのきめ細かい支援」、「毎年３学期に新入生１日入学を実施している」、「学校公開日、部活動見学会、一日体験入学の実施」などの回答があります。

■表８－４　入学に際しての配慮や準備別集計（「中１ギャップ」の発生状況）（単位　上段：件、下段：%）

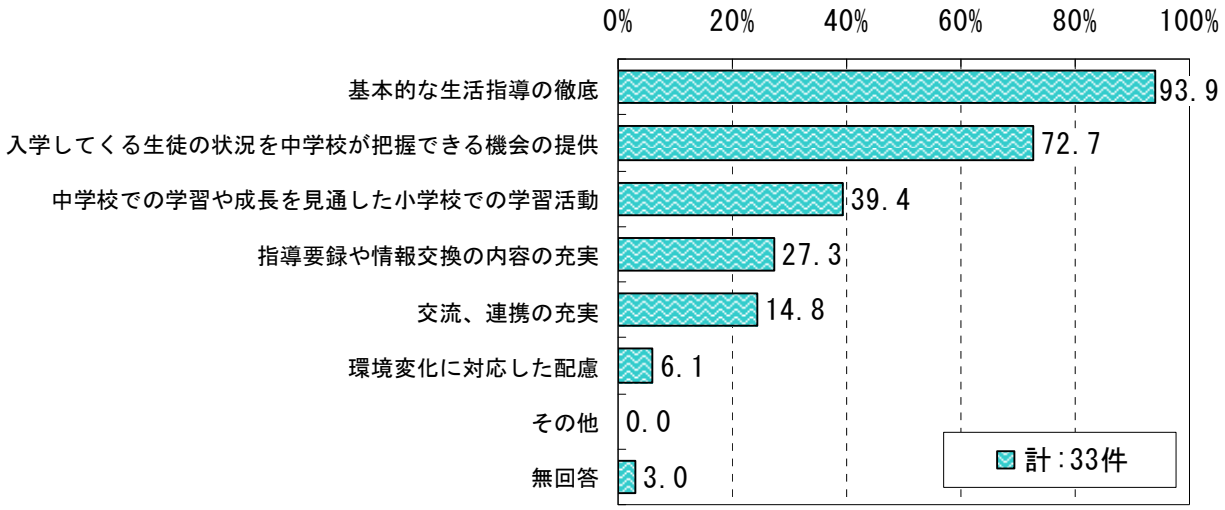
		「中１ギャップ」の発生状況			
		合計	はい	いいえ	無回答
入学に際しての配慮や準備	全体	33 100.0	5 15.2	26 78.8	2 6.1
	小学校の先生と情報共有を行い、学級編成や支援の参考にした	33 100.0	5 15.2	26 78.8	2 6.1
	教職員の配置の工夫や協力体制を整えた	21 100.0	3 14.3	16 76.2	2 9.5
	保護者や地域ボランティア等の協力体制を取り入れた	5 100.0	0 0.0	5 100.0	0 0.0
	自校に入学してくる児童が在籍する小学校で授業を行った	3 100.0	1 33.3	2 66.7	0 0.0
	小学校からの接続を意識したカリキュラムを作成・実施し、指導内容や方法の見直しを図った	2 100.0	0 0.0	2 100.0	0 0.0
	仮学級編成を取り入れた	1 100.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0
	その他	3 100.0	0 0.0	3 100.0	0 0.0
	特に行っていない	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

入学に際しての配慮や準備の状況別に「中１ギャップ」の発生状況をみると、「教職員の配置の工夫や協力体制を整えた」等の場合、「中１ギャップ」の発生割合が若干低くなる傾向がうかがえます。

（６）小学校に対する期待

問 17　あなたの学校に入学する生徒の出身校である小学校に対して、どのようなことを期待しますか。（あてはまるもの全てに○）（校長、生徒指導主任、１年生の学年主任のみ回答）

図８－１１　小学校に対する期待



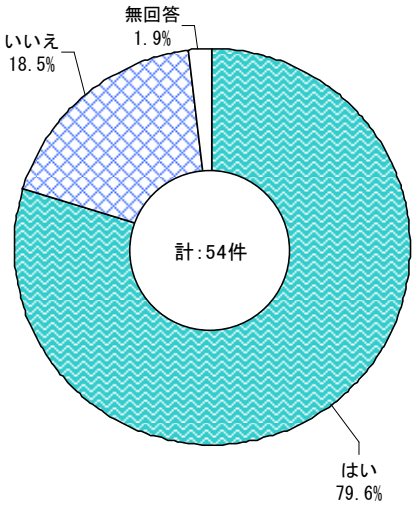
小学校に対する期待としては、「基本的な生活指導の徹底」の回答の割合が 93.9%と最も高く、次いで「入学してくる生徒の状況を中学校が把握できる機会の提供」(72.7%)、「中学校での学習や成長を見通した小学校での学習活動」(39.4%) の順となっています。

４．幼稚園・保育園・小学校・中学校の交流、連携の実施状況について

（１）幼稚園・保育園・小学校・他の中学校との交流、連携の実施状況

問 18　あなたの学校では、平成 23 年度に、幼稚園・保育園・小学校・他の中学校のいずれか又はいくつかと交流、連携を行いましたか。（○は１つだけ）

図８－１２　幼稚園・保育園・小学校・他の中学校との交流、連携の実施状況



幼稚園・保育園・小学校・他の中学校との交流、連携の実施状況については、平成 23 年度に交流、連携を実施したとする中学校の割合は、79.6%となっています。

■表８－５　地域別集計（幼稚園・保育園・小学校・他の中学校との交流、連携の実施状況）

（単位　上段：件、下段：%）

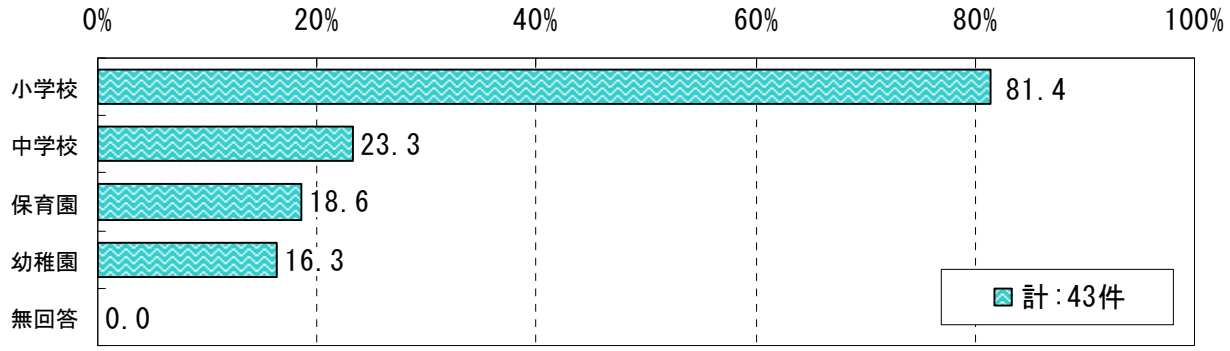
	合計	はい	いいえ	無回答
全体	54 100.0	43 79.6	10 18.5	1 1.9
北東ブロック	15 100.0	13 86.7	1 6.7	1 6.7
北西ブロック	10 100.0	8 80.0	2 20.0	0 0.0
松原ブロック	11 100.0	6 54.5	5 45.5	0 0.0
中央ブロック	9 100.0	9 100.0	0 0.0	0 0.0
南部ブロック	9 100.0	7 77.8	2 22.2	0 0.0

地域別にみると、平成 23 年度に交流、連携を実施したとする中学校の割合は、〔中央ブロック〕で 100.0%と最も高くなっています。

（２）交流、連携の相手方

問 19　【問 18 で１の「はい」に○をつけた場合に答えてください】
交流、連携の相手方はどこでしたか。（あてはまるもの全てに○）

図８－１３　交流、連携の相手方

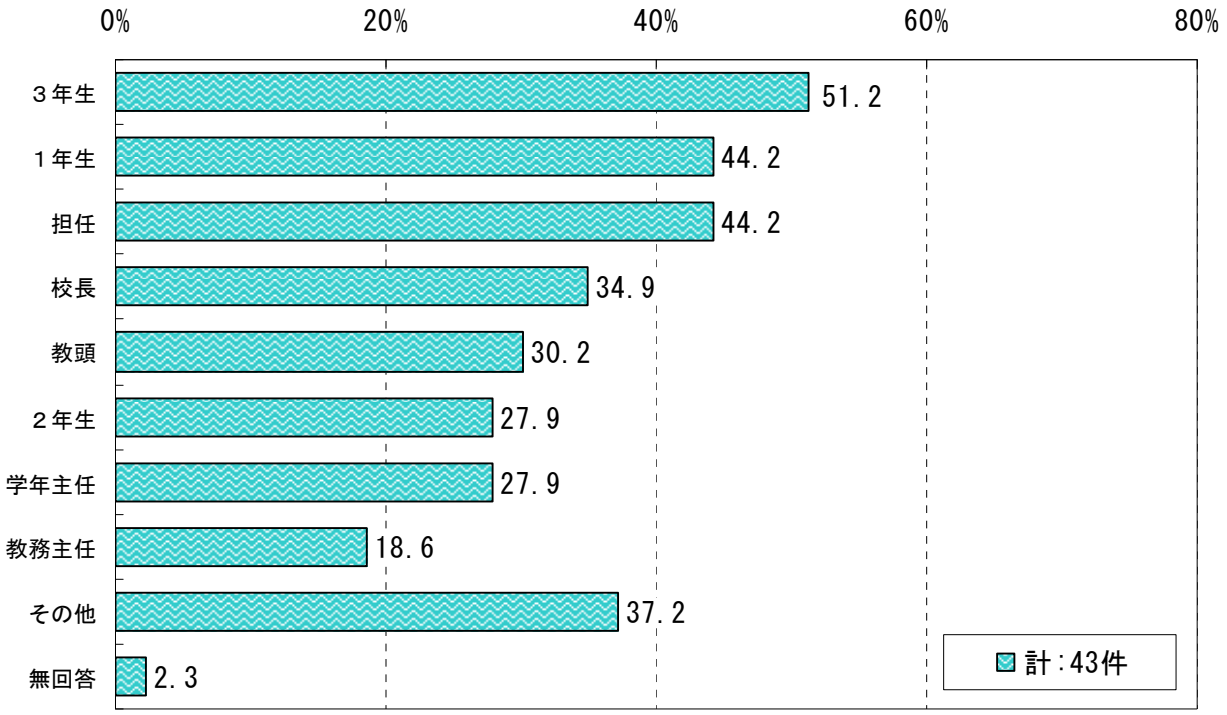


交流、連携の相手方としては、「小学校」の割合が 81.4%と最も高く、次いで「中学校」(23.3%)、「保育園」(18.6%) の順となっています。

（３）交流、連携の参加者

問 20　【問 18 で１の「はい」に○をつけた場合に答えてください】
交流、連携に参加したのは以下のうち誰でしたか。（あてはまるもの全てに○）

図８－１４　交流、連携の参加者



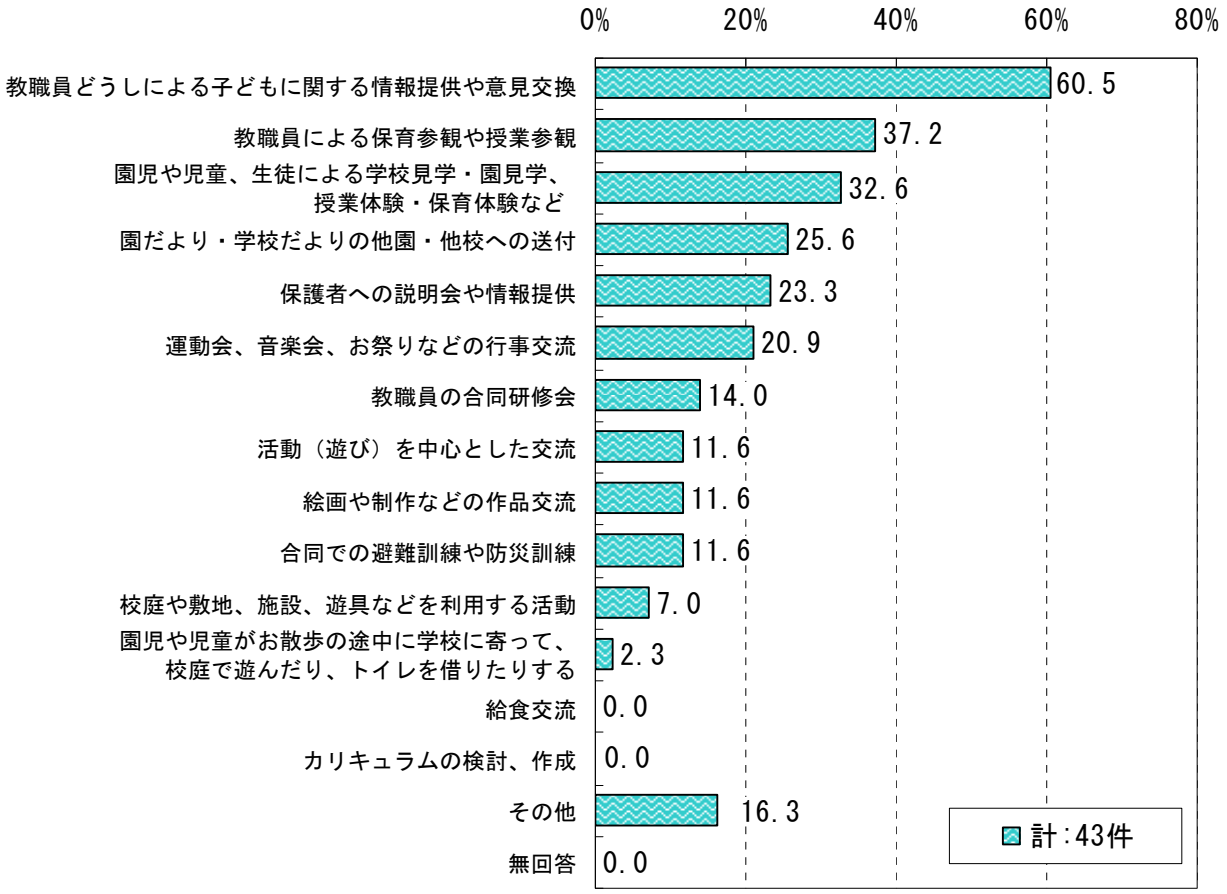
交流、連携の参加者については、「３年生」の割合が 51.2%と最も高く、次いで「１年生」、「担任」がともに 44.2%で同率となっています。

「その他」として「英語教諭」、「特別支援学級教諭」などの回答があります。

（４）交流、連携の内容

問 21　【問 18 で１の「はい」に○をつけた場合に答えてください】
交流、連携の内容はどのようなものでしたか。（あてはまるもの全てに○）

図８－１５　交流、連携の内容



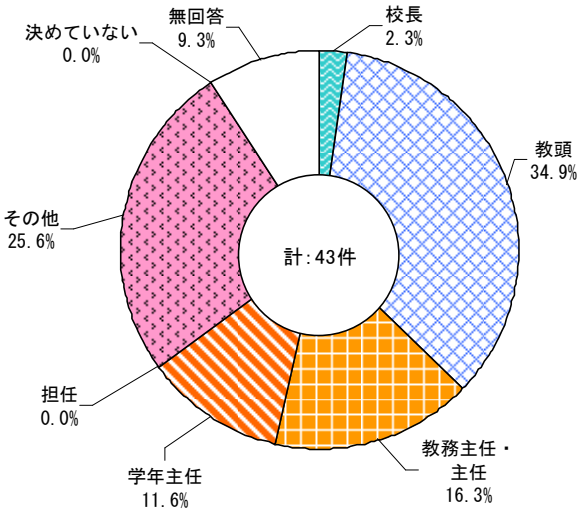
交流、連携の内容としては、「教職員どうしによる子どもに関する情報提供や意見交換」の回答の割合が 60.5%と最も高く、次いで「教職員による保育参観や授業参観」(37.2%)、「園児や児童、生徒による学校見学・園見学、授業体験・保育体験など」(32.6%) の順となっています。

「その他」として、「中学校１年生英語担当者が小学校５、６年生英語授業交流に参加」、「あいさつ運動」などの回答があります。

（５）交流、連携の窓口の担当者

問 22　【問 18 で１の「はい」に○をつけた場合に答えてください】
交流、連携の窓口は、主にどなたが担当していますか。（○は１つだけ）

図８－１６　交流、連携の窓口の担当者

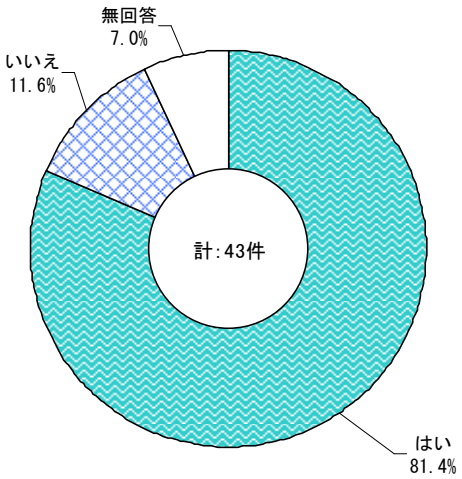


交流、連携の窓口の担当者については、「教頭」の割合が 34.9%と最も高く、次いで「教務主任・主任」（16.3%）、「学年主任」（11.6%）の順となっています。

（６）交流、連携の窓口の担当者の固定化

問 23　【問 18 で１の「はい」に○をつけた場合に答えてください】
交流、連携の窓口の担当者は、固定していますか。（○は１つだけ）

図８－１７　交流、連携の窓口の担当者の固定化

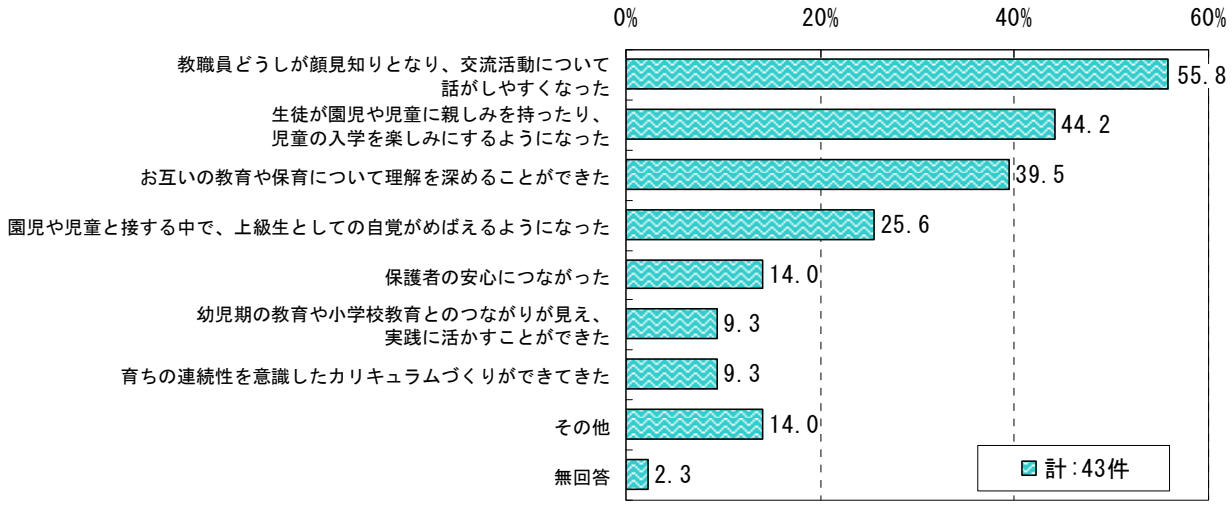


交流、連携の窓口については、81.4%が担当者を固定していると回答しています。

（７）交流、連携を行って良かった点

問 24　【問 18 で１の「はい」に○をつけた場合に答えてください】
交流、連携を行って良かった点は何ですか。（あてはまるもの全てに○）

図８－１８　交流、連携を行って良かった点



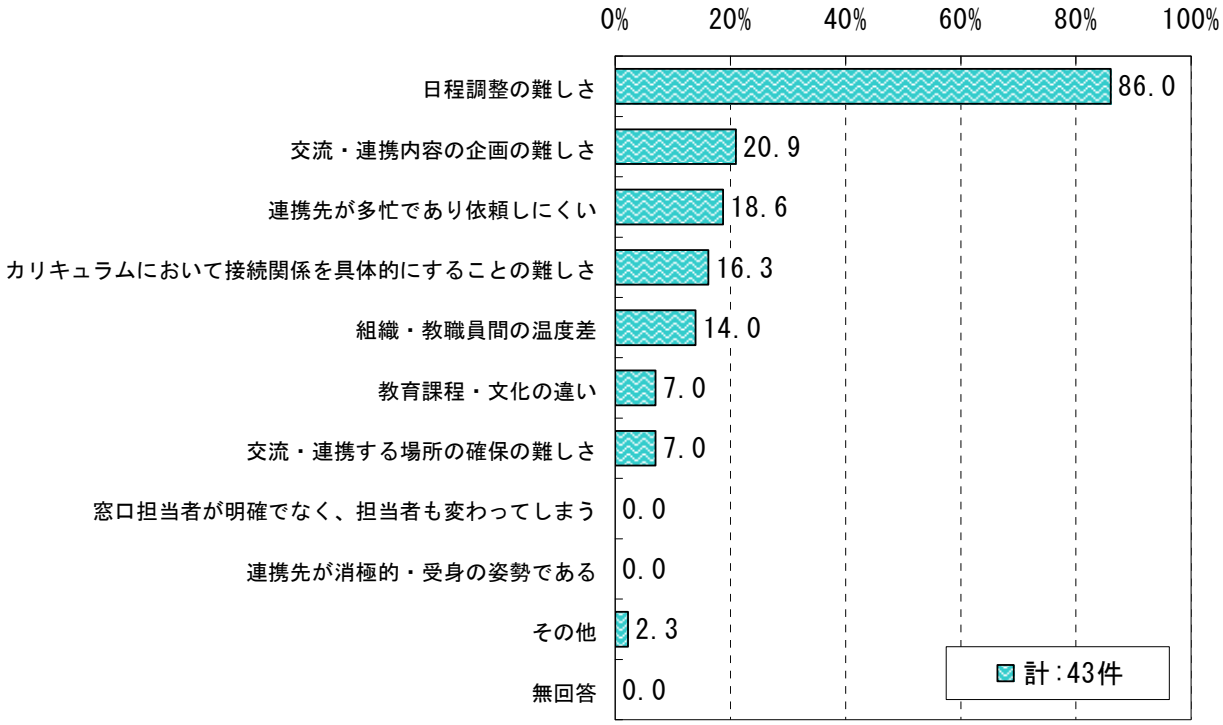
交流、連携を行って良かった点としては、「教職員どうしが顔見知りとなり、交流活動について話がしやすくなった」の回答の割合が 55.8％と最も高く、次いで「生徒が園児や児童に親しみを持ったり、児童の入学を楽しみにするようになった」（44.2％）、「お互いの教育や保育について理解を深めることができた」（39.5％）の順となっています。

「その他」として、「情報の共有」、「生徒どうしの関わりの広がり、お互いの刺激」などの回答があります。

（８）交流、連携の課題となる点

問 25　【問 18 で１の「はい」に○をつけた場合に答えてください】
交流、連携の実施にあたって課題となる点は何ですか。（あてはまるもの全てに○）

図８－１９　交流、連携の課題となる点



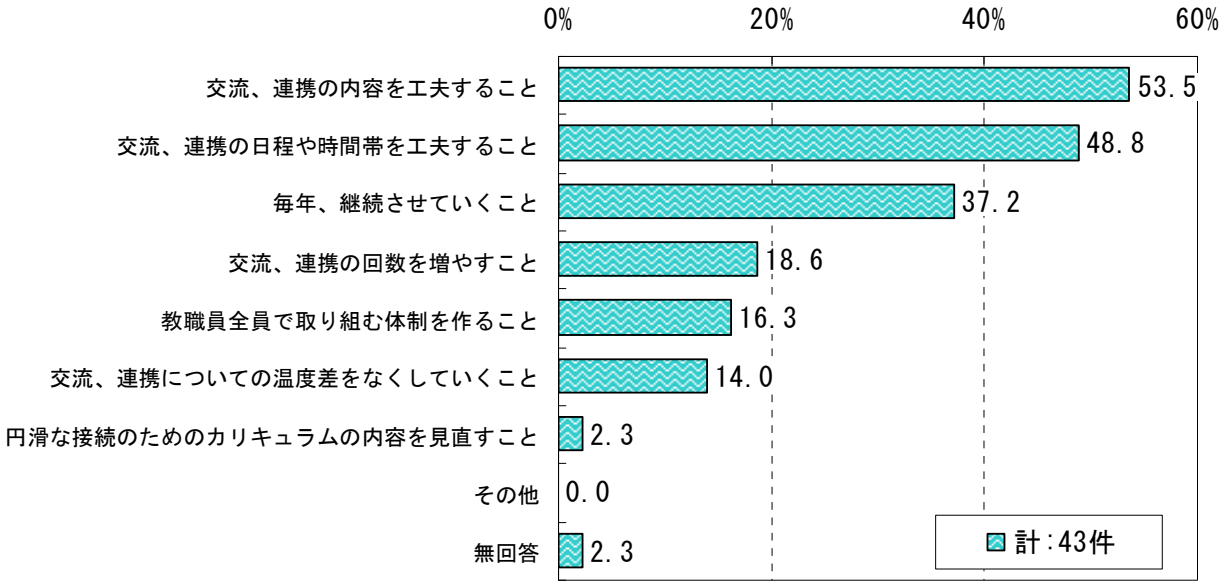
交流、連携の課題となる点としては、「日程調整の難しさ」の回答の割合が 86.0%と最も高く、次いで「交流・連携内容の企画の難しさ」(20.9%)、「連携先が多忙であり依頼しにくい」(18.6%)の順となっています。

「その他」として、「生徒の移動が大変」という回答があります。

（９）交流、連携の改善点

問 26　【問 18 で１の「はい」に○をつけた場合に答えてください】
交流、連携の実施にあたって改善したい点は何ですか。（あてはまるもの全てに○）

図８－２０　交流、連携の改善点

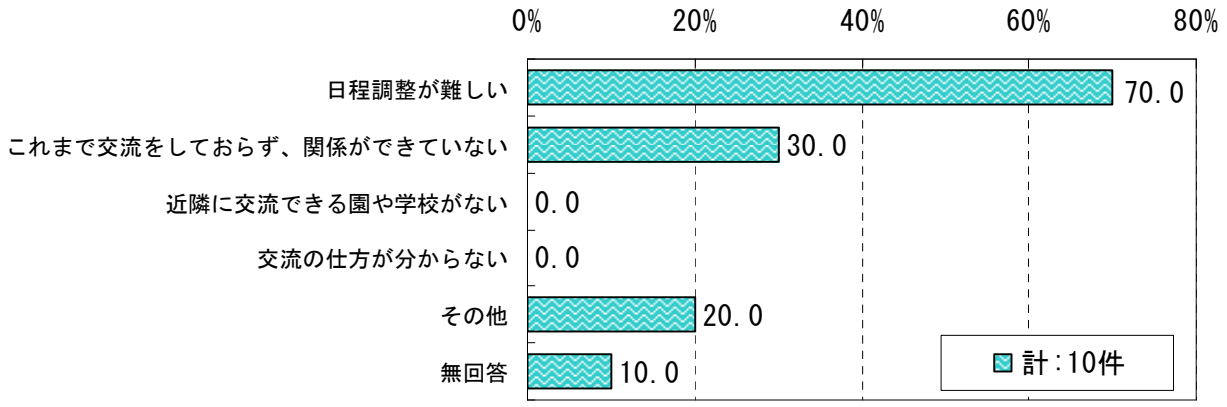


交流、連携の改善点としては、「交流、連携の内容を工夫すること」の回答の割合が 53.5%と最も高く、次いで「交流、連携の日程や時間帯を工夫すること」(48.8%)、「毎年、継続させていくこと」(37.2%) の順となっています。

(10) 交流、連携が困難な理由

問 27　【問 18 で２の「いいえ」に○をつけた場合に答えてください】
交流、連携の実施が困難な理由は何ですか。（あてはまるもの全てに○）

図８－２１　交流、連携が困難な理由



交流、連携が困難な理由としては、「日程調整が難しい」の回答の割合が 70.0%と最も高く、次いで「これまで交流をしておらず、関係ができていない」となっています。

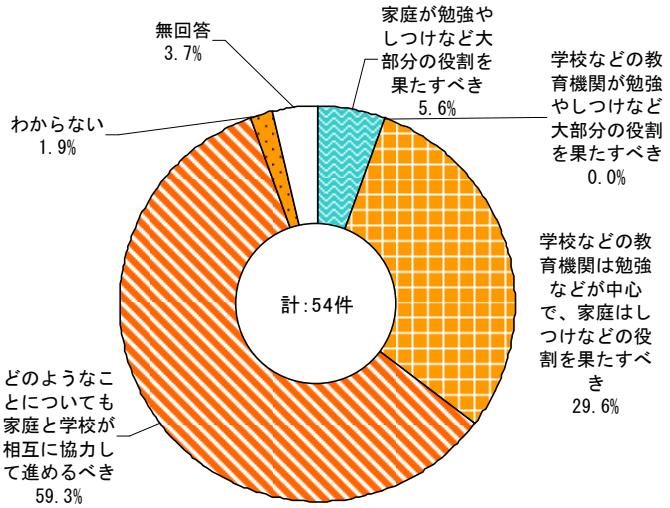
「その他」として、「交流する意識はあるが、体制ができていない」などの回答があります。

５．教育全般について

（１）家庭と学校などの教育機関の役割

問 28　子どもを育てるにあたっての、家庭と学校などの教育機関（幼稚園、保育園を含む）の役割について、もっとも近い考えはどれですか。（○は１つだけ）

図８－２２　家庭と学校などの教育機関の役割



家庭と学校などの教育機関の役割については、「どのようなことについても家庭と学校が相互に協力して進めるべき」の回答の割合が 59.3%と最も高く、次いで「学校などの教育機関は勉強などが中心で、家庭はしつけなどの役割を果たすべき」（29.6%）、「家庭が勉強やしつけなど大部分の役割を果たすべき」（5.6%）の順となっています。

■表８－６　地域別集計（家庭と学校などの教育機関の役割）（単位　上段：件、下段：%）

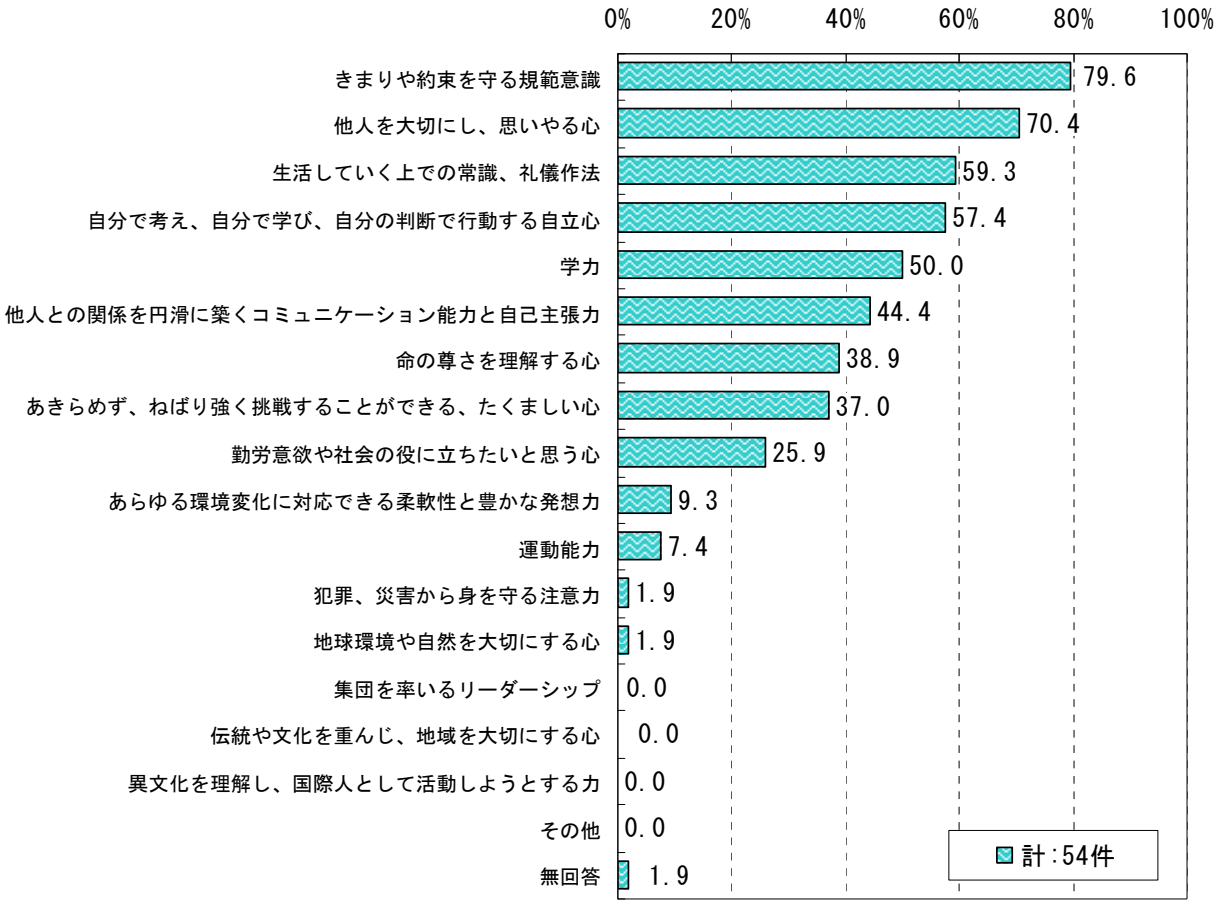
	合計	家庭が勉強やしつけなど大部分の役割を果たすべき	学校などの教育機関が勉強やしつけなど大部分の役割を果たすべき	学校などの教育機関は勉強などが中心で、家庭はしつけなどの役割を果たすべき	どのようなことについても家庭と学校が相互に協力して進めるべき	わからない	無回答
全体	54 100.0	3 5.6	0 0.0	16 29.6	32 59.3	1 1.9	2 3.7
北東ブロック	15 100.0	1 6.7	0 0.0	5 33.3	7 46.7	1 6.7	1 6.7
北西ブロック	10 100.0	0 0.0	0 0.0	4 40.0	6 60.0	0 0.0	0 0.0
松原ブロック	11 100.0	0 0.0	0 0.0	3 27.3	7 63.6	0 0.0	1 9.1
中央ブロック	9 100.0	1 11.1	0 0.0	4 44.4	4 44.4	0 0.0	0 0.0
南部ブロック	9 100.0	1 11.1	0 0.0	0 0.0	8 88.9	0 0.0	0 0.0

地域別にみると、〔中央ブロック〕では、「学校などの教育機関は勉強などが中心で、家庭はしつけなどの役割を果たすべき」の回答の割合が、「どのようなことについても家庭と学校が相互に協力して進めるべき」と同率となっており、最も高くなっています。

（２）中学校卒業までに身に付けてほしい能力や考え方

問 29　将来、成人し社会の支え手となる、あなたの学校の卒業生に、中学校を卒業する時までに、身に付けてほしい能力や考え方として、特に重要だと思うことは何ですか。（○は５つまで）

図８－２３　中学校卒業までに身に付けてほしい能力や考え方



中学校卒業までに身に付けてほしい能力や考え方については、「きまりや約束を守る規範意識」の回答の割合が 79.6％と最も高く、次いで「他人を大切にし、思いやる心」（70.4％）、「生活していく上での常識、礼儀作法」（59.3％）、「自分で考え、自分で学び、自分の判断で行動する自立心」（57.4％）、「学力」（50.0％）の順となっています。

■表８－７　地域別集計（中学校卒業までに身に付けてほしい能力や考え方）（単位　上段：件、下段：%）

	合計	学力	運動能力	生活していく上での常識、礼儀作法	きまりや約束を守る規範意識	他人を大切にし、思いやる心	あきらめず、ねばり強く挑戦することができる、たくましい心	命の尊さを理解する心	自分で考え、自分で学び、自分の判断で行動する自立心	他人との関係を円滑に築くコミュニケーション能力と自己主張力	あらゆる環境変化に対応できる柔軟性と豊かな発想力	集団を率いるリーダーシップ	犯罪、災害から身を守る注意力	勤労意欲や社会の役に立ちたいと思う心	伝統や文化を重んじ、地域を大切にする心	異文化を理解し、国際人として活動しようとする力	地球環境や自然を大切にする心	その他	無回答
全体	54 100.0	27 50.0	4 7.4	32 59.3	43 79.6	38 70.4	20 37.0	21 38.9	31 57.4	24 44.4	5 9.3	0 0.0	1 1.9	14 25.9	0 0.0	0 0.0	1 1.9	0 0.0	1 1.9
北東ブロック	15 100.0	9 60.0	1 6.7	6 40.0	13 86.7	11 73.3	5 33.3	7 46.7	8 53.3	3 20.0	2 13.3	0 0.0	1 6.7	3 20.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 6.7
北西ブロック	10 100.0	3 30.0	0 0.0	4 40.0	8 80.0	7 70.0	5 50.0	6 60.0	9 90.0	4 40.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 30.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
松原ブロック	11 100.0	6 54.5	1 9.1	8 72.7	7 63.6	6 54.5	4 36.4	2 18.2	5 45.5	8 72.7	2 18.2	0 0.0	0 0.0	4 36.4	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
中央ブロック	9 100.0	5 55.6	0 0.0	7 77.8	8 88.9	7 77.8	3 33.3	5 55.6	2 22.2	6 66.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 11.1	0 0.0	0 0.0	1 11.1	0 0.0	0 0.0
南部ブロック	9 100.0	4 44.4	2 22.2	7 77.8	7 77.8	7 77.8	3 33.3	1 11.1	7 77.8	3 33.3	1 11.1	0 0.0	0 0.0	3 33.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

地域別に、全体での回答の割合が最も高い項目と比較すると、〔北西ブロック〕では「自分で考え、自分で学び、自分の判断で行動する自立心」、〔松原ブロック〕では「生活していく上での常識、礼儀作法」、「他人との関係を円滑に築くコミュニケーション能力と自己主張力」、〔南部ブロック〕では「きまりや約束を守る規範意識」と並び「生活していく上での常識、礼儀作法」、「他人を大切にし、思いやる心」、「自分で考え、自分で学び、自分の判断で行動する自立心」の回答の割合が最も高くなっています。

６．自由記述

最後に、子ども教育の連携や草加市の教育についてご意見などがあれば、自由にご記入ください。

自由記述は、回収数 54 件中 13 件から回答があり、結果を項目別にまとめると以下のようになります。１件の回答の中に複数の項目にまたがるものもあるため、各項目の回答件数の合計は 13 件より多くなっています。

■表８－８　自由記述（中学校教員）

項　　目			件数
小中学校に関すること	特別支援教育について		2
		特別支援学級の担任について、３年間を見通した支援ができるようにしてほしい	1
		中学校の通級指導教室を増やしてほしい	1
	施設・設備について		2
		施設、設備を充実してほしい	2
	家庭・地域との連携について		2
		家庭の役割を明確にし、啓発を行ってほしい	1
		その他	1
	その他		1
教育行政に関すること	子ども教育の連携推進について		7
		幼稚園、保育園、小学校、中学校の連携は重要であり、充実させてほしい	3
		連携によりお互いの教育を理解し、同じ方向を目指していくことにより成果を大きくしてほしい	1
		それぞれの段階で教えるべき行動規範を明確化し、実践することにより効果をあげてほしい	1
		連携により教員の指導力の向上を図りたい	1
		高校との連携も必要ではないか	1
その他	その他		2

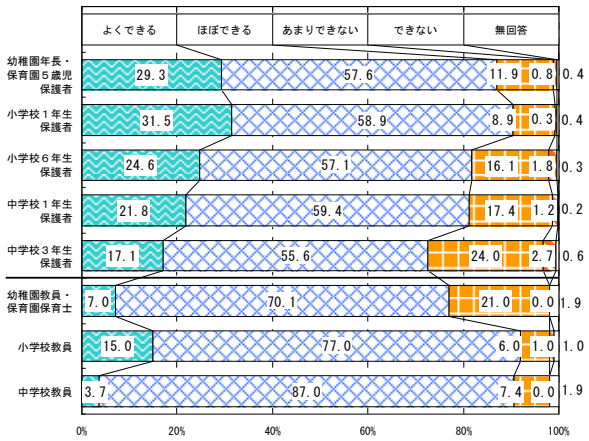
Ⅸ．保護者、教員・保育士共通項目

１．生活の様子について

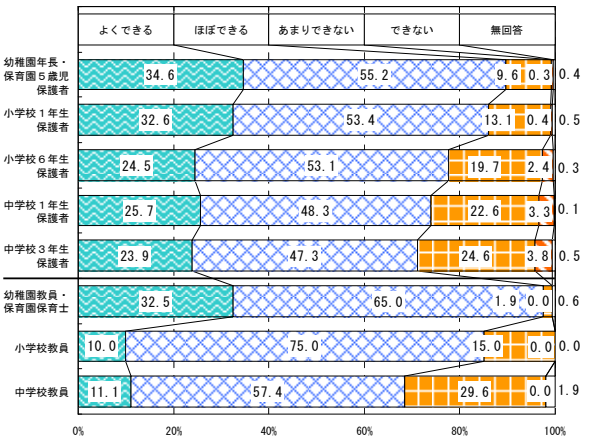
お子さん、児童、生徒の生活の様子について教えてください。

図９－１　生活の様子

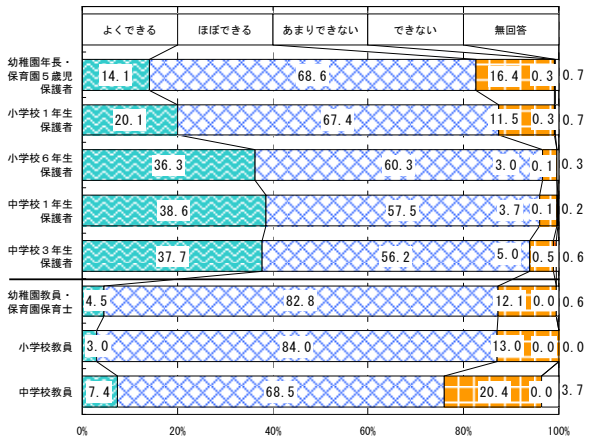
【規則正しい生活習慣】



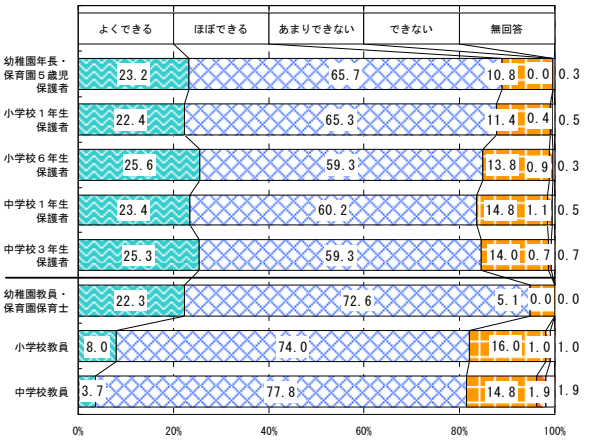
【手洗い、うがい】



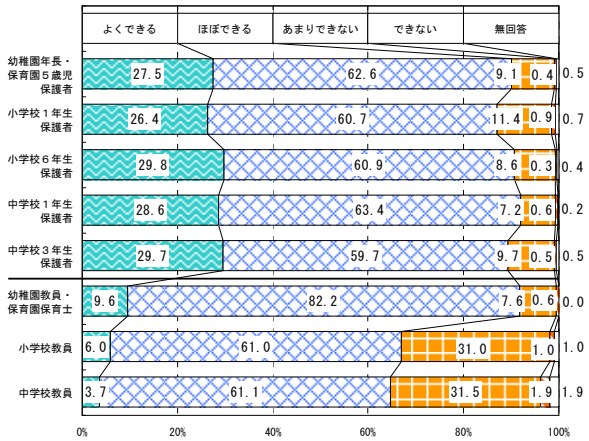
【安全に行動する】



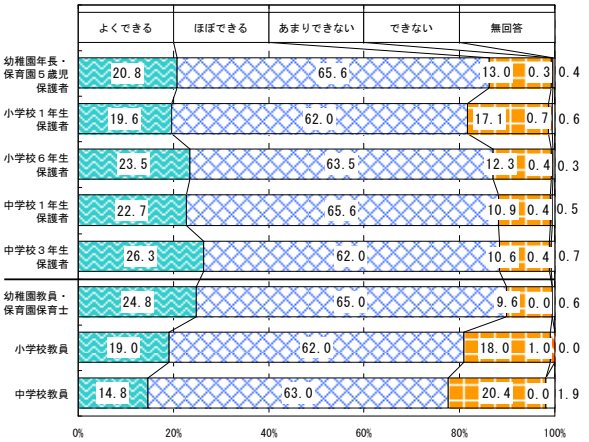
【自分で身支度】



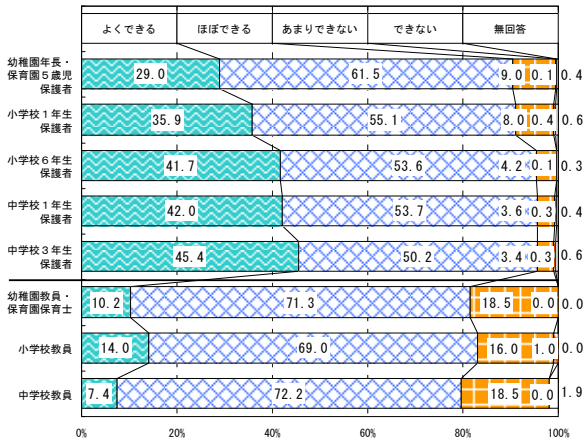
【コミュニケーション】



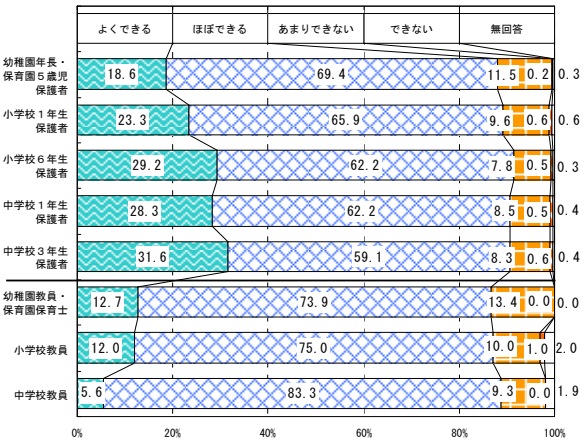
【あいさつや返事】



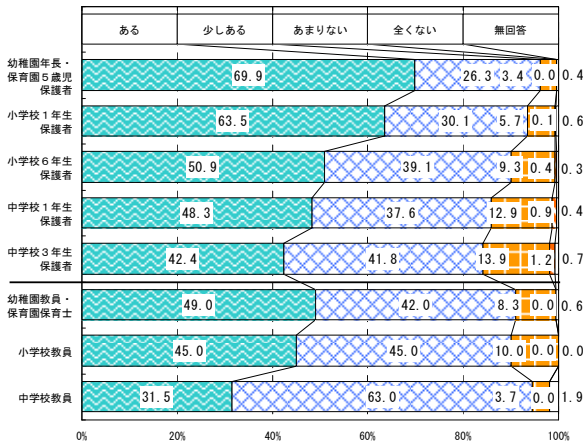
【我慢】



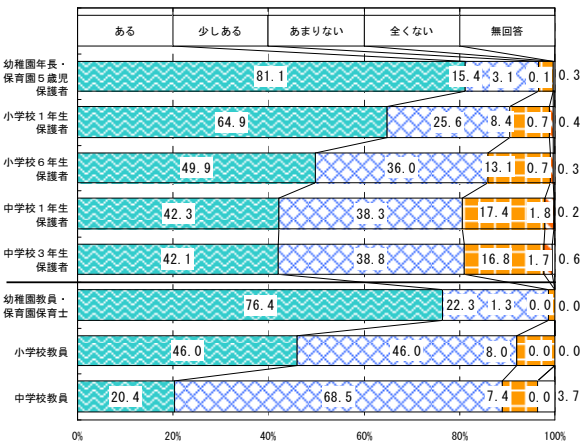
【きまりや約束を守る】



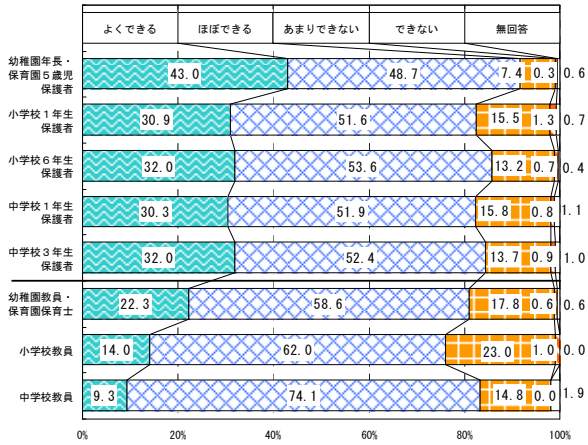
【学ぶ意欲（学習への意欲）や物事への関心】



【文字や数への関心】



【集中】



子どもたちの生活の様子について、保護者と教員・保育士の回答結果をみると、保護者と教員・保育士とで回答に傾向の違いがあるものの、学年が上がるにつれて肯定的な回答（「よくできる」と「ほぼできる」の合計、または「ある」と「少しある」の合計）の割合が低くなる傾向の項目が多くあります。

「規則正しい生活習慣」の保護者の回答では、学年があがるにつれて肯定的な回答の割合がおおむね低くなる傾向があります。「規則正しい生活習慣」の教員・保育士の回答では、幼稚園・保育園から小学校にかけては、肯定的な回答の割合が高くなり、小学校から中学校にかけては、肯定的な回答の割合がほぼ横ばいとなっています。

「手洗い、うがい」では、保護者と教員・保育士の回答がともに、学年があがるにつれて肯定的な回答の割合が低くなっています。

「安全に行動する」の保護者の回答では、幼稚園年長・保育園５歳児から小学校１年生、小学校６年生にかけて、肯定的な回答の割合が高くなっており、小学校６年生から中学校１年生、中学校３年生にかけて、肯定的な回答の割合がほぼ横ばいとなっています。「安全に行動する」の教員・保育士の回答では、幼稚園・保育園から小学校にかけて、肯定的な回答の割合がほぼ横ばいとなっており、小学校から中学校にかけて、肯定的な回答の割合が低くなっています。

「自分で身支度」の保護者の回答では、学年があがっても肯定的な回答の割合はほぼ横ばいとなっています。「自分で身支度」の教員・保育士の回答では、幼稚園・保育園から小学校にかけて、肯定的な回答の割合が低くなり、小学校から中学校にかけて、肯定的な回答の割合がほぼ横ばいとなっています。

「コミュニケーション」の保護者の回答では、学年があがっても肯定的な回答の割合はほぼ横ばいとなっています。「コミュニケーション」の教員・保育士の回答では、幼稚園・保育園から小学校、小学校から中学校にかけて、肯定的な回答の割合が低くなっています。

「あいさつや返事」の保護者の回答では、学年があがっても肯定的な回答の割合はほぼ横ばいとなっています。「あいさつや返事」の教員・保育士の回答では、幼稚園・保育園から小学校、小学校から中学校にかけて、肯定的な回答の割合が低くなっています。

「我慢」では、保護者と教員・保育士の回答がともに、学年があがっても肯定的な回答の割合がほぼ横ばいとなっています。

「きまりや約束を守る」では、保護者と教員・保育士の回答がともに、学年があがっても肯定的な回答の割合がほぼ横ばいとなっています。

「学ぶ意欲や物事への関心」の保護者の回答では、学年があがるにつれて肯定的な回答の割合が低くなっています。「学ぶ意欲や物事への関心」の教員・保育士の回答では、幼稚園・保育園から小学校、小学校から中学校にかけて、肯定的な回答の割合がほぼ横ばいとなっています。

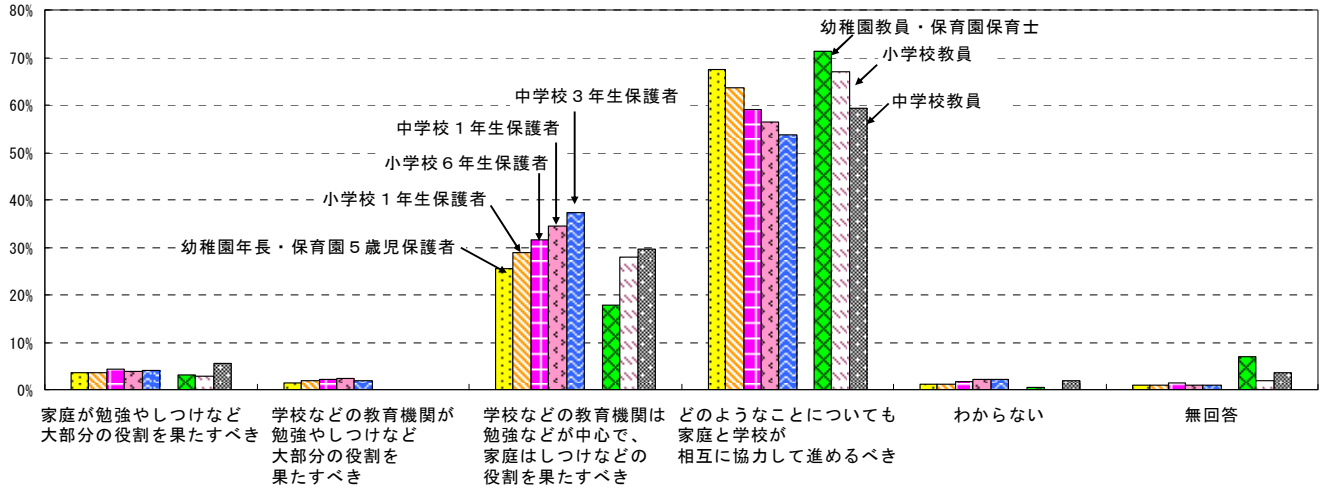
「文字や数への関心」では、保護者と教員・保育士の回答がともに、学年があがるにつれて肯定的な回答の割合が低くなっています。

「集中」の保護者の回答では、幼稚園年長・保育園５歳児から小学校１年生にかけて、肯定的な回答の割合が低くなっており、小学校１年生から中学校３年生までにかけては、肯定的な回答の割合がほぼ横ばいとなっています。「集中」の教員・保育士の回答では、幼稚園・保育園から小学校にかけて、肯定的な回答の割合が低くなっており、小学校から中学校にかけて、肯定的な回答の割合が高くなっています。

２．家庭と学校などの教育機関の役割

子どもを育てるにあたっての、家庭と学校などの教育機関（幼稚園、保育園を含む）の役割について、もっとも近い考えはどれですか。

図９－２　家庭と学校などの教育機関の役割



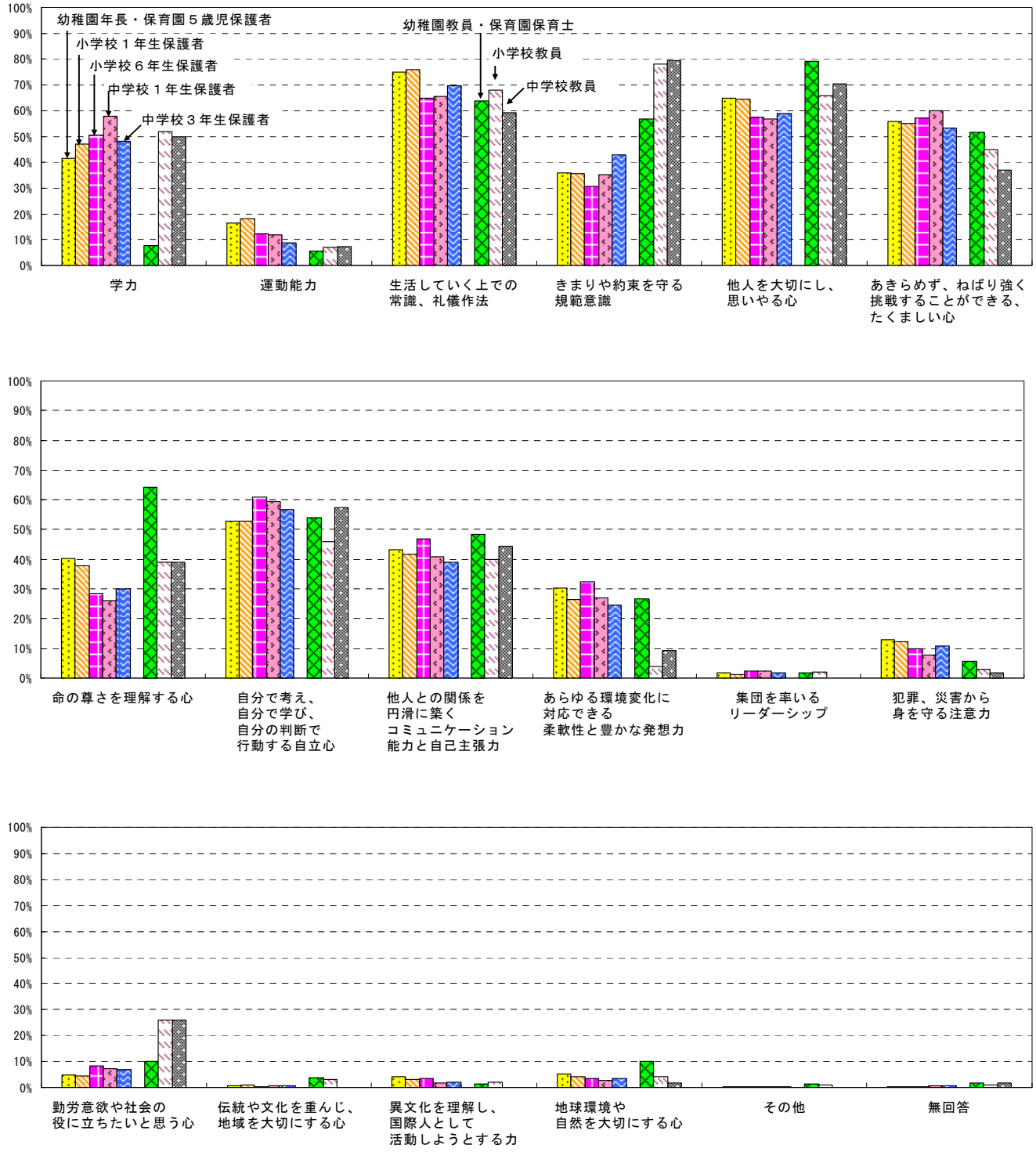
家庭と学校などの教育機関の役割について、保護者と教員・保育士の回答結果をみると、保護者と教員・保育士ともに、全ての学年で、「どのようなことについても家庭と学校が相互に協力して進めるべき」の回答の割合が最も高く、次いで、「学校などの教育機関は勉強などが中心で、家庭はしつけなどの役割を果たすべき」の順となっています。

また、保護者と教員・保育士ともに、「どのようなことについても家庭と学校が相互に協力して進めるべき」の回答の割合は、学年があがるにつれて低くなり、「学校などの教育機関は勉強などが中心で、家庭はしつけなどの役割を果たすべき」の回答の割合は、学年があがるにつれて高くなっています。

３．中学校卒業までに身に付けてほしい能力や考え方

将来、成人し社会の支え手となる、あなたのお子さん（あなたの園・学校の卒園児・卒業生）に、中学校を卒業する時までに、身に付けてほしい能力や考え方として、特に重要だと思うことは何ですか。

図９－３　中学校卒業までに身に付けてほしい能力や考え方



中学校卒業までに身に付けてほしい能力や考え方について、保護者と教員・保育士の回答結果をみると、保護者と教員・保育士ともに、「生活していく上での常識、礼儀作法」「他人を大切にし、思いやる心」「自分で考え、自分で学び、自分の判断で行動する自立心」の回答の割合がおおむね高くなっています。

「学力」については、保護者と小中学校教員の回答の割合は４割から６割程度となっていますが、幼稚園教員・保育園保育士の回答の割合は、１割未満となっています。

「きまりや約束を守る規範意識」については、教員・保育士の回答の割合が５割以上となっているのに対し、保護者の回答の割合は３割から４割程度となっています。

「あきらめず、ねばり強く挑戦することができる、たくましい心」については、保護者の回答の割合は５割を超えていますが、幼稚園教員・保育園保育士の回答の割合は５割程度、小学校教員の回答の割合は５割未満、中学校教員の回答の割合は４割未満となっています。

「命の尊さを理解する心」については、幼稚園教員・保育園保育士の回答の割合が６割を超え、保護者や小中学校教員の回答の割合に比べて高くなっています。

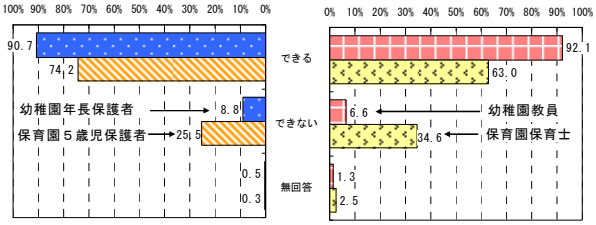
X．幼稚園年長・保育園５歳児保護者、幼稚園教員・保育園保育士共通項目

１．生活の様子について＜対比＞

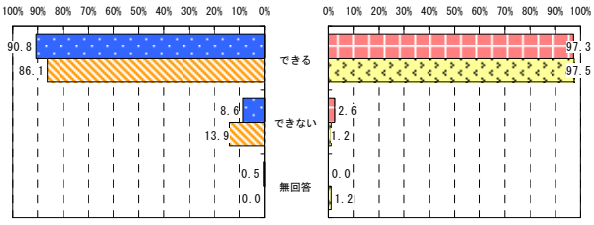
お子さんの生活の様子について教えてください。

図１０－１　生活の様子＜対比＞

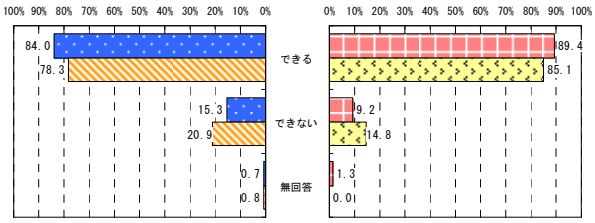
【規則正しい生活習慣】



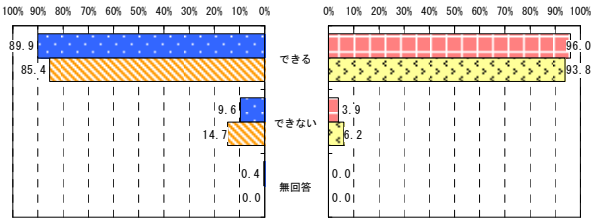
【手洗い、うがい】



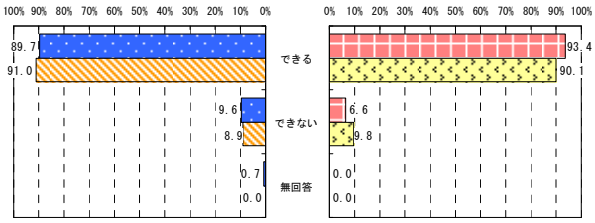
【安全に行動する】



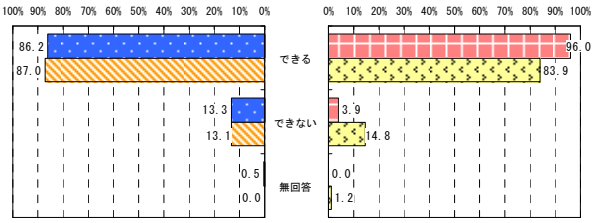
【自分で身支度】



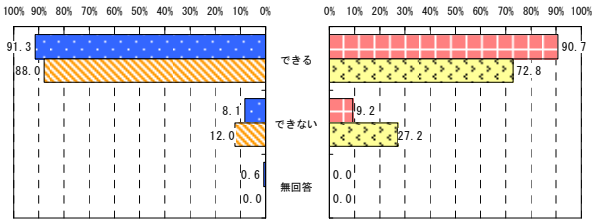
【コミュニケーション】



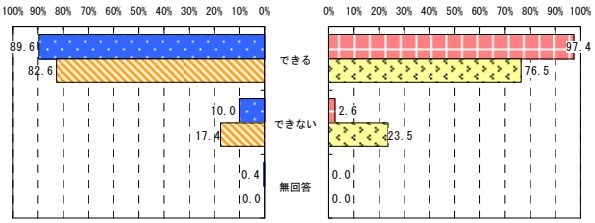
【あいさつや返事】



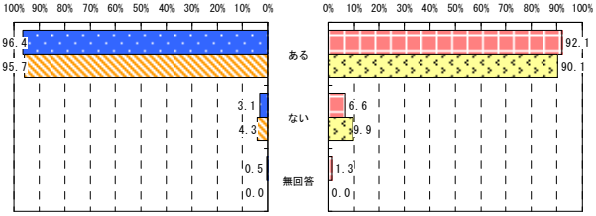
【我慢】



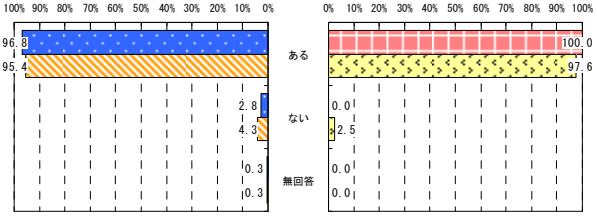
【きまりや約束を守る】



【学ぶ意欲や物事への関心】

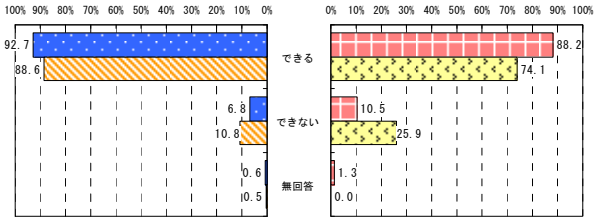


【文字や数への関心】



※「できる」（「よくできる」と「ほぼできる」の合計）　「できない」（「あまりできない」と「できない」の合計）
※「ある」（「ある」と「少しある」の合計）　「ない」（「あまりない」と「全くない」の合計）

【集中】



子どもたちの生活の様子について、幼稚園年長・保育園５歳児保護者と幼稚園教員・保育園保育士の回答結果をみると、保護者と教員・保育士とで回答に傾向の違いのある項目が多くあります。

「規則正しい生活習慣」では、幼稚園年長保護者と幼稚園教員の回答の傾向はほぼ同様となっていますが、保育園５歳児保護者と保育園保育士の回答を比べると、保護者より保育士の方が、肯定的な回答（「よくできる」と「ほぼできる」の合計）の割合が低く、否定的な回答（「あまりできない」と「できない」の合計）の割合が高くなっています。

「手洗い、うがい」、「安全に行動する」、「自分で身支度」では、保護者よりも、教員・保育士の方が肯定的な回答（「よくできる」と「ほぼできる」の合計）の割合が高く、否定的な回答（「あまりできない」と「できない」の合計）の割合が低くなっています。

「コミュニケーション」では、保護者と教員・保育士の回答の傾向は、ほぼ同様となっています。

「あいさつや返事」では、幼稚園年長保護者と幼稚園教員の回答を比べると、保護者より教員の方が、肯定的な回答（「よくできる」と「ほぼできる」の合計）の割合が高く、否定的な回答（「あまりできない」と「できない」の合計）の割合が低くなっており、保育園５歳児保護者と保育園保育士の回答の傾向は、ほぼ同様となっています。

「我慢」では、幼稚園年長保護者と幼稚園教員の回答の傾向はほぼ同様となっていますが、保育園５歳児保護者と保育園保育士の回答を比べると、保護者より保育士の方が、肯定的な回答（「よくできる」と「ほぼできる」の合計）の割合が低く、否定的な回答（「あまりできない」と「できない」の合計）の割合が高くなっています。

「きまりや約束を守る」では、幼稚園年長保護者と幼稚園教員の回答を比べると、保護者より教員の方が、肯定的な回答（「よくできる」と「ほぼできる」の合計）の割合が高く、否定的な回答（「あまりできない」と「できない」の合計）の割合が低くなっており、保育園５歳児保護者と保育園保育士の回答を比べると、保護者より保育士の方が、肯定的な回答（「よくできる」と「ほぼできる」の合計）の割合が低く、否定的な回答（「あまりできない」と「できない」の合計）の割合が高くなっています。

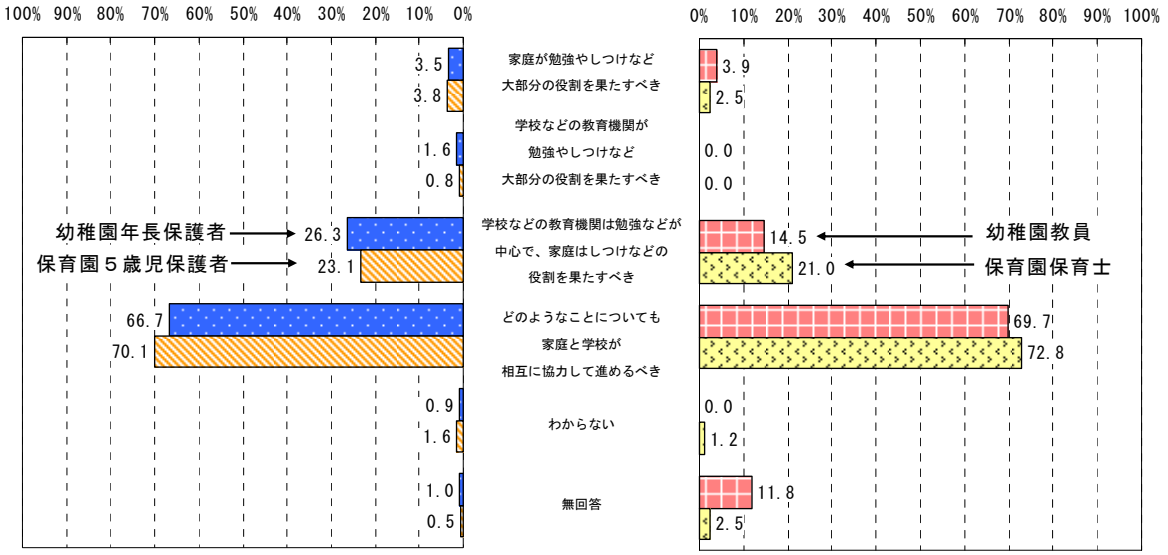
「学ぶ意欲や物事への関心」、「文字や数への関心」では、保護者と教員・保育士の回答の傾向はほぼ同様となっています。

「集中」では、幼稚園年長保護者と幼稚園教員の回答の傾向はほぼ同様となっていますが、保育園５歳児保護者と保育園保育士の回答を比べると、保護者より保育士の方が、肯定的な回答（「よくできる」と「ほぼできる」の合計）の割合が低く、否定的な回答（「あまりできない」と「できない」の合計）の割合が高くなっています。

２．家庭と学校などの教育機関の役割＜対比＞

子どもを育てるにあたっての、家庭と学校などの教育機関（幼稚園、保育園を含む）の役割について、もっとも近い考えはどれですか。

図１０－２　家庭と学校などの教育機関の役割＜対比＞



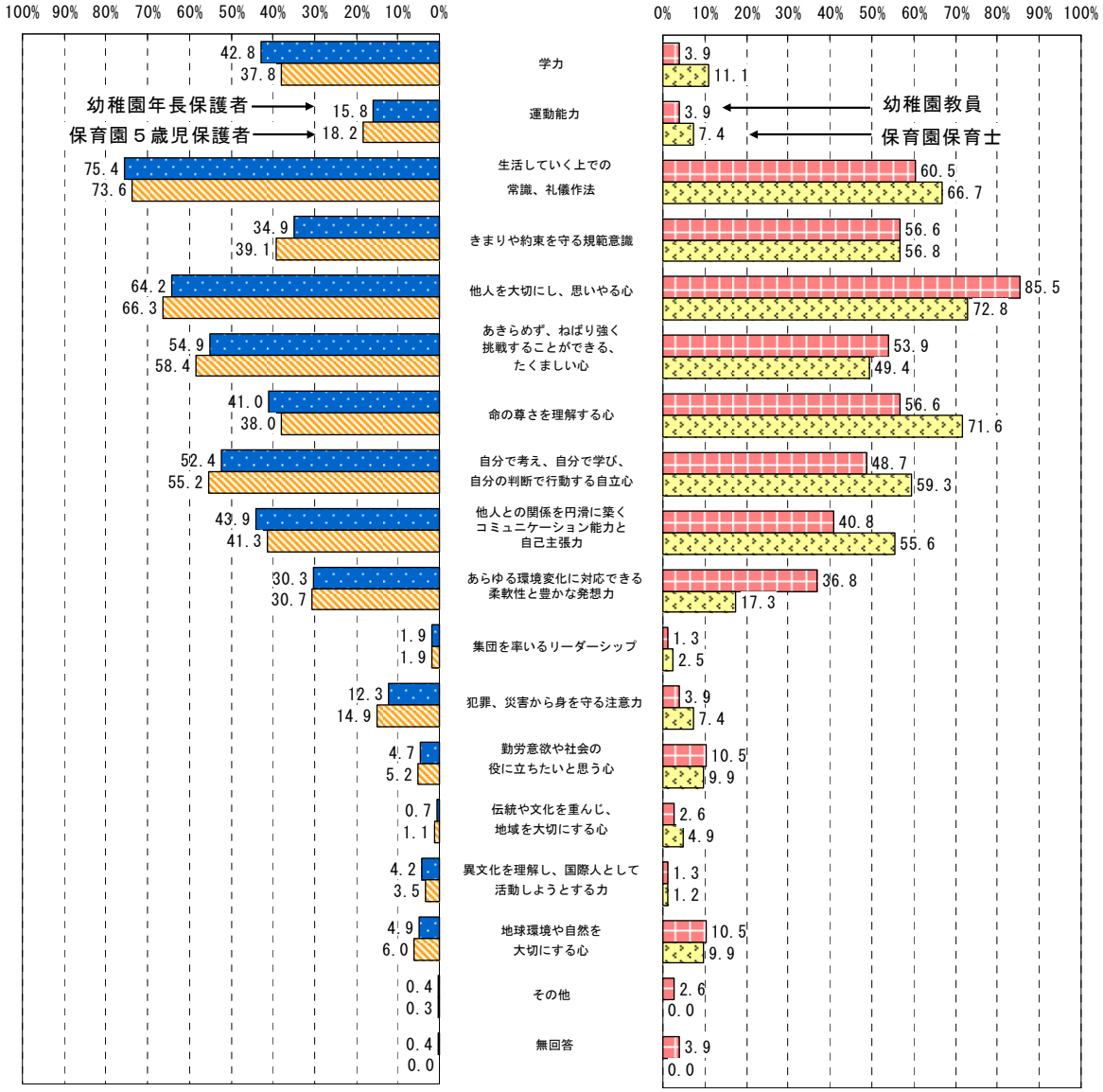
家庭と学校などの教育機関の役割について、幼稚園年長・保育園５歳児保護者と幼稚園教員・保育園保育士の回答結果をみると、保護者と教員・保育士ともに「どのようなことについても家庭と学校が相互に協力して進めるべき」の回答の割合が最も高く、回答の傾向もほぼ同様となっています。

「学校などの教育機関は勉強などが中心で、家庭はしつけなどの役割を果たすべき」では、幼稚園年長保護者と幼稚園教員の回答を比べると、保護者より教員の方が回答の割合が低くなっており、保育園５歳児保護者と保育園保育士の回答の傾向はほぼ同様となっています。

３．中学校卒業までに身に付けてほしい能力や考え方＜対比＞

将来、成人し社会の支え手となる、あなたのお子さん（あなたの園の卒園児）に、中学校を卒業する時までに、身に付けてほしい能力や考え方として、特に重要だと思うことは何ですか。

図１０－３　中学校卒業までに身に付けてほしい能力や考え方＜対比＞



中学校卒業までに身に付けてほしい能力や考え方について、幼稚園年長・保育園５歳児保護者と幼稚園教員・保育園保育士の回答結果をみると、保護者と教員・保育士とで傾向が同じ項目もありますが、保護者と教員・保育士とで回答に傾向の違いのある項目もあります。

「生活していく上での常識、礼儀作法」、「他人を大切にし、思いやる心」、「あきらめず、ねばり強く挑戦することができる、たくましい心」、「自分で考え、自分で学び、自分の判断で行動する自立心」では、保護者と教員・保育士がともに他の項目に比べ回答の割合が高くなっています。

「学力」、「運動能力」では、保護者よりも、教員・保育士の方が、回答の割合が低くなっています。

「きまりや約束を守る規範意識」、「命の尊さを理解する心」では、保護者よりも、教員・保育士の方が、回答の割合が高くなっています。

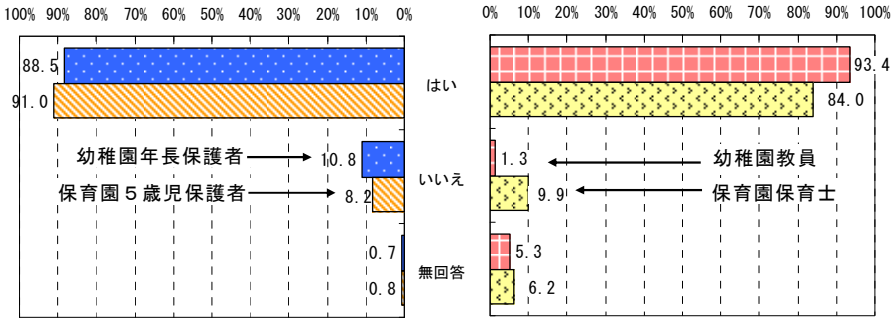
「他人との関係を円滑に築くコミュニケーション能力と自己主張力」では、幼稚園年長保護者と幼稚園教員の回答の傾向はほぼ同様となっていますが、保育園５歳児保護者と保育園保育士の回答を比べると、保護者より保育士の方が、回答の割合が高くなっています。

「あらゆる環境変化に対応できる柔軟性と豊かな発想力」では、幼稚園年長保護者と幼稚園教員の回答を比べると、保護者より教員の方が、回答の割合が高く、保育園５歳児保護者と保育園保育士の回答を比べると、保護者より保育士の方が、回答の割合が低くなっています。

４．就学前教育の希望と就学に向けた幼児教育の実施について＜対比＞

幼稚園保護者・保育園保護者…幼稚園や保育園で、小学校入学に向けた教育活動を行ってほしいですか。
幼稚園教員・保育園保育士…あなたの園では、他の幼稚園・保育園・小学校・中学校との交流、連携以外に、小学校教育への接続を意識して行う幼児教育を行っていますか。

図１０－４　就学前教育の希望と就学に向けた幼児教育の実施＜対比＞

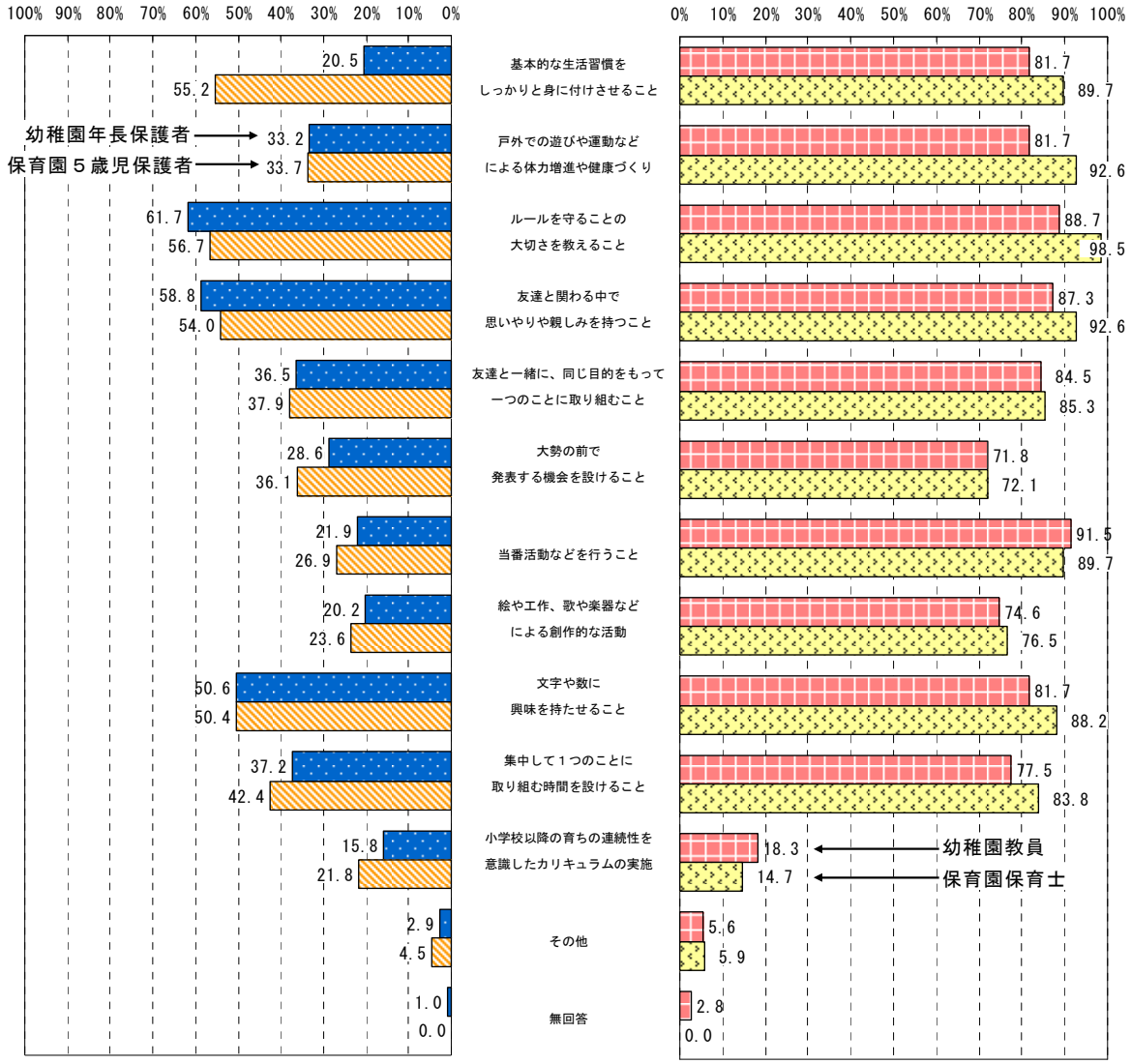


就学前教育の希望と就学に向けた幼児教育の実施について、幼稚園年長・保育園５歳児保護者と幼稚園教員・保育園保育士の回答結果をみると、就学前教育を希望する保護者と幼児教育を実施しているとする教員・保育士の割合はともに８割を超えています。就学前教育を希望する幼稚園年長保護者の割合は88.5%､幼児教育を実施しているとする幼稚園教員の割合は93.4%となっており、教員の回答の割合の方が高くなっています。就学前教育を希望する保育園５歳児保護者の割合は91.0%、幼児教育を実施しているとする保育園保育士の割合は84.0%となっており、保護者の回答の割合の方が高くなっています。

５．幼稚園や保育園で取り組んでもらいたいことと取り組んでいること＜対比＞

幼稚園保護者・保育園保護者…小学校入学に向けて、幼稚園や保育園で、どのようなことに取り組んでほしいですか。
幼稚園教員・保育園保育士…小学校教育への接続を意識して行う幼児教育として、どのようなことを行っていますか。

図１０－５　幼稚園や保育園で取り組んでもらいたいことと取り組んでいること＜対比＞



小学校入学に向けて保護者が幼稚園・保育園で取り組んでほしいことと幼稚園・保育園が取り組んでいることについて、幼稚園年長・保育園５歳児保護者と幼稚園教員・保育園保育士の回答結果をみると、保護者と教員・保育士とで回答に傾向の違いのある項目が多くあります。

幼稚園教員・保育園保育士の回答結果では、「小学校以降の育ちの連続性を意識したカリキュラムの実施」を除き、全ての項目で７割以上の教員・保育士が、取り組んでいる、と回答しています。

一方、幼稚園年長保護者・保育園５歳児保護者の回答結果では、「ルールを守ることの大切さを教えること」、「友達と関わる中で思いやりや親しみを持つこと」、「文字や数に興味を持たせること」については、５割以上の保護者が、取り組んでほしい、と回答していますが、それ以外の項目については、回答の割合は５割未満となっています。

なお、「基本的な生活習慣をしっかりと身に付けさせること」では、保育園５歳児保護者の回答の割合（55.2%）が幼稚園年長保護者の回答の割合（20.5%）より 34.7 ポイント高くなっています。

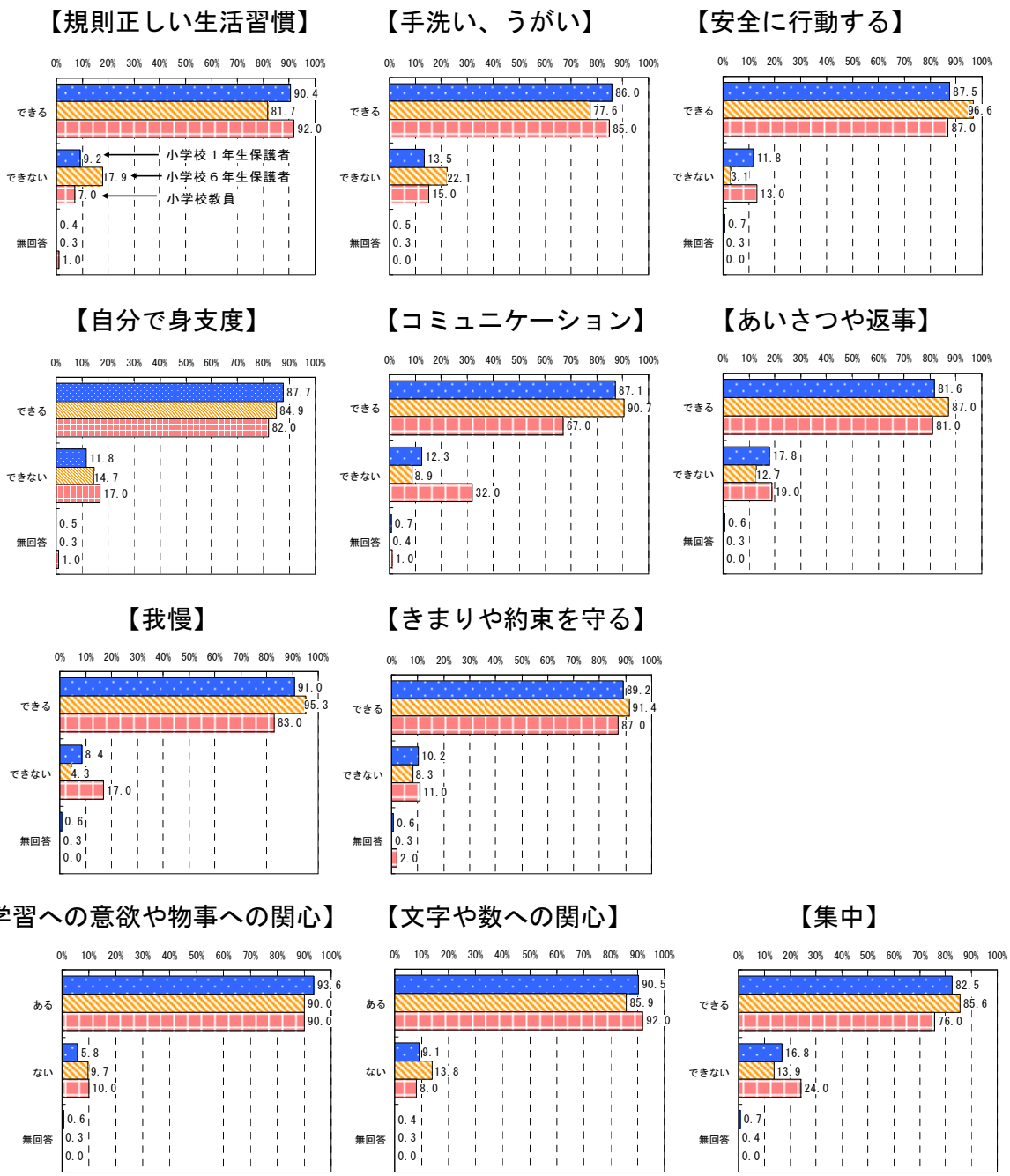
「小学校以降の育ちの連続性を意識したカリキュラムの実施」では、幼稚園年長保護者と幼稚園教員の回答を比べると、保護者より教員の方が、回答の割合が高くなっており、保育園５歳児保護者と保育園保育士の回答を比べると、保育士より保護者の方が回答の割合が高くなっています。

Ⅺ．小学校１年生保護者、小学校６年生保護者、小学校教員共通項目

１．生活の様子について＜対比＞

お子さん、児童の生活の様子について教えてください。

図１１－１　生活の様子＜対比＞



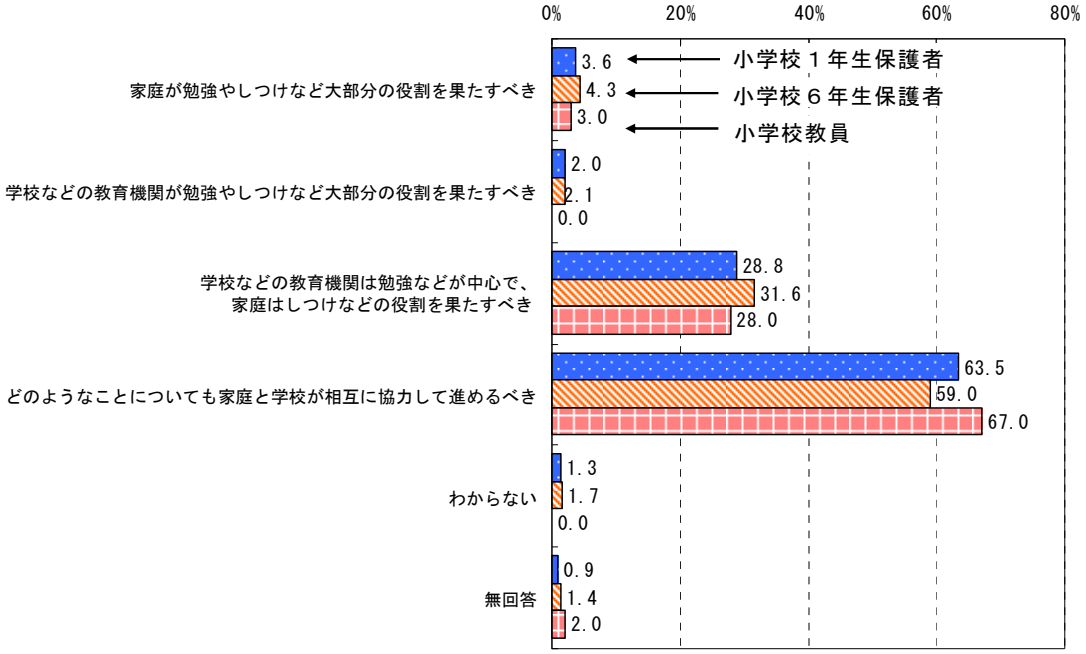
※「できる」（「よくできる」と「ほぼできる」の合計）　「できない」（「あまりできない」と「できない」の合計）
※「ある」（「ある」と「少しある」の合計）　「ない」（「あまりない」と「全くない」の合計）

子どもたちの生活の様子について、小学校１年生・６年生保護者と小学校教員の回答結果をみると、保護者と教員とで回答の傾向が異なる項目があり、「コミュニケーション」、「我慢」、「集中」では、保護者より教員の方が、肯定的な回答（「よくできる」と「ほぼできる」の合計）の割合が低くなっています。

２．家庭と学校などの教育機関の役割＜対比＞

子どもを育てるにあたっての、家庭と学校などの教育機関（幼稚園、保育園を含む）の役割について、もっとも近い考えはどれですか。

図１１－２　家庭と学校などの教育機関の役割＜対比＞

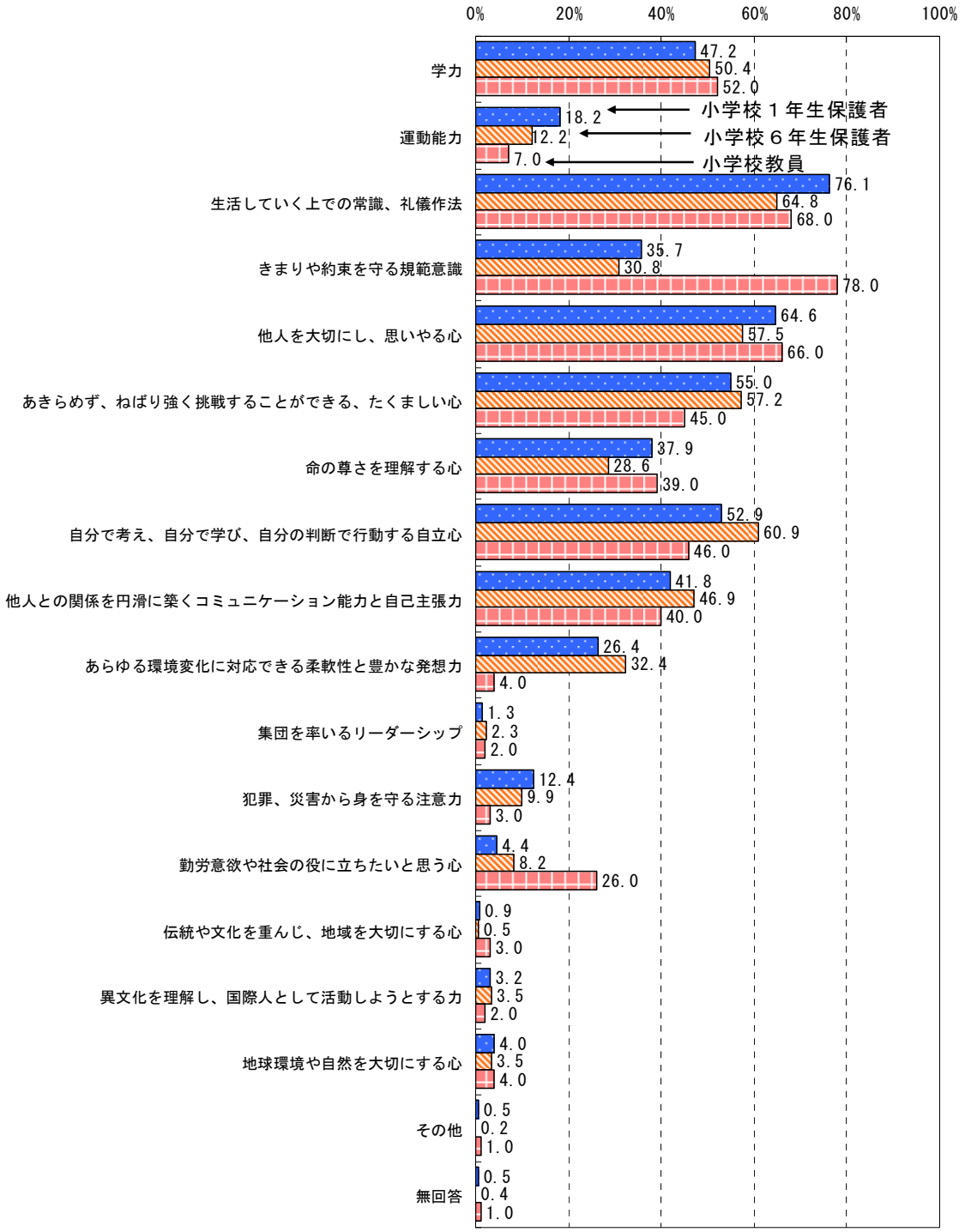


家庭と学校などの教育機関の役割について、小学校１年生・６年生保護者と小学校教員の回答結果をみると、保護者と教員の回答の傾向は同様となっており、「どのようなことについても家庭と学校が相互に協力して進めるべき」の回答の割合が最も高く、次いで、「学校などの教育機関は勉強などが中心で、家庭はしつけなどの役割を果たすべき」の順となっています。

３．中学校卒業までに身に付けてほしい能力や考え方＜対比＞

将来、成人し社会の支え手となる、あなたのお子さん（あなたの学校の卒業生）に、中学校を卒業する時までに、身に付けてほしい能力や考え方として、特に重要だと思うことは何ですか。

図１１－３　中学校卒業までに身に付けてほしい能力や考え方＜対比＞



中学校卒業までに身に付けてほしい能力や考え方について、小学校１年生・６年生保護者と小学校教員の回答結果をみると、保護者と教員とで傾向が同じ項目もありますが、保護者と教員とで回答に傾向の違いのある項目もあります。

「生活していく上での常識、礼儀作法」、「他人を大切にし、思いやる心」では、保護者と教員ともに他の項目に比べ回答の割合が高くなっています。

「学力」、「他人との関係を円滑に築くコミュニケーション能力と自己主張力」では、保護者と教員の回答の傾向は、ほぼ同様となっています。

「きまりや約束を守る規範意識」、「勤労意欲や社会の役に立ちたいと思う心」では、保護者よりも教員の方が、回答の割合が高くなっています。

「あきらめず、ねばり強く挑戦することができる、たくましい心」、「自分で考え、自分で学び、自分の判断で行動する自立心」、「あらゆる環境変化に対応できる柔軟性と豊かな発想力」では、保護者よりも教員の方が、回答の割合が低くなっています。

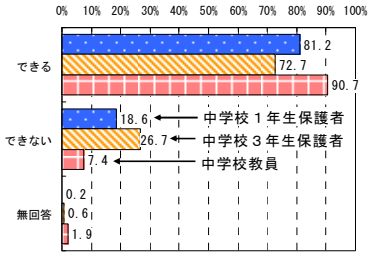
Ⅻ．中学校１年生保護者、中学校３年生保護者、中学校教員共通項目

１．生活の様子について＜対比＞

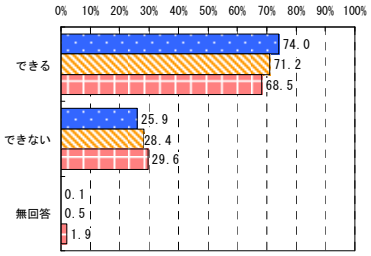
お子さん、生徒の生活の様子について教えてください。

図１２－１　生活の様子＜対比＞

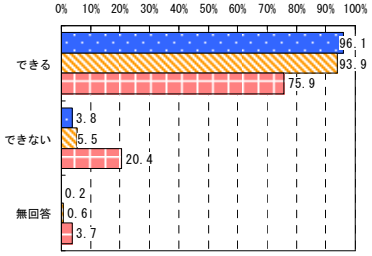
【規則正しい生活習慣】



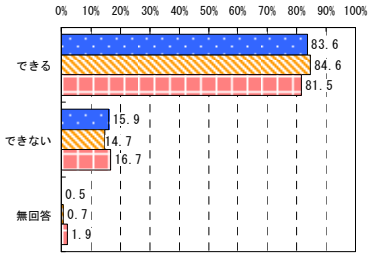
【手洗い、うがい】



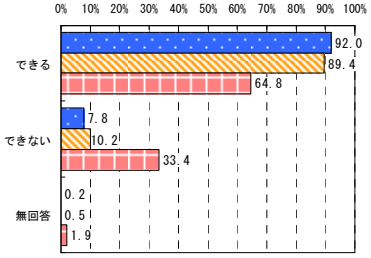
【安全に行動する】



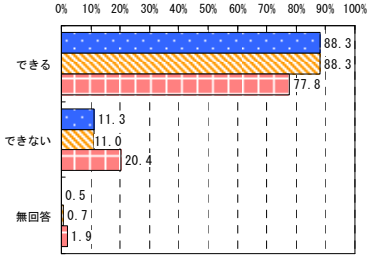
【自分で身支度】



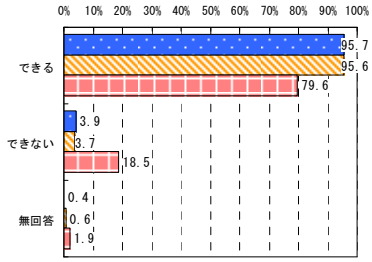
【コミュニケーション】



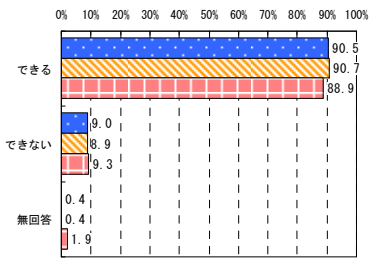
【あいさつや返事】



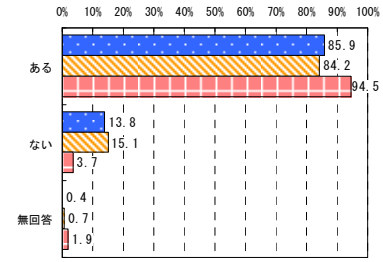
【我慢】



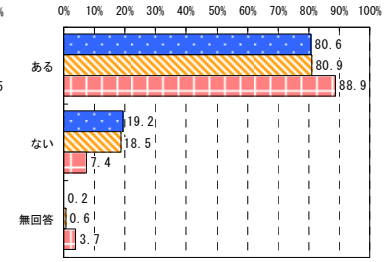
【きまりや約束を守る】



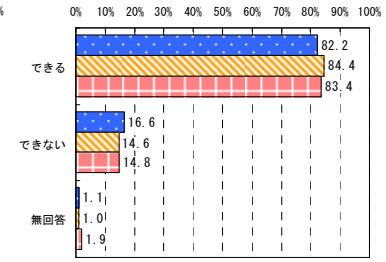
【学習への意欲や物事への関心】



【文字や数への関心】



【集中】



※「できる」（「よくできる」と「ほぼできる」の合計）　「できない」（「あまりできない」と「できない」の合計）
※「ある」（「ある」と「少しある」の合計）　「ない」（「あまりない」と「全くない」の合計）

子どもたちの生活の様子について、中学校１年生・３年生保護者と中学校教員の回答結果をみると、保護者と教員とで回答の傾向が異なる項目があります。

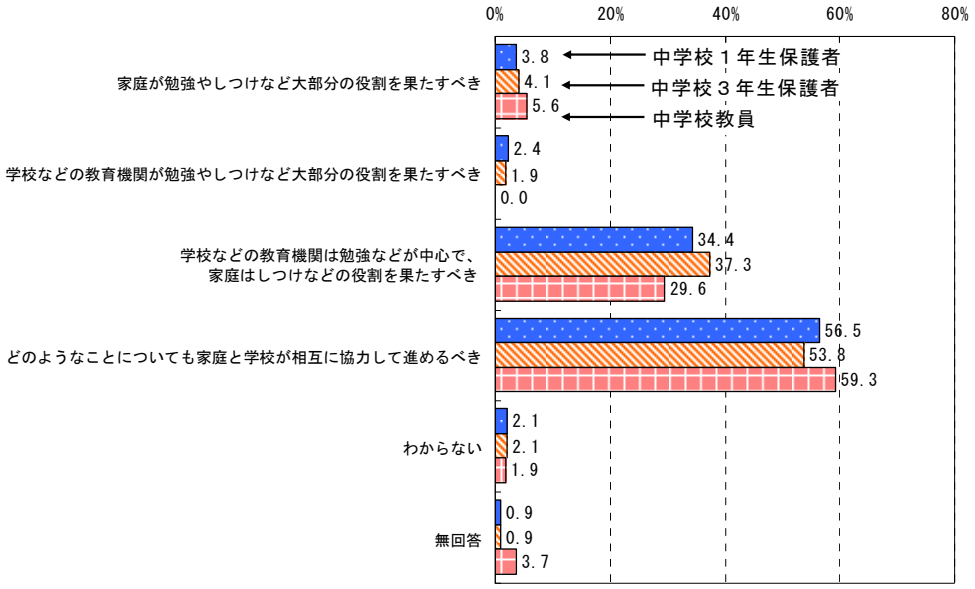
「規則正しい生活習慣」、「学習への意欲や物事への関心」、「文字や数への関心」では、保護者より教員の方が、肯定的な回答（「よくできる」と「ほぼできる」の合計）の割合が低くなっています。

「安全に行動する」、「コミュニケーション」、「あいさつや返事」、「我慢」では、保護者より教員の方が、肯定的な回答（「よくできる」と「ほぼできる」の合計）の割合が高くなっています。

２．家庭と学校などの教育機関の役割＜対比＞

子どもを育てるにあたっての、家庭と学校などの教育機関（幼稚園、保育園を含む）の役割について、もっとも近い考えはどれですか。

図１２－２　家庭と学校などの教育機関の役割＜対比＞

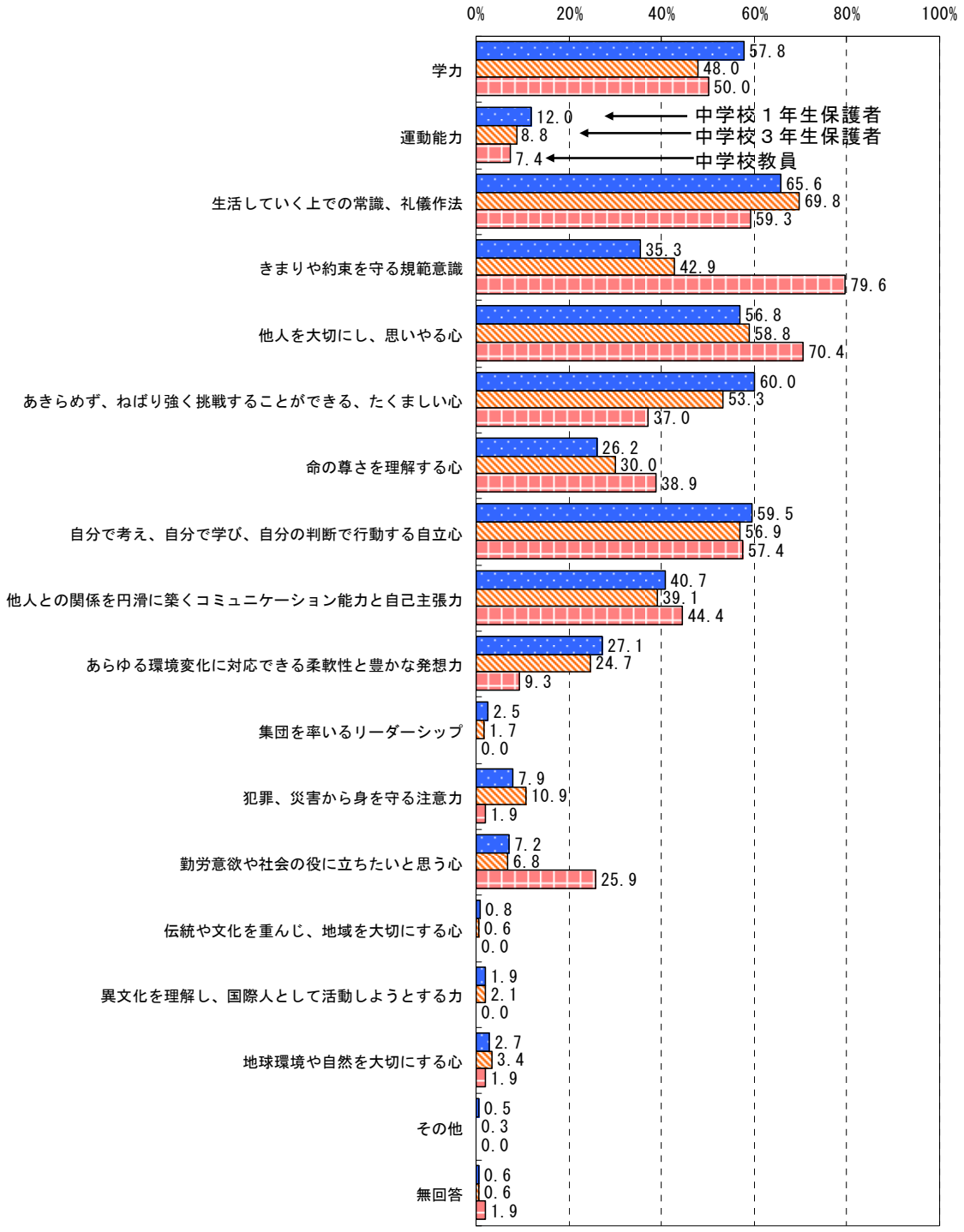


家庭と学校などの教育機関の役割について、中学校１年生・３年生保護者と中学校教員の回答結果をみると、保護者と教員の回答の傾向は同様となっており、「どのようなことについても家庭と学校が相互に協力して進めるべき」の回答の割合が最も高く、次いで、「学校などの教育機関は勉強などが中心で、家庭はしつけなどの役割を果たすべき」の順となっています。

３．中学校卒業までに身に付けてほしい能力や考え方＜対比＞

将来、成人し社会の支え手となる、あなたのお子さん（あなたの学校の卒業生）に、中学校を卒業する時までに、身に付けてほしい能力や考え方として、特に重要だと思うことは何ですか。

図１２－３　中学校卒業までに身に付けてほしい能力や考え方＜対比＞



中学校卒業までに身に付けてほしい能力や考え方について、中学校１年生・３年生保護者と中学校教員の回答結果をみると、保護者と教員とで傾向が同じ項目もありますが、保護者と教員とで回答に傾向の違いのある項目もあります。

「生活していく上での常識、礼儀作法」、「他人を大切にし、思いやる心」、「自分で考え、自分で学び、自分の判断で行動する自立心」では、保護者と教員ともに他の項目に比べ回答の割合が高くなっています。

「学力」、「他人との関係を円滑に築くコミュニケーション能力と自己主張力」では、保護者と教員の回答の傾向は、ほぼ同様となっています。

「きまりや約束を守る規範意識」、「命の尊さを理解する心」、「勤労意欲や社会の役に立ちたいと思う心」では、保護者よりも教員の方が、回答の割合が高くなっています。

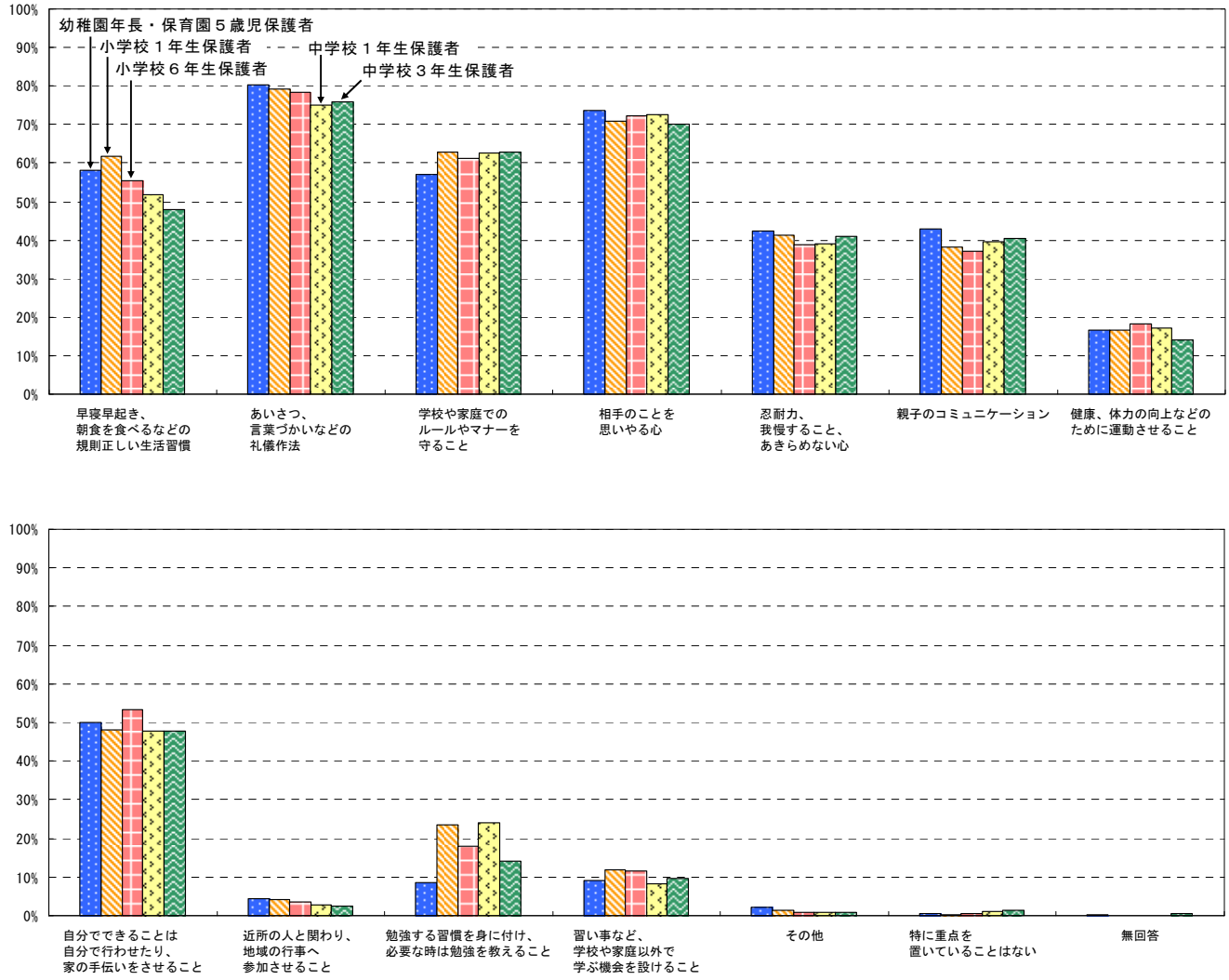
「あきらめず、ねばり強く挑戦することができる、たくましい心」、「あらゆる環境変化に対応できる柔軟性と豊かな発想力」では、保護者よりも教員の方が、回答の割合が低くなっています。

Ⅻ．保護者共通項目

１．家庭でのしつけや教育で重視していること

家庭でのしつけや教育で、特に重視していることは何ですか。

図１３－１　家庭でのしつけや教育で重視していること

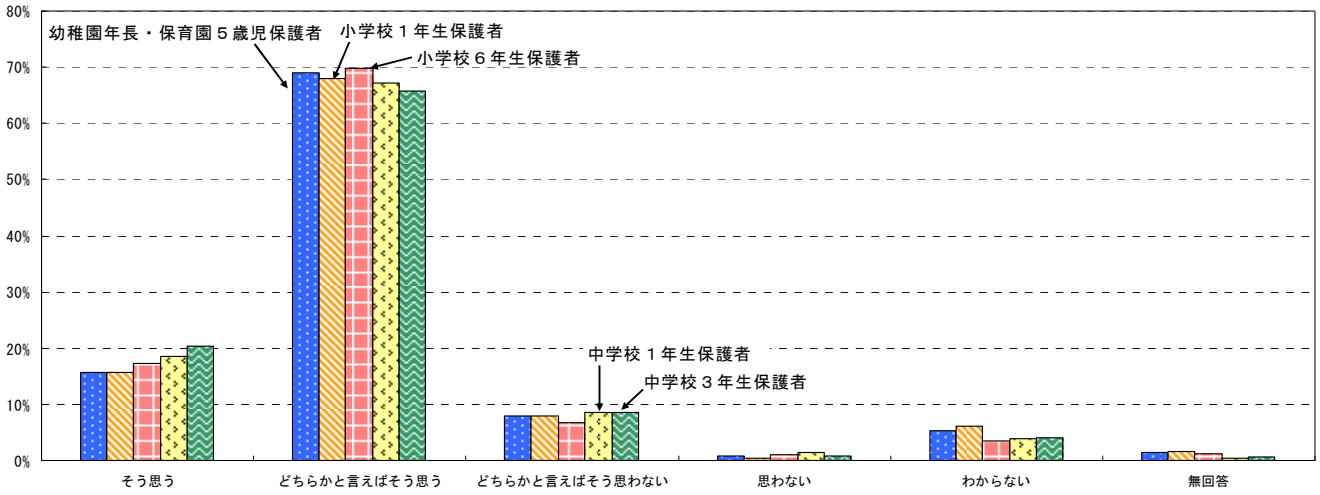


家庭でのしつけや教育で重視していることについて、保護者の回答結果をみると、どの学年でも他の項目に比べ「早寝早起き、朝食を食べるなどの規則正しい生活習慣」、「あいさつ、言葉づかいなどの礼儀作法」、「学校や家庭でのルールやマナーを守ること」、「相手のことを思いやる心」、「自分でできることは自分で行わせたり、家の手伝いをさせること」の回答の割合がおおむね高くなっています。また、「早寝早起き、朝食を食べるなどの規則正しい生活習慣」では、学年があがるにつれて回答の割合が低くなっています。

２．子どもに対してのしつけや教育の実践

保護者の方が、お子さんに対して、ご家庭で特に重視しているしつけや教育を実際にできていると思いますか。

図１３－２　子どもに対するしつけや教育の実践

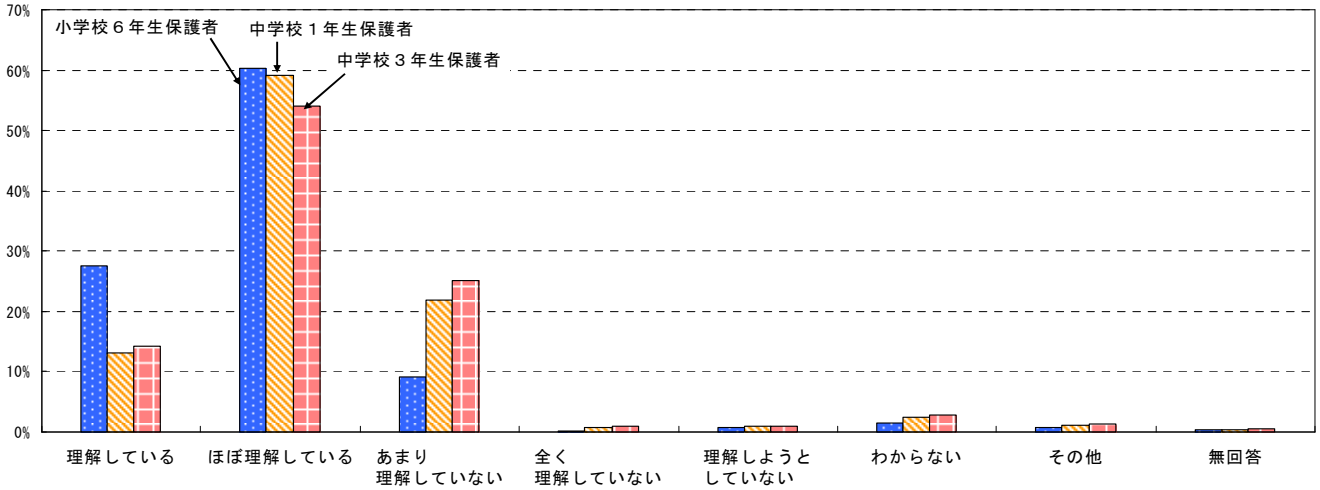


子どもに対するしつけや教育の実践について、保護者の回答結果をみると、どの学年でも「どちらかと言えばそう思う」の回答の割合が最も高くなっています。「そう思う」では、学年が上がるにつれて、やや回答の割合が高くなっています。

３．学校の授業の理解度

お子さんは、学校での授業を理解している様子ですか。

図１３－３　学校の授業の理解度

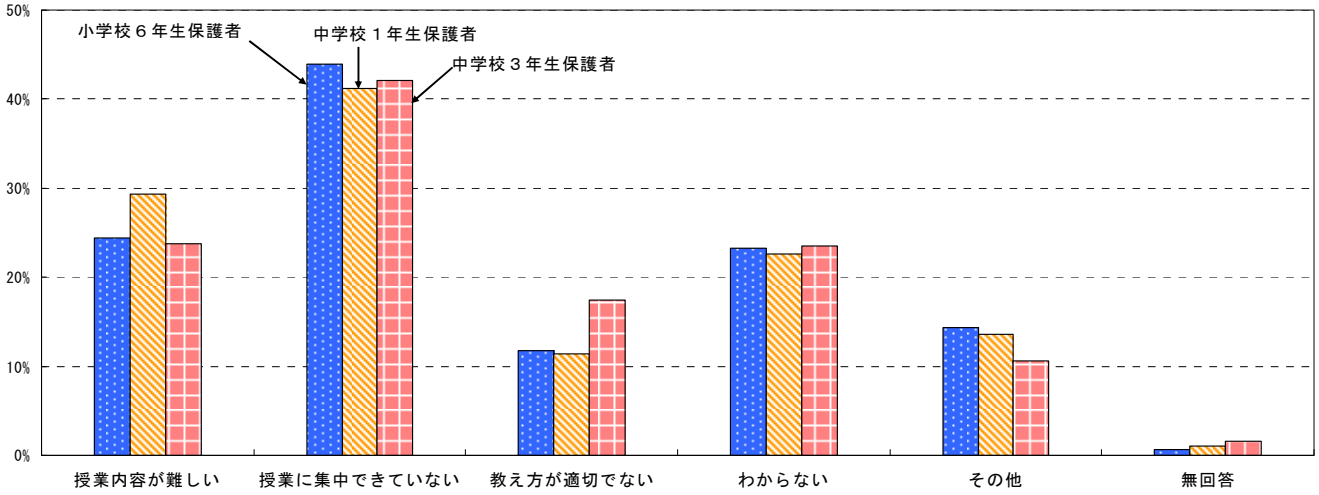


学校の授業の理解度について、保護者の回答結果をみると、「理解している」、「ほぼ理解している」の回答の割合は、学年が上がるにつれておおむね低くなっています。一方、「あまり理解していない」の回答の割合は、学年が上がるにつれて高くなっています。

４．学校の授業を理解していない理由

学校の授業を理解していない理由や原因は何だと思われますか。

図１３－４　学校の授業を理解していない理由

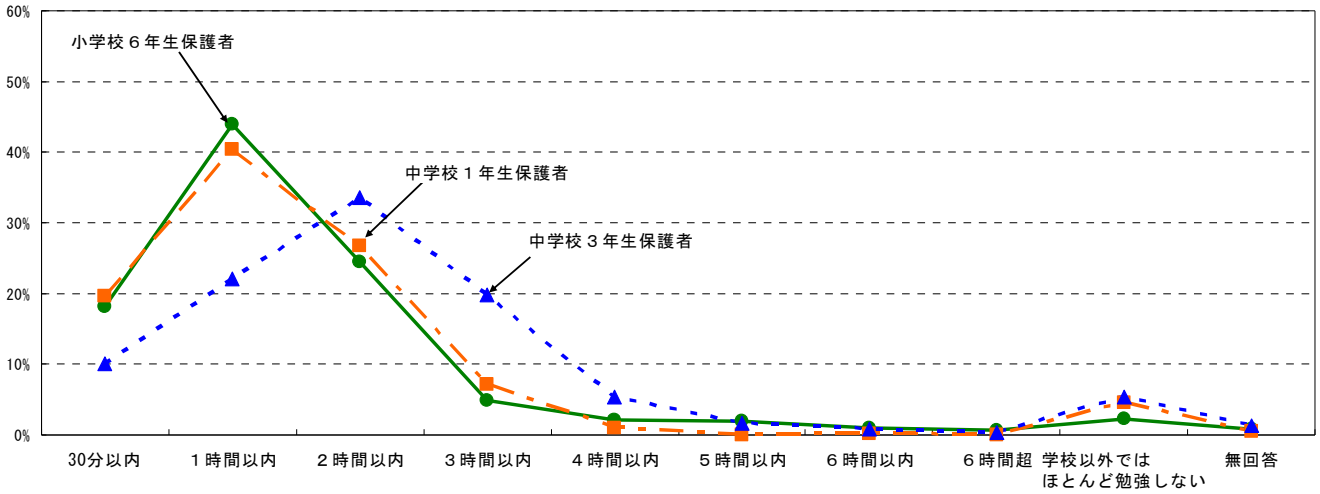


学校の授業を理解していない理由について、保護者の回答結果をみると、どの学年でも「授業に集中できていない」の回答の割合が最も高く、次いで「授業内容が難しい」、「わからない」の順となっています。

５．１日の平均学習時間

学校以外での、１日の平均学習時間（塾などでの学習の時間を含む）はどのくらいですか。

図１３－５　１日の平均学習時間



１日の平均学習時間について、保護者の回答結果をみると、学年が上がるにつれて学校以外での塾などを含む１日の平均学習時間は増えています。

各学年において最も回答の割合が高い平均学習時間は、小学校６年生保護者では「１時間以内」の 43.9%、中学校１年生保護者では「１時間以内」の 40.3%、「中学校３年生保護者」では「２時間以内」の 33.5%となっています。

一方、「学校以外ではほとんど勉強しない」の回答の割合は学年が上がるにつれてやや増えており、中学校３年生保護者では 5.4%となっています。

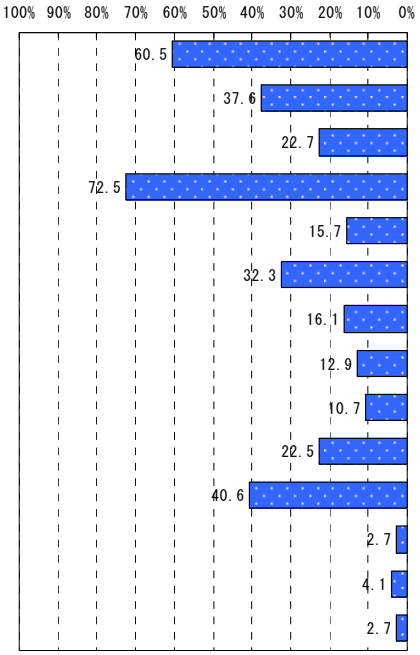
また、中学校１年生保護者及び中学校３年生保護者の平均学習時間が実質上 30 分以内（「学校以外ではほとんど勉強しない」と「30 分以内」の合計）の回答の割合は、それぞれ 24.3%、15.4%であり、特に受験を控える生徒が多い中学校３年生保護者では、十分な学習時間が確保されているとは言い難い状況にあると考えられます。

６．入学後の生活で楽しみにしていること、楽しんでいること

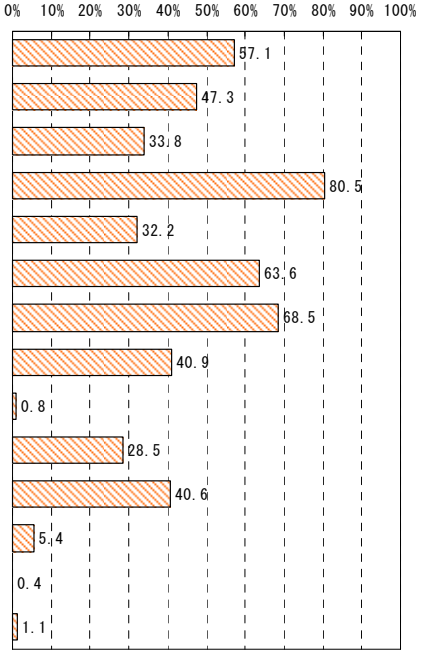
お子さんの入学後の生活について、楽しみにしていること（楽しんでいること）や期待していることは何ですか。

図１３－６　入学後の生活で楽しみにしていること、楽しんでいること

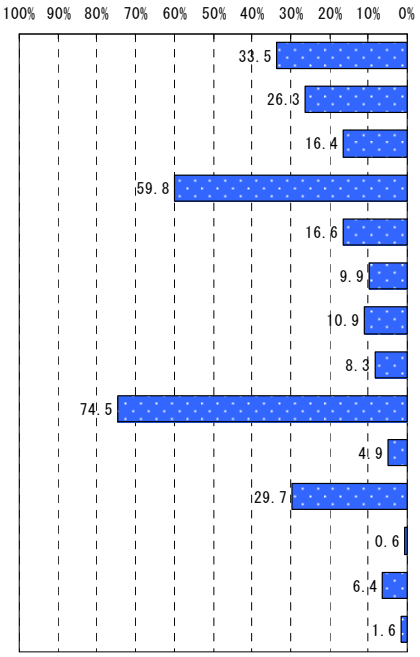
≪幼稚園・保育園保護者≫



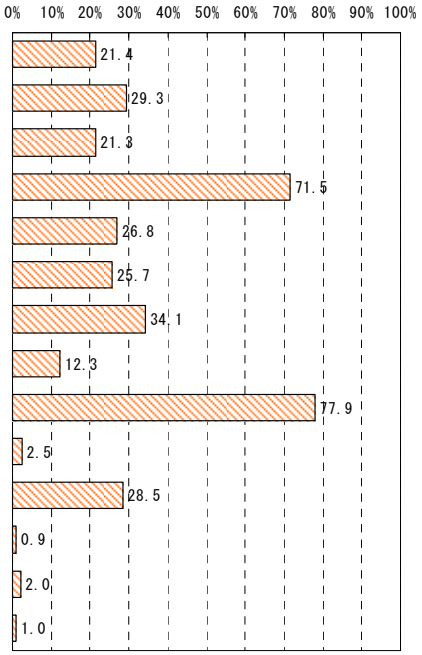
≪小学校１年生保護者≫



≪小学校６年生保護者≫



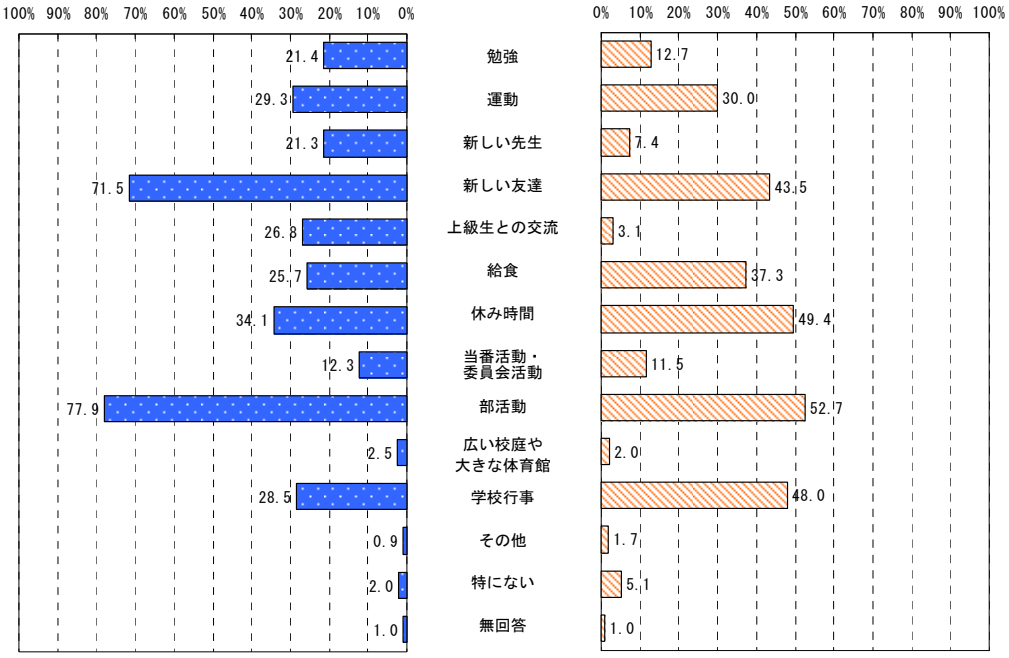
≪中学校１年生保護者≫



小学校入学後の生活で楽しみにしていること（楽しんでいること）について、保護者の回答結果をみると、幼稚園・保育園保護者、小学校１年生保護者ともに「新しい友達」の割合が最も高くなっており、幼稚園・保育園保護者より小学校１年生保護者の方が、回答の割合が高くなっています。「勉強」、「学校行事」では、幼稚園・保育園保護者、小学校１年生保護者ともに回答の割合はそれぞれ約６割、約４割となっています。「運動」、「新しい先生」、「上級生との交流」、「給食」、「休み時間」、「当番活動」、「広い校庭や大きな体育館」では、幼稚園・保育園保護者より小学校１年生保護者の方が回答の割合が高くなっています。

中学校入学後の生活で楽しみにしていること（楽しんでいること）について、保護者の回答結果をみると、小学校６年生保護者、中学校１年生保護者ともに「部活動」の割合が最も高くなっており、次いで「新しい友達」の順となっています。「運動」、「新しい先生」、「新しい友達」、「上級生との交流」、「給食」、「休み時間」、「当番活動・委員会活動」、「部活動」では、小学校６年生保護者より中学校１年生保護者の方が回答の割合が高くなっています。

≪中学校１年生保護者≫　　≪中学校３年生保護者≫



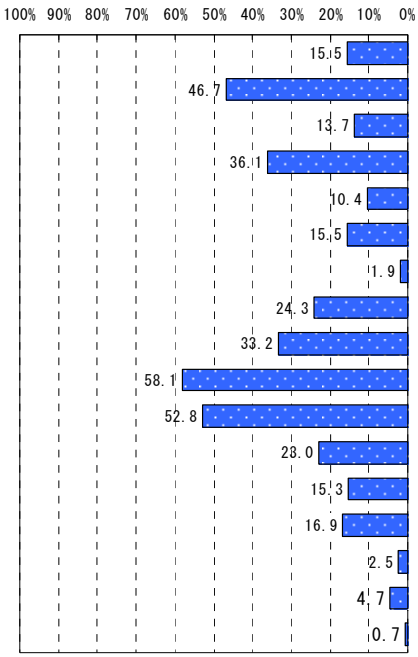
中学校生活で楽しんでいることについて、保護者の回答結果をみると、中学校１年生保護者、中学校３年生保護者ともに「部活動」の割合が最も高くなっており、中学校１年生保護者より中学校３年生保護者の方が、回答の割合が低くなっています。「運動」、「給食」、「休み時間」、「学校行事」では、中学校１年生保護者より中学校３年生保護者の方が回答の割合が高くなっています。

７．入学後の不安や心配

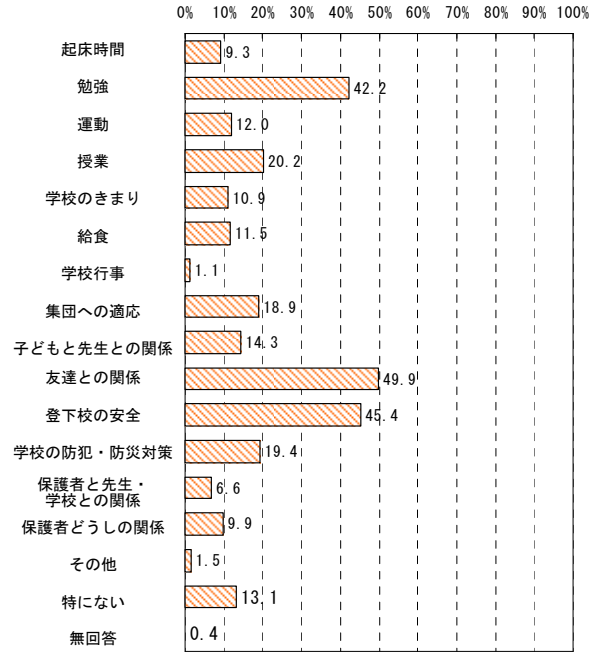
お子さんの入学後の生活において、不安なことや心配なこと（不安に感じていること）は何ですか。

図１３－７　入学後の不安や心配

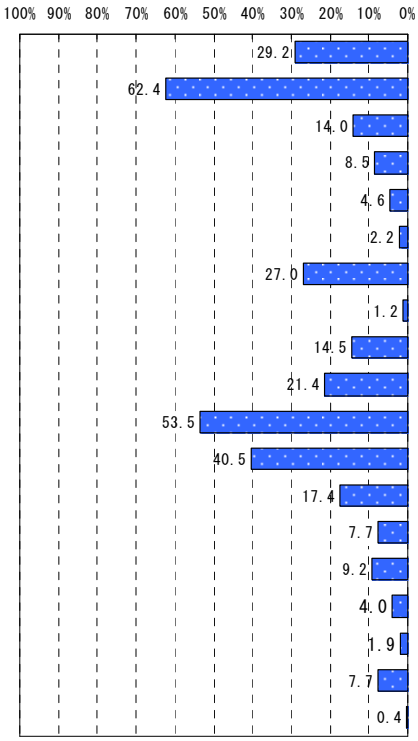
≪幼稚園・保育園保護者≫



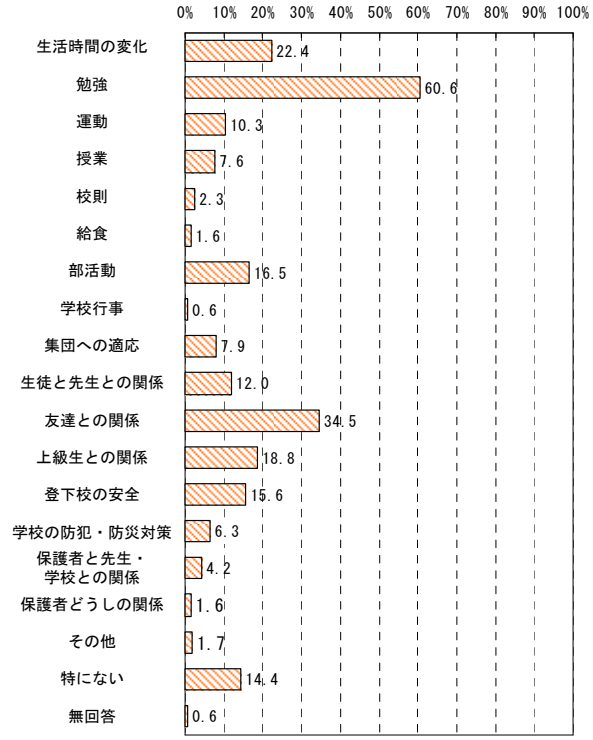
≪小学校１年生保護者≫



≪小学校６年生保護者≫



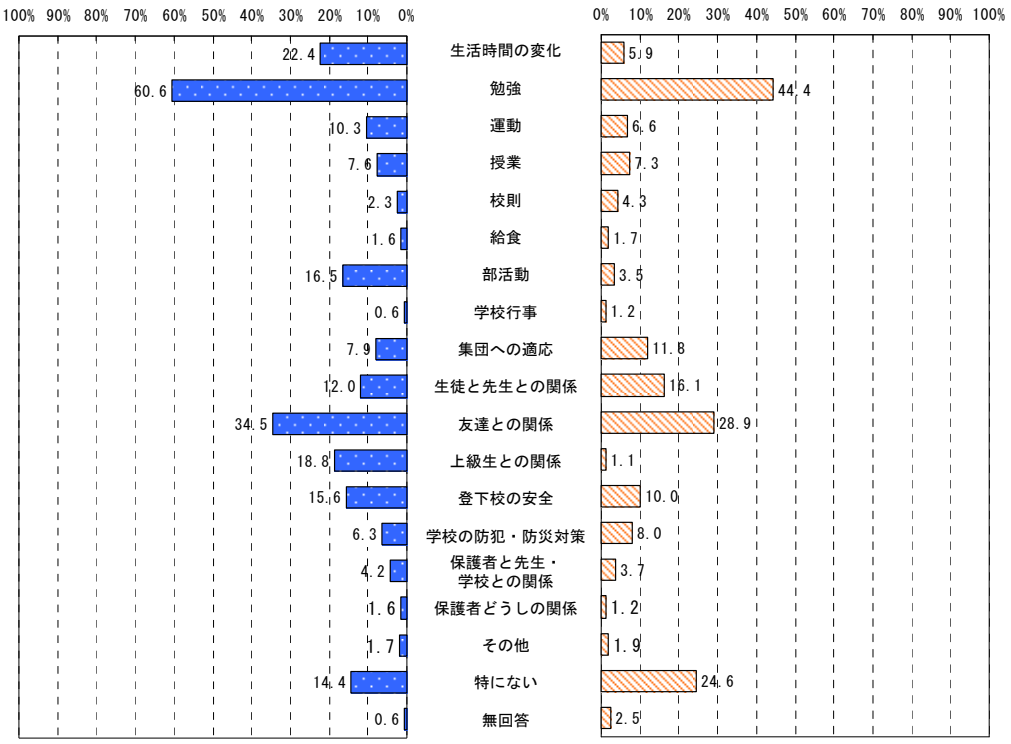
≪中学校１年生保護者≫



小学校入学後の不安や心配（不安に感じていること）について、保護者の回答結果をみると、幼稚園・保育園保護者、小学校１年生保護者ともに「友達との関係」の割合が最も高くなっており、次いで「登下校の安全」、「勉強」、「授業」の順となっていますが、いずれの項目も幼稚園・保育園保護者より小学校１年生保護者の方が、回答の割合が低くなっています。「起床時間」、「運動」、「給食」、「学校行事」、「集団への適応」、「子どもと先生との関係」、「学校の防犯・防災対策」、「保護者と先生・学校との関係」、「保護者どうしの関係」では、幼稚園・保育園保護者より小学校１年生保護者の方が回答の割合が低くなっています。

中学校入学後の不安や心配（不安に感じていること）について、保護者の回答結果をみると、小学校６年生保護者、中学校１年生保護者ともに「勉強」の割合が最も高くなっており、次いで「友達との関係」の順となっていますが、いずれの項目も小学校６年生保護者より中学校１年生保護者の方が、回答の割合が低くなっています。「生活時間の変化」、「運動」、「授業」、「校則」、「給食」、「部活動」、「学校行事」、「集団への適応」、「生徒と先生との関係」、「上級生との関係」、「登下校の安全」、「学校の防犯・防災対策」、「保護者と先生・学校との関係」、「保護者どうしの関係」では、小学校６年生保護者より中学校１年生保護者の方が回答の割合が低くなっています。

≪中学校１年生保護者≫　　≪中学校３年生保護者≫

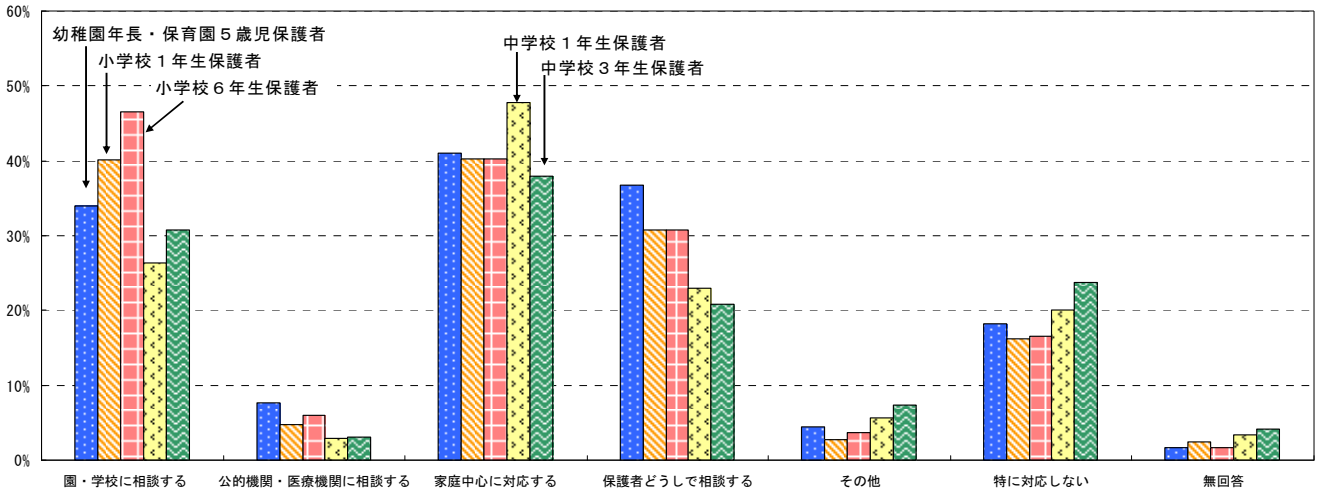


中学校生活で不安に感じていることについて、保護者の回答結果をみると、中学校１年生保護者、中学校３年生保護者ともに「勉強」の割合が最も高くなっており、次いで「友達との関係」の順となっていますが、いずれの項目も中学校１年生保護者より中学校３年生保護者の方が、回答の割合が低くなっています。「生活時間の変化」、「運動」、「授業」、「部活動」、「上級生との関係」、「登下校の安全」、「保護者と先生・学校との関係」、「保護者どうしの関係」では、中学校１年生保護者より中学校３年生保護者の方が回答の割合が低くなっています。また、「特にない」では、中学校１年生保護者より中学校３年生保護者の方が回答の割合が高くなっています。

８．不安や心配に対する対応

不安なことや心配なことに対しては、何か対応をされますか（実施済みを含む）。

図１３－８　不安や心配に対する対応

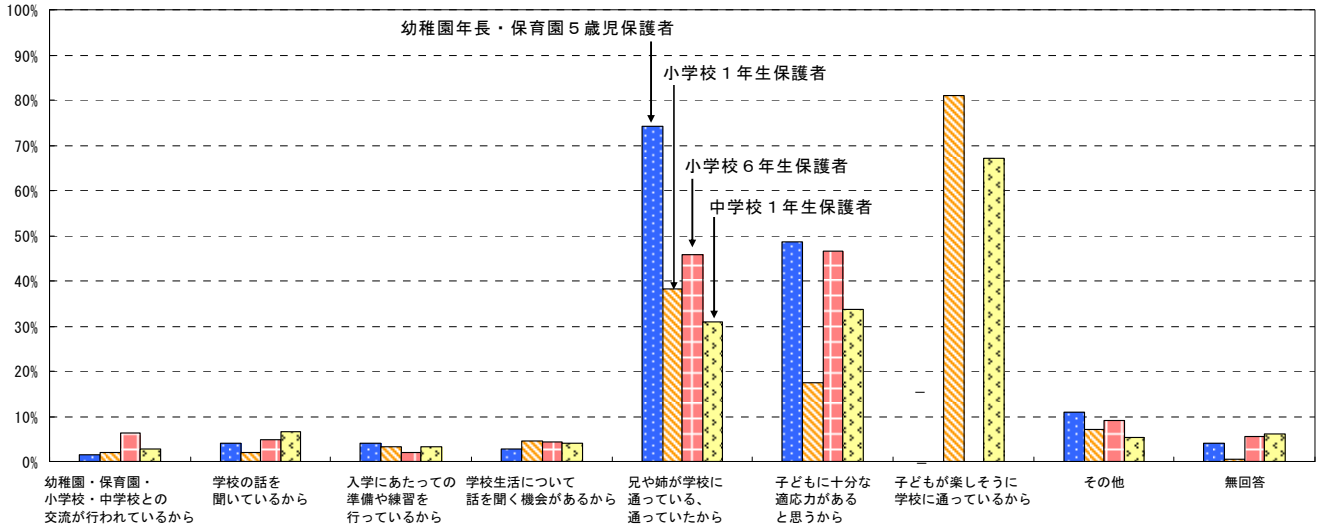


不安や心配に対する対応について、保護者の回答結果をみると、「園・学校に相談する」では、幼稚園年長・保育園５歳児から小学校１年生、小学校６年生にかけて、割合が高くなっており、中学校１年生・中学校３年生保護者の回答の割合は、幼稚園・保育園・小学校保護者に比べ低くなっています。「公的機関・医療機関に相談する」では、学年があがるにつれて回答の割合がおおむね低くなっています。「家庭中心に対応する」では、特に中学校１年生保護者の回答の割合が高くなっています。「保護者どうしで相談する」では、学年があがるにつれて回答の割合がおおむね低くなっています。「特に対応しない」では、学年があがるにつれて回答の割合がおおむね高くなっています。

９．不安や心配がない理由

不安なことや心配なことがない理由は何ですか。

図１３－９　不安や心配がない理由



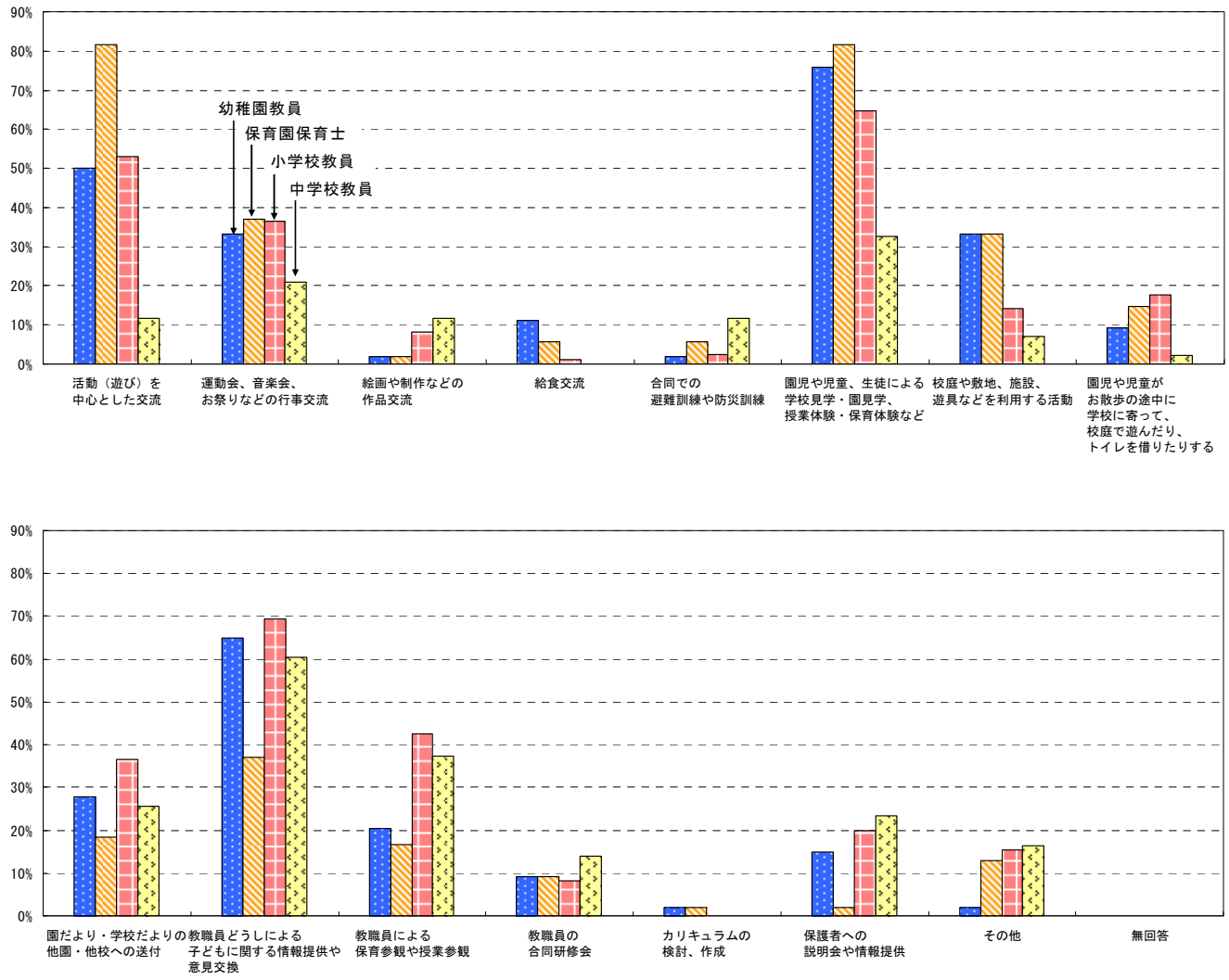
不安や心配がない理由について、保護者の回答結果をみると、幼稚園年長・保育園５歳児保護者では、「兄や姉が学校に通っている、通っていたから」の割合が最も高くなっています。小学校１年生保護者及び中学校１年生保護者では、「子どもが楽しそうに学校に通っているから」の回答の割合が最も高くなっています。小学校６年生保護者では、「兄や姉が学校に通っている、通っていたから」と「子どもに十分な適応力があると思うから」の回答の割合がほぼ同程度であり、最も高くなっています。

ⅩⅣ．教員・保育士共通項目

１．交流、連携の内容

交流、連携の内容はどのようなものでしたか。

図１４－１　交流、連携の内容

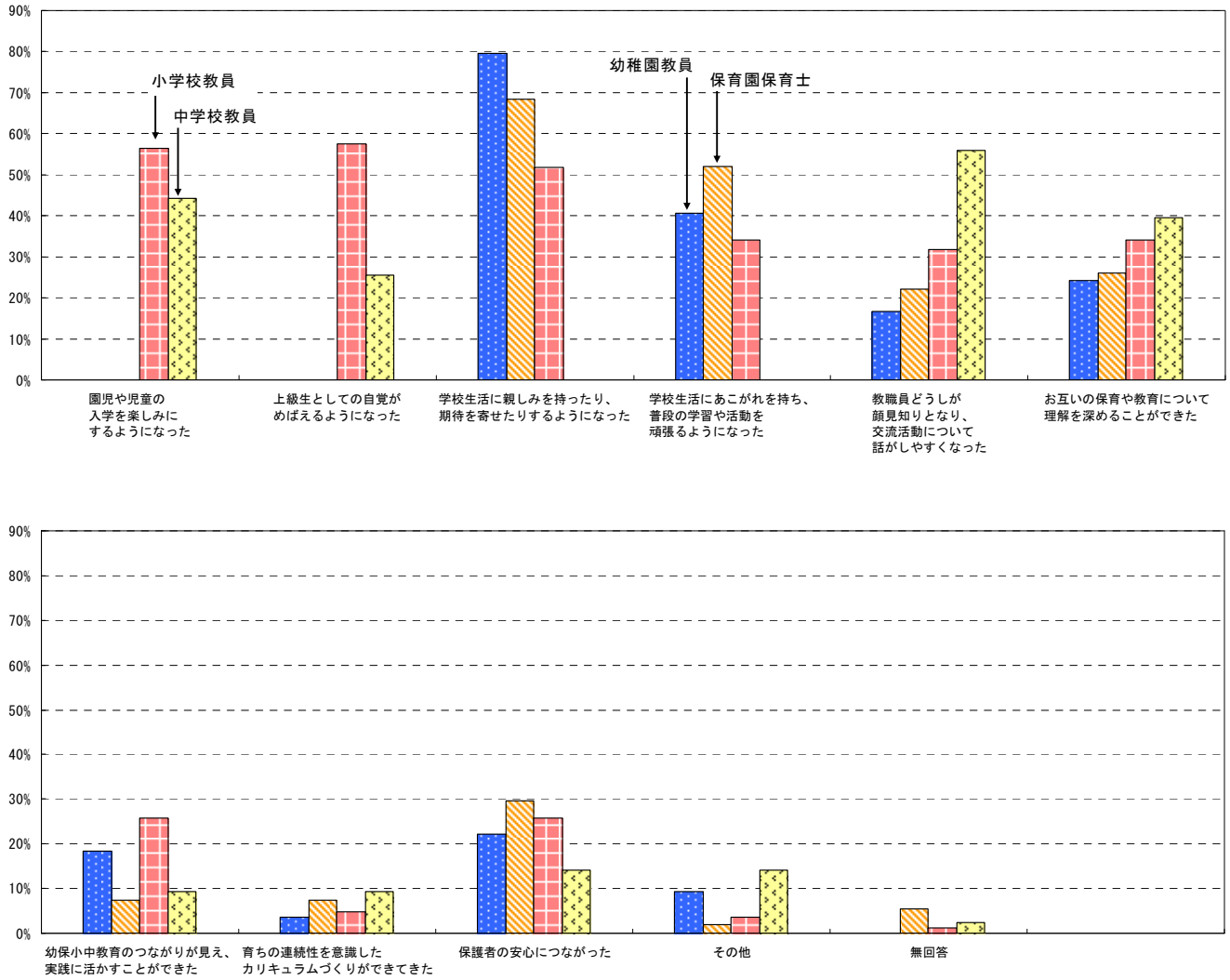


交流、連携の内容について、教員・保育士の回答結果をみると、幼稚園教員では、「園児や児童、生徒による学校見学・園見学、授業体験・保育体験など」の割合が最も高く、次いで「教職員どうしによる子どもに関する情報提供や意見交換」、「活動（遊び）を中心とした交流」の順となっています。保育園保育士では、「園児や児童、生徒による学校見学・園見学、授業体験・保育体験など」、「活動（遊び）を中心とした交流」の回答の割合が同率で最も高くなっています。小学校教員では、「教職員どうしによる子どもに関する情報提供や意見交換」の回答の割合が最も高く、次いで「園児や児童、生徒による学校見学・園見学、授業体験・保育体験など」、「活動（遊び）を中心とした交流」の順となっています。中学校教員では、「教職員どうしによる子どもに関する情報提供や意見交換」の回答の割合が最も高く、次いで「教職員による保育参観や授業参観」、「園児や児童、生徒による学校見学・園見学、授業体験・保育体験など」の順となっています。

２．交流、連携を行って良かった点

交流、連携を行って良かった点は何ですか。

図１４－２　交流、連携を行って良かった点

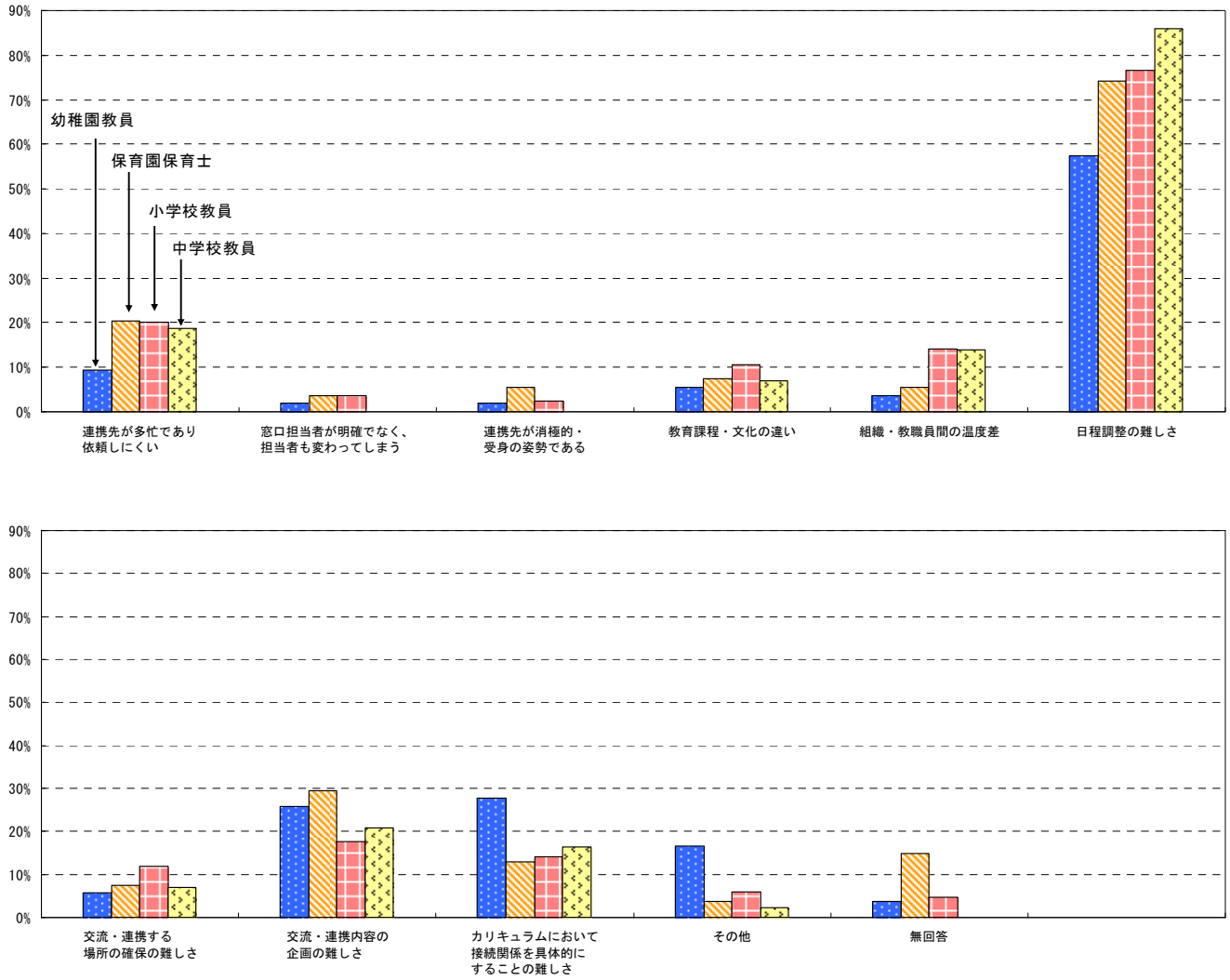


交流、連携を行って良かった点について、教員・保育士の回答結果をみると、幼稚園教員・保育園保育士では、「学校生活に親しみを持ったり、期待を寄せたりするようになった」の割合が最も高く、次いで「学校生活にあこがれを持ち、普段の学習や活動を頑張るようになった」の順となっています。小学校教員では、「上級生としての自覚がめばえるようになった」の回答の割合が最も高く、次いで「園児や児童の入学を楽しみにするようになった」、「学校生活に親しみを持ったり、期待を寄せたりするようになった」の順となっています。中学校教員では、「教職員どうしが顔見知りとなり、交流活動について話がしやすくなった」の回答の割合が最も高く、次いで「園児や児童の入学を楽しみにするようになった」、「お互いの保育や教育について理解を深めることができた」の順となっています。「教職員どうしが顔見知りとなり、交流活動について話がしやすくなった」、「お互いの保育や教育について理解を深めることができた」では、学年があがるにつれて回答の割合が高くなっています。

３．交流、連携の課題となる点

交流、連携の実施にあたって課題となる点は何ですか。

図１４－３　交流、連携の課題となる点

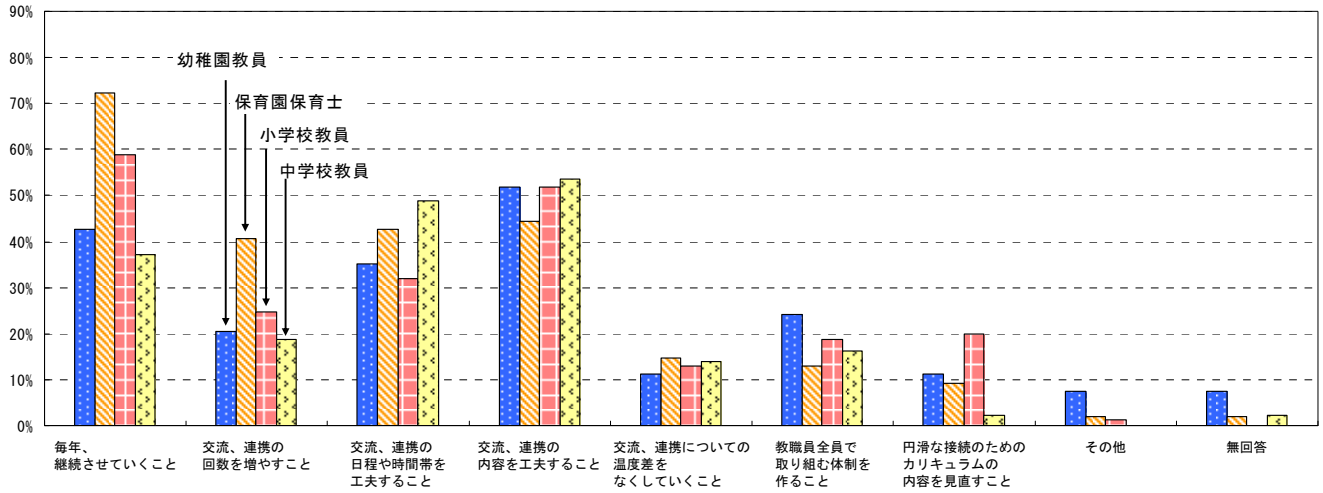


交流、連携の課題となる点について、教員・保育士の回答結果をみると、幼稚園教員、保育園保育士、小学校教員、中学校教員ともに「日程調整の難しさ」の割合が最も高く、学年があがるにつれて、その割合は高くなっています。

４．交流、連携の改善点

交流、連携の実施にあたって改善したい点は何ですか。

図１４－４　交流、連携の改善点

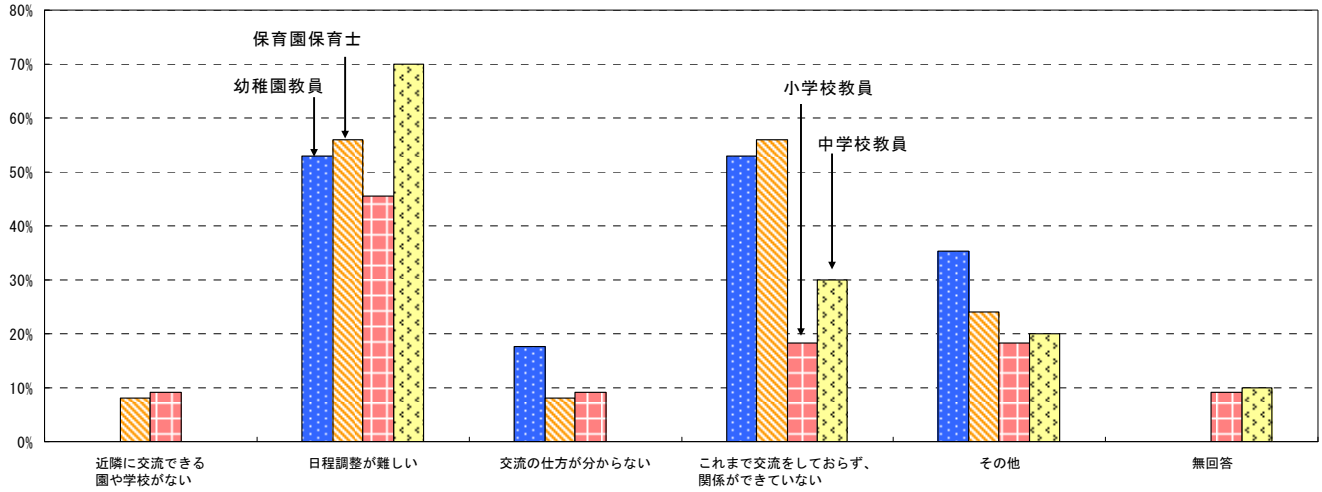


交流、連携の改善点について、教員・保育士の回答結果をみると、幼稚園教員では、「交流、連携の内容を工夫すること」の割合が最も高く、次いで「毎年、継続させていくこと」、「交流、連携の日程や時間帯を工夫すること」の順となっています。保育園保育士では、「毎年、継続させていくこと」の回答の割合が最も高く、次いで「交流、連携の内容を工夫すること」、「交流、連携の日程や時間帯を工夫すること」の順となっています。小学校教員では、「毎年、継続させていくこと」の回答の割合が最も高く、次いで「交流、連携の内容を工夫すること」、「交流、連携の日程や時間帯を工夫すること」の順となっています。中学校教員では、「交流、連携の内容を工夫すること」の回答の割合が最も高く、次いで「交流、連携の日程や時間帯を工夫すること」、「毎年、継続させていくこと」の順となっています。

５．交流、連携が困難な理由（交流、連携を実施していない学校・園のみ）

交流、連携の実施が困難な理由は何ですか。

図１４－５　交流、連携が困難な理由（交流、連携を実施していない学校・園のみ）

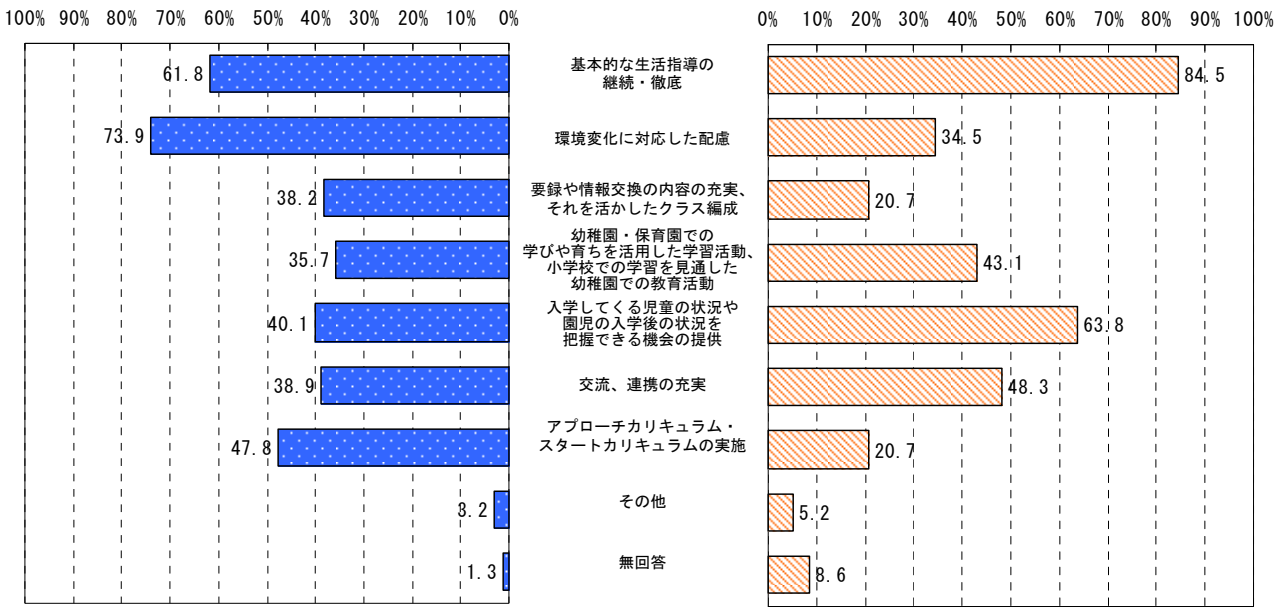


交流、連携が困難な理由について、教員・保育士の回答結果をみると、幼稚園教員・保育園保育士では、「日程調整が難しい」、「これまで交流をしておらず、関係ができていない」の割合が同率で最も高くなっています。小学校教員、中学校教員では、「日程調整が難しい」の回答の割合が最も高く、次いで「これまで交流をしておらず、関係ができていない」の順となっています。

６．幼稚園・保育園と小学校が相互に期待すること＜対比＞

幼稚園教員・保育園保育士…卒園児が進学する小学校に対して、どのようなことを期待しますか。
小学校教員…あなたの学校に入学する児童の出身園である幼稚園や保育園に対して、どのようなことを期待しますか。

図１４－６　幼稚園・保育園と小学校が相互に期待すること＜対比＞

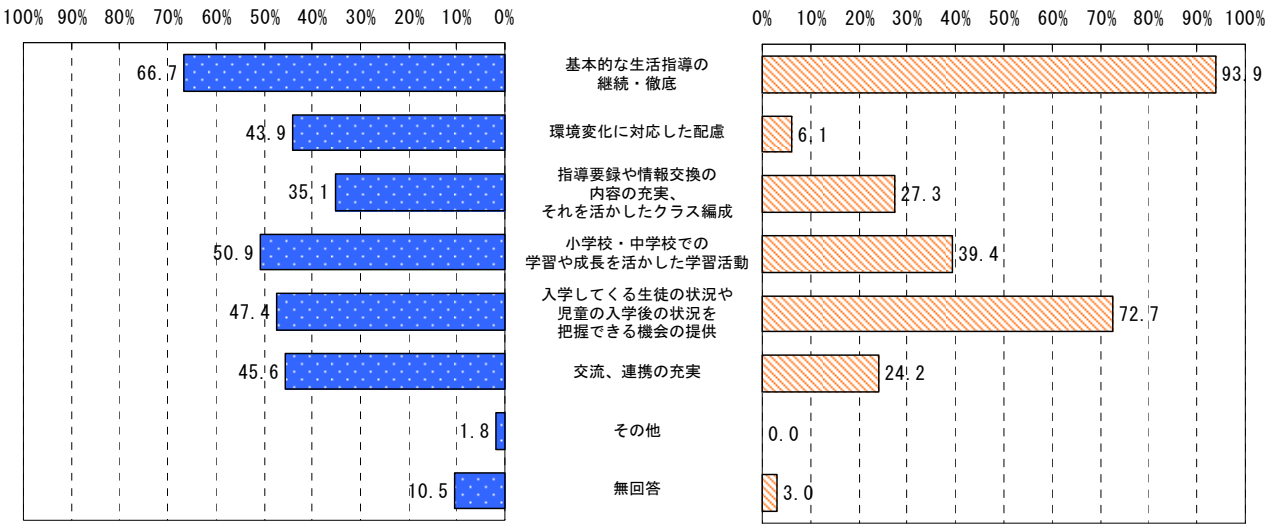


幼稚園・保育園と小学校が相互に期待することについて、教員・保育士の回答結果をみると、幼稚園教員・保育園保育士では、「環境変化に対応した配慮」の割合が最も高く、次いで、「基本的な生活指導の継続・徹底」、「アプローチカリキュラム・スタートカリキュラムの実施」の順となっています。一方、小学校教員では、「基本的な生活指導の継続・徹底」の回答の割合が最も高く、次いで「入学してくる児童の状況や園児の入学後の状況を把握できる機会の提供」、「交流、連携の充実」の順となっています。

７．小学校と中学校が相互に期待すること＜対比＞

小学校教員…あなたの学校を卒業する児童が進学する中学校に対して、どのようなことを期待しますか。
中学校教員…あなたの学校に入学する生徒の出身校である小学校に対して、どのようなことを期待しますか。

図１４－７　小学校と中学校が相互に期待すること＜対比＞



小学校と中学校が相互に期待することについて、教員の回答結果をみると、小学校教員では、「基本的な生活指導の継続・徹底」の割合が最も高く、次いで「小学校・中学校での学習や成長を活かした学習活動」、「入学してくる生徒の状況や児童の入学後の状況を把握できる機会の提供」の順となっています。中学校教員では、「基本的な生活指導の継続・徹底」の回答の割合が最も高く、次いで、「入学してくる生徒の状況や児童の入学後の状況を把握できる機会の提供」、「小学校・中学校での学習や成長を活かした学習活動」の順となっています。

資料編　調査票

草加市子ども教育の連携に関する
保護者アンケートのお願い

≪ご回答をお願いしたい保護者の方≫

幼稚園：年長組の保護者の方
保育園：５歳児クラスの保護者の方
小学校：１年生、６年生の保護者の方
中学校：１年生、３年生の保護者の方

大暑の候、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。
日頃から草加市の教育行政にご理解とご協力を賜り誠にありがとうございます。
さて、本市教育委員会では、草加市教育振興基本計画『笑顔かがやく草加教育プラン』に基づき、子ども教育の連携を推進しています。
これは、幼児期教育から、小学校教育、中学校教育までを途切れのない連続した教育期間と捉え、草加の子どもたちが安心して学べる環境を整備し、自ら考え、自ら学ぶなどの「生きる力」の育成を推進するものです。
本調査は、市内の幼稚園、保育園、小学校、中学校における子ども教育の連携について実態を把握し、子ども教育の連携に関する基本方針策定にあたっての基礎資料となる重要な調査です。
お忙しい中、お手数をおかけいたしますが、本アンケートの趣旨をご理解いただき、ご協力いただきますようよろしくお願い申し上げます。

平成２４年７月　草加市教育委員会

≪アンケートのご回答にあたって≫
1　集計結果は統計的に処理されますので、個人のお名前が特定されることはありません。アンケート用紙には、お名前などの個人情報を書かないでください。
2　質問の回答として、あてはまる番号に○をつけてください。また、「その他」を選択した場合など（　　）の記述欄については、その内容を（　　）内に記入してください。
3　複数の対象となるお子さんをお持ちの保護者の方には、複数のアンケート用紙が届きます。大変ご面倒をおかけいたしますが、それぞれのお子さんについてご回答ください。
4　回答が済みましたら、お子さんの担任の先生にご提出ください。
5　お問い合わせ先　　草加市教育委員会　子ども教育連携推進室
電話９２２－０１５１　内線６５９１・６５９２

保護者用（幼稚園年長組・保育園５歳児クラス）

あてはまる番号・項目に○を付けてご回答ください。また、（　　）の記述欄については、記入をお願いします。

お子さんについての基本情報など

園の名前　（　　幼稚園・保育園）　　お子さんの性別　１　男　　２　女
兄弟姉妹の人数　（　　人）　　祖父母との同居　１　有　　２　無
お子さんからみて、このアンケートに回答いただく方の続柄
１　父親　２　母親　３　祖父　４　祖母　５　その他（　　）

お子さんの生活の様子について

お子さんの生活の様子について教えてください。（それぞれ○は１つだけ）

問１　早寝早起き、朝ごはんなどの規則正しい生活習慣が身に付いていますか。
１　よくできる　２　ほぼできる　３　あまりできない　４　できない

問２　外出後や食事前に手洗い、うがいをしますか。
１　よくできる　２　ほぼできる　３　あまりできない　４　できない

問３　危ないことをしない、交通ルールを守るなど、危険なことに気づくことができますか。
１　よくできる　２　ほぼできる　３　あまりできない　４　できない

問４　身の回りのことなど、自分のことを自分でしていますか。
１　よくできる　２　ほぼできる　３　あまりできない　４　できない

問５　友達と一緒に遊ぶ、自分の気持ちを伝えるなど、周囲の人とコミュニケーションがとれていますか。
１　よくできる　２　ほぼできる　３　あまりできない　４　できない

問６　あいさつや返事がきちんとできていますか。
１　よくできる　２　ほぼできる　３　あまりできない　４　できない

問７　順番を待つ、友達に譲るなど、我慢をすることができますか。
１　よくできる　２　ほぼできる　３　あまりできない　４　できない

問８　きまりや約束を守ることができますか。
１　よくできる　２　ほぼできる　３　あまりできない　４　できない

問９　色々なことに疑問を持ち尋ねたり、遊び方を工夫したりするなど、学びへの意欲や物事への関心を持っていますか。
１　ある　　２　少しある　　３　あまりない　　４　全くない

問10　絵本を読んだり、物の数を数えたりするなど、文字や数への関心がありますか。
1　ある　　2　少しある　　3　あまりない　　4　全くない

問11　人の話を静かに聞いたり、好きなことにじっくり取り組んだりなど、集中して何かをすることができますか。
1　よくできる　2　ほぼできる　3　あまりできない　4　できない

家庭での教育について

家庭での教育に関する保護者の方のお考えについて教えてください。

問12　家庭でのしつけや教育で、特に重視していることは何ですか。（○は５つまで）
1　早寝早起き、朝食を食べるなどの規則正しい生活習慣
2　あいさつ、言葉づかいなどの礼儀作法
3　幼稚園・保育園や家庭でのルールやマナーを守ること
4　相手のことを思いやる心
5　忍耐力、我慢すること、あきらめない心
6　親子のコミュニケーション
7　健康、体力の向上などのために運動させること
8　自分でできることは自分で行わせたり、家の手伝いをさせること
9　近所の人と関わり、地域の行事へ参加させること
10　勉強する習慣を身に付け、必要な時は勉強を教えること
11　習い事など、園や家庭以外で学ぶ機会を設けること
12　その他（　　）
13　特に重点を置いていることはない

問13　【問12で１～12に○をつけた場合に答えてください】保護者の方が、お子さんに対して、ご家庭で特に重視しているしつけや教育を実際にできていると思いますか。（○は１つだけ）
1　そう思う　　2　どちらかと言えばそう思う
3　どちらかと言えばそう思わない　　4　思わない
5　わからない

問14　子どもを育てるにあたっての、家庭と学校などの教育機関（幼稚園、保育園を含む）の役割について、もっとも近い考えはどれですか。（○は１つだけ）
1　家庭が勉強やしつけなど大部分の役割を果たすべき
2　学校などの教育機関が勉強やしつけなど大部分の役割を果たすべき
3　学校などの教育機関は勉強などが中心で、家庭はしつけなどの役割を果たすべき
4　どのようなことについても家庭と学校が相互に協力して進めるべき
5　わからない

小学校入学について

小学校入学にあたっての期待や不安について教えてください。（設問によってはお子さんに聞いてお答えください。）

問15　お子さんの小学校入学後の生活について、楽しみにしていることや期待していることは何ですか。（あてはまるもの全てに○）
1　勉強　　2　運動　　3　新しい先生
4　新しい友達　　5　上級生との交流　　6　給食
7　休み時間　　8　当番活動　　9　クラブ活動
10　広い校庭や大きな体育館　　11　学校行事　　12　その他（　　）
13　特にない

問16　お子さんが小学校に入学した後に、不安なことや心配なことは何ですか。（あてはまるもの全てに○）
1　起床時間　　2　勉強（ついていけるか）
3　運動（ついていけるか）　　4　授業（45分間授業を聞いていられるか）
5　学校のきまり（守れるか）　　6　給食
7　学校行事　　8　集団への適応
9　子どもと先生との関係　　10　友だちとの関係
11　登下校の安全　　12　学校の防犯・防災対策
13　保護者と先生・学校との関係　　14　保護者どうしの関係
15　その他（　　）　　16　特にない

問17　【問16で１～15に○をつけた場合に答えてください】不安や心配に対しては、何か対応をされますか（実施済みを含む）。（あてはまるものすべてに○）
1　園（先生）に相談する　　2　公的機関・医療機関に相談する
3　家庭中心に対応する　　4　保護者どうしで相談する
5　その他（　　）　　6　特に対応しない

問18　【問16で16の「特にない」に○をつけた場合に答えてください】不安や心配がない理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）
1　幼稚園・保育園と小学校との交流が行われているから
2　幼稚園・保育園で小学校の話を聞いているから
3　幼稚園・保育園で小学校入学にあたっての準備や練習を行っているから
4　小学校の入学説明会や健康診断で小学校生活について話を聞く機会があるから
5　（お子さんの）兄や姉が小学校に通っている、通っていたから
6　子どもに十分な適応力があると思うから
7　その他（　　）

就学前教育について

問19　幼稚園や保育園で、小学校入学に向けた教育活動を行ってほしいですか。（○は１つだけ）

1　はい　　2　いいえ

問20　【問19で１の「はい」に○をつけた場合に答えてください】小学校入学に向けて、幼稚園や保育園で、どのようなことに取り組んでほしいですか。（あてはまるもの全てに○）

1　基本的な生活習慣をしっかりと身に付けさせること（登園時間を早める、昼寝の時間をなくすなど）
2　戸外での遊びや運動などによる体力増進や健康づくり
3　ルールを守ることの大切さを教えること
4　友だちと関わる中で思いやりや親しみを持つこと
5　友達と一緒に、同じ目的をもって１つのことに取り組むこと
6　大勢の前で発表する機会を設けること
7　当番活動などを行うこと
8　絵や工作、歌や楽器などによる創作的な活動
9　文字や数に興味を持たせること
10　集中して１つのことに取り組む時間を設けること
11　小学校以降の育ちの連続性を意識したカリキュラムの実施
12　その他（　　）

お子さんの将来像について

問21　将来、成人し社会の支え手となる、あなたのお子さんに、中学校を卒業する時までに、身に付けてほしい能力や考え方として、特に重要だと思うことは何ですか。（○は５つまで）

1　学力
2　運動能力
3　生活していく上での常識、礼儀作法
4　きまりや約束を守る規範意識
5　他人を大切にし、思いやる心
6　あきらめず、ねばり強く挑戦することができる、たくましい心
7　命の尊さを理解する心
8　自分で考え、自分で学び、自分の判断で行動する自立心
9　他人との関係を円滑に築くコミュニケーション能力と自己主張力
10　あらゆる環境変化に対応できる柔軟性と豊かな発想力
11　集団を率いるリーダーシップ
12　犯罪、災害から身を守る注意力
13　勤労意欲や社会の役に立ちたいと思う心
14　伝統や文化を重んじ、地域を大切にする心
15　異文化を理解し、国際人として活動しようとする力
16　地球環境や自然を大切にする心
17　その他（　　）

最後に、子ども教育の連携や草加市の教育についてご意見などがあれば、自由にご記入ください。

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

お手数ですが、担任の先生へご提出ください。

草加市子ども教育の連携に関する
保護者アンケートのお願い

≪ご回答をお願いしたい保護者の方≫

幼稚園：年長組の保護者の方
保育園：５歳児クラスの保護者の方
小学校：１年生、６年生の保護者の方
中学校：１年生、３年生の保護者の方

大暑の候、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

日頃から草加市の教育行政にご理解とご協力を賜り誠にありがとうございます。

さて、本市教育委員会では、草加市教育振興基本計画『笑顔かがやく草加教育プラン』に基づき、子ども教育の連携を推進しています。

これは、幼児期教育から、小学校教育、中学校教育までを途切れのない連続した教育期間と捉え、草加の子どもたちが安心して学べる環境を整備し、自ら考え、自ら学ぶなどの「生きる力」の育成を推進するものです。

本調査は、市内の幼稚園、保育園、小学校、中学校における子ども教育の連携について実態を把握し、子ども教育の連携に関する基本方針策定にあたっての基礎資料となる重要な調査です。

お忙しい中、お手数をおかけいたしますが、本アンケートの趣旨をご理解いただき、ご協力いただきますようよろしくお願い申し上げます。

平成２４年７月　草加市教育委員会

≪アンケートのご回答にあたって≫

1　集計結果は統計的に処理されますので、個人のお名前が特定されることはありません。アンケート用紙には、お名前などの個人情報を書かないでください。
2　質問の回答として、あてはまる番号に○をつけてください。また、「その他」を選択した場合など（　　）の記述欄については、その内容を（　　）内に記入してください。
3　複数の対象となるお子さんをお持ちの保護者の方には、複数のアンケート用紙が届きます。大変ご面倒をおかけいたしますが、それぞれのお子さんについてご回答ください。
4　回答が済みましたら、お子さんの担任の先生にご提出ください。
5　お問い合わせ先　　草加市教育委員会　子ども教育連携推進室
電話９２２－０１５１　内線６５９１・６５９２

保護者用（小学校１年生）

あてはまる番号に○を付けてご回答ください。また、（　　）の記述欄については、記入をお願いします。

お子さんについての基本情報など

学校の名前　（　　小学校）　　お子さんの性別　1　男　　2　女
兄弟姉妹の人数　（　　人）　　祖父母との同居　1　有　　2　無
学童保育の利用　　1　有　　2　無
お子さんからみて、このアンケートに回答いただく方の続柄
1　父親　2　母親　3　祖父　4　祖母　5　その他（　　）

お子さんの生活の様子について

お子さんの生活の様子について教えてください。（それぞれ○は１つだけ）

問１　早寝早起き、朝ごはんなどの規則正しい生活習慣が身に付いていますか。
1　よくできる　2　ほぼできる　3　あまりできない　4　できない

問２　外出後や食事前に手洗い、うがいをしますか。
1　よくできる　2　ほぼできる　3　あまりできない　4　できない

問３　危ないことをしない、交通ルールを守るなど、安全に行動することができますか。
1　よくできる　2　ほぼできる　3　あまりできない　4　できない

問４　身の回りのことなど、自分のことを自分でしていますか。
1　よくできる　2　ほぼできる　3　あまりできない　4　できない

問５　友達と一緒に遊ぶ、自分の気持ちを伝えるなど、周囲の人とコミュニケーションがとれていますか。
1　よくできる　2　ほぼできる　3　あまりできない　4　できない

問６　あいさつや返事がきちんとできていますか。
1　よくできる　2　ほぼできる　3　あまりできない　4　できない

問７　順番を待つ、友達に譲るなど、我慢をすることができますか。
1　よくできる　2　ほぼできる　3　あまりできない　4　できない

問８　きまりや約束を守ることができますか。
1　よくできる　2　ほぼできる　3　あまりできない　4　できない

問９　学習への意欲や、生活・周囲のさまざまな物事への関心を持っていますか。
1　ある　　2　少しある　　3　あまりない　　4　全くない

問10　文章を読んだり、計算や数量について理解しようとしたりするなど、文字や数への関心がありますか。
1　ある　　2　少しある　　3　あまりない　　4　全くない

問11　人の話を静かに聞いたり、物事にじっくり取り組んだりなど、集中して何かをすることができますか。

1　よくできる　2　ほぼできる　3　あまりできない　4　できない

家庭での教育について

家庭での教育に関する保護者の方のお考えについて教えてください。

問12　家庭でのしつけや教育で、特に重視していることは何ですか。（○は５つまで）

1　早寝早起き、朝食を食べるなどの規則正しい生活習慣
2　あいさつ、言葉づかいなどの礼儀作法
3　学校や家庭でのルールやマナーを守ること
4　相手のことを思いやる心
5　忍耐力、我慢すること、あきらめない心
6　親子のコミュニケーション
7　健康、体力の向上などのために運動させること
8　自分でできることは自分で行わせたり、家の手伝いをさせること
9　近所の人と関わり、地域の行事へ参加させること
10　勉強する習慣を身に付け、必要な時は勉強を教えること
11　習い事など、学校や家庭以外で学ぶ機会を設けること
12　その他（　　）
13　特に重点を置いていることはない

問13　【問12で１～12に○をつけた場合に答えてください】保護者の方が、お子さんに対して、ご家庭で特に重視しているしつけや教育を実際にできていると思いますか。（○は１つだけ）

1　そう思う　　2　どちらかと言えばそう思う
3　どちらかと言えばそう思わない　　4　思わない
5　わからない

問14　子どもを育てるにあたっての、家庭と学校などの教育機関（幼稚園、保育園を含む）の役割について、もっとも近い考えはどれですか。（○は１つだけ）

1　家庭が勉強やしつけなど大部分の役割を果たすべき
2　学校などの教育機関が勉強やしつけなど大部分の役割を果たすべき
3　学校などの教育機関は勉強などが中心で、家庭はしつけなどの役割を果たすべき
4　どのようなことについても家庭と学校が相互に協力して進めるべき
5　わからない

小学校入学後のお子さんの様子について

小学校入学後のお子さんの様子について教えてください。（設問によってはお子さんに聞いてお答えください。）

問15　お子さんが小学校入学後の生活において、楽しんでいることは何ですか。（あてはまるもの全てに○）

1　勉強　　2　運動　　3　新しい先生
4　新しい友達　　5　上級生との交流　　6　給食
7　休み時間　　8　当番活動　　9　クラブ活動
10　広い校庭や大きな体育館　　11　学校行事　　12　その他（　　）
13　特にない

問16　お子さんの小学校入学後の生活において、不安に感じていることは何かありますか。（あてはまるもの全てに○）

1　起床時間　　2　勉強（ついていけるか）
3　運動（ついていけるか）　　4　授業（45分間授業を聞いていられるか）
5　学校のきまり（守れるか）　　6　給食
7　学校行事　　8　集団への適応
9　子どもと先生との関係　　10　友だちとの関係
11　登下校の安全　　12　学校の防犯・防災対策
13　保護者と先生・学校との関係　　14　保護者どうしの関係
15　その他（　　）　　16　特にない

問17　【問16で１～15に○をつけた場合に答えてください】不安や心配に対しては、何か対応をされますか（実施済みを含む）。（あてはまるもの全てに○）

1　学校（先生）に相談する　　2　公的機関・医療機関に相談する
3　家庭中心に対応する　　4　保護者どうしで相談する
5　その他（　　）　　6　特に対応しない

問18　【問16で16の「特にない」に○をつけた場合に答えてください】不安に感じていることがない理由は何ですか。（あてはまるもの全てに○）

1　幼稚園・保育園と小学校との交流が行われていたから
2　幼稚園・保育園で小学校の話を聞いていたから
3　幼稚園・保育園で小学校入学にあたっての準備や練習を行っていたから
4　小学校の入学説明会や健康診断で小学校生活について話を聞いていたから
5　（お子さんの）兄や姉が小学校に通っている、通っていたから
6　子どもに十分な適応力があるから
7　子どもが楽しそうに学校に通っているから
8　その他（　　）

育ちの連続性を意識した教育活動について

問19　小学校で、幼児期からの学びを活かした教育活動を行ってほしいですか。（○は１つだけ）

1　はい　　2　いいえ

問20　【問19で１の「はい」に○をつけた場合に答えてください】小学校で、どのようなことに取り組んでほしいですか。（あてはまるもの全てに○）

1　基本的な生活指導の継続
2　小学校入学後の環境変化に対応した配慮
3　幼稚園・保育園との情報交換の実施とそれを活かしたクラス運営
4　幼稚園や保育園での学びや育ちを活かした学習活動
5　幼稚園・保育園との交流、連携の充実
6　その他（　　）

お子さんの将来像について

問21　将来、成人し社会の支え手となる、あなたのお子さんに、中学校を卒業する時までに、身に付けてほしい能力や考え方として、特に重要だと思うことは何ですか。（○は５つまで）

1　学力
2　運動能力
3　生活していく上での常識、礼儀作法
4　きまりや約束を守る規範意識
5　他人を大切にし、思いやる心
6　あきらめず、ねばり強く挑戦することができる、たくましい心
7　命の尊さを理解する心
8　自分で考え、自分で学び、自分の判断で行動する自立心
9　他人との関係を円滑に築くコミュニケーション能力と自己主張力
10　あらゆる環境変化に対応できる柔軟性と豊かな発想力
11　集団を率いるリーダーシップ
12　犯罪、災害から身を守る注意力
13　勤労意欲や社会の役に立ちたいと思う心
14　伝統や文化を重んじ、地域を大切にする心
15　異文化を理解し、国際人として活動しようとする力
16　地球環境や自然を大切にする心
17　その他（　　）

最後に、子ども教育の連携や草加市の教育についてご意見などがあれば、自由にご記入ください。

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

お手数ですが、担任の先生へご提出ください。

草加市子ども教育の連携に関する
保護者アンケートのお願い

≪ご回答をお願いしたい保護者の方≫

幼稚園：年長組の保護者の方
保育園：５歳児クラスの保護者の方
小学校：１年生、６年生の保護者の方
中学校：１年生、３年生の保護者の方

大暑の候、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

日頃から草加市の教育行政にご理解とご協力を賜り誠にありがとうございます。

さて、本市教育委員会では、草加市教育振興基本計画『笑顔かがやく草加教育プラン』に基づき、子ども教育の連携を推進しています。

これは、幼児期教育から、小学校教育、中学校教育までを途切れのない連続した教育期間と捉え、草加の子どもたちが安心して学べる環境を整備し、自ら考え、自ら学ぶなどの「生きる力」の育成を推進するものです。

本調査は、市内の幼稚園、保育園、小学校、中学校における子ども教育の連携について実態を把握し、子ども教育の連携に関する基本方針策定にあたっての基礎資料となる重要な調査です。

お忙しい中、お手数をおかけいたしますが、本アンケートの趣旨をご理解いただき、ご協力いただきますようよろしくお願い申し上げます。

平成２４年７月　草加市教育委員会

≪アンケートのご回答にあたって≫

1　集計結果は統計的に処理されますので、個人のお名前が特定されることはありません。アンケート用紙には、お名前などの個人情報を書かないでください。
2　質問の回答として、あてはまる番号に○をつけてください。また、「その他」を選択した場合など（　　）の記述欄については、その内容を（　　）内に記入してください。
3　複数の対象となるお子さんをお持ちの保護者の方には、複数のアンケート用紙が届きます。大変ご面倒をおかけいたしますが、それぞれのお子さんについてご回答ください。
4　回答が済みましたら、お子さんの担任の先生にご提出ください。
5　お問い合わせ先　　草加市教育委員会　子ども教育連携推進室
電話９２２－０１５１　内線６５９１・６５９２

保護者用（小学校６年生）

あてはまる番号に○を付けてご回答ください。また、（　　）の記述欄については、記入をお願いします。

お子さんについての基本情報など

学校の名前　（　　小学校）　　お子さんの性別　1　男　　2　女
兄弟姉妹の人数　（　　人）　　祖父母との同居　1　有　　2　無
お子さんからみて、このアンケートに回答いただく方の続柄
1　父親　2　母親　3　祖父　4　祖母　5　その他（　　）

お子さんの生活の様子について

お子さんの生活の様子について教えてください。（それぞれ○は１つだけ）

問１　早寝早起き、朝ごはんなどの規則正しい生活習慣が身に付いていますか。
1　よくできる　2　ほぼできる　3　あまりできない　4　できない

問２　外出後や食事前に手洗い、うがいをしますか。
1　よくできる　2　ほぼできる　3　あまりできない　4　できない

問３　危ないことをしない、交通ルールを守るなど、安全に行動することができますか。
1　よくできる　2　ほぼできる　3　あまりできない　4　できない

問４　身の回りのことなど、自分のことを自分でしていますか。
1　よくできる　2　ほぼできる　3　あまりできない　4　できない

問５　友達と一緒に遊ぶ、自分の気持ちを伝えるなど、周囲の人とコミュニケーションがとれていますか。
1　よくできる　2　ほぼできる　3　あまりできない　4　できない

問６　あいさつや返事がきちんとできていますか。
1　よくできる　2　ほぼできる　3　あまりできない　4　できない

問７　順番を待つ、友達に譲るなど、我慢をすることができますか。
1　よくできる　2　ほぼできる　3　あまりできない　4　できない

問８　きまりや約束を守ることができますか。
1　よくできる　2　ほぼできる　3　あまりできない　4　できない

問９　学習への意欲や、生活・周囲のさまざまな物事への関心を持っていますか。
1　ある　　2　少しある　　3　あまりない　4　全くない

問10　文章を読んだり、計算や数量について理解しようとしたりするなど、文字や数への関心がありますか。
1　ある　　2　少しある　　3　あまりない　4　全くない

問11　人の話を静かに聞いたり、物事にじっくり取り組んだりなど、集中して何かをすることができますか。
1　よくできる　2　ほぼできる　3　あまりできない　4　できない

お子さんの学習の様子について

お子さんの学習の様子について教えてください。

問12　お子さんは、学校での授業を理解している様子ですか。（○は１つだけ）
1　理解している　2　ほぼ理解している　3　あまり理解していない
4　全く理解していない　5　理解しようとしていない　6　わからない
7　その他（　　）

問13　【問12で３～５に○をつけた場合に答えてください】学校の授業を理解していない理由や原因は何だと思われますか。（あてはまるもの全てに○）
1　授業内容が難しい　2　授業に集中できていない　3　教え方が適切でない
4　わからない　5　その他（　　）

問14　学校以外での、１日の平均学習時間（塾などでの学習の時間を含む）はどのくらいですか。（○は１つだけ）
1　30分以内　2　１時間以内　3　２時間以内
4　３時間以内　5　４時間以内　6　５時間以内
7　６時間以内　8　６時間超　9　学校以外ではほとんど勉強しない

家庭での教育について

家庭での教育に関する保護者の方のお考えについて教えてください。

問15　家庭でのしつけや教育で、特に重視していることは何ですか。（○は５つまで）
1　早寝早起き、朝食を食べるなどの規則正しい生活習慣
2　あいさつ、言葉づかいなどの礼儀作法
3　学校や家庭でのルールやマナーを守ること
4　相手のことを思いやる心
5　忍耐力、我慢すること、あきらめない心
6　親子のコミュニケーション
7　健康、体力の向上などのために運動させること
8　自分でできることは自分で行わせたり、家の手伝いをさせること
9　近所の人と関わり、地域の行事へ参加させること
10　勉強する習慣を身に付け、必要な時は勉強を教えること
11　習い事など、学校や家庭以外で学ぶ機会を設けること
12　その他（　　）
13　特に重点を置いていることはない

問16　【問15で１～12に○をつけた場合に答えてください】保護者の方が、お子さんに対して、ご家庭で特に重視しているしつけや教育を実際にできていると思いますか。（○は１つだけ）
1　そう思う　2　どちらかと言えばそう思う
3　どちらかと言えばそう思わない　4　思わない
5　わからない

問17　子どもを育てるにあたっての、家庭と学校などの教育機関（幼稚園、保育園を含む）の役割について、もっとも近い考えはどれですか。（○は１つだけ）
1　家庭が勉強やしつけなど大部分の役割を果たすべき
2　学校などの教育機関が勉強やしつけなど大部分の役割を果たすべき
3　学校などの教育機関は勉強などが中心で、家庭はしつけなどの役割を果たすべき
4　どのようなことについても家庭と学校が相互に協力して進めるべき
5　わからない

中学校入学について

中学校入学にあたっての期待や不安について教えてください。（設問によってはお子さんに聞いてお答えください。）

問18　お子さんの中学校入学後の生活について、楽しみにしていることや期待していることは何ですか。（あてはまるもの全てに○）
1　勉強　2　運動　3　新しい先生
4　新しい友達　5　上級生との交流　6　給食
7　休み時間　8　当番・委員会活動　9　部活動
10　広い校庭や大きな体育館　11　学校行事　12　その他（　　）
13　特にない

問19　お子さんが中学校に入学した後に、不安なことや心配なことは何ですか。（あてはまるもの全てに○）
1　生活時間の変化　2　勉強（ついていけるか）
3　運動（ついていけるか）　4　授業（50分間授業を聞いていられるか）
5　校則（守れるか）　6　給食
7　部活動　8　学校行事
9　集団への適応　10　生徒と先生との関係
11　友だちとの関係　12　上級生との関係
13　登下校の安全　14　学校の防犯・防災対策
15　保護者と先生・学校との関係　16　保護者どうしの関係
17　その他（　　）　18　特にない

問20　【問19で１～17に○をつけた場合に答えてください】不安や心配に対しては、何か対応をされますか（実施済みを含む）。（あてはまるもの全てに○）
1　学校（先生）に相談する　2　公的機関・医療機関に相談する
3　家庭中心に対応する　4　保護者どうしで相談する
5　その他（　　）　6　特に対応しない

問21　【問19で18の「特にない」に○をつけた場合に答えてください】不安や心配がない理由は何ですか。（あてはまるもの全てに○）

1　小学校と中学校との交流が行われているから
2　小学校で中学校の話を聞いているから
3　小学校で中学校入学にあたっての準備や練習を行っているから
4　中学校の入学説明会や健康診断で中学校生活について話を聞く機会があるから
5　（お子さんの）兄や姉が中学校に通っている、通っていたから
6　子どもに十分な適応力があると思うから
7　その他（　　）

お子さんの将来像について

問22　将来、成人し社会の支え手となる、あなたのお子さんに、中学を卒業する時までに、身に付けてほしい能力や考え方として、特に重要だと思うことは何ですか。（○は５つまで）

1　学力
2　運動能力
3　生活していく上での常識、礼儀作法
4　きまりや約束を守る規範意識
5　他人を大切にし、思いやる心
6　あきらめず、ねばり強く挑戦することができる、たくましい心
7　命の尊さを理解する心
8　自分で考え、自分で学び、自分の判断で行動する自立心
9　他人との関係を円滑に築くコミュニケーション能力と自己主張力
10　あらゆる環境変化に対応できる柔軟性と豊かな発想力
11　集団を率いるリーダーシップ
12　犯罪、災害から身を守る注意力
13　勤労意欲や社会の役に立ちたいと思う心
14　伝統や文化を重んじ、地域を大切にする心
15　異文化を理解し、国際人として活動しようとする力
16　地球環境や自然を大切にする心
17　その他（　　）

最後に、子ども教育の連携や草加市の教育についてご意見などがあれば、自由にご記入ください。

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

お手数ですが、担任の先生へご提出ください。

草加市子ども教育の連携に関する
保護者アンケートのお願い

≪ご回答をお願いしたい保護者の方≫

幼稚園：年長組の保護者の方
保育園：５歳児クラスの保護者の方
小学校：１年生、６年生の保護者の方
中学校：１年生、３年生の保護者の方

大暑の候、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

日頃から草加市の教育行政にご理解とご協力を賜り誠にありがとうございます。

さて、本市教育委員会では、草加市教育振興基本計画『笑顔かがやく草加教育プラン』に基づき、子ども教育の連携を推進しています。

これは、幼児期教育から、小学校教育、中学校教育までを途切れのない連続した教育期間と捉え、草加の子どもたちが安心して学べる環境を整備し、自ら考え、自ら学ぶなどの「生きる力」の育成を推進するものです。

本調査は、市内の幼稚園、保育園、小学校、中学校における子ども教育の連携について実態を把握し、子ども教育の連携に関する基本方針策定にあたっての基礎資料となる重要な調査です。

お忙しい中、お手数をおかけいたしますが、本アンケートの趣旨をご理解いただき、ご協力いただきますようよろしくお願い申し上げます。

平成２４年７月　草加市教育委員会

≪アンケートのご回答にあたって≫

1　集計結果は統計的に処理されますので、個人のお名前が特定されることはありません。アンケート用紙には、お名前などの個人情報を書かないでください。
2　質問の回答として、あてはまる番号に○をつけてください。また、「その他」を選択した場合など（　　）の記述欄については、その内容を（　　）内に記入してください。
3　複数の対象となるお子さんをお持ちの保護者の方には、複数のアンケート用紙が届きます。大変ご面倒をおかけいたしますが、それぞれのお子さんについてご回答ください。
4　回答が済みましたら、お子さんの担任の先生にご提出ください。
5　お問い合わせ先　　草加市教育委員会　子ども教育連携推進室
電話９２２－０１５１　内線６５９１・６５９２

保護者用（中学校１年生）

あてはまる番号に○を付けてご回答ください。また、（　　）の記述欄については、記入をお願いします。

お子さんについての基本情報など

学校の名前　（　　中学校）　　お子さんの性別　１　男　　２　女
兄弟姉妹の人数　（　　人）　　祖父母との同居　１　有　　２　無
お子さんからみて、このアンケートに回答いただく方の続柄
１　父親　２　母親　３　祖父　４　祖母　５　その他（　　）

お子さんの生活の様子について

お子さんの生活の様子について教えてください。（それぞれ○は１つだけ）

問１　早寝早起き、朝ごはんなどの規則正しい生活習慣が身に付いていますか。
１　よくできる　２　ほぼできる　３　あまりできない　４　できない

問２　外出後や食事前に手洗い、うがいをしますか。
１　よくできる　２　ほぼできる　３　あまりできない　４　できない

問３　危険なことをしない、交通ルールを守るなど、安全に行動することができますか。
１　よくできる　２　ほぼできる　３　あまりできない　４　できない

問４　身の回りのことなど、自分のことを自分でしていますか。
１　よくできる　２　ほぼできる　３　あまりできない　４　できない

問５　友達と一緒に遊ぶ、自分の気持ちを伝えるなど、周囲の人とコミュニケーションがとれていますか。
１　よくできる　２　ほぼできる　３　あまりできない　４　できない

問６　あいさつや返事がきちんとできていますか。
１　よくできる　２　ほぼできる　３　あまりできない　４　できない

問７　順番を待つ、友達に譲るなど、我慢をすることができますか。
１　よくできる　２　ほぼできる　３　あまりできない　４　できない

問８　きまりや約束を守ることができますか。
１　よくできる　２　ほぼできる　３　あまりできない　４　できない

問９　学習への意欲や、生活・周囲のさまざまな物事への関心を持ち、学校生活に積極的に取り組む意欲がありますか。
１　ある　　２　少しある　　３　あまりない　　４　全くない

問10　文章を読んだり、計算や数量について理解しようとしたりするなど、文字や数への関心がありますか。
１　ある　　２　少しある　　３　あまりない　　４　全くない

問11　人の話を静かに聞いたり、物事にじっくり取り組んだりなど、集中して何かをすることができますか。
1　よくできる　2　ほぼできる　3　あまりできない　4　できない

お子さんの学習の様子について

お子さんの学習の様子について教えてください。

問12　お子さんは、学校での授業を理解している様子ですか。（○は１つだけ）
1　理解している　2　ほぼ理解している　3　あまり理解していない
4　全く理解していない　5　理解しようとしていない　6　わからない
7　その他（　　）

問13　【問12で３～５に○をつけた場合に答えてください】学校の授業を理解していない理由や原因は何だと思われますか。（あてはまるもの全てに○）
1　授業内容が難しい　2　授業に集中できていない　3　教え方が適切でない
4　わからない　5　その他（　　）

問14　学校以外での、１日の平均学習時間（塾などでの学習の時間を含む）はどのくらいですか。（○は１つだけ）
1　30分以内　2　１時間以内　3　２時間以内
4　３時間以内　5　４時間以内　6　５時間以内
7　６時間以内　8　６時間超　9　学校以外ではほとんど勉強しない

家庭での教育について

家庭での教育に関する保護者の方のお考えについて教えてください。

問15　家庭でのしつけや教育で、特に重視していることは何ですか。（○は５つまで）
1　早寝早起き、朝食を食べるなどの規則正しい生活習慣
2　あいさつ、言葉づかいなどの礼儀作法
3　学校や家庭でのルールやマナーを守ること
4　相手のことを思いやる心
5　忍耐力、我慢すること、あきらめない心
6　親子のコミュニケーション
7　健康、体力の向上などのために運動させること
8　自分でできることは自分で行わせたり、家の手伝いをさせること
9　近所の人と関わり、地域の行事へ参加させること
10　勉強する習慣を身に付け、必要な時は勉強を教えること
11　習い事など、学校や家庭以外で学ぶ機会を設けること
12　その他（　　）
13　特に重点を置いていることはない

問16　【問15で１～12に○をつけた場合に答えてください】保護者の方が、お子さんに対して、ご家庭で特に重視しているしつけや教育を実際にできていると思いますか。（○は１つだけ）
1　そう思う　2　どちらかと言えばそう思う
3　どちらかと言えばそう思わない　4　思わない
5　わからない

問17　子どもを育てるにあたっての、家庭と学校などの教育機関（幼稚園、保育園を含む）の役割について、もっとも近い考えはどれですか。（○は１つだけ）
1　家庭が勉強やしつけなど大部分の役割を果たすべき
2　学校などの教育機関が勉強やしつけなど大部分の役割を果たすべき
3　学校などの教育機関は勉強などが中心で、家庭はしつけなどの役割を果たすべき
4　どのようなことについても家庭と学校が相互に協力して進めるべき
5　わからない

中学校入学後のお子さんの様子について

中学校入学後のお子さんの様子について教えてください。（設問によってはお子さんに聞いてお答えください。）

問18　お子さんが中学校入学後の生活において、楽しんでいることは何ですか。（あてはまるもの全てに○）
1　勉強　2　運動　3　新しい先生
4　新しい友達　5　上級生との交流　6　給食
7　休み時間　8　当番・委員会活動　9　部活動
10　広い校庭や大きな体育館　11　学校行事　12　その他（　　）
13　特にない

問19　お子さんの中学校入学後の生活において、不安に感じていることは何かありますか。（あてはまるもの全てに○）
1　生活時間の変化　2　勉強（ついていけるか）
3　運動（ついていけるか）　4　授業（50分間授業を聞いていられるか）
5　校則（守れるか）　6　給食
7　部活動　8　学校行事
9　集団への適応　10　生徒と先生との関係
11　友だちとの関係　12　上級生との関係
13　登下校の安全　14　学校の防犯・防災対策
15　保護者と先生・学校との関係　16　保護者どうしの関係
17　その他（　　）　18　特にない

問20　【問19で１～17に○をつけた場合に答えてください】不安や心配に対しては、何か対応をされますか（実施済みを含む）。（あてはまるもの全てに○）
1　学校（先生）に相談する　2　公的機関・医療機関に相談する
3　家庭中心に対応する　4　保護者どうしで相談する
5　その他（　　）　6　特に対応しない

問21　【問19で18の「特にない」に○をつけた場合に答えてください】不安に感じていることがない理由は何ですか。（あてはまるもの全てに○）

1　小学校と中学校との交流が行われていたから
2　小学校で中学校の話を聞いていたから
3　小学校で中学校入学にあたっての準備や練習を行っていたから
4　中学校の入学説明会や健康診断で中学校生活について話を聞いていたから
5　（お子さんの）兄や姉が中学校に通っている、通っていたから
6　子どもに十分な適応力があると思うから
7　子どもが楽しそうに学校に通っているから
8　その他（　　）

お子さんの将来像について

問22　将来、成人し社会の支え手となる、あなたのお子さんに、中学校を卒業する時までに、身に付けてほしい能力や考え方として、特に重要だと思うことは何ですか。（○は５つまで）

1　学力
2　運動能力
3　生活していく上での常識、礼儀作法
4　きまりや約束を守る規範意識
5　他人を大切にし、思いやる心
6　あきらめず、ねばり強く挑戦することができる、たくましい心
7　命の尊さを理解する心
8　自分で考え、自分で学び、自分の判断で行動する自立心
9　他人との関係を円滑に築くコミュニケーション能力と自己主張力
10　あらゆる環境変化に対応できる柔軟性と豊かな発想力
11　集団を率いるリーダーシップ
12　犯罪、災害から身を守る注意力
13　勤労意欲や社会の役に立ちたいと思う心
14　伝統や文化を重んじ、地域を大切にする心
15　異文化を理解し、国際人として活動しようとする力
16　地球環境や自然を大切にする心
17　その他（　　）

最後に、子ども教育の連携や草加市の教育についてご意見などがあれば、自由にご記入ください。

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

お手数ですが、担任の先生へご提出ください。

草加市子ども教育の連携に関する
保護者アンケートのお願い

≪ご回答をお願いしたい保護者の方≫

幼稚園：年長組の保護者の方
保育園：５歳児クラスの保護者の方
小学校：１年生、６年生の保護者の方
中学校：１年生、３年生の保護者の方

大暑の候、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

日頃から草加市の教育行政にご理解とご協力を賜り誠にありがとうございます。

さて、本市教育委員会では、草加市教育振興基本計画『笑顔かがやく草加教育プラン』に基づき、子ども教育の連携を推進しています。

これは、幼児期教育から、小学校教育、中学校教育までを途切れのない連続した教育期間と捉え、草加の子どもたちが安心して学べる環境を整備し、自ら考え、自ら学ぶなどの「生きる力」の育成を推進するものです。

本調査は、市内の幼稚園、保育園、小学校、中学校における子ども教育の連携について実態を把握し、子ども教育の連携に関する基本方針策定にあたっての基礎資料となる重要な調査です。

お忙しい中、お手数をおかけいたしますが、本アンケートの趣旨をご理解いただき、ご協力いただきますようよろしくお願い申し上げます。

平成２４年７月　草加市教育委員会

≪アンケートのご回答にあたって≫

１　集計結果は統計的に処理されますので、個人のお名前が特定されることはありません。アンケート用紙には、お名前などの個人情報を書かないでください。
２　質問の回答として、あてはまる番号に○をつけてください。また、「その他」を選択した場合など（　　）の記述欄については、その内容を（　　）内に記入してください。
３　複数の対象となるお子さんをお持ちの保護者の方には、複数のアンケート用紙が届きます。大変ご面倒をおかけいたしますが、それぞれのお子さんについてご回答ください。
４　回答が済みましたら、お子さんの担任の先生にご提出ください。
５　お問い合わせ先　　草加市教育委員会　子ども教育連携推進室
電話９２２－０１５１　内線６５９１・６５９２

保護者用（中学校３年生）

あてはまる番号に○を付けてご回答ください。また、（　　）の記述欄については、記入をお願いします。

お子さんについての基本情報など

学校の名前　（　　中学校）　　お子さんの性別　１　男　　２　女
兄弟姉妹の人数　（　　人）　　祖父母との同居　１　有　　２　無
お子さんからみて、このアンケートに回答いただく方の続柄
１　父親　２　母親　３　祖父　４　祖母　５　その他（　　）

お子さんの生活の様子について

お子さんの生活の様子について教えてください。（それぞれ○は１つだけ）

問１　早寝早起き、朝ごはんなどの規則正しい生活習慣が身に付いていますか。
１　よくできる　２　ほぼできる　３　あまりできない　４　できない

問２　外出後や食事前に手洗い、うがいをしますか。
１　よくできる　２　ほぼできる　３　あまりできない　４　できない

問３　危険なことをしない、交通ルールを守るなど、安全に行動することができますか。
１　よくできる　２　ほぼできる　３　あまりできない　４　できない

問４　身の回りのことなど、自分のことを自分でしていますか。
１　よくできる　２　ほぼできる　３　あまりできない　４　できない

問５　友達と一緒に遊ぶ、自分の気持ちを伝えるなど、周囲の人とコミュニケーションがとれていますか。
１　よくできる　２　ほぼできる　３　あまりできない　４　できない

問６　あいさつや返事がきちんとできていますか。
１　よくできる　２　ほぼできる　３　あまりできない　４　できない

問７　順番を待つ、友達に譲るなど、我慢をすることができますか。
１　よくできる　２　ほぼできる　３　あまりできない　４　できない

問８　きまりや約束を守ることができますか。
１　よくできる　２　ほぼできる　３　あまりできない　４　できない

問９　学習への意欲や、生活・周囲のさまざまな物事への関心を持ち、学校生活に積極的に取り組む意欲がありますか。
１　ある　　２　少しある　　３　あまりない　　４　全くない

問10　文章を読んだり、計算や数量について理解しようとしたりするなど、文字や数への関心がありますか。
１　ある　　２　少しある　　３　あまりない　　４　全くない

問11　人の話を静かに聞いたり、物事にじっくり取り組んだりなど、集中して何かをすることができますか。
1　よくできる　2　ほぼできる　3　あまりできない　4　できない

お子さんの学習の様子について

お子さんの学習の様子について教えてください。

問12　お子さんは、学校での授業を理解している様子ですか。（○は１つだけ）
1　理解している　2　ほぼ理解している　3　あまり理解していない
4　全く理解していない　5　理解しようとしていない　6　わからない
7　その他（　　）

問13　【問12で３～５に○をつけた場合に答えてください】学校の授業を理解していない理由や原因は何だと思われますか。（あてはまるもの全てに○）
1　授業内容が難しい　2　授業に集中できていない　3　教え方が適切でない
4　わからない　5　その他（　　）

問14　学校以外での、１日の平均学習時間（塾などでの学習の時間を含む）はどのくらいですか。（○は１つだけ）
1　30分以内　2　１時間以内　3　２時間以内
4　３時間以内　5　４時間以内　6　５時間以内
7　６時間以内　8　６時間超　9　学校以外ではほとんど勉強しない

家庭での教育について

家庭での教育に関する保護者の方のお考えについて教えてください。

問15　家庭でのしつけや教育で、特に重視していることは何ですか。（○は５つまで）
1　早寝早起き、朝食を食べるなどの規則正しい生活習慣
2　あいさつ、言葉づかいなどの礼儀作法
3　学校や家庭でのルールやマナーを守ること
4　相手のことを思いやる心
5　忍耐力、我慢すること、あきらめない心
6　親子のコミュニケーション
7　健康、体力の向上などのために運動させること
8　自分でできることは自分で行わせたり、家の手伝いをさせること
9　近所の人と関わり、地域の行事へ参加させること
10　勉強する習慣を身に付け、必要な時は勉強を教えること
11　習い事など、学校や家庭以外で学ぶ機会を設けること
12　その他（　　）
13　特に重点を置いていることはない

問16　【問15で１～12に○をつけた場合に答えてください】保護者の方が、お子さんに対して、ご家庭で特に重視しているしつけや教育を実際にできていると思いますか。（○は１つだけ）
1　そう思う　2　どちらかと言えばそう思う
3　どちらかと言えばそう思わない　4　思わない
5　わからない

問17　子どもを育てるにあたっての、家庭と学校などの教育機関（幼稚園、保育園を含む）の役割について、もっとも近い考えはどれですか。（○は１つだけ）
1　家庭が勉強やしつけなど大部分の役割を果たすべき
2　学校などの教育機関が勉強やしつけなど大部分の役割を果たすべき
3　学校などの教育機関は勉強などが中心で、家庭はしつけなどの役割を果たすべき
4　どのようなことについても家庭と学校が相互に協力して進めるべき
5　わからない

お子さんの中学校生活の様子について

お子さんの中学校生活の様子について教えてください。（設問によってはお子さんに聞いてお答えください。）

問18　お子さんが中学校の生活において、楽しんでいることは何ですか。（あてはまるものすべてに○）
1　勉強　2　運動　3　新しい先生
4　新しい友達　5　上級生との交流　6　給食
7　休み時間　8　当番・委員会活動　9　部活動
10　広い校庭や大きな体育館　11　学校行事　12　その他（　　）
13　特にない

問19　お子さんの中学校の生活において、不安に感じていることは何かありますか。（あてはまるもの全てに○）
1　生活時間（規則正しく過ごせるか）　2　勉強（ついていけるか）
3　運動（ついていけるか）　4　授業（50分間授業を聞いていられるか）
5　校則（守れるか）　6　給食
7　部活動　8　学校行事
9　集団への適応　10　生徒と先生との関係
11　友だちとの関係　12　上級生との関係
13　登下校の安全　14　学校の防犯・防災対策
15　保護者と先生・学校との関係　16　保護者どうしの関係
17　その他（　　）　18　特にない

問20　【問19で１～17に○をつけた場合に答えてください】不安や心配に対しては、何か対応をされますか（実施済みを含む）。（あてはまるもの全てに○）
1　学校（先生）に相談する　2　公的機関・医療機関に相談する
3　家庭中心に対応する　4　保護者どうしで相談する
5　その他（　　）　6　特に対応しない

お子さんの将来像について

問21　将来、成人し社会の支え手となる、あなたのお子さんに、中学校を卒業する時までに、身に付けてほしい能力や考え方として、特に重要だと思うことは何ですか。（○は５つまで）

1　学力
2　運動能力
3　生活していく上での常識、礼儀作法
4　きまりや約束を守る規範意識
5　他人を大切にし、思いやる心
6　あきらめず、ねばり強く挑戦することができる、たくましい心
7　命の尊さを理解する心
8　自分で考え、自分で学び、自分の判断で行動する自立心
9　他人との関係を円滑に築くコミュニケーション能力と自己主張力
10　あらゆる環境変化に対応できる柔軟性と豊かな発想力
11　集団を率いるリーダーシップ
12　犯罪、災害から身を守る注意力
13　勤労意欲や社会の役に立ちたいと思う心
14　伝統や文化を重んじ、地域を大切にする心
15　異文化を理解し、国際人として活動しようとする力
16　地球環境や自然を大切にする心
17　その他（　　）

最後に、子ども教育の連携や草加市の教育についてご意見などがあれば、自由にご記入ください。

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

お手数ですが、担任の先生へご提出ください。

草加市子ども教育の連携に関する

教員･保育士アンケートのお願い

大暑の候、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

日頃から草加市の教育行政にご理解とご協力を賜り誠にありがとうございます。

さて、本市教育委員会では、草加市教育振興基本計画『笑顔かがやく草加教育プラン』に基づき、子ども教育の連携を推進しています。

これは、幼児期教育から、小学校教育、中学校教育までを途切れのない連続した教育期間と捉え、草加の子どもたちが安心して学べる環境を整備し、自ら考え、自ら学ぶなどの「生きる力」の育成を推進するものです。

本調査は、市内の幼稚園、保育園、小学校、中学校における子ども教育の連携について実態を把握し、子ども教育の連携に関する基本方針策定にあたっての基礎資料となる重要な調査です。

お忙しい中、お手数をおかけいたしますが、本アンケートの趣旨をご理解いただき、ご協力いただきますようよろしくお願い申し上げます。

平成24年7月　草加市教育委員会

≪ご回答をお願いしたい先生方≫

幼稚園 ： 園長、年長組を受け持つ先生方
保育園 ： 園長、5歳児を受け持つ先生方
小学校 ： 校長、生徒指導主任、小学校1年生及び6年生の学年主任、特別支援学級の主担任
中学校 ： 校長、生徒指導主任、中学校1年生及び3年生の学年主任、特別支援学級の主担任

≪アンケートのご回答にあたって≫

1　質問の回答として、あてはまる番号に○をつけてください。また、「その他」を選択した場合など（　　）の記述欄については、その内容を（　　）内に記入してください。

2　回答が済みましたら、お手数ですが、保護者向けのアンケート用紙と共に、庁内メール便を利用し、教育委員会にご提出ください。

3　お問い合わせ先　　草加市教育委員会　子ども教育連携推進室
電話９２２－０１５１　内線６５９１・６５９２

幼稚園・保育園用（園長、年長・５歳児担任）

あてはまる番号・項目に○を付けてご回答ください。また、（　　）の記述欄については、記入をお願いします。

回答される方の基本情報

園の名前（正式名称）：（　　幼稚園・保育園 ）
職名：（　　）
教員・保育士歴：　０～５年目　　６～１０年目　　１１～１５年目　　１６年目以上
園児の進学先（平成２３年度、上位３校）：（園長先生のみお答えください）
１（　　）小学校－（　　）％程度
２（　　）小学校－（　　）％程度
３（　　）小学校－（　　）％程度

年長組（５歳児クラス）のお子さんの生活の様子について

年長組または５歳児クラスのお子さんの生活の様子について、以下にあげる内容が、どの程度できているとお感じになりますか。クラス全体としての傾向を教えてください。（それぞれ○は１つだけ）

問１　早寝早起き、朝ごはんなどの規則正しい生活習慣が身に付いていますか。
１　よくできる　２　ほぼできる　３　あまりできない　４　できない

問２　外出後や食事前に手洗い、うがいをしますか。
１　よくできる　２　ほぼできる　３　あまりできない　４　できない

問３　危ないことをしない、交通ルールを守るなど、危険なことに気づくことができますか。
１　よくできる　２　ほぼできる　３　あまりできない　４　できない

問４　身の回りのことなど、自分のことを自分でしていますか。
１　よくできる　２　ほぼできる　３　あまりできない　４　できない

問５　友達と一緒に遊ぶ、自分の気持ちを伝えるなど、周囲の人とコミュニケーションがとれていますか。
１　よくできる　２　ほぼできる　３　あまりできない　４　できない

問６　あいさつや返事がきちんとできていますか。
１　よくできる　２　ほぼできる　３　あまりできない　４　できない

問７　順番を待つ、友達に譲るなど、我慢をすることができますか。
１　よくできる　２　ほぼできる　３　あまりできない　４　できない

問８　きまりや約束を守ることができますか。
１　よくできる　２　ほぼできる　３　あまりできない　４　できない

問９　色々なことに疑問を持ち尋ねたり、遊び方を工夫したりするなど、学びへの意欲や物事への関心を持っていますか。
１　ある　　２　少しある　　３　あまりない　　４　全くない

問10　絵本を読んだり、物の数を数えたりするなど、文字や数への関心がありますか。
1　ある　　2　少しある　　3　あまりない　　4　全くない

問11　人の話を静かに聞いたり、好きなことにじっくり取り組んだりなど、集中して何かをすることができますか。
1　よくできる　2　ほぼできる　3　あまりできない　4　できない

幼稚園・保育園・小学校・中学校の交流、連携の実施状況について

問12　あなたの園では、平成２３年度に、他の幼稚園・保育園・小学校・中学校のいずれか又はいくつかと交流、連携を行いましたか。（○は１つだけ）
1　はい　→問13～問20へ　　2　いいえ　→問21へ

問13　【問12で１の「はい」に○をつけた場合に答えてください】交流、連携の相手方はどこでしたか。（あてはまるもの全てに○）
1　幼稚園　　2　保育園　　3　小学校　　4　中学校

問14　【問12で１の「はい」に○をつけた場合に答えてください】交流、連携に参加したのは以下のうち誰でしたか。（あてはまるもの全てに○）
1　年長児（５歳児）　2　年中児（４歳児）　3　年少児（３歳児）
4　教諭・保育士　　5　園長　　6　その他（　　）

問15　【問12で１の「はい」に○をつけた場合に答えてください】交流、連携の内容はどのようなものでしたか。（あてはまるもの全てに○）
1　活動（遊び）を中心とした交流
2　運動会、音楽会、お祭りなどの行事交流
3　絵画や制作などの作品交流
4　給食交流
5　合同での避難訓練や防災訓練
6　園児や児童、生徒による学校見学・園見学、授業体験・保育体験など（職場体験などによるものを含む）
7　校庭や敷地、施設、遊具などを利用する活動
8　園児や児童がお散歩の途中に学校に寄って、校庭で遊んだり、トイレを借りたりする
9　園だより・学校だよりの他園・他校への送付
10　教職員どうしによる子どもに関する情報提供や意見交換
11　教職員による保育参観や授業参観
12　教職員の合同研修会
13　カリキュラムの検討、作成
14　保護者への説明会や情報提供
15　その他（　　）

問16　【問12で１の「はい」に○をつけた場合に答えてください】交流、連携の窓口は、主にどなたが担当していますか。（○は１つだけ）
1　管理職（園長、副園長）　2　教務主任・主任　3　年長組（５歳児）担任
4　その他（　　）　5　決めていない

問17　【問12で１の「はい」に○をつけた場合に答えてください】交流、連携の窓口の担当者は、固定していますか。（○は１つだけ）
1　はい　　2　いいえ

問18　【問12で１の「はい」に○をつけた場合に答えてください】交流、連携を行って良かった点は何ですか。（あてはまるもの全てに○）
1　園児が小学校生活に親しみを持ったり期待を寄せたりするようになった
2　小学生としての生活にあこがれを持ち、園児が普段の活動を頑張るようになった
3　教職員どうしが顔見知りとなり、交流活動について話がしやすくなった
4　お互いの保育や教育について理解を深めることができた
5　幼児期の教育と小学校教育のつながりが見え、実践に活かすことができた
6　育ちの連続性を意識したカリキュラムづくりができてきた
7　保護者の安心につながった
8　その他（　　）

問19　【問12で１の「はい」に○をつけた場合に答えてください】交流、連携の実施にあたって課題となる点は何ですか。（あてはまるもの全てに○）
1　連携先が多忙であり依頼しにくい
2　窓口担当者が明確でなく、担当者も変わってしまう
3　連携先が消極的・受身の姿勢である
4　教育課程・文化の違い
5　組織・教職員間の温度差
6　日程調整の難しさ
7　交流・連携する場所の確保の難しさ
8　交流・連携内容の企画の難しさ
9　カリキュラムにおいて接続関係を具体的にすることの難しさ
10　その他（　　）

問20　【問12で１の「はい」に○をつけた場合に答えてください】交流、連携の実施にあたって改善したい点は何ですか。（あてはまるもの全てに○）
1　毎年、継続させていくこと
2　交流、連携の回数を増やすこと
3　交流、連携の日程や時間帯を工夫すること
4　交流、連携の内容を工夫すること
5　交流、連携についての温度差をなくしていくこと
6　教職員全員で取り組む体制を作ること
7　円滑な接続のためのカリキュラムの内容を見直すこと
8　その他（　　）

問21　【問12で２の「いいえ」に○をつけた場合に答えてください】交流、連携の実施が困難な理由は何ですか。（あてはまるもの全てに○）
1　近隣に交流できる園や学校がない
2　日程調整が難しい
3　交流の仕方が分からない
4　これまで交流をしておらず、関係ができていない
5　その他（　　）

就学に向けた取り組みについて

問22　あなたの園では、他の幼稚園・保育園・小学校・中学校との交流、連携以外に、小学校教育への接続を意識して行う幼児教育を行っていますか。（○は１つだけ）

1　行っている　　2　行っていない

問23　【問22で１の「行っている」に○をつけた場合に答えてください】小学校教育への接続を意識して行う幼児教育として、どのようなことを行っていますか。（あてはまるもの全てに○）

1　基本的な生活習慣をしっかりと身に付けさせること（登園時間を早める、昼寝の時間をなくすなど）
2　戸外での遊びや運動などによる体力増進や健康づくり
3　ルールを守ることの大切さを教えること
4　友だちと関わる中で思いやりや親しみを持つこと
5　友達と一緒に、同じ目的をもって１つのことに取り組むこと
6　大勢の前で発表する機会を設けること
7　当番活動などを行うこと
8　絵や工作、歌や楽器などによる創作的な活動
9　文字や数に興味を持たせること
10　集中して１つのことに取り組む時間を設けること
11　小学校以降の育ちの連続性を意識したカリキュラムの実施
12　その他（　　）

問24　【問22で１の「行っている」に○をつけた場合に答えてください】小学校教育への接続を意識して行う幼児教育を、いつ頃から行っていますか。（○は１つだけ）

1　年長（５歳児）の（　　）月頃から　　2　年中（４歳児）の（　　）月頃から
3　年少（３歳児）の（　　）月頃から　　4　その他（　　）

問25　卒園児が進学する小学校に対して、どのようなことを期待しますか。（あてはまるもの全てに○）

1　基本的な生活指導の継続
2　環境変化に対応した配慮
3　保育要録や情報交換を活かしたクラス編成
4　幼稚園や保育園での学びや育ちを活かした学習活動
5　卒園児の入学後の状況を幼稚園・保育園が把握できる機会の提供
6　交流、連携の充実
7　小学校に入学した子どもたちがスムーズに小学校での生活や学習に適応できるようにするための、スタートカリキュラムの実施
8　その他（　　）

教育全般について

問26　子どもを育てるにあたっての、家庭と学校などの教育機関（幼稚園、保育園を含む）の役割について、もっとも近い考えはどれですか。（○は１つだけ）

1　家庭が勉強やしつけなど大部分の役割を果たすべき
2　学校などの教育機関が勉強やしつけなど大部分の役割を果たすべき
3　学校などの教育機関は勉強などが中心で、家庭はしつけなどの役割を果たすべき
4　どのようなことについても家庭と学校が相互に協力して進めるべき
5　わからない

問27　将来、成人し社会の支え手となる、あなたの園の卒園児のお子さんたちに、中学校を卒業する時までに、身に付けてほしい能力や考え方として、特に重要だと思うことは何ですか。（○は５つまで）

1　学力
2　運動能力
3　生活していく上での常識、礼儀作法
4　きまりや約束を守る規範意識
5　他人を大切にし、思いやる心
6　あきらめず、ねばり強く挑戦することができる、たくましい心
7　命の尊さを理解する心
8　自分で考え、自分で学び、自分の判断で行動する自立心
9　他人との関係を円滑に築くコミュニケーション能力と自己主張力
10　あらゆる環境変化に対応できる柔軟性と豊かな発想力
11　集団を率いるリーダーシップ
12　犯罪、災害から身を守る注意力
13　勤労意欲や社会の役に立ちたいと思う心
14　伝統や文化を重んじ、地域を大切にする心
15　異文化を理解し、国際人として活動しようとする力
16　地球環境や自然を大切にする心
17　その他（　　）

最後に、子ども教育の連携や草加市の教育についてご意見などがあれば、自由にご記入ください。

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

草加市子ども教育の連携に関する

教員・保育士アンケートのお願い

大暑の候、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

日頃から草加市の教育行政にご理解とご協力を賜り誠にありがとうございます。

さて、本市教育委員会では、草加市教育振興基本計画『笑顔かがやく草加教育プラン』に基づき、子ども教育の連携を推進しています。

これは、幼児期教育から、小学校教育、中学校教育までを途切れのない連続した教育期間と捉え、草加の子どもたちが安心して学べる環境を整備し、自ら考え、自ら学ぶなどの「生きる力」の育成を推進するものです。

本調査は、市内の幼稚園、保育園、小学校、中学校における子ども教育の連携について実態を把握し、子ども教育の連携に関する基本方針策定にあたっての基礎資料となる重要な調査です。

お忙しい中、お手数をおかけいたしますが、本アンケートの趣旨をご理解いただき、ご協力いただきますようよろしくお願い申し上げます。

平成24年7月　草加市教育委員会

≪ご回答をお願いしたい先生方≫

幼稚園 ： 園長、年長組を受け持つ先生方
保育園 ： 園長、5歳児を受け持つ先生方
小学校 ： 校長、生徒指導主任、小学校1年生及び6年生の学年主任、特別支援学級の主担任
中学校 ： 校長、生徒指導主任、中学校1年生及び3年生の学年主任、特別支援学級の主担任

≪アンケートのご回答にあたって≫

1　質問の回答として、あてはまる番号に○をつけてください。また、「その他」を選択した場合など（　　）の記述欄については、その内容を（　　）内に記入してください。
2　回答が済みましたら、お手数ですが、保護者向けのアンケート用紙と共に、庁内メール便を利用し、教育委員会にご提出ください。
3　お問い合わせ先　　草加市教育委員会　子ども教育連携推進室
電話９２２－０１５１　内線６５９１・６５９２

小学校用（校長、生徒指導主任、１年生・６年生の学年主任）

あてはまる番号・項目に○を付けてご回答ください。また、（　　）の記述欄については、記入をお願いします。

なお、各設問の回答に当たっては、校長及び生徒指導主任は学校全体の児童の様子について、学年主任は担当する学年の児童の様子についてお答えください。

回答される方の基本情報

学校の名前　：　（　草加市立　　小学校　）
職名：　校長　生徒指導主任　学年主任（　　年生）　生徒指導(兼)学年主任（　　年生）
教員歴：　０～５年目　　６～１０年目　　１１～１５年目　　１６年目以上
１年生と６年生の学級数：　１年生（　　クラス）　　６年生（　　クラス）

児童の生活の様子について

児童の生活の様子について、以下にあげる内容が、どの程度できているとお感じになりますか。クラス全体としての傾向を教えてください。（それぞれ○は１つだけ）

問１　早寝早起き、朝ごはんなどの規則正しい生活習慣が身に付いていますか。
1　よくできる　2　ほぼできる　3　あまりできない　4　できない

問２　外出後や食事前に手洗い、うがいをしますか。
1　よくできる　2　ほぼできる　3　あまりできない　4　できない

問３　危ないことをしない、交通ルールを守るなど、安全に行動することができますか。
1　よくできる　2　ほぼできる　3　あまりできない　4　できない

問４　身の回りのことなど、自分のことを自分でしていますか。
1　よくできる　2　ほぼできる　3　あまりできない　4　できない

問５　友達と一緒に遊ぶ、自分の気持ちを伝えるなど、周囲の人とコミュニケーションがとれていますか。
1　よくできる　2　ほぼできる　3　あまりできない　4　できない

問６　あいさつや返事がきちんとできていますか。
1　よくできる　2　ほぼできる　3　あまりできない　4　できない

問７　順番を待つ、友達に譲るなど、我慢をすることができますか。
1　よくできる　2　ほぼできる　3　あまりできない　4　できない

問８　きまりや約束を守ることができますか。
1　よくできる　2　ほぼできる　3　あまりできない　4　できない

問９　学習への意欲や、生活・周囲のさまざまな物事への関心を持っていますか。
1　ある　　2　少しある　　3　あまりない　　4　全くない

問10　文章を読んだり、計算や数量について理解しようとしたりするなど、文字や数への関心がありますか。
1　ある　　2　少しある　　3　あまりない　　4　全くない

問11　人の話を静かに聞いたり、物事にじっくり取り組んだりなど、集中して何かをすることができますか。
1　よくできる　2　ほぼできる　3　あまりできない　4　できない

小１プロブレムについて

「小１プロブレム」（入学したばかりの１年生の教室において、集団行動がとれない、授業中に座っていられない、先生の話を聞かないなど、学校生活にうまく適応できない状態が続き、学級として機能しないことをいいます）について、あなたの学校の状況を教えてください。（問12～問18は、校長、生徒指導主任、１年生の学年主任のみ、お答えください）

問12　あなたの学校では、今年度（平成２４年度）、「小１プロブレム」といわれる状況がみられますか。（○は１つだけ）
1　はい　→問13～問18へ　　2　いいえ　→問17・問18へ

問13　【問12で１の「はい」に○をつけた場合に答えてください】「小１プロブレム」がみられた学級は何学級ですか。
「小１プロブレム」が見られた学級数　（　　学級）

問14　【問12で１の「はい」に○をつけた場合に答えてください】「小１プロブレム」がみられた要因はどのようなことであると考えますか。（あてはまるもの全てに○）
1　児童に基本的な生活習慣が身に付いていなかったこと
2　児童に集団生活での経験が不足していたこと
3　児童に耐性が身に付いていなかったこと
4　家庭の教育力が低下していること
5　担任が、個別に支援を必要としている児童への指導と、全体への指導の両方を適切にできなかったこと
6　担任に基本的な指導力が欠けていたこと
7　個別に支援を必要としている児童に対して、学校としての支援体制が整っていなかったこと
8　その他（　　）

問15　【問12で１の「はい」に○をつけた場合に答えてください】「小１プロブレム」とみられる状況に、どのように対応していますか。（あてはまるもの全てに○）
1　担任一人で対応している
2　学年の先生方で協力体制をとっている
3　管理職や教務主任等とで協力体制をとっている
4　保護者や地域のボランティア等の協力体制を取り入れている
5　学習補助員、学級支援員、小１プロブレム対応職員が補助的に支援している
6　保健室や別の教室で個別に対応している
7　公的機関・医療機関など関係諸機関と協力している
8　その他（　　）

問16　【問12で１の「はい」に○をつけた場合に答えてください】「小１プロブレム」の発生の予防や解消にはどのような対応策が効果的だと思われますか。（あてはまるもの全てに○）
1　幼稚園・保育所における小学校との接続を見据えた幼児教育の充実
2　幼稚園・保育所と小学校の教職員どうしの合同研修や意見交換などの充実
3　幼稚園・保育所と小学校の交流活動の充実
4　学級担任の補助となる補助員等の配置
5　一学級の人数の縮小
6　保護者の協力体制の確立
7　学級担任の指導力の向上にかかわる研修
8　学校における組織的な協力体制の構築
9　地域の人の協力体制の確立
10　その他（　　）
11　わからない

問17　あなたの学校では、入学に際し、以下のような配慮や準備を何か行っていますか。（あてはまるもの全てに○）
1　教職員の配置の工夫や協力体制を整えた
2　幼稚園や保育園の先生と情報共有を行い、学級編成や支援の参考にした
3　幼児期からの接続を意識したスタートカリキュラムを作成・実施し、指導内容や方法の見直しを図った
4　保護者や地域ボランティア等の協力体制を取り入れた
5　その他（　　）
6　特に行っていない

問18　あなたの学校に入学する児童の出身園である幼稚園や保育園に対して、どのようなことを期待しますか。（あてはまるもの全てに○）
1　基本的な生活指導の徹底
2　環境変化に対応した配慮
3　指導要録・保育要録や情報交換の内容の充実
4　小学校での学習や成長を見通した幼稚園・保育園での教育活動
5　入学してくる児童の状況を小学校が把握できる機会の提供
6　交流、連携の充実
7　幼稚園・保育園での育ちや学びを小学校につなぐためのアプローチカリキュラムの実施
8　その他（　　）

幼稚園・保育園・小学校・中学校の交流、連携の実施状況について

問19　あなたの学校では、平成２３年度に、幼稚園・保育園・他の小学校・中学校のいずれか又はいくつかと交流、連携を行いましたか。（○は１つだけ）
1　はい　→問20～問27へ　　2　いいえ　→問28へ

問20　【問19で１の「はい」に○をつけた場合に答えてください】交流、連携の相手方はどこでしたか。（あてはまるもの全てに○）
1　幼稚園　　2　保育園　　3　小学校　　4　中学校

問21　【問19で１の「はい」に○をつけた場合に答えてください】交流、連携に参加したのは以下のうち誰でしたか。（あてはまるもの全てに○）

1　１年生　　2　２年生　　3　３年生
4　４年生　　5　５年生　　6　６年生
7　校長　　8　教頭　　9　教務主任
10　学年主任（　　年）　　11　担任（　　年）　　12　その他（　　）

問22　【問19で１の「はい」に○をつけた場合に答えてください】交流、連携の内容はどのようなものでしたか。（あてはまるもの全てに○）

1　活動（遊び）を中心とした交流
2　運動会、音楽会、お祭りなどの行事交流
3　絵画や制作などの作品交流
4　給食交流
5　合同での避難訓練や防災訓練
6　園児や児童、生徒による学校見学・園見学、授業体験・保育体験など（職場体験などによるものを含む）
7　校庭や敷地、施設、遊具などを利用する活動
8　園児や児童がお散歩の途中に学校に寄って、校庭で遊んだり、トイレを借りたりする
9　園だより・学校だよりの他園・他校への送付
10　教職員どうしによる子どもに関する情報提供や意見交換
11　教職員による保育参観や授業参観
12　教職員の合同研修会
13　カリキュラムの検討、作成
14　保護者への説明会や情報提供
15　その他（　　）

問23　【問19で１の「はい」に○をつけた場合に答えてください】交流、連携の窓口は、主にどなたが担当していますか。（○は１つだけ）

1　校長　　2　教頭　　3　教務主任・主任
4　学年主任（　　年）　　5　担任（　　年生）　　6　その他（　　）
7　決めていない

問24　【問19で１の「はい」に○をつけた場合に答えてください】交流、連携の窓口の担当者は、固定していますか。（○は１つだけ）

1　はい　　2　いいえ

問25　【問19で１の「はい」に○をつけた場合に答えてください】交流、連携を行って良かった点は何ですか。（あてはまるもの全てに○）

1　児童が園児に親しみを持ったり、園児の入学を楽しみにするようになった
2　園児と接する中で、上級生としての自覚がめばえるようになった
3　児童が中学校生活に親しみを持ったり、期待を寄せたりするようになった
4　中学校生活にあこがれを持ち、児童が普段の学習や活動を頑張るようになった
5　教職員どうしが顔見知りとなり、交流活動について話がしやすくなった
6　お互いの保育や教育について理解を深めることができた
7　幼児期の教育と小学校教育、小学校教育と中学校教育のつながりが見え、実践に活かすことができた
8　育ちの連続性を意識したカリキュラムづくりができてきた
9　保護者の安心につながった
10　その他（　　）

問26　【問19で１の「はい」に○をつけた場合に答えてください】交流、連携の実施にあたって課題となる点は何ですか。（あてはまるもの全てに○）

1　連携先が多忙であり依頼しにくい
2　窓口担当者が明確でなく、担当者も変わってしまう
3　連携先が消極的・受身の姿勢である
4　教育課程・文化の違い
5　組織・教職員間の温度差
6　日程調整の難しさ
7　交流・連携する場所の確保の難しさ
8　交流・連携内容の企画の難しさ
9　カリキュラムにおいて接続関係を具体的にすることの難しさ
10　その他（　　）

問27　【問19で１の「はい」に○をつけた場合に答えてください】交流、連携の実施にあたって改善したい点は何ですか。（あてはまるもの全てに○）

1　毎年、継続させていくこと
2　交流、連携の回数を増やすこと
3　交流、連携の日程や時間帯を工夫すること
4　交流、連携の内容を工夫すること
5　交流、連携についての温度差をなくしていくこと
6　教職員全員で取り組む体制を作ること
7　円滑な接続のためのカリキュラムの内容を見直すこと
8　その他（　　）

問28　【問19で２の「いいえ」に○をつけた場合に答えてください】交流、連携の実施が困難な理由は何ですか。（あてはまるもの全てに○）

1　近隣に交流できる園や学校がない
2　日程調整が難しい
3　交流の仕方が分からない
4　これまで交流をしておらず、関係ができていない
5　その他（　　）

問29　【校長、生徒指導主任、６年生の学年主任のみ、お答えください】あなたの学校を卒業する児童が進学する中学校に対して、どのようなことを期待しますか。（あてはまるもの全てに○）

1　基本的な生活指導の継続
2　環境変化に対応した配慮
3　指導要録や情報交換を活かしたクラス編成
4　小学校での学習や成長を活かした中学校での学習活動
5　卒業した児童の中学校入学後の状況を小学校が把握できる機会の提供
6　交流、連携の充実
7　その他（　　）

教育全般について

問30　子どもを育てるにあたっての、家庭と学校などの教育機関（幼稚園、保育園を含む）の役割について、もっとも近い考えはどれですか。（○は１つだけ）

1　家庭が勉強やしつけなど大部分の役割を果たすべき
2　学校などの教育機関が勉強やしつけなど大部分の役割を果たすべき
3　学校などの教育機関は勉強などが中心で、家庭はしつけなどの役割を果たすべき
4　どのようなことについても家庭と学校が相互に協力して進めるべき
5　わからない

問31　将来、成人し社会の支え手となる、あなたの学校の卒業生に、中学校を卒業する時までに、身に付けてほしい能力や考え方として、特に重要だと思うことは何ですか。（○は５つまで）

1　学力
2　運動能力
3　生活していく上での常識、礼儀作法
4　きまりや約束を守る規範意識
5　他人を大切にし、思いやる心
6　あきらめず、ねばり強く挑戦することができる、たくましい心
7　命の尊さを理解する心
8　自分で考え、自分で学び、自分の判断で行動する自立心
9　他人との関係を円滑に築くコミュニケーション能力と自己主張力
10　あらゆる環境変化に対応できる柔軟性と豊かな発想力
11　集団を率いるリーダーシップ
12　犯罪、災害から身を守る注意力
13　勤労意欲や社会の役に立ちたいと思う心
14　伝統や文化を重んじ、地域を大切にする心
15　異文化を理解し、国際人として活動しようとする力
16　地球環境や自然を大切にする心
17　その他（　　）

最後に、子ども教育の連携や草加市の教育についてご意見などがあれば、自由にご記入ください。

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

草加市子ども教育の連携に関する

教員･保育士アンケートのお願い

大暑の候、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

日頃から草加市の教育行政にご理解とご協力を賜り誠にありがとうございます。

さて、本市教育委員会では、草加市教育振興基本計画『笑顔かがやく草加教育プラン』に基づき、子ども教育の連携を推進しています。

これは、幼児期教育から、小学校教育、中学校教育までを途切れのない連続した教育期間と捉え、草加の子どもたちが安心して学べる環境を整備し、自ら考え、自ら学ぶなどの「生きる力」の育成を推進するものです。

本調査は、市内の幼稚園、保育園、小学校、中学校における子ども教育の連携について実態を把握し、子ども教育の連携に関する基本方針策定にあたっての基礎資料となる重要な調査です。

お忙しい中、お手数をおかけいたしますが、本アンケートの趣旨をご理解いただき、ご協力いただきますようよろしくお願い申し上げます。

平成24年7月　草加市教育委員会

≪ご回答をお願いしたい先生方≫

幼稚園 ： 園長、年長組を受け持つ先生方
保育園 ： 園長、5歳児を受け持つ先生方
小学校 ： 校長、生徒指導主任、小学校1年生及び6年生の学年主任、特別支援学級の主担任
中学校 ： 校長、生徒指導主任、中学校1年生及び3年生の学年主任、特別支援学級の主担任

≪アンケートのご回答にあたって≫

1　質問の回答として、あてはまる番号に○をつけてください。また、「その他」を選択した場合など（　　）の記述欄については、その内容を（　　）内に記入してください。

2　回答が済みましたら、お手数ですが、保護者向けのアンケート用紙と共に、庁内メール便を利用し、教育委員会にご提出ください。

3　お問い合わせ先　　草加市教育委員会　子ども教育連携推進室
電話９２２－０１５１　内線６５９１・６５９２

中学校用（校長、生徒指導主任、１年生・３年生の学年主任）

あてはまる番号・項目に○を付けてご回答ください。また、（　　）の記述欄については、記入をお願いします。

なお、各設問の回答に当たっては、校長及び生徒指導主任は学校全体の生徒の様子について、学年主任は担当する学年の生徒の様子についてお答えください。

回答される方の基本情報

学校の名前　：　（　草加市立　　中学校　）
職名：　校長　生徒指導主任　学年主任（　　年生）　生徒指導(兼)学年主任（　　年生）
教員歴：　０～５年目　６～１０年目　１１～１５年目　１６年目以上
１年生と３年生の学級数：　１年生（　　クラス）　６年生（　　クラス）

生徒の生活の様子について

生徒の生活の様子について、以下にあげる内容が、どの程度できているとお感じになりますか。クラス全体としての傾向を教えてください。（それぞれ○は１つだけ）

問１　早寝早起き、朝ごはんなどの規則正しい生活習慣が身に付いていますか。
1　よくできる　2　ほぼできる　3　あまりできない　4　できない

問２　運動後や食事前に手洗い、うがいをしますか。
1　よくできる　2　ほぼできる　3　あまりできない　4　できない

問３　危険なことをしない、交通ルールを守るなど、安全に行動することができますか。
1　よくできる　2　ほぼできる　3　あまりできない　4　できない

問４　身の回りのことなど、自分のことを自分でしていますか。
1　よくできる　2　ほぼできる　3　あまりできない　4　できない

問５　友達と一緒に遊ぶ、自分の気持ちを伝えるなど、周囲の人とコミュニケーションがとれていますか。
1　よくできる　2　ほぼできる　3　あまりできない　4　できない

問６　あいさつや返事がきちんとできていますか。
1　よくできる　2　ほぼできる　3　あまりできない　4　できない

問７　順番を待つ、友達に譲るなど、我慢をすることができますか。
1　よくできる　2　ほぼできる　3　あまりできない　4　できない

問８　きまりや約束を守ることができますか。
1　よくできる　2　ほぼできる　3　あまりできない　4　できない

問９　学習への意欲や、生活・周囲のさまざまな物事への関心を持ち、学校生活に積極的に取り組む意欲がありますか。
1　ある　　2　少しある　　3　あまりない　　4　全くない

問10　文章を読んだり、計算や数量について理解しようとしたりするなど、文字や数への関心がありますか。
1　ある　　2　少しある　　3　あまりない　　4　全くない

問11　人の話を静かに聞いたり、物事にじっくり取り組んだりなど、集中して何かをすることができますか。
1　よくできる　2　ほぼできる　3　あまりできない　4　できない

中１ギャップについて

「中１ギャップ」（授業内容の高度化や、先輩・後輩といった上下関係など、小学校にはなかった新しい環境になじめず、不登校などになってしまう生徒が中学生になって急増することをいいます）について、あなたの学校の状況を教えてください。（問12～問17は、校長、生徒指導主任、１年生の学年主任のみ、お答えください）

問12　あなたの学校では、今年度（平成２４年度）、「中１ギャップ」といわれる状況がみられますか。（○は１つだけ）
1　はい　→問13～問17へ　　2　いいえ　→問16・問17へ

問13　【問12で１の「はい」に○をつけた場合に答えてください】「中１ギャップ」がみられる要因はどのようなことであると考えますか。（あてはまるもの全てに○）
1　生徒に基本的な生活習慣が身に付いていなかったこと
2　生徒のコミュニケーション能力が不足していたこと
3　生徒に耐性が身に付いていなかったこと
4　生徒に、自分から物事に取り組んだり、自分で善悪の判断ができる、自主性がまだ十分に身に付いていなかったこと
5　家庭の教育力が低下していること
6　小学校での指導方法や生徒指導が不十分であったこと
7　担任が、個別に支援を必要としている生徒への指導と、全体への指導の両方を適切にできなかったこと
8　担任に基本的な指導力が欠けていたこと
9　個別に支援を必要としている生徒に対して、学校としての支援体制が整っていなかったこと
10　その他（　　）

問14　【問12で１の「はい」に○をつけた場合に答えてください】「中１ギャップ」とみられる状況に、どのように対応していますか。（あてはまるもの全てに○）
1　担任一人で対応している
2　学年の先生方で協力体制をとっている
3　管理職や教務主任等とで協力体制をとっている
4　保護者や地域のボランティア等の協力体制を取り入れている
5　学習補助員が補助的に支援している
6　保健室や別の教室で個別に対応している
7　公的機関・医療機関など関係諸機関と協力している
8　その他（　　）

問15　【問12で１の「はい」に○をつけた場合に答えてください】「中１ギャップ」の発生の予防や解消にはどのような対応策が効果的だと思われますか。（あてはまるもの全てに○）
1　小学校における中学校との接続を見据えた教育の充実
2　小学校と中学校の教職員どうしの合同研修や意見交換などの充実
3　小学校と中学校の交流活動の充実（授業、部活動等）
4　学級担任の補助となる補助員等の配置
5　一学級の人数の縮小
6　保護者の協力体制の確立
7　学級担任の指導力の向上にかかわる研修
8　学校における組織的な協力体制の構築
9　地域の人の協力体制の確立
10　その他（　　）
11　わからない

問16　あなたの学校では、入学に際し、以下のような配慮や準備を何か行っていますか。（あてはまるもの全てに○）
1　教職員の配置の工夫や協力体制を整えた
2　小学校の先生と情報共有を行い、学級編成や支援の参考にした
3　仮学級編成を取り入れた
4　自校に入学してくる児童が在籍する小学校で授業を行った
5　小学校からの接続を意識したカリキュラムを作成・実施し、指導内容や方法の見直しを図った
6　保護者や地域ボランティア等の協力体制を取り入れた
7　その他（　　）
8　特に行っていない

問17　あなたの学校に入学する生徒の出身校である小学校に対して、どのようなことを期待しますか。（あてはまるもの全てに○）
1　基本的な生活指導の徹底
2　環境変化に対応した配慮
3　指導要録や情報交換の内容の充実
4　中学校での学習や成長を見通した小学校での学習活動
5　入学してくる生徒の状況を中学校が把握できる機会の提供
6　交流、連携の充実
7　その他（　　）

幼稚園・保育園・小学校・中学校の交流、連携の実施状況について

問18　あなたの学校では、平成２３年度に、幼稚園・保育園・小学校・他の中学校のいずれか又はいくつかと交流、連携を行いましたか。（○は１つだけ）
1　はい　→問19～問26へ　　2　いいえ　→問27へ

問19　【問18で１の「はい」に○をつけた場合に答えてください】交流、連携の相手方はどこでしたか。（あてはまるもの全てに○）
1　幼稚園　　2　保育園　　3　小学校　　4　中学校

問20　【問18で１の「はい」に○をつけた場合に答えてください】交流、連携に参加したのは以下のうち誰でしたか。（あてはまるもの全てに○）

1　１年生　　2　２年生　　3　３年生
4　校長　　5　教頭　　6　教務主任
7　学年主任（　　年）　　8　担任（　　年）　　9　その他（　　）

問21　【問18で１の「はい」に○をつけた場合に答えてください】交流、連携の内容はどのようなものでしたか。（あてはまるもの全てに○）

1　活動（遊び）を中心とした交流
2　運動会、音楽会、お祭りなどの行事交流
3　絵画や制作などの作品交流
4　給食交流
5　合同での避難訓練や防災訓練
6　園児や児童、生徒による学校見学・園見学、授業体験・保育体験など（職場体験などによるものを含む）
7　校庭や敷地、施設、遊具などを利用する活動
8　園児や児童がお散歩の途中に学校に寄って、校庭で遊んだり、トイレを借りたりする
9　園だより・学校だよりの他園・他校への送付
10　教職員どうしによる子どもに関する情報提供や意見交換
11　教職員による保育参観や授業参観
12　教職員の合同研修会
13　カリキュラムの検討、作成
14　保護者への説明会や情報提供
15　その他（　　）

問22　【問18で１の「はい」に○をつけた場合に答えてください】交流、連携の窓口は、主にどなたが担当していますか。（○は１つだけ）

1　校長　　2　教頭　　3　教務主任・主任
4　学年主任（　　年）　　5　担任（　　年生）　　6　その他（　　）
7　決めていない

問23　【問18で１の「はい」に○をつけた場合に答えてください】交流、連携の窓口の担当者は、固定していますか。（○は１つだけ）

1　はい　　2　いいえ

問24　【問18で１の「はい」に○をつけた場合に答えてください】交流、連携を行って良かった点は何ですか。（あてはまるもの全てに○）

1　生徒が園児や児童に親しみを持ったり、児童の入学を楽しみにするようになった
2　園児や児童と接する中で、上級生としての自覚がめばえるようになった
3　教職員どうしが顔見知りとなり、交流活動について話がしやすくなった
4　お互いの教育や保育について理解を深めることができた
5　幼児期の教育や小学校教育とのつながりが見え、実践に活かすことができた
6　育ちの連続性を意識したカリキュラムづくりができてきた
7　保護者の安心につながった
8　その他（　　）

問25　【問18で１の「はい」に○をつけた場合に答えてください】交流、連携の実施にあたって課題となる点は何ですか。（あてはまるもの全てに○）

1　連携先が多忙であり依頼しにくい
2　窓口担当者が明確でなく、担当者も変わってしまう
3　連携先が消極的・受身の姿勢である
4　教育課程・文化の違い
5　組織・教職員間の温度差
6　日程調整の難しさ
7　交流・連携する場所の確保の難しさ
8　交流・連携内容の企画の難しさ
9　カリキュラムにおいて接続関係を具体的にすることの難しさ
10　その他（　　）

問26　【問18で１の「はい」に○をつけた場合に答えてください】交流、連携の実施にあたって改善したい点は何ですか。（あてはまるもの全てに○）

1　毎年、継続させていくこと
2　交流、連携の回数を増やすこと
3　交流、連携の日程や時間帯を工夫すること
4　交流、連携の内容を工夫すること
5　交流、連携についての温度差をなくしていくこと
6　教職員全員で取り組む体制を作ること
7　円滑な接続のためのカリキュラムの内容を見直すこと
8　その他（　　）

問27　【問18で２の「いいえ」に○をつけた場合に答えてください】交流、連携の実施が困難な理由は何ですか。（あてはまるもの全てに○）

1　近隣に交流できる園や学校がない
2　日程調整が難しい
3　交流の仕方が分からない
4　これまで交流をしておらず、関係ができていない
5　その他（　　）

教育全般について

問28　子どもを育てるにあたっての、家庭と学校などの教育機関（幼稚園、保育園を含む）の役割について、もっとも近い考えはどれですか。（○は１つだけ）

1　家庭が勉強やしつけなど大部分の役割を果たすべき
2　学校などの教育機関が勉強やしつけなど大部分の役割を果たすべき
3　学校などの教育機関は勉強などが中心で、家庭はしつけなどの役割を果たすべき
4　どのようなことについても家庭と学校が相互に協力して進めるべき
5　わからない

問29　将来、成人し社会の支え手となる、あなたの学校の卒業生に、中学校を卒業する時までに、身に付けてほしい能力や考え方として、特に重要だと思うことは何ですか。（○は５つまで）

1　学力
2　運動能力
3　生活していく上での常識、礼儀作法
4　きまりや約束を守る規範意識
5　他人を大切にし、思いやる心
6　あきらめず、ねばり強く挑戦することができる、たくましい心
7　命の尊さを理解する心
8　自分で考え、自分で学び、自分の判断で行動する自立心
9　他人との関係を円滑に築くコミュニケーション能力と自己主張力
10　あらゆる環境変化に対応できる柔軟性と豊かな発想力
11　集団を率いるリーダーシップ
12　犯罪、災害から身を守る注意力
13　勤労意欲や社会の役に立ちたいと思う心
14　伝統や文化を重んじ、地域を大切にする心
15　異文化を理解し、国際人として活動しようとする力
16　地球環境や自然を大切にする心
17　その他（　　）

最後に、子ども教育の連携や草加市の教育についてご意見などがあれば、自由にご記入ください。

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

草加市子ども教育の連携に関するアンケート調査報告書

発　　行／草加市教育委員会　子ども教育連携推進室

住　　所／〒340-8550 埼玉県草加市高砂 1 丁目 1 番 1 号

TEL　048-922-0151(代)

発　　行／平成 25 年 3 月